

第47回 市政世論調査

(令和2年度)



令和2年5月7日ふるまち庁舎オープン

新 潟 市

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	7
II 調査結果	9
1. 新潟市に対する誇りや愛着について	11
（1）新潟市に対する誇りや愛着	11
（2）特に誇りや愛着を感じているもの	36
2. 居住に関する意向について	42
（1）住み始めた当時の状況	42
（2）現在の住まいに住んでいる期間と以前の住まい	50
（3）現在お住まいの区にこれからも住みたいか	54
（4）現在の住まいに“不満を感じている”項目	56
（5）住み替える際の希望	62
（6）居住地を選ぶ際に重視したい項目	70
3. 空き家について	76
（1）地域での空き家について	76
（2）空き家が増えることによる問題	78
（3）空き家の今後の活用方法	94
（4）市で行われている空き家対策の取り組みの認知状況	98
（5）必要だと思う市の空き家対策	102
（6）空き家の所有者（管理者）になる可能性の認知	106
（7）家族等との話し合い	108
4. 地域コミュニティ協議会の認知度について	110
（1）地域コミュニティ協議会の認知度	110

(2) 地域コミュニティ協議会についての情報入手方法	112
(3) 地域がより良くなるための課題	116
5. 区自治協議会の認知度について	121
(1) 区自治協議会の認知度	121
(2) 区自治協議会についての情報入手方法	123
(3) 区がより良くなるための課題	127
6. 地域活動への参加状況について	132
(1) 地域活動への参加状況	132
(2) 地域活動に参加しようと思った理由	134
(3) 地域活動に参加できなかった要因	138
7. 市政全般と区政について	142
(1) 新潟市として良くなっているもの	142
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	150
(3) 区として良くなっているもの	158
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	166
8. 市の取り組みについて	174
(1) 新潟市に住み続けたいか	174
(2) 取り組みへの感想	176
(3) 取り組みへの満足度	198
Ⅲ 調査票様式	221

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

2. 調査の項目

(1) 新潟市に対する誇りや愛着について	本質問	2問
(2) 居住に関する意向について	本質問	5問
(3) 空き家について	本質問	7問
(4) 地域コミュニティ協議会の認知度について	本質問	3問
(5) 区自治協議会の認知度について	本質問	3問
(6) 地域活動への参加状況について	本質問	3問
(7) 市政全般と区政について	本質問	1問
(8) 市の取り組みについて	本質問	2問
(9) 対象者属性	本質問	5問

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：令和2年6月末現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：令和2年7月21日～8月8日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5. 回収結果

(1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

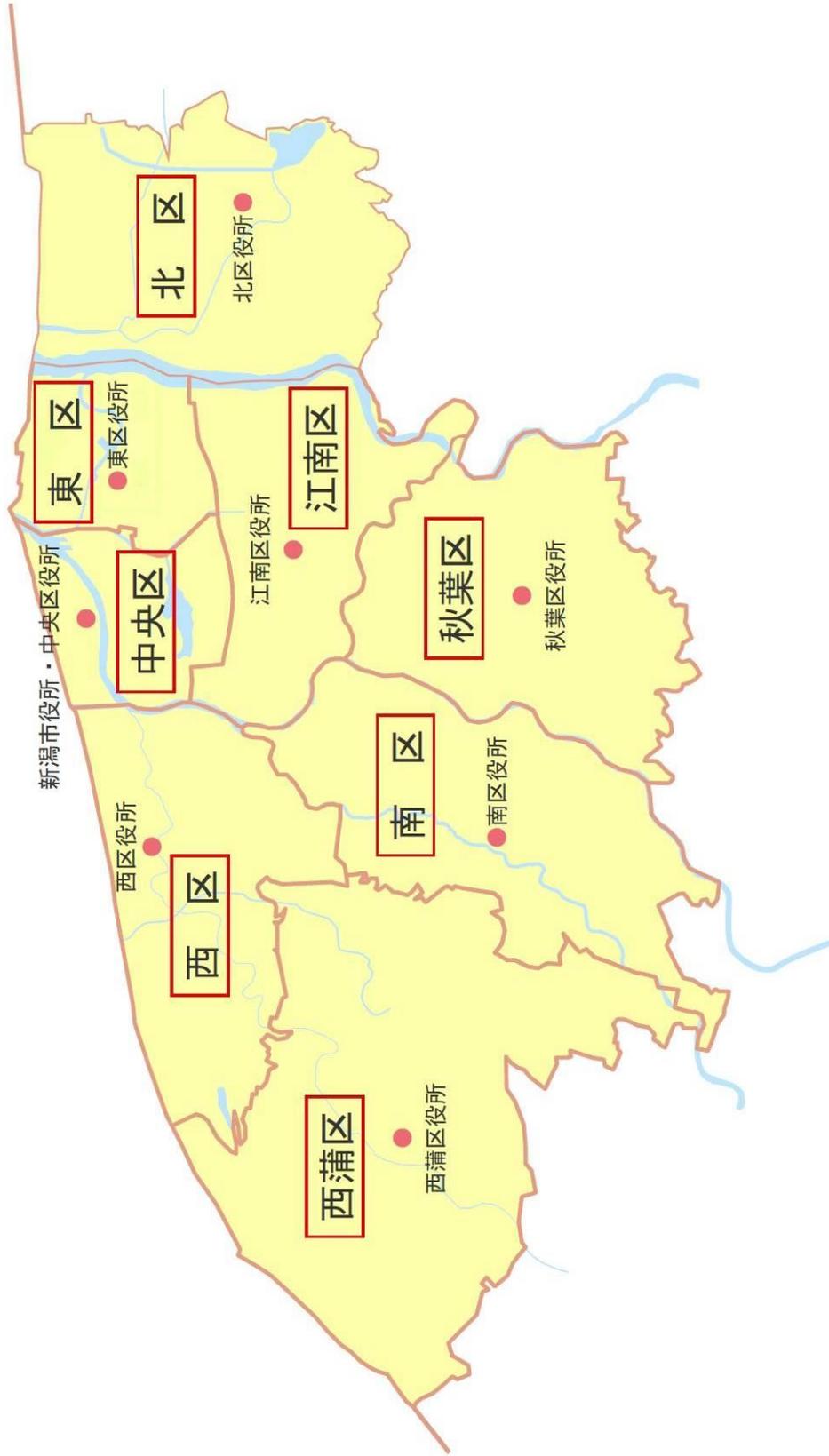
(2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	666,356	100.0%	4,000	2,251	56.3%
北 区	62,244	9.3%	373	183	49.1%
東 区	115,393	17.3%	693	369	53.2%
中央区	148,696	22.3%	892	507	56.8%
江南区	57,246	8.6%	344	192	55.8%
秋葉区	64,863	9.7%	389	234	60.2%
南 区	37,866	5.7%	228	125	54.8%
西 区	131,638	19.8%	790	452	57.2%
西蒲区	48,410	7.3%	291	164	56.4%
区名無回答				25	

6. 区（行政区）の範囲

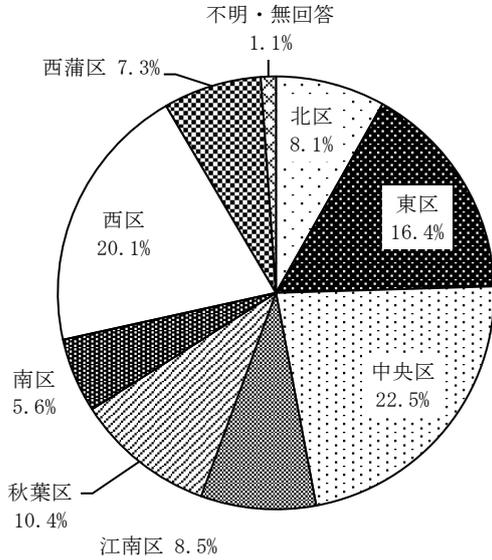
次頁区分図参照。

<区分图>

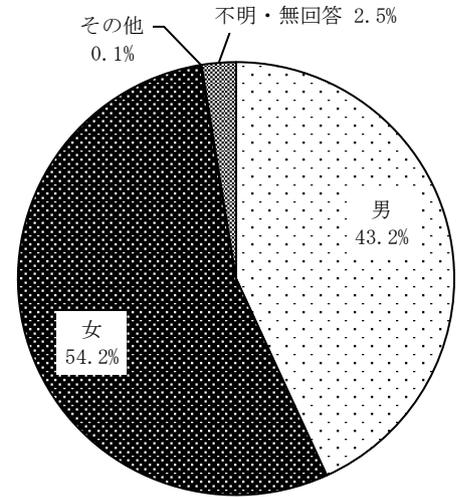


7. 回答者の特性

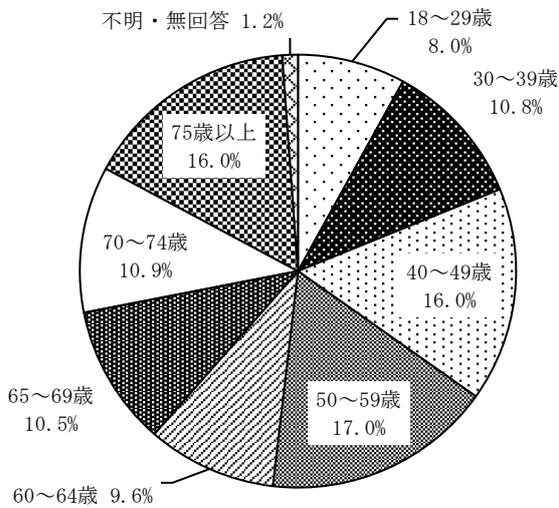
◆地区別



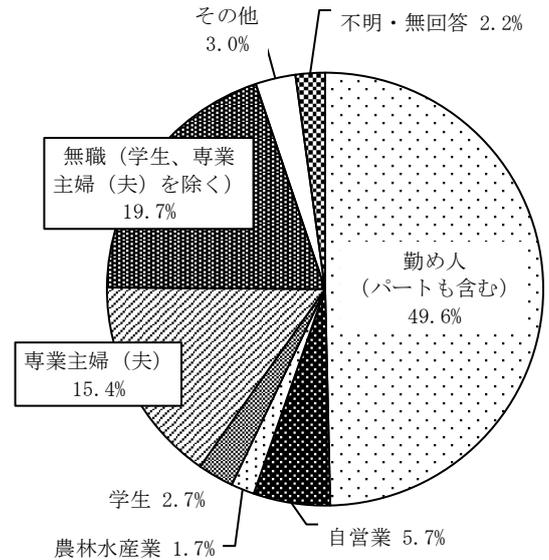
◆性別



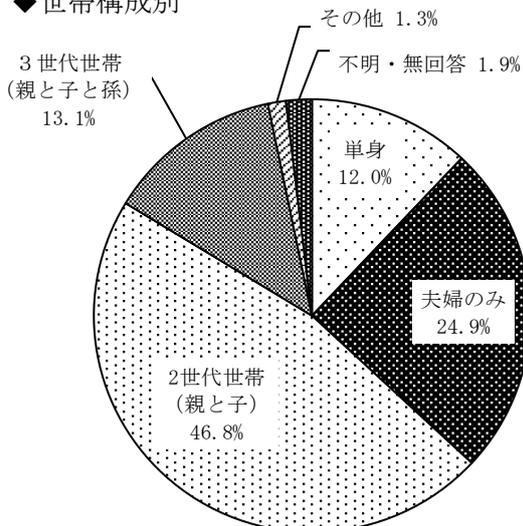
◆年齢別



◆職業別

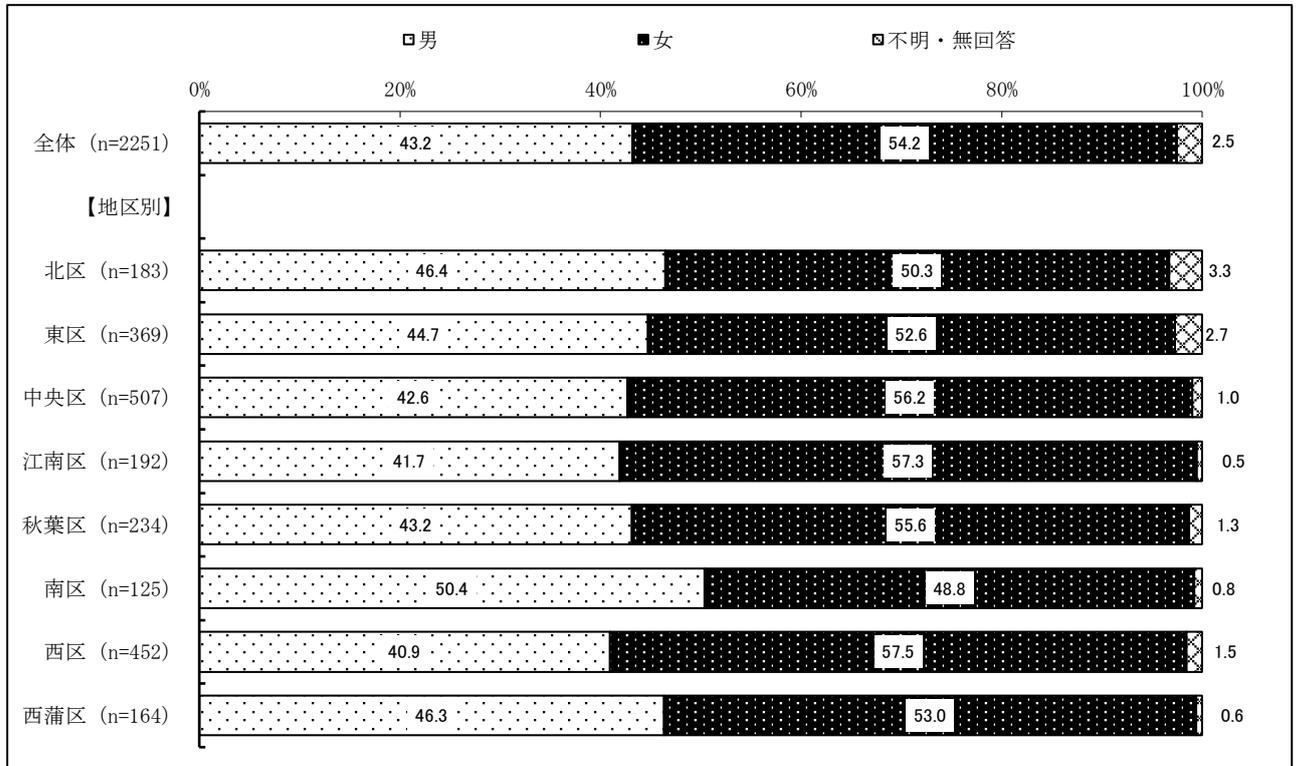


◆世帯構成別

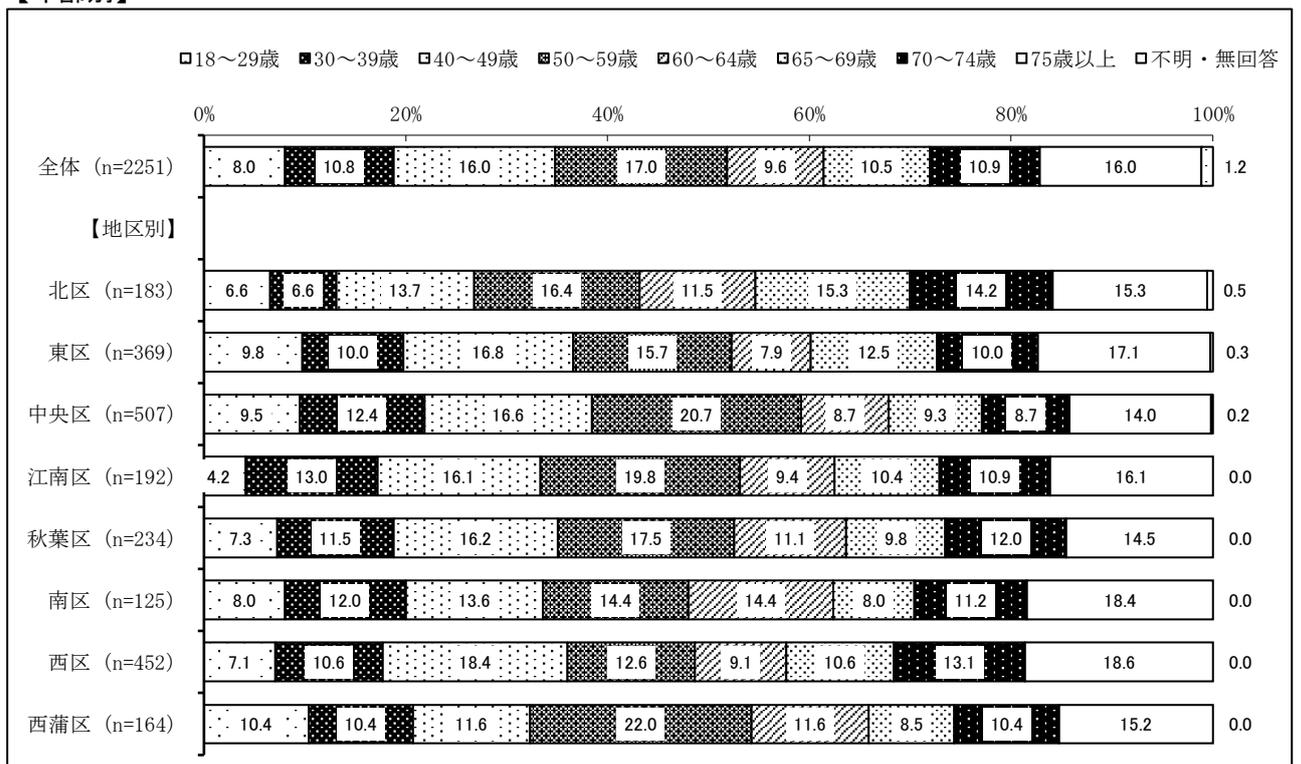


8. 回答者の特性（地区別集計）

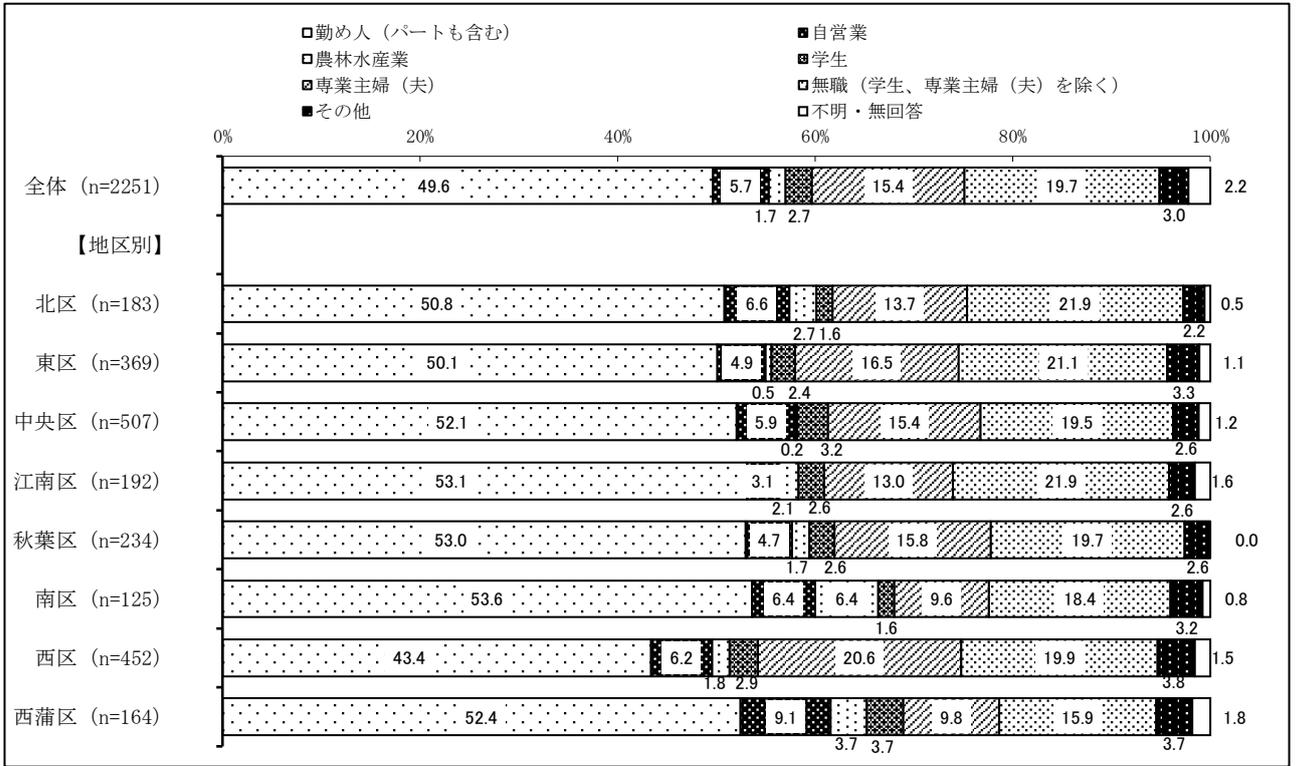
【性別】



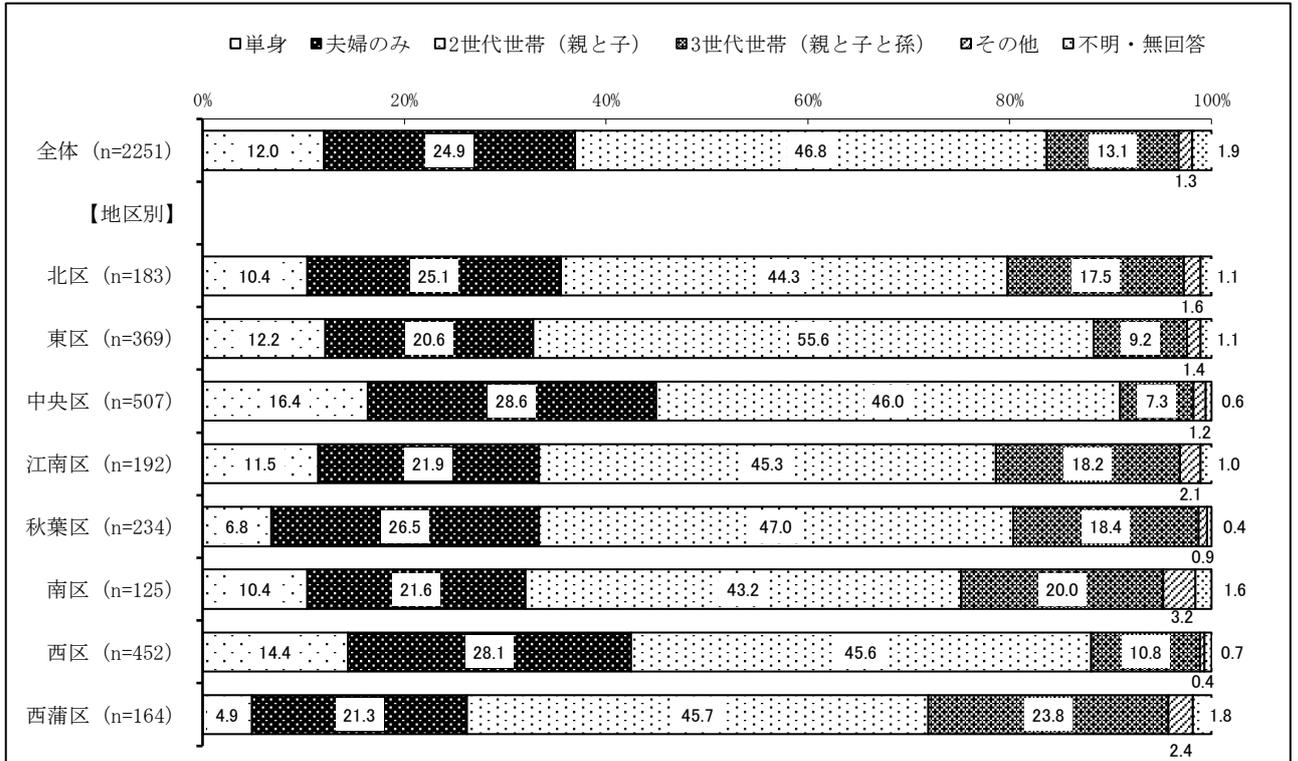
【年齢別】



【職業別】



【世帯構成別】



II 調查結果

1. 新潟市に対する誇りや愛着について

(1) 新潟市に対する誇りや愛着

問1 あなたは次の24の項目に対して、どの程度誇りや愛着を感じていますか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。



— 約 9 割が「農産物」に誇りや愛着を感じている —

【全体結果】

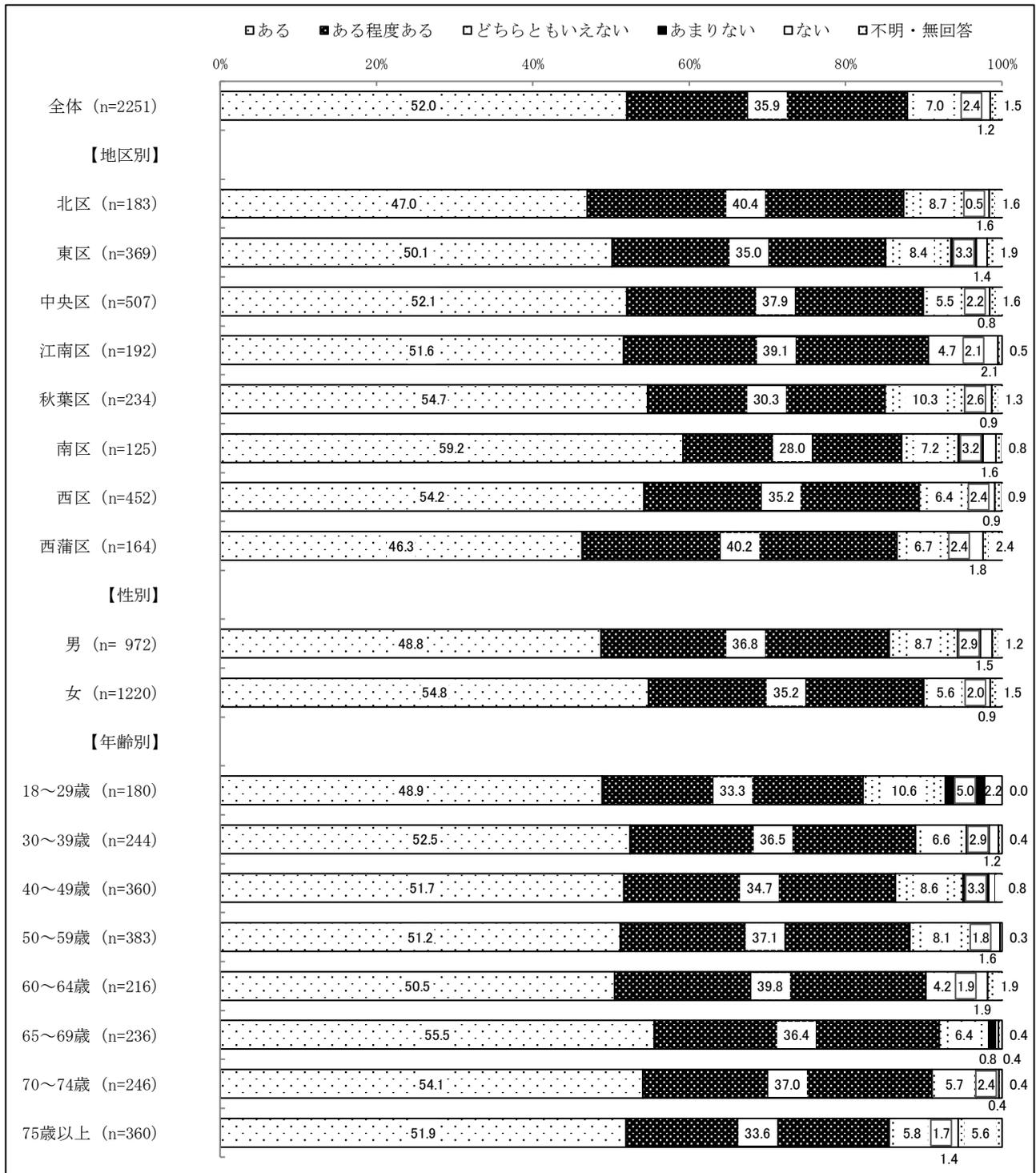
「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、「農作物」(87.9%)で最も高く、約 9 割となった。次いで「海産物」(76.9%)、「酒」(75.6%)、「料理」(73.7%)、「日本海」(72.5%)、「田園」(70.2%)、と順に続き、7 割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、「ポップカルチャー」(42.2%)で最も高く、以下、「政令指定都市」(33.5%)、「繁華街、街の中心部、特定の商業エリア」(31.3%)、「著名人」(30.7%)、「大学、短期大学、専門学校」(29.7%)の順に割合が高かった。

【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

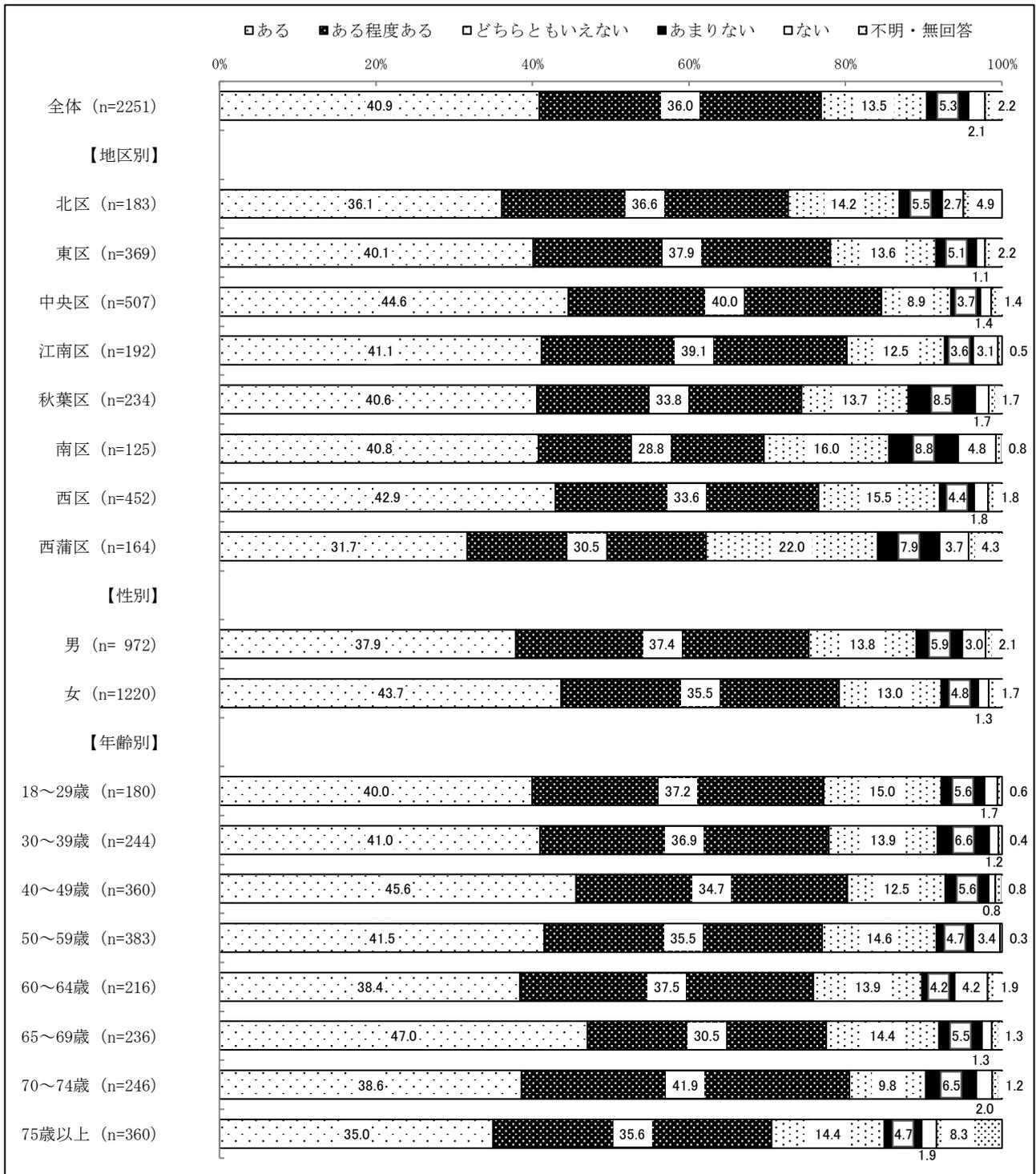
①農産物



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別・性別・年齢別いずれで見ても、8割を超えた。年齢別では、65～69歳（91.9%）、70～74歳（91.1%）、60～64歳（90.3%）で約9割となった。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別・性別・年齢別いずれで見ても、1割に満たない。

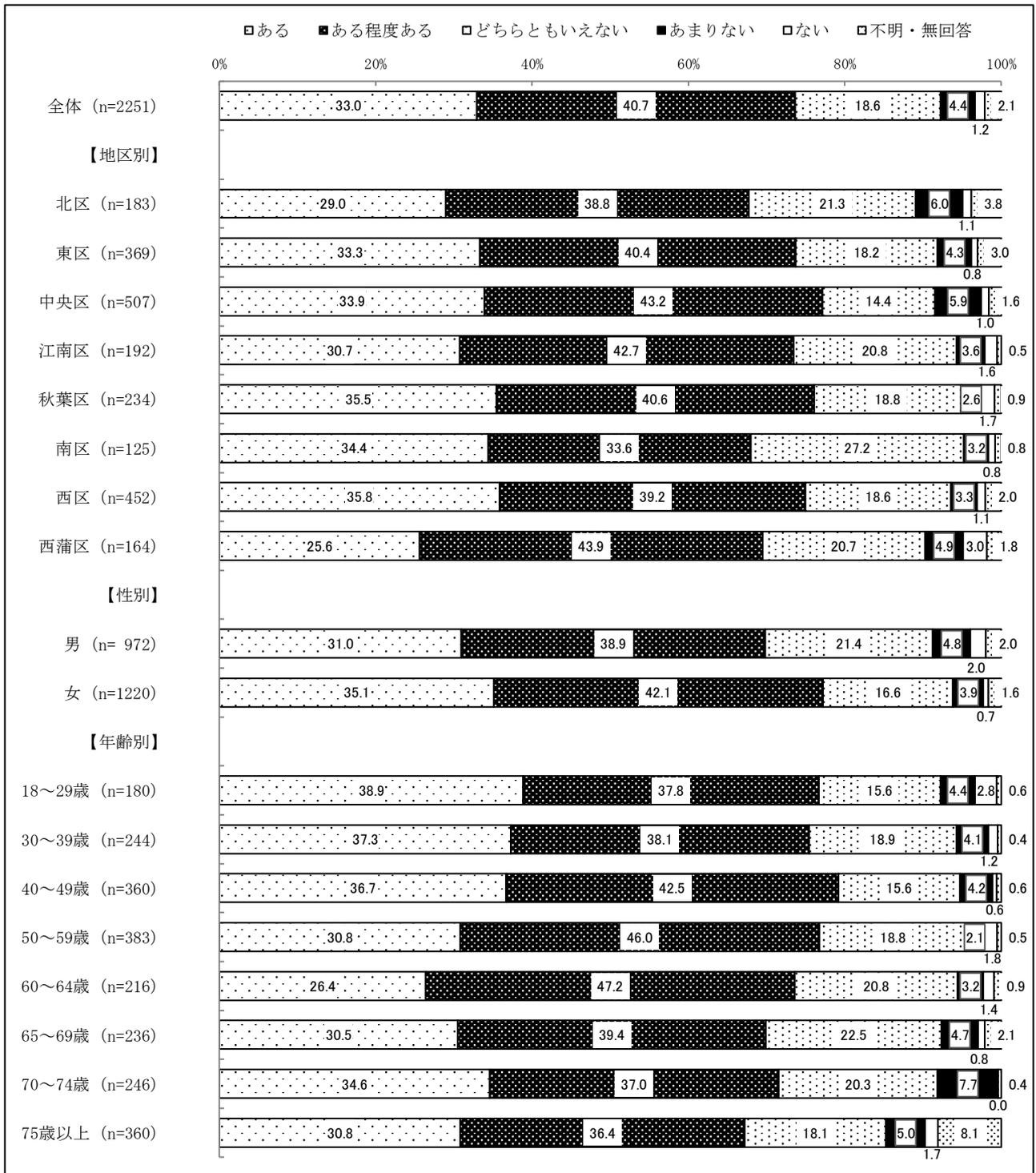
②海産物



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（84.6%）、江南区（80.2%）、東区（78.0%）で高く、約8割となった。性別では、男性（75.3%）と比べて女性（79.2%）で割合が高い。年齢別では、70～74歳（80.5%）、40～49歳（80.3%）で高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区（13.6%）、西蒲区（11.6%）、秋葉区（10.3%）で1割を超えたが、他の属性はいずれも、1割に満たない。

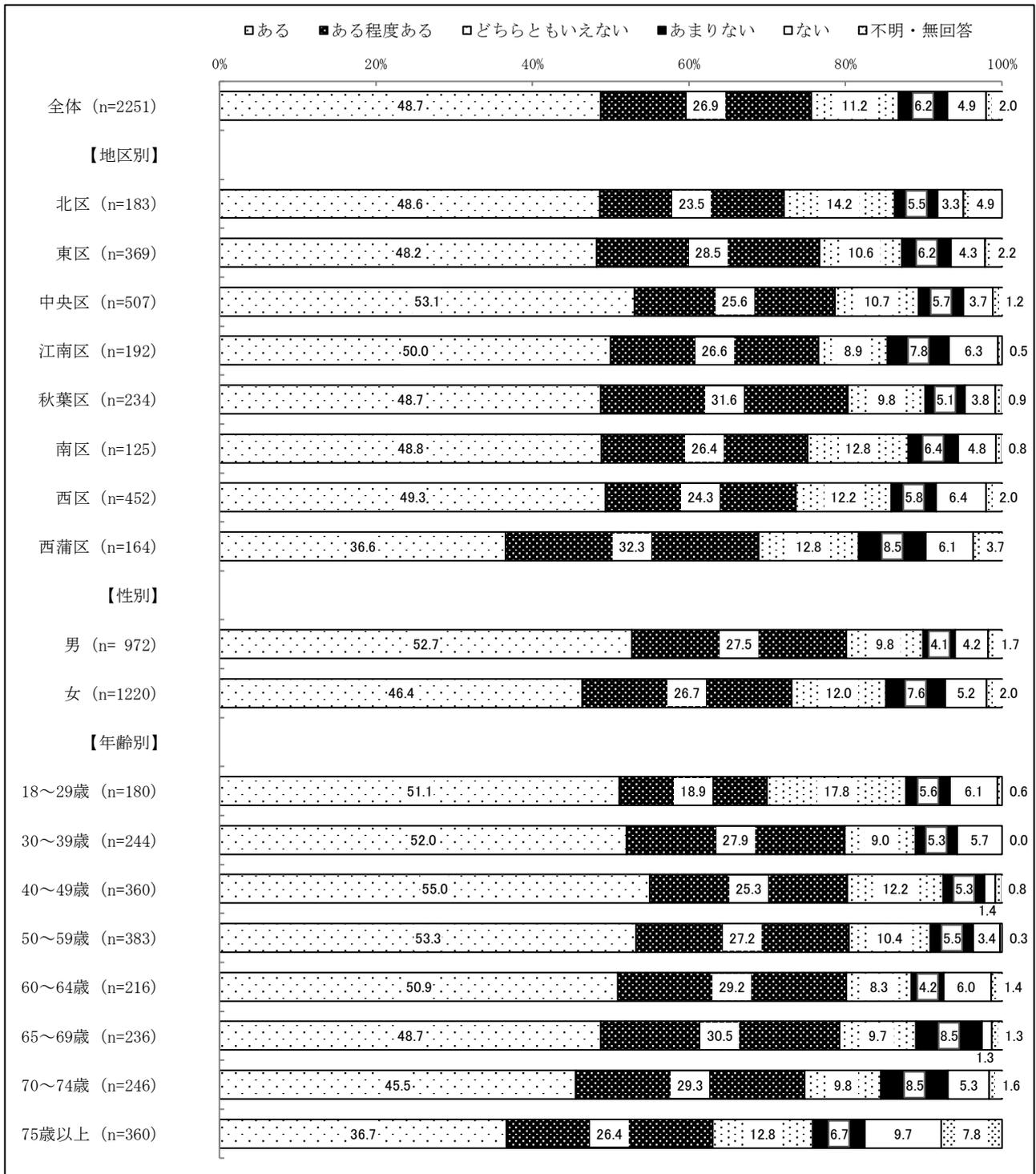
③料理



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区 (77.1%)、秋葉区 (76.1%)、西区 (75.0%)、東区 (73.7%) で高い。性別では、男性 (69.9%) と比べて女性 (77.2%) で割合が高い。年齢別では、40～49歳 (79.2%) で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別・性別・年齢別いずれで見ても、1割に満たない。

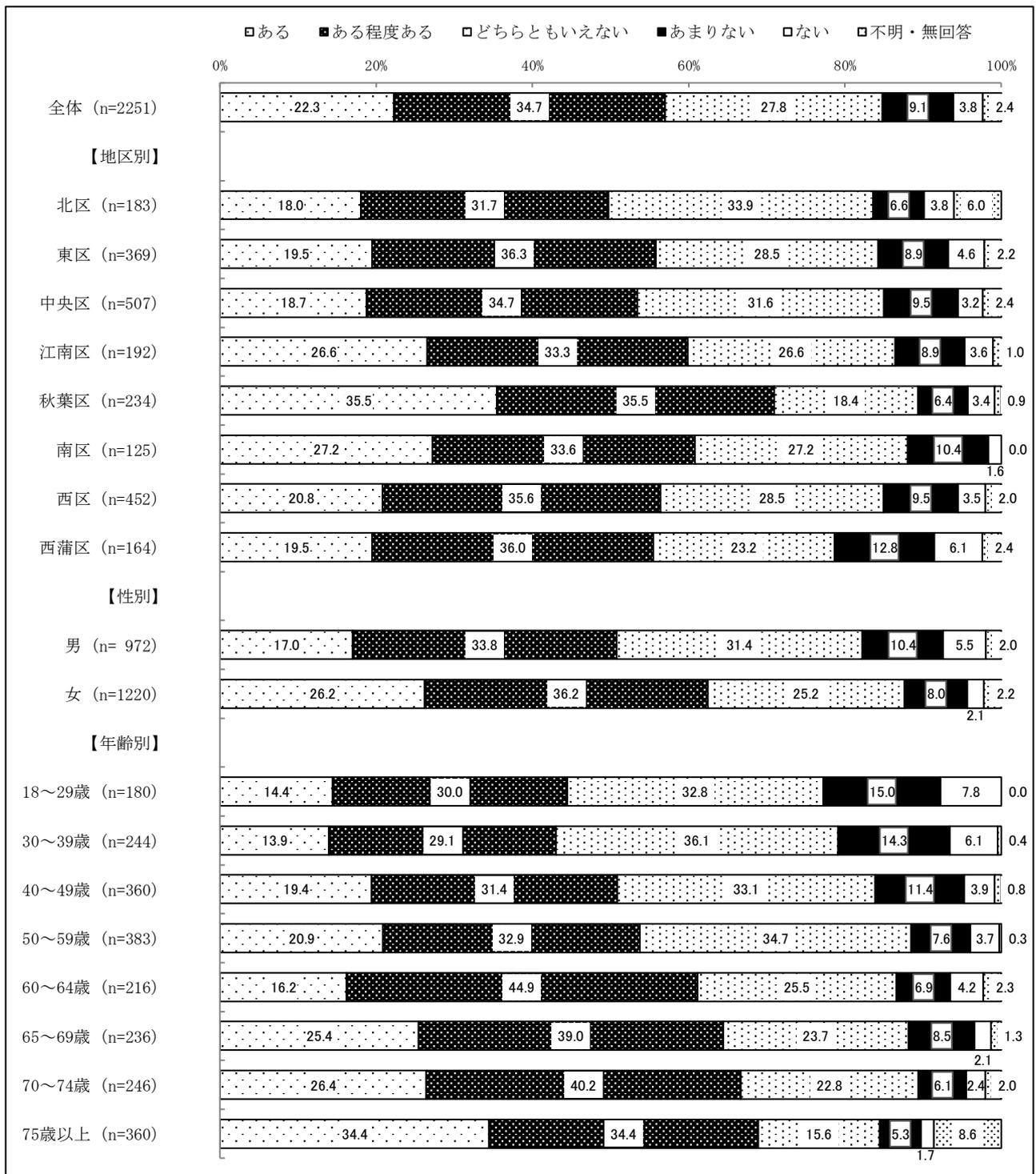
④酒



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（80.3%）で最も高い。性別では、男性（80.1%）と比べて女性（73.1%）で割合が低い。年齢別では、30～69歳でそれぞれ約8割となった。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（14.6%）、江南区（14.1%）で高い。年齢別では75歳以上（16.4%）で最も高い。

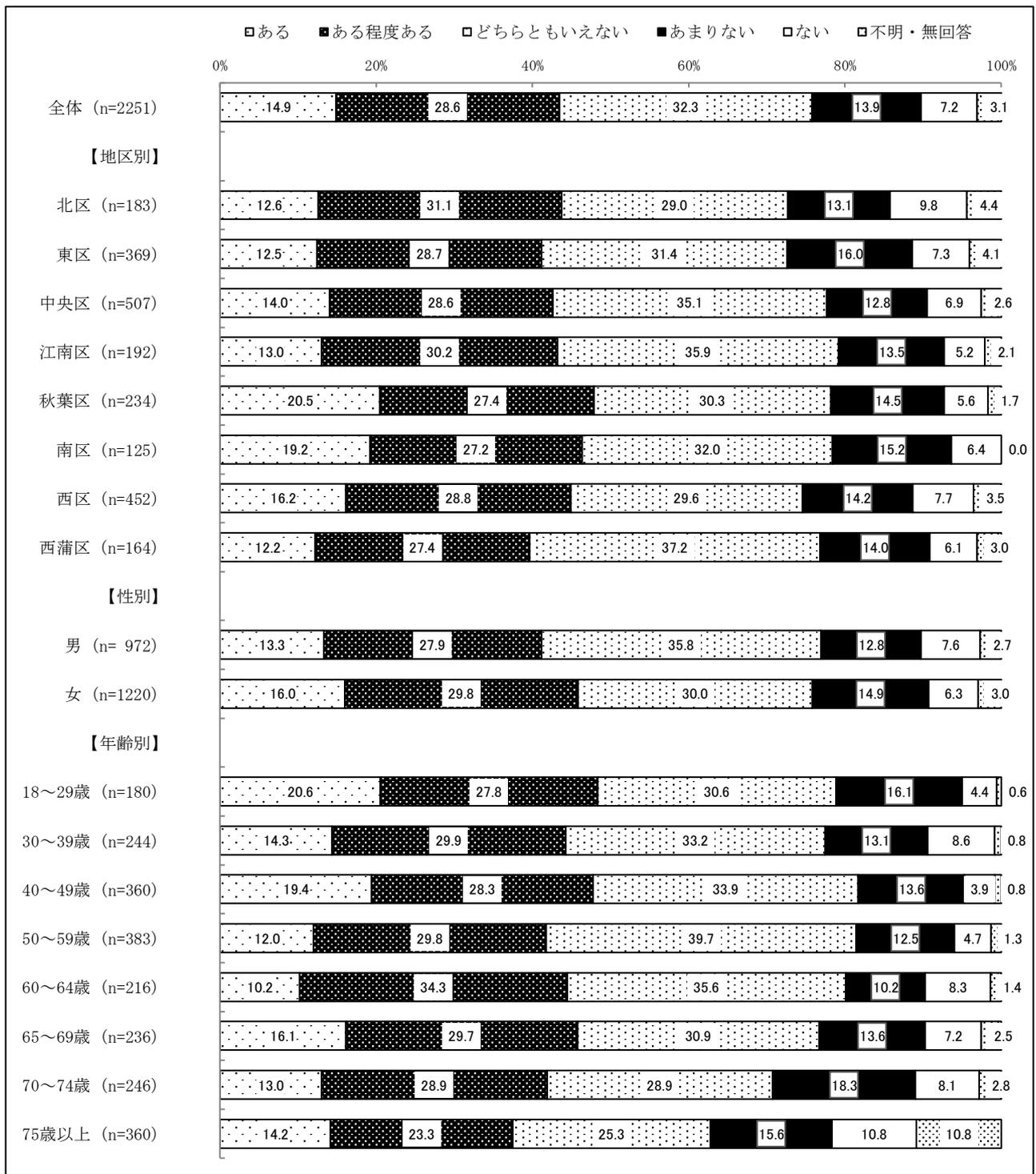
⑤花・花木



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（70.9%）で最も高い。性別では、男性（50.8%）と比べて女性（62.5%）で割合が高い。年齢別では、60歳以上の割合が高く、6割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（18.9%）が高い。年齢別では18～29歳（22.8%）で最も高い。

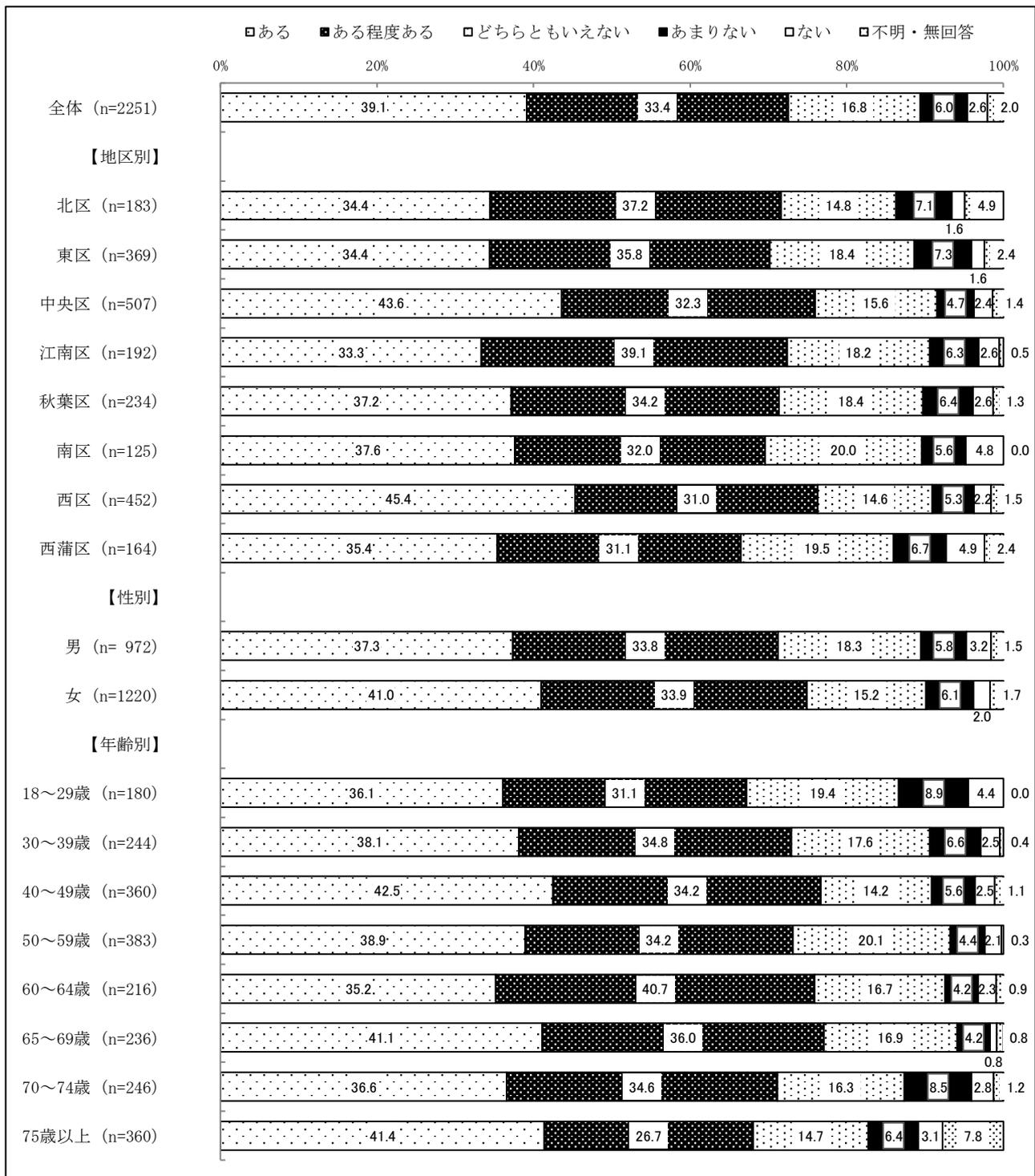
⑥食・農体験



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（47.9%）、南区（46.4%）でやや高い。性別では、男性（41.2%）と比べて女性（45.8%）で割合がやや高い。年齢別では、18～29歳（48.3%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、東区（23.3%）、北区（23.0%）で高い。年齢別では70～74歳（26.4%）、75歳以上（26.4%）で最も高い。

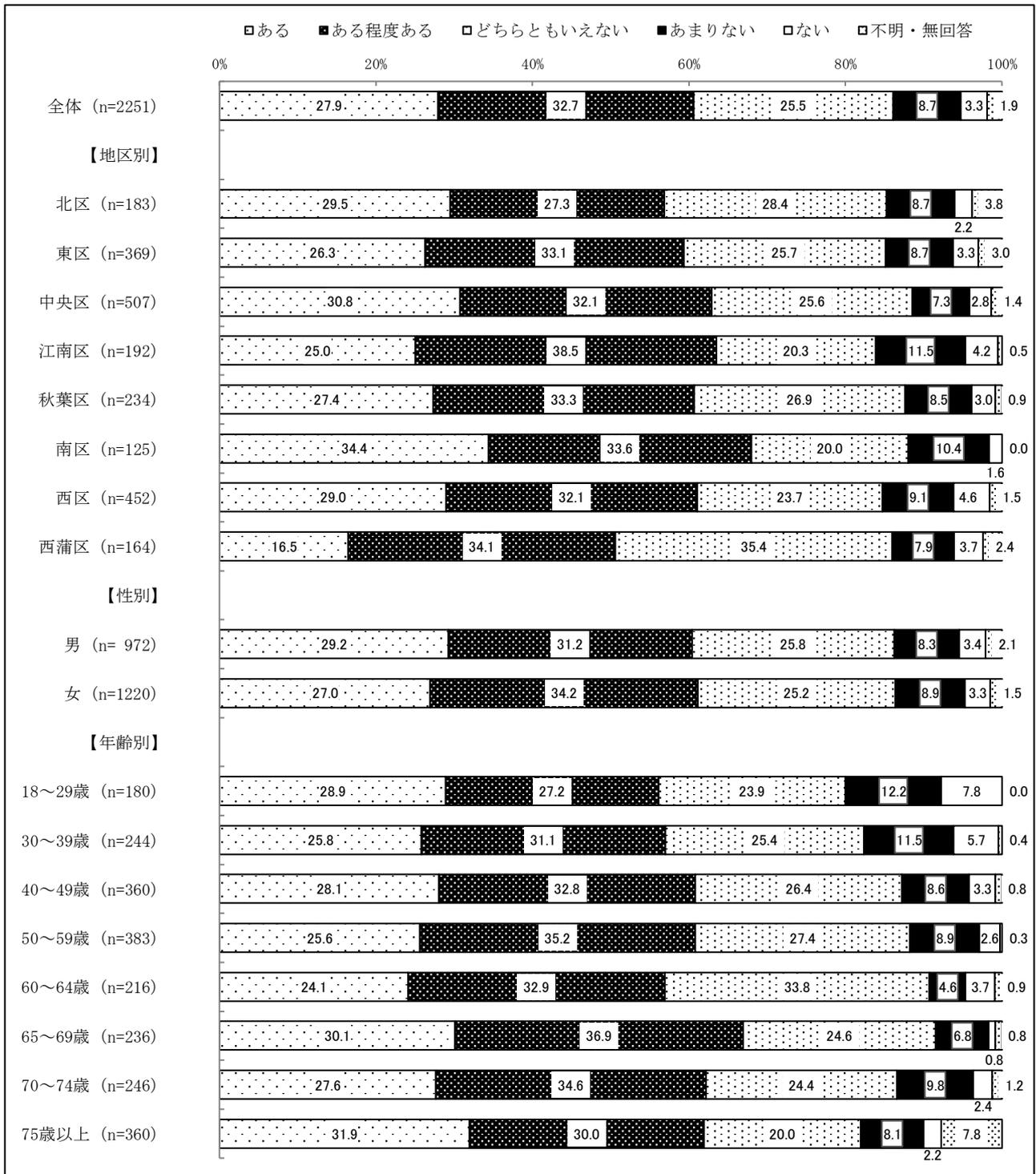
⑦日本海



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西区 (76.3%)、中央区 (75.9%) で高い。性別では、男性 (71.2%) と比べて女性 (74.9%) で割合がやや高い。年齢別では、65～69歳 (77.1%)、40～49歳 (76.7%) で高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区 (11.6%)、南区 (10.4%) で高い。年齢別では18～29歳 (13.3%) で最も高い。

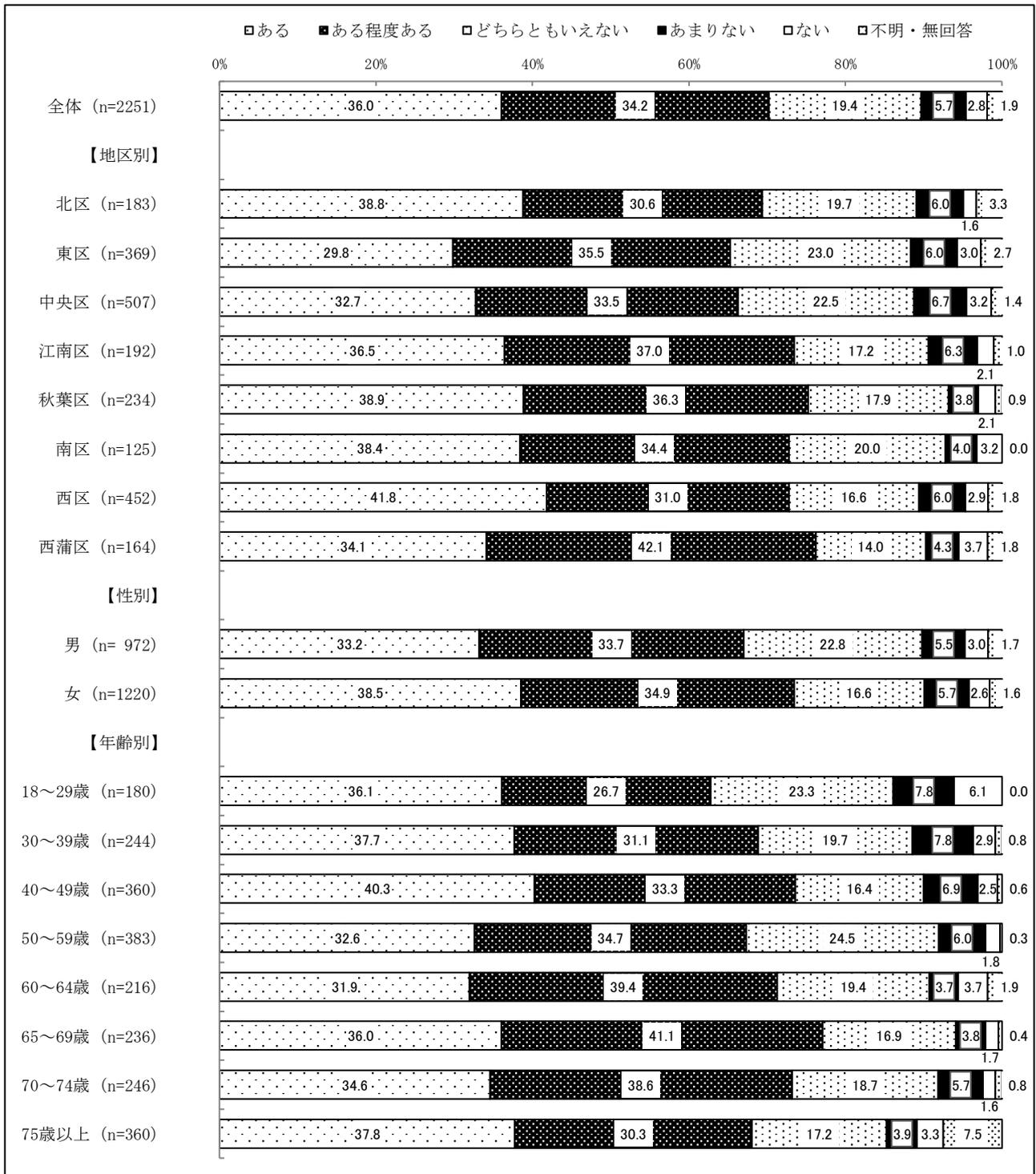
⑧河川



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では南区（68.0%）で最も高い。性別では、ほとんど差はない。年齢別では、65～69歳（66.9%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、江南区（15.6%）で最も高い。年齢別では18～29歳（20.0%）で最も高い。

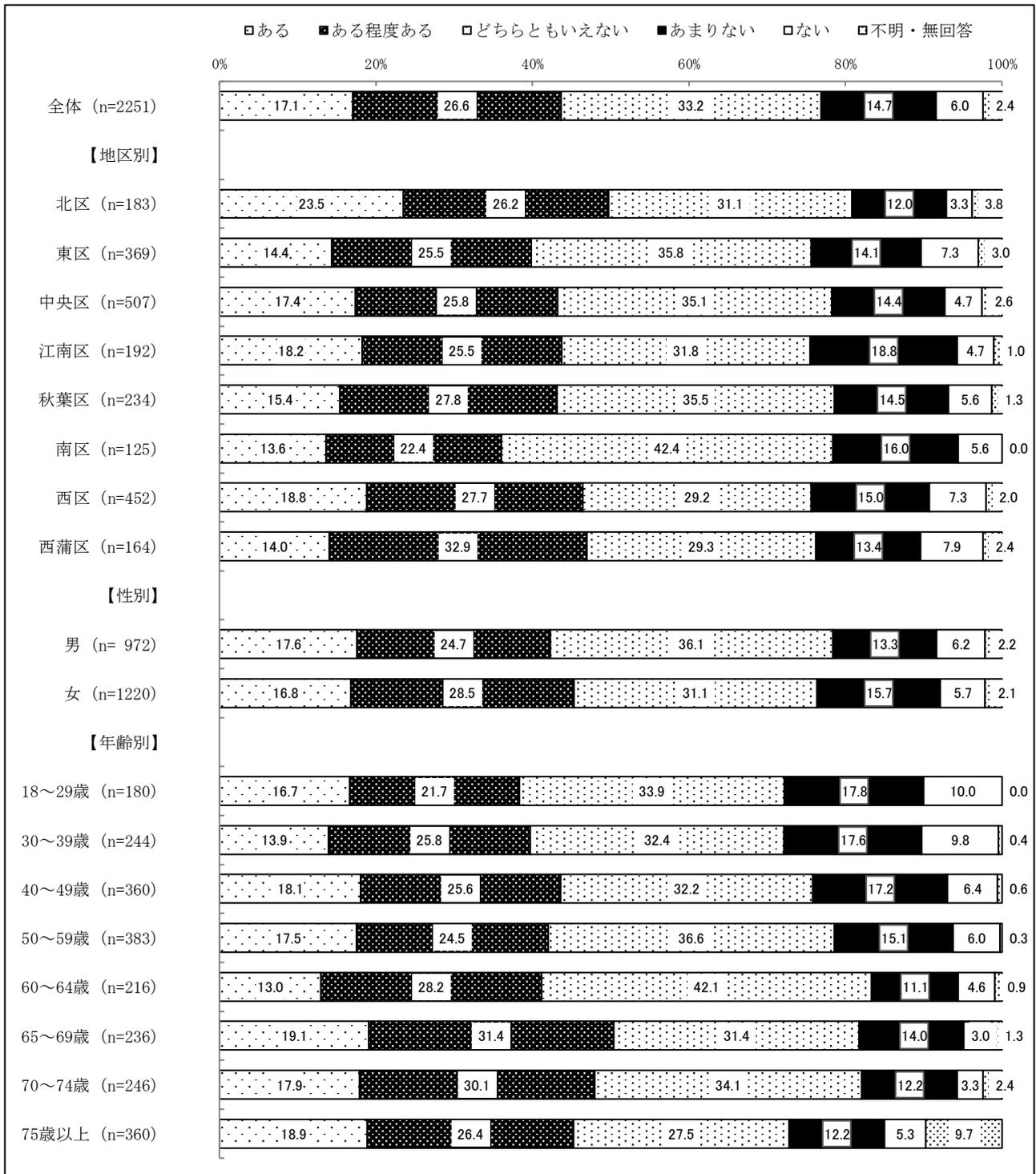
⑨ 田園



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（76.2%）、秋葉区（75.2%）で高い。性別では、男性（67.0%）と比べて女性（73.4%）で割合が高い。年齢別では、65～69歳（77.1%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、年齢別では、40歳未満で1割を超えたが、他の属性はいずれも、1割に満たない。

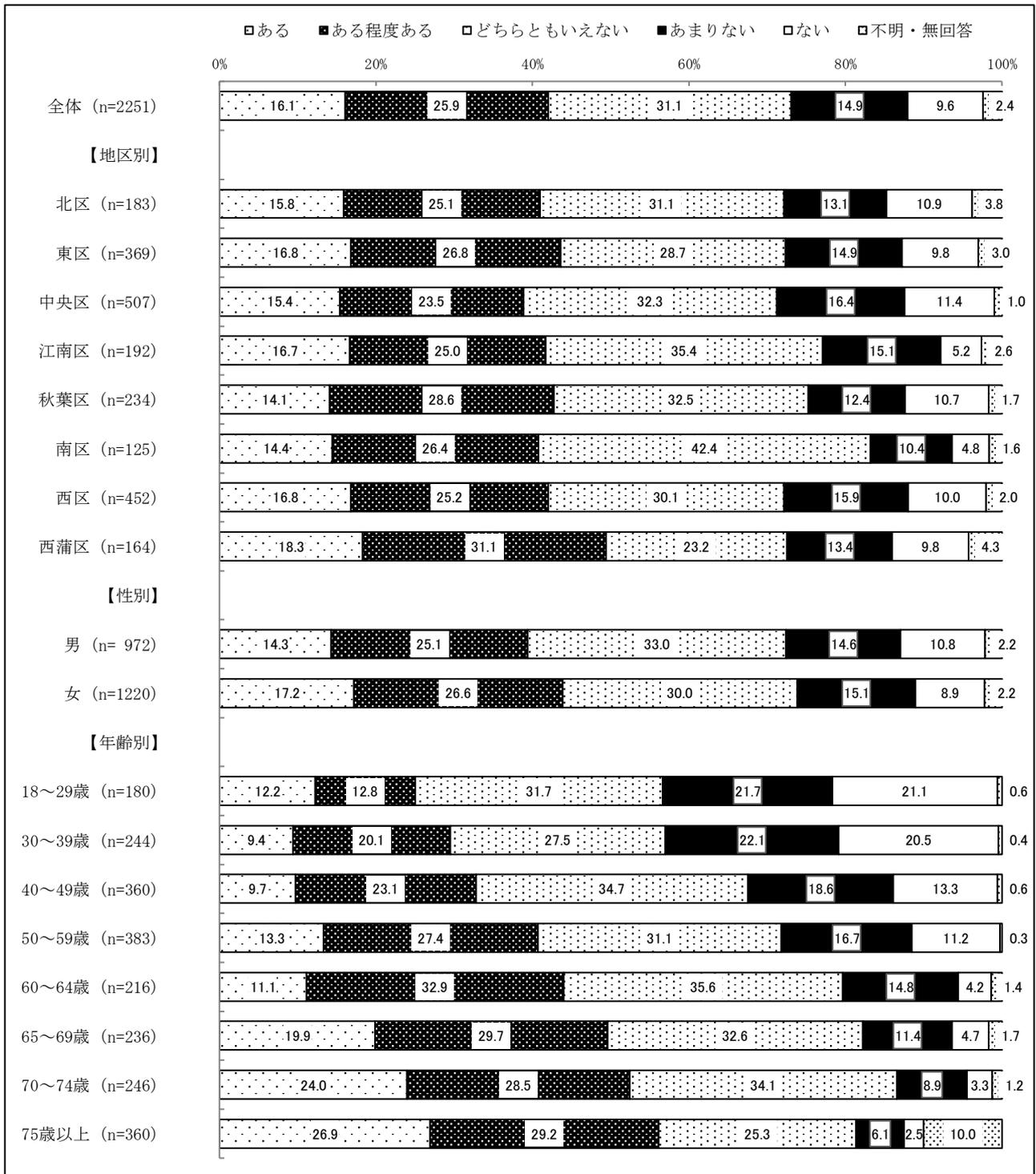
⑩ 潟



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（49.7%）、西蒲区（47.0%）、西区（46.5%）で高い。性別では、男性（42.3%）と比べて女性（45.3%）で割合が高い。年齢別では、65～69歳（50.4%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、江南区（23.4%）が最も高い。年齢別では18～29歳（27.8%）、30～39歳（27.5%）で高い。

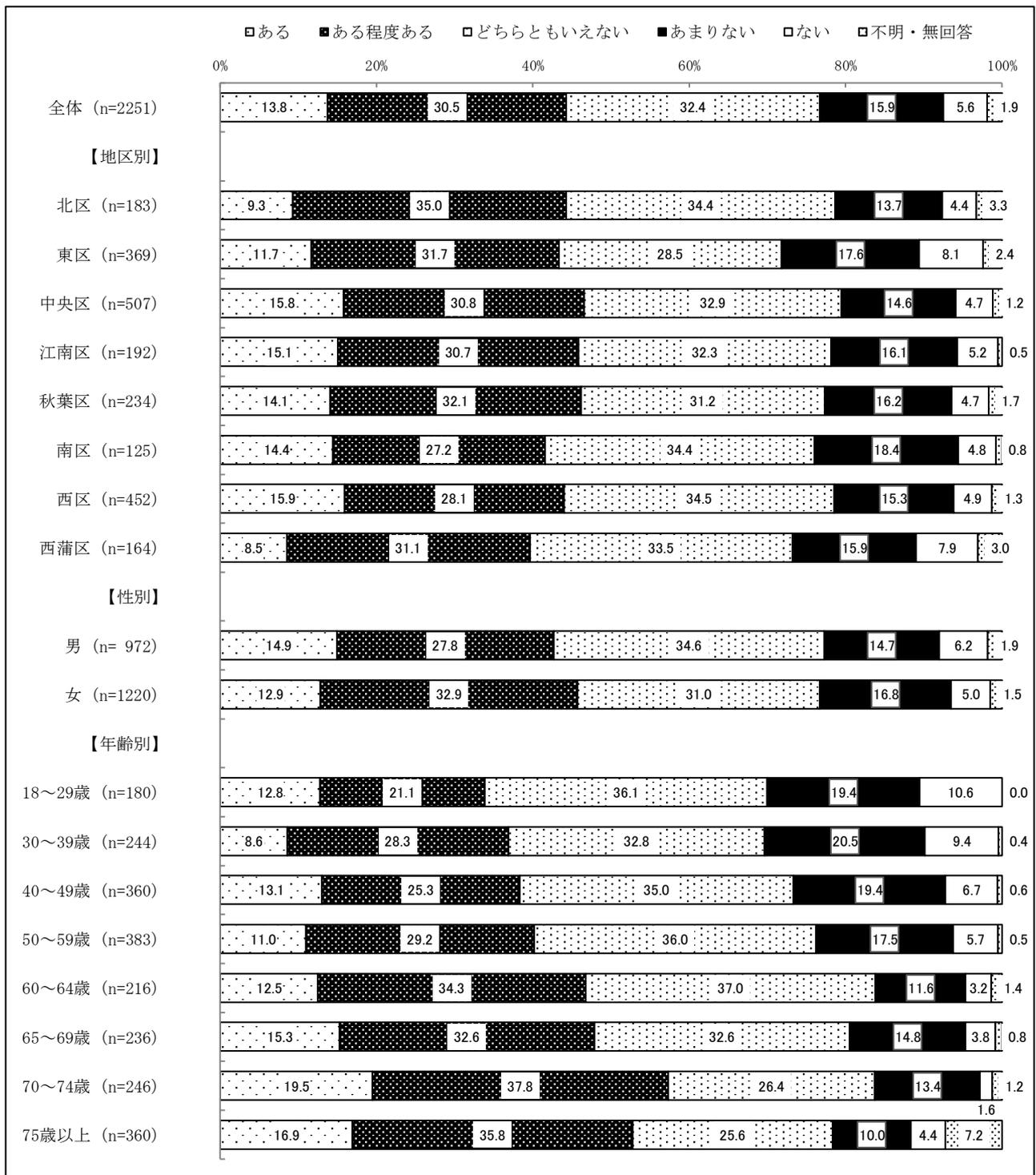
⑪気候



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（49.4%）で最も高い。性別では、男性（39.4%）と比べて女性（43.9%）で割合が高い。年齢別では、75歳以上（56.1%）で最も高い。年齢が高くなるほど割合も高くなっている。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（27.8%）で最も高い。

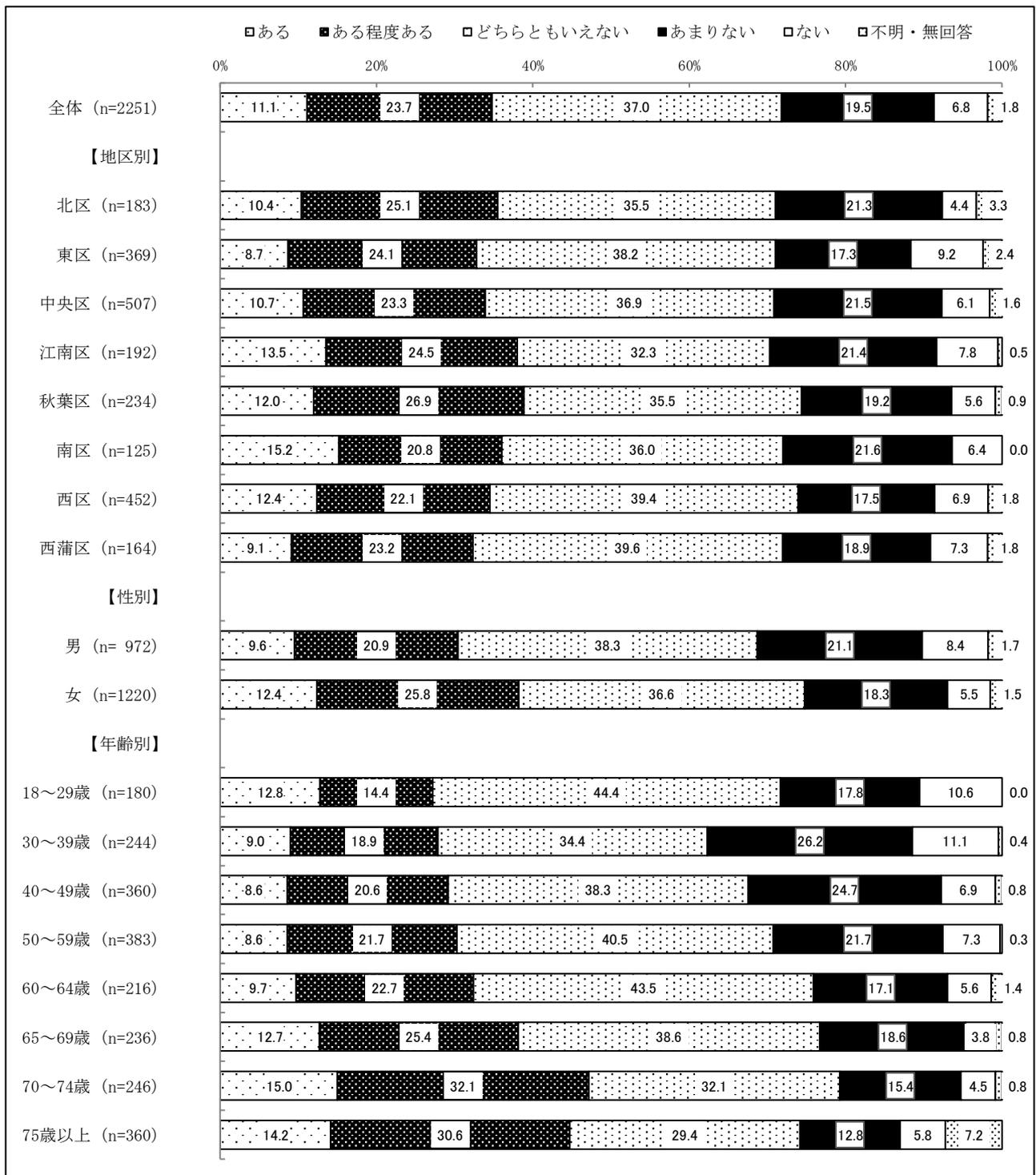
⑫湊町の歴史、風土、街並み



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（46.5%）、秋葉区（46.2%）でやや高い。性別では、男性（42.7%）と比べて女性（45.7%）で割合が高い。年齢別では、70～74歳（57.3%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、東区（25.7%）で最も高い。年齢別では18～29歳（30.0%）で最も高い。

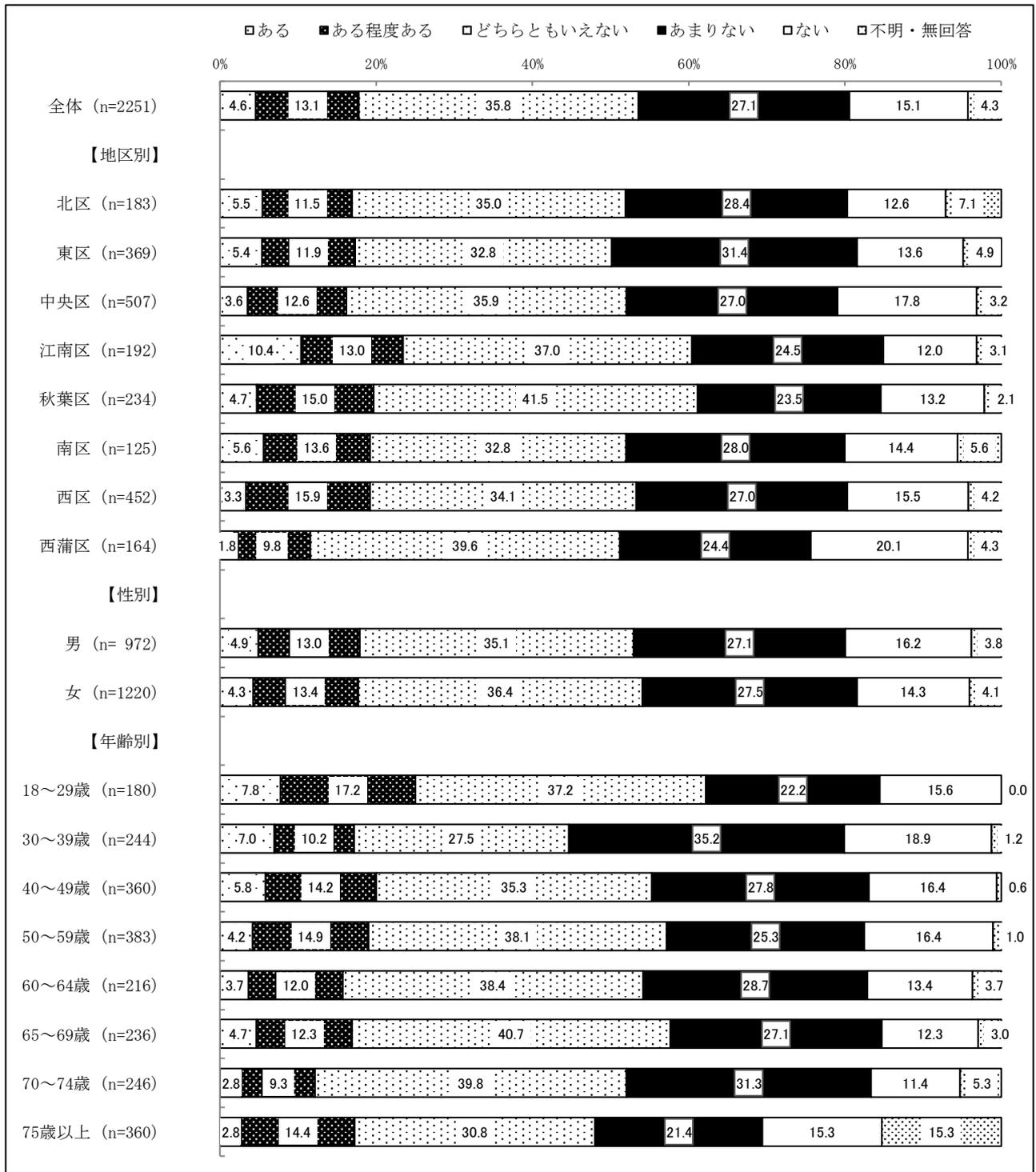
⑬文化芸術



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（38.9%）、江南区（38.0%）でやや高い。性別では、男性（30.5%）と比べて女性（38.2%）で割合が高い。年齢別では、70歳以上で高く、それぞれ4割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、江南区（29.2%）で最も高い。年齢別では30～39歳（37.3%）で最も高い。

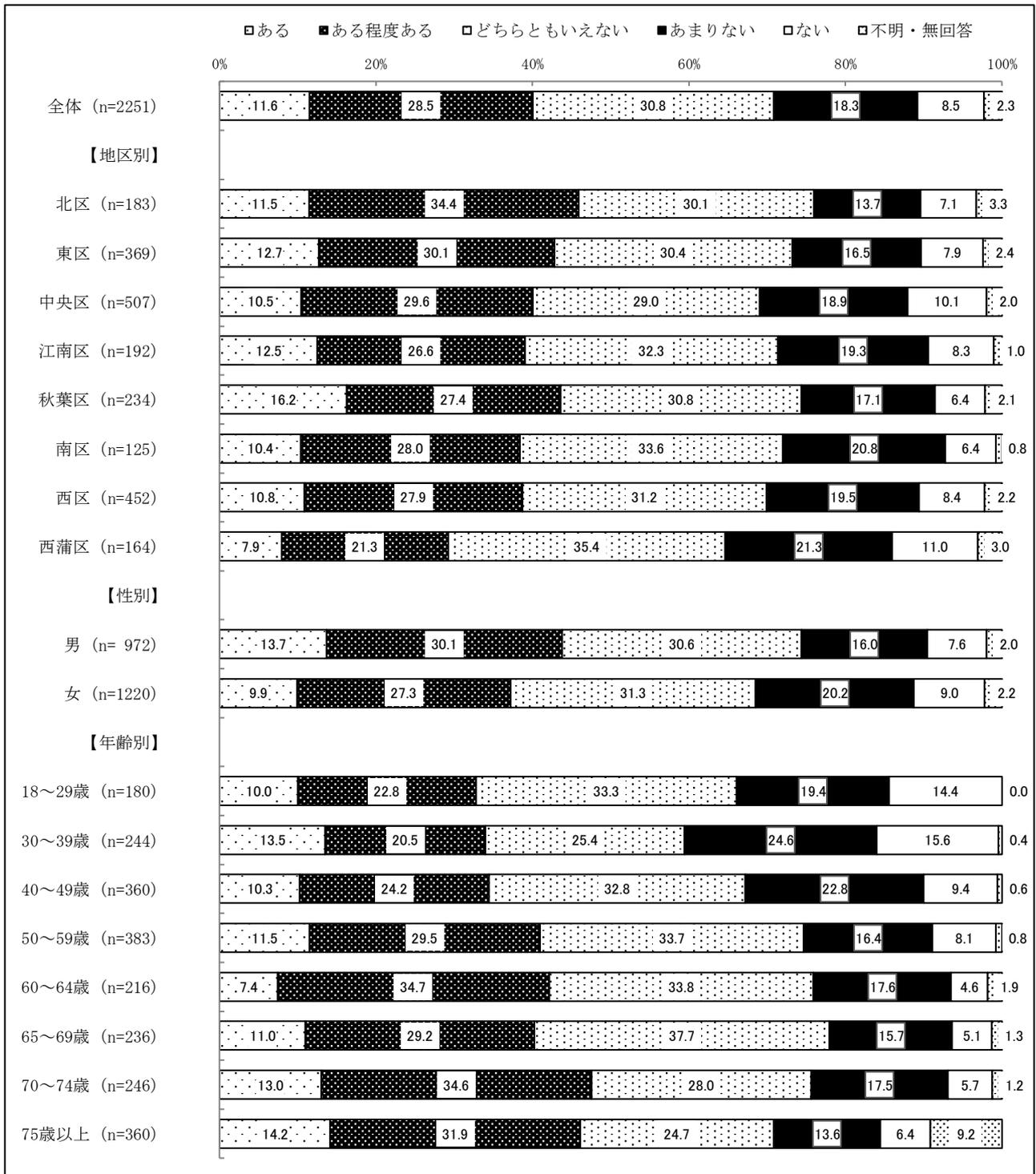
⑭ポップカルチャー



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では江南区（23.4%）で最も高い。他地区は2割以下となった。性別では、ほとんど差はない。年齢別では、18～29歳（25.0%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、東区（45.0%）、中央区（44.8%）、西蒲区（44.5%）で高い。年齢別では30～39歳（54.1%）で最も高い。

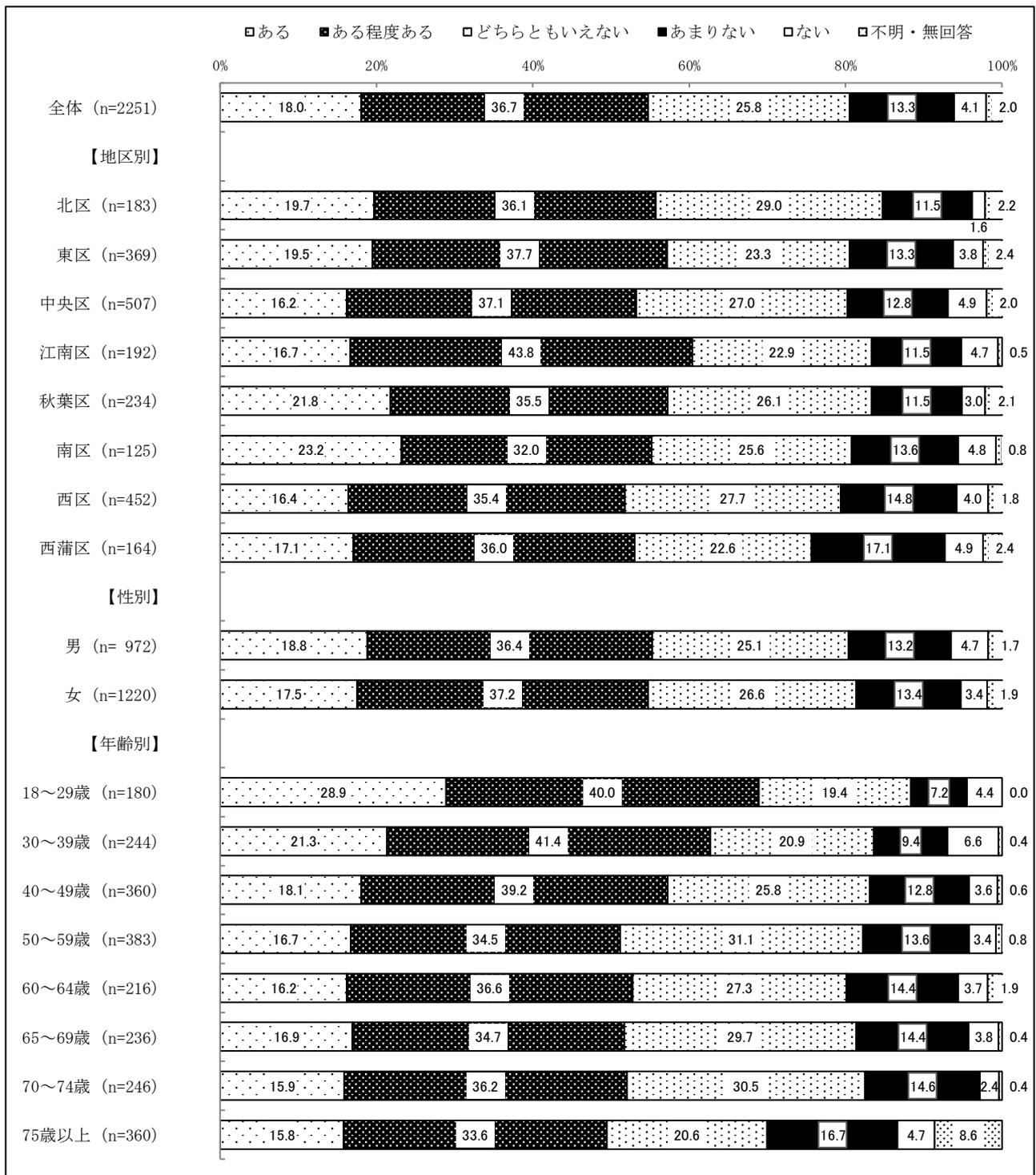
⑮スポーツ



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（45.9%）、秋葉区（43.6%）、東区（42.8%）でやや高い。性別では、男性（43.8%）と比べて女性（37.2%）で割合が低い。年齢別では、70～74歳（47.6%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（32.3%）で最も高い。年齢別では30～39歳（40.2%）で最も高い。

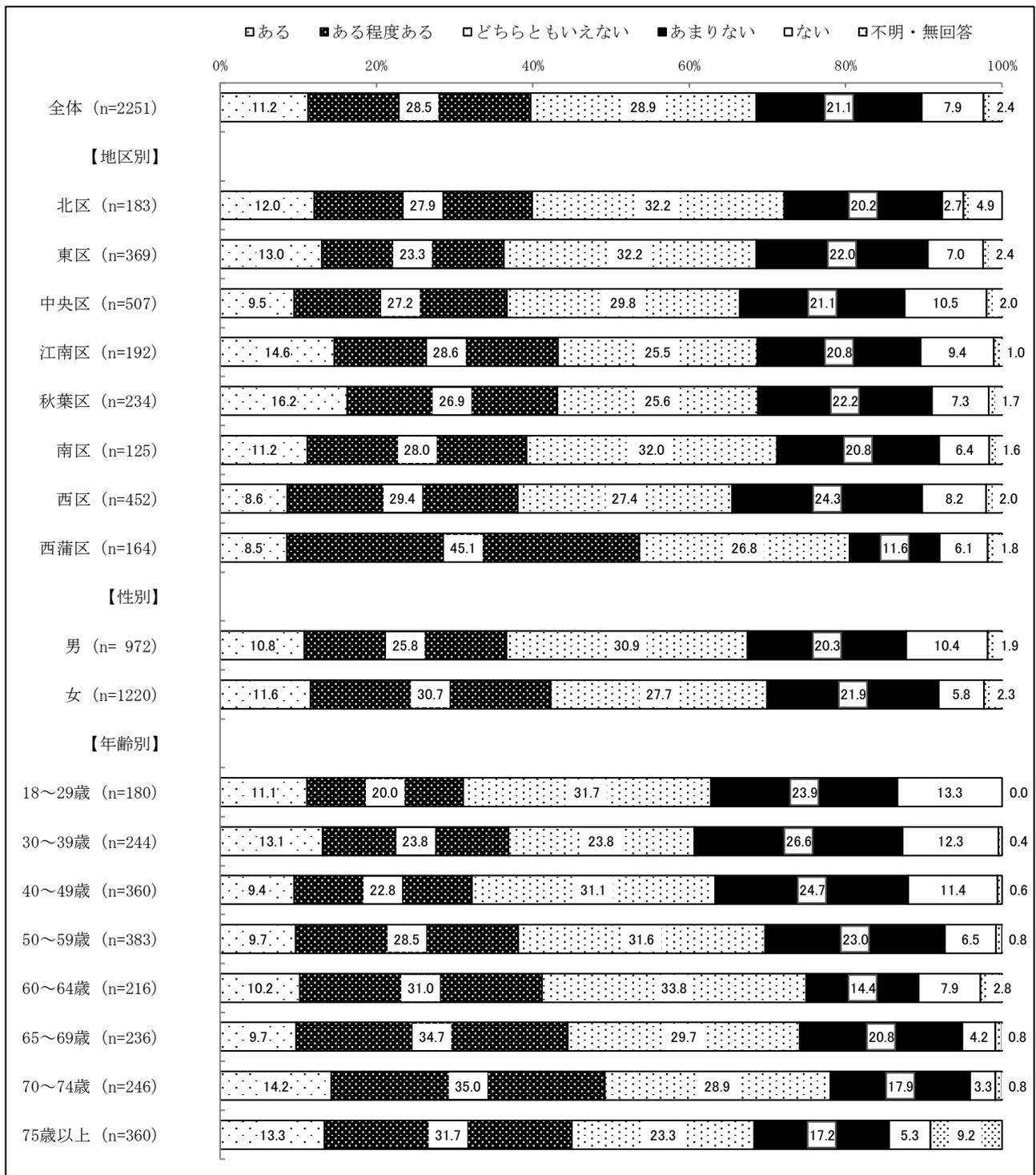
⑩まつり・イベント



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では江南区（60.4%）で最も高い。性別では、ほとんど差はない。年齢別では、18～29歳（68.9%）で最も高く、約7割となった。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（22.0%）で最も高い。年齢別では75歳以上（21.4%）で最も高い。

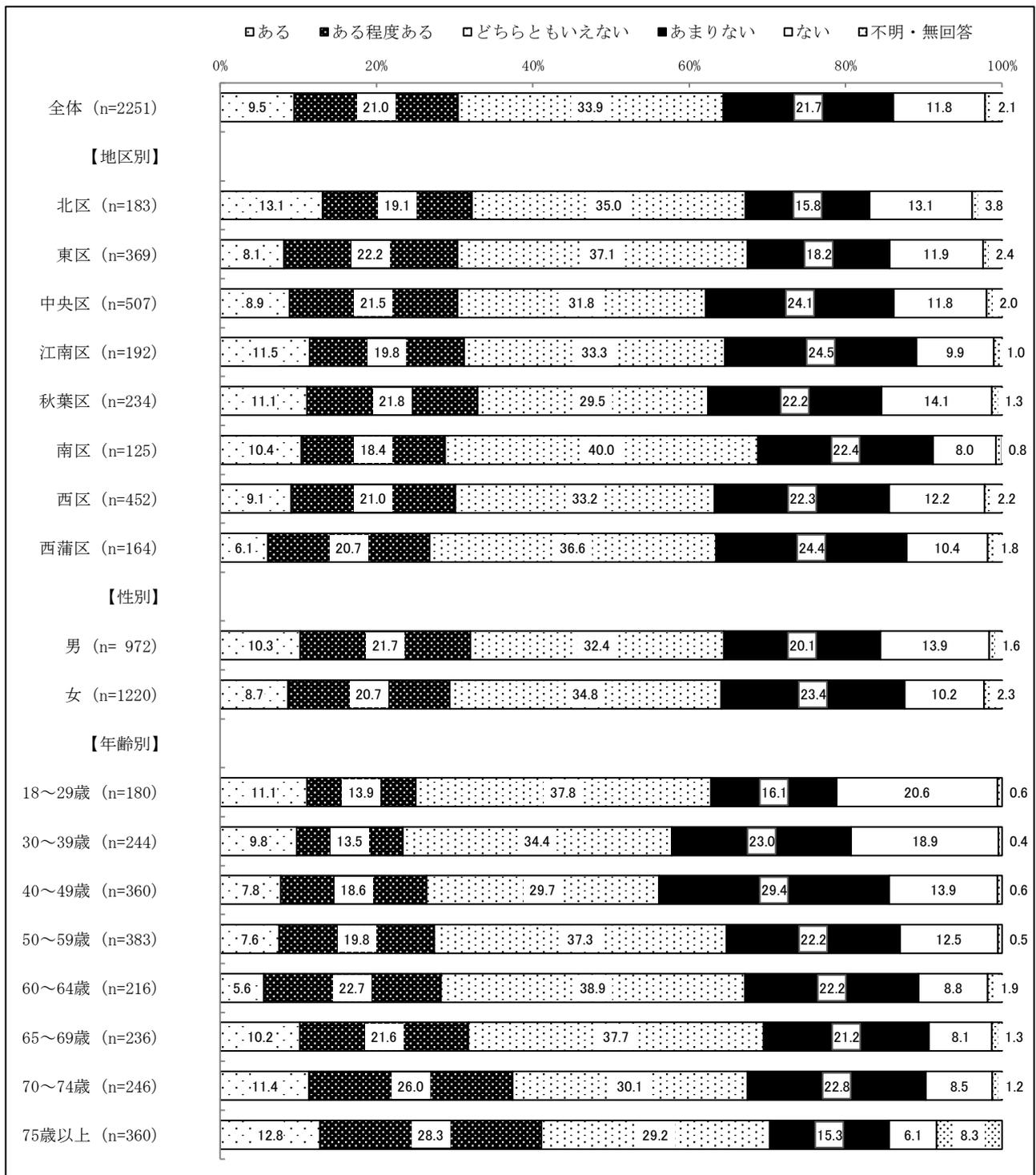
⑰観光スポット



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（53.7%）で最も高い。性別では、男性（36.6%）と比べて女性（42.3%）で割合が高い。年齢別では、70～74歳（49.2%）が最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西区（32.5%）、中央区（31.6%）、江南区（30.2%）の順で割合が高い。年齢別では30～39歳（38.9%）が最も高い。

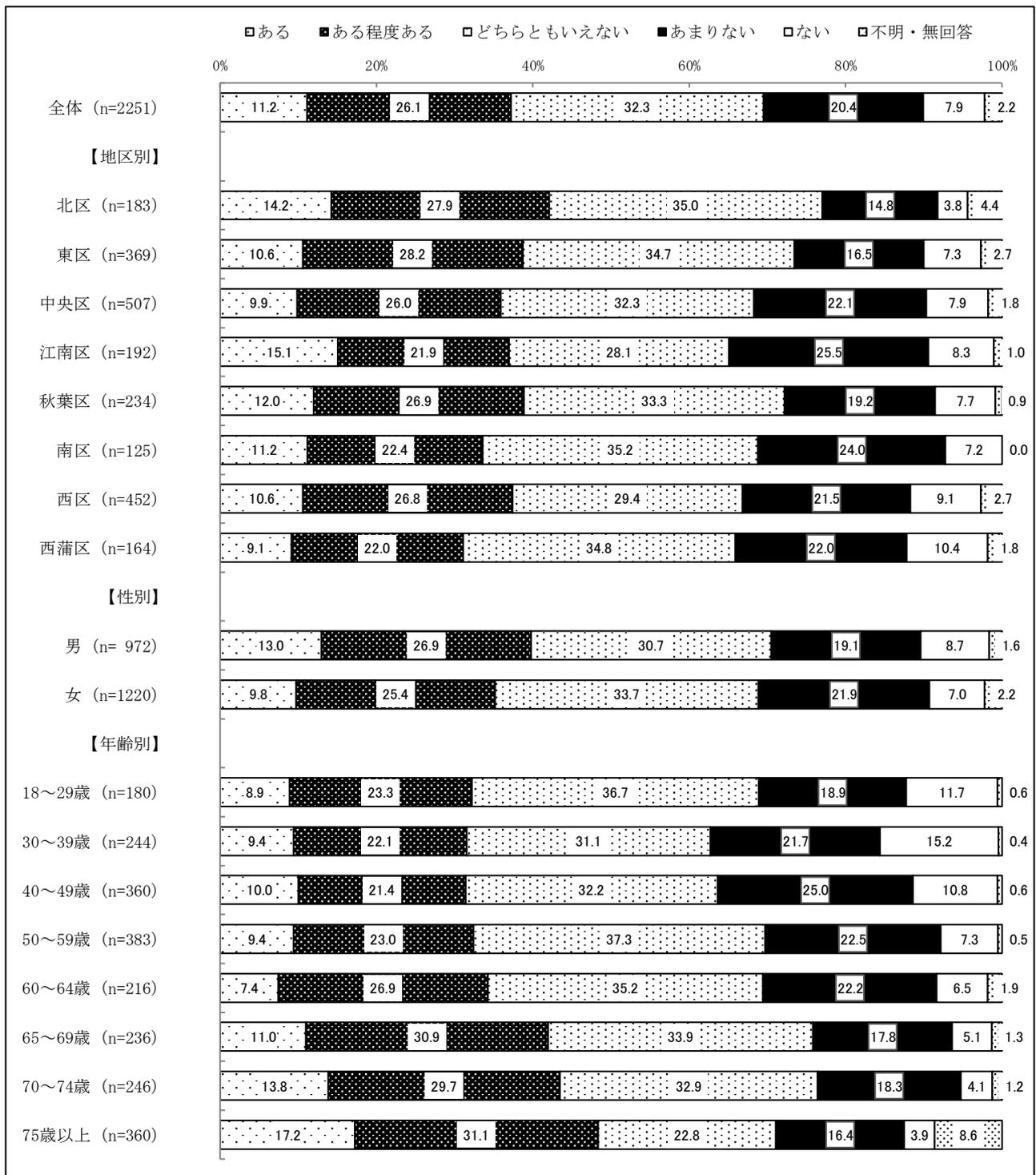
⑱政令指定都市



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（32.9%）、北区（32.2%）でやや高い。性別では、男性（32.0%）と比べて女性（29.3%）で割合がやや低い。年齢別では、75歳以上（41.1%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（36.3%）、中央区（35.9%）が高い。年齢別では40～49歳（43.3%）で最も高い。

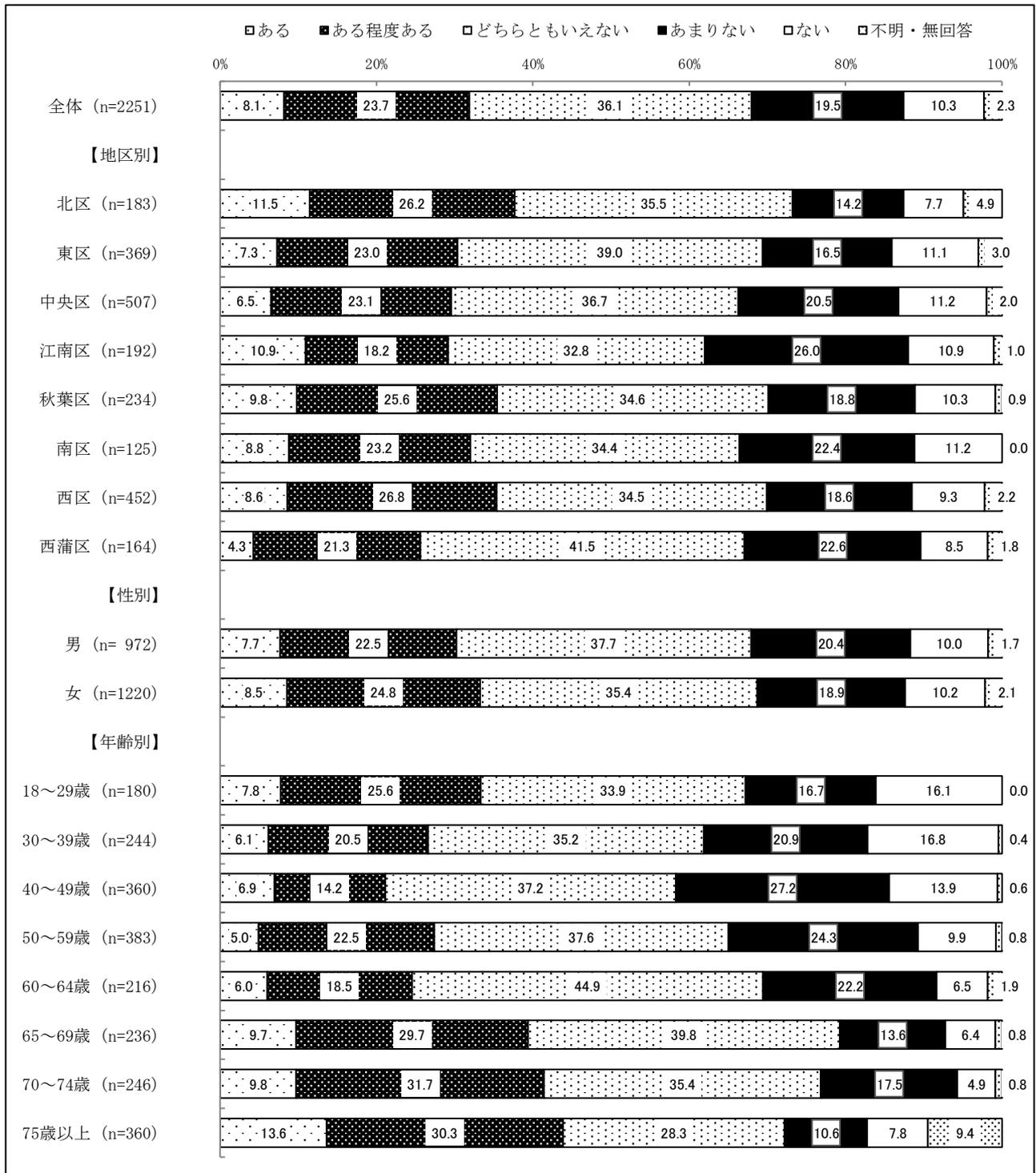
①新潟港、新潟空港



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（42.1%）で最も高い。性別では、男性（39.8%）と比べて女性（35.2%）で割合が低い。年齢別では、75歳以上（48.3%）が最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、江南区（33.9%）、西蒲区（32.3%）、南区（31.2%）の順に高い。年齢別では30～39歳（36.9%）、40～49歳（35.8%）が高い。

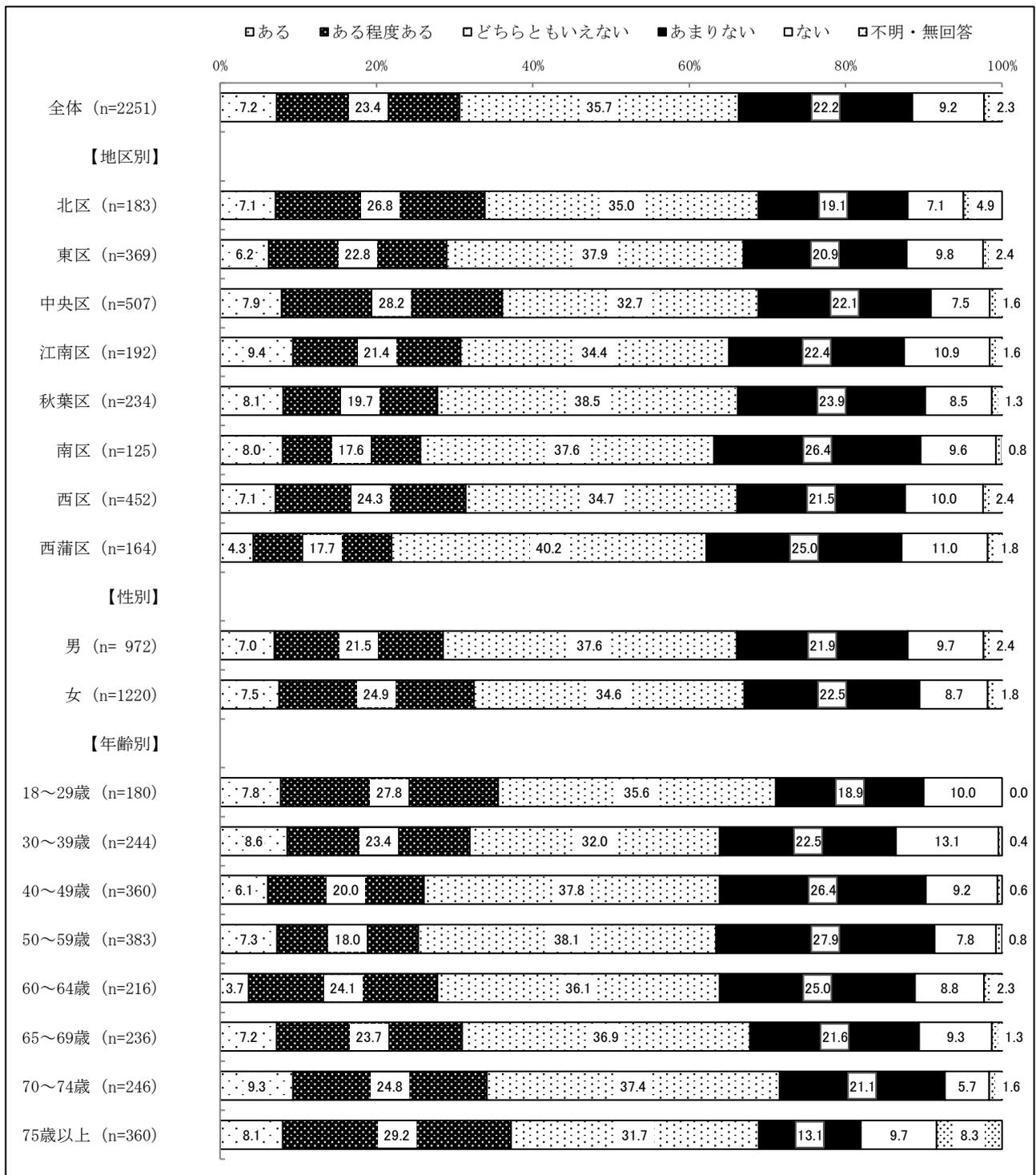
⑳大学、短期大学、専門学校



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（37.7%）で最もやや高い。性別では、男性（30.2%）と比べて女性（33.3%）で割合がやや高い。年齢別では、75歳以上（43.9%）が最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、江南区（37.0%）で最も高い。年齢別では40～49歳（41.1%）で最も高い。

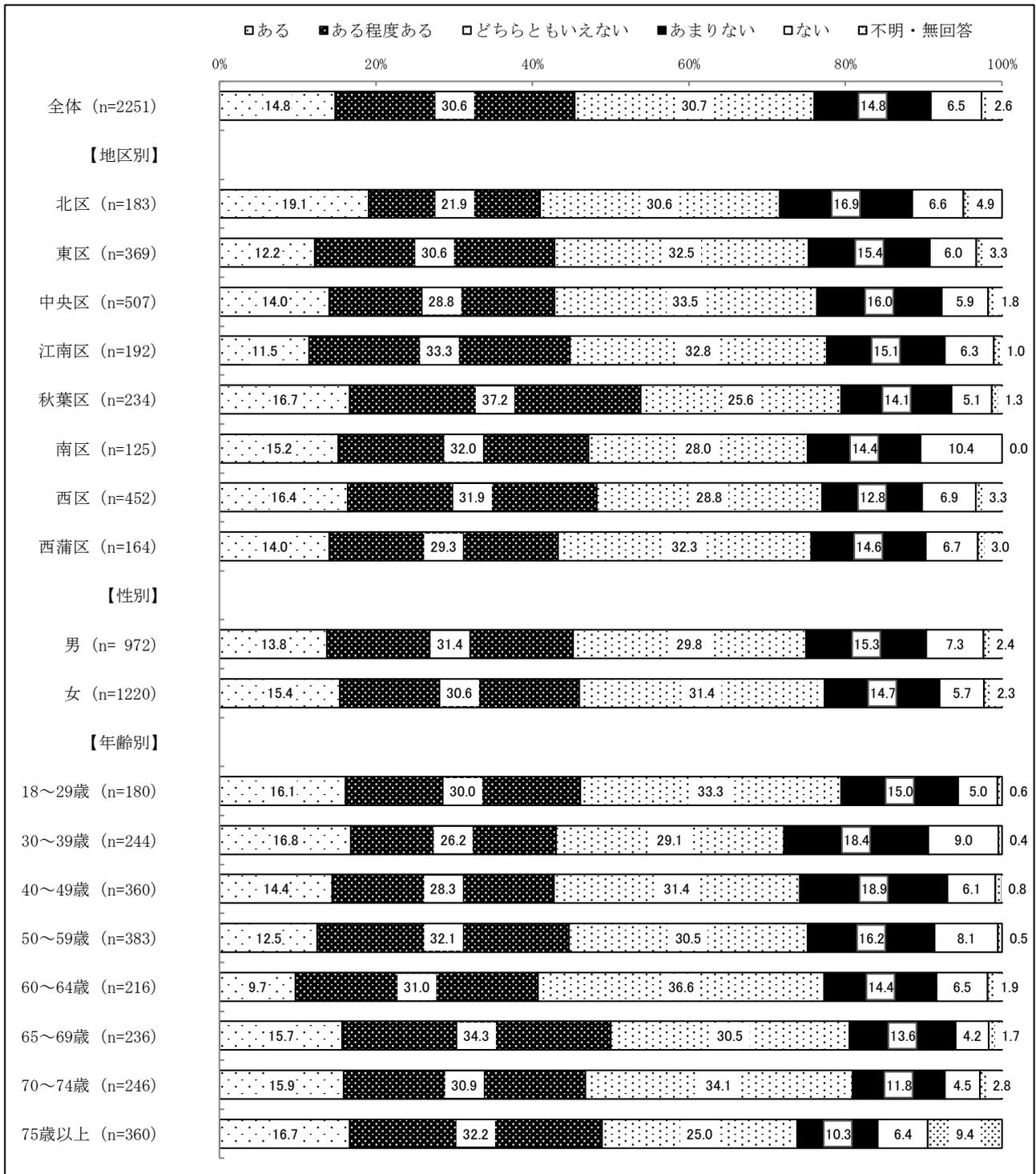
① 繁華街、街の中心部、特定の商業エリア



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（36.1%）で最も高い。性別では、男性（28.5%）と比べて女性（32.5%）で割合が高い。年齢別では、75歳以上（37.2%）、18～29歳（35.6%）、70～74歳（34.1%）で高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区（36.0%）、西蒲区（36.0%）で最も高い。年齢別では50～59歳（35.8%）、30～39歳（35.7%）、40～49歳（35.6%）で高い。

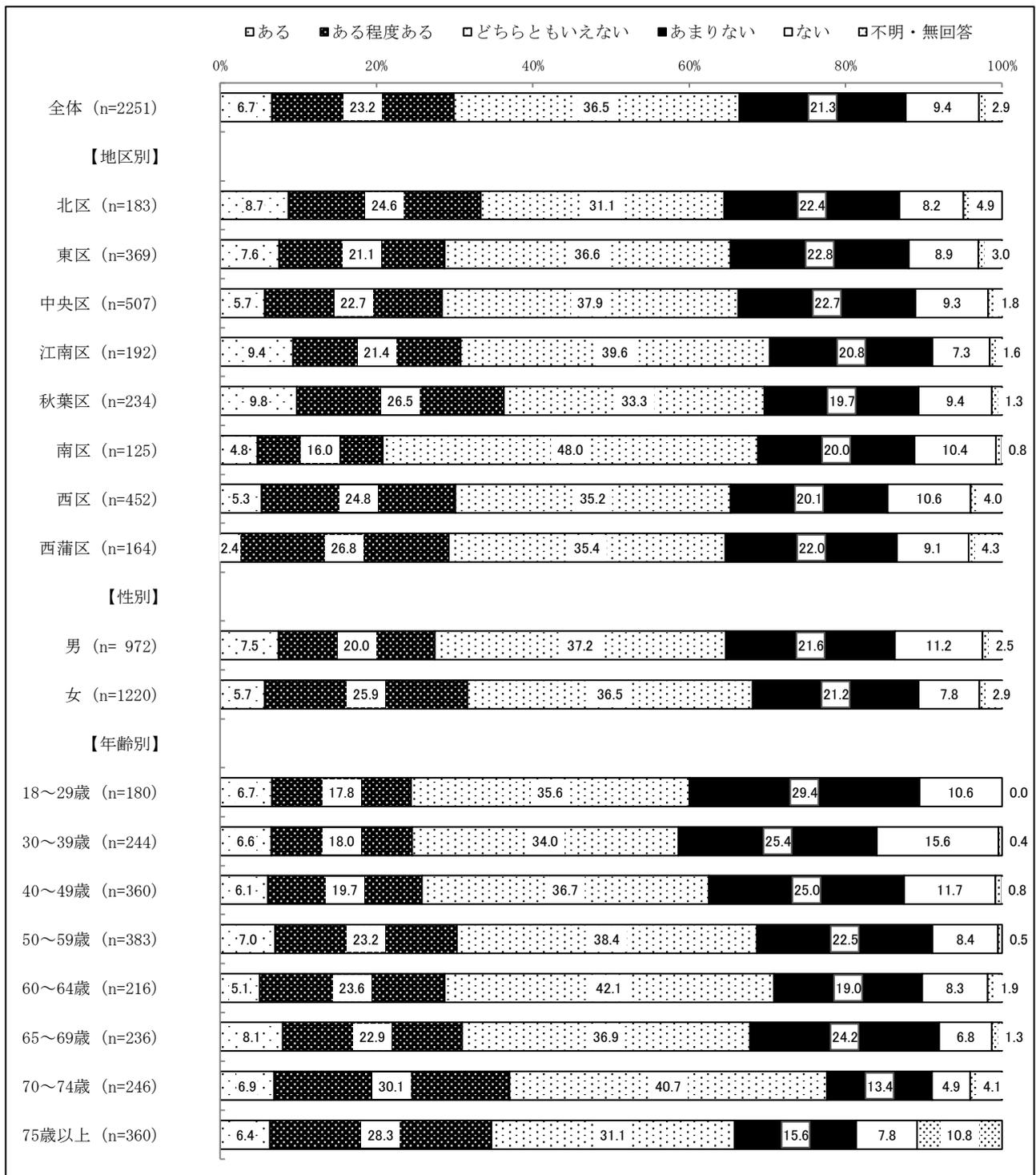
②ものづくり



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（53.8%）で最も高い。性別では、ほとんど差はない。年齢別では、65～69歳（50.0%）が最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.8%）、北区（23.5%）で高い。年齢別では30～39歳（27.5%）が最も高い。

②③ 著名人

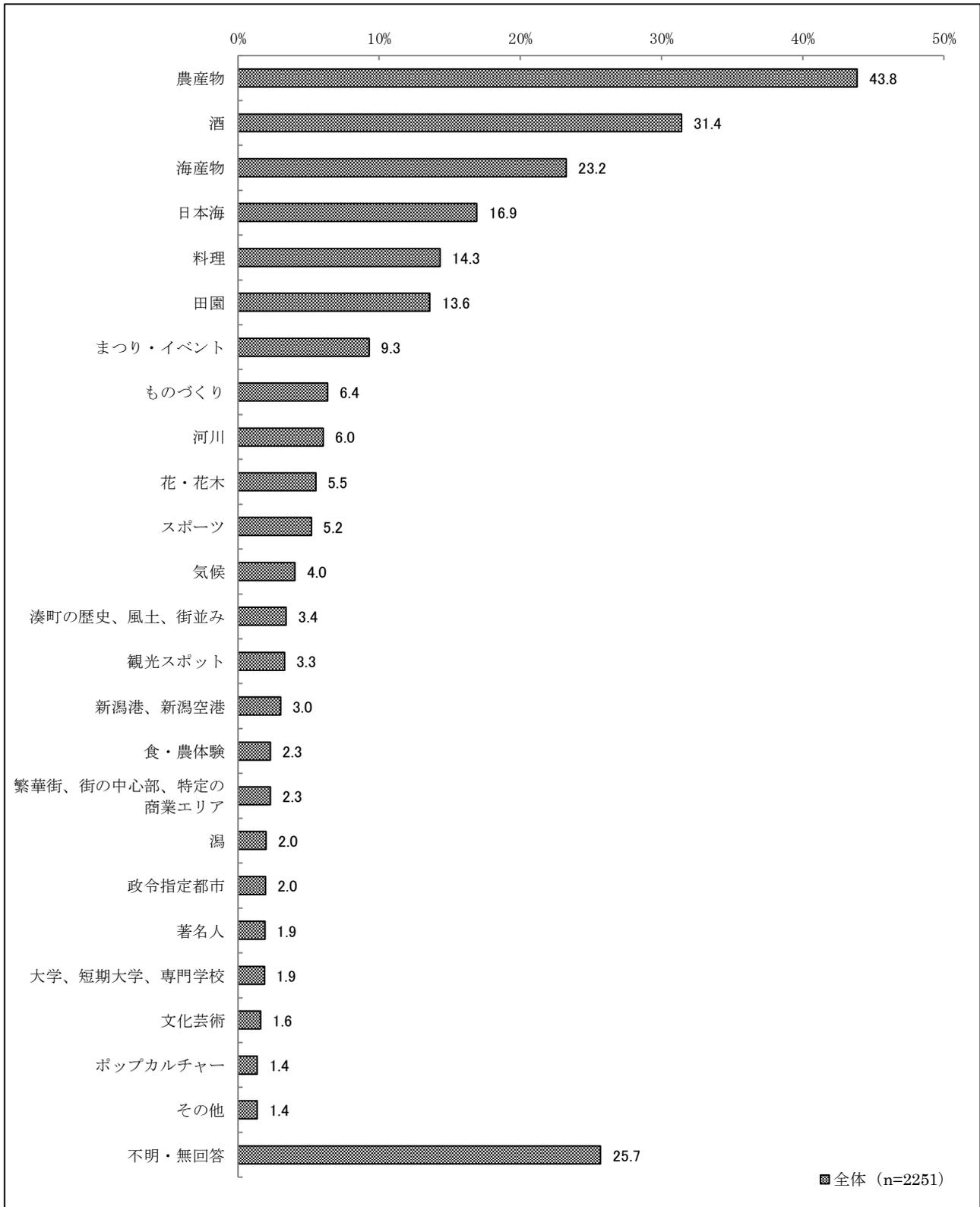


「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（36.3%）で最も高い。性別では、男性（27.5%）と比べて女性（31.6%）で割合が高い。年齢別では、70～74歳（37.0%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、ほとんど差はなく、約3割となった。年齢別では30～39歳（41.0%）、18～29歳（40.0%）、で高い。

(2) 特に誇りや愛着を感じているもの

問2 上記で、「1. ある」と回答した項目のうち、特に誇りや愛着を感じているものを上位3つまで番号でお答えください。



— 特に誇りや愛着を感じているものは「農産物」が4割以上 —

【全体結果】

全体で、「農産物」(43.8%)の割合が最も高く、4割を超えた。次いで、「酒」(31.4%)が約3割となった。次に「海産物」(23.2%)、「日本酒」(16.9%)、「料理」(14.3%)、「田園」(13.6%)と続き、その他は1割未満となった。

【属性別結果】(図1-1参照)

① 地区別

「農産物」については、江南区(48.4%)で割合が最も高く、北区(35.0%)を除くいずれの地区でも4割強となった。

② 性別

「農産物」については、男性(40.1%)と比べて女性(47.5%)で割合が高い。「酒」については、男性(35.3%)と比べて女性(29.0%)で割合が低い結果となった。

③ 年齢別

「農産物」は、年齢での差はほとんど見られなかったが、「酒」は、年齢が若いほど割合が高い傾向がみられた。

18～29歳、30～39歳では、「料理」(各21.1%、21.3%)、「まつり・イベント」(各16.1%、14.3%)の割合が高く、他の年代と差がみられた。

図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 1/4

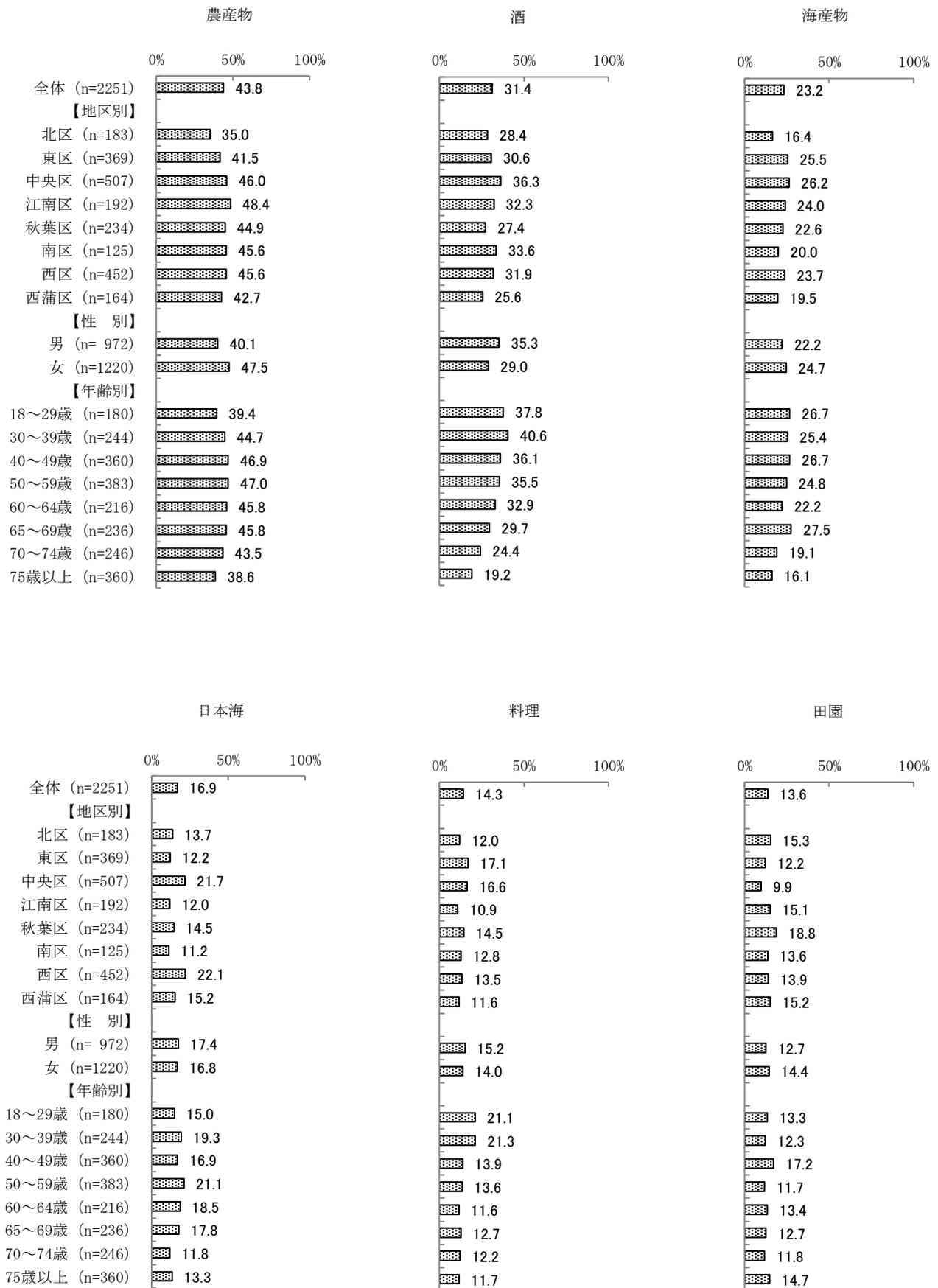


図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 2/4

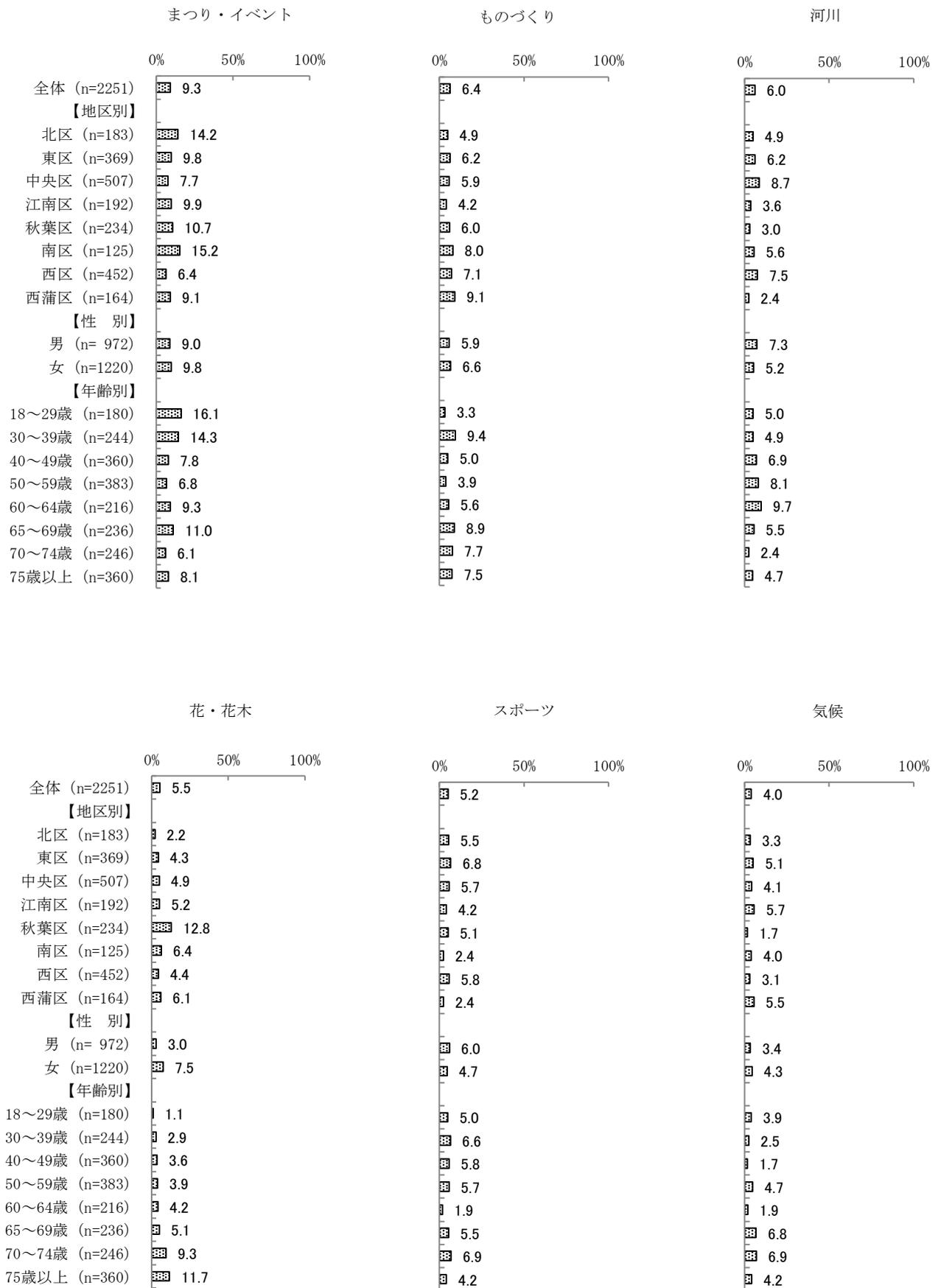


図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 3/4

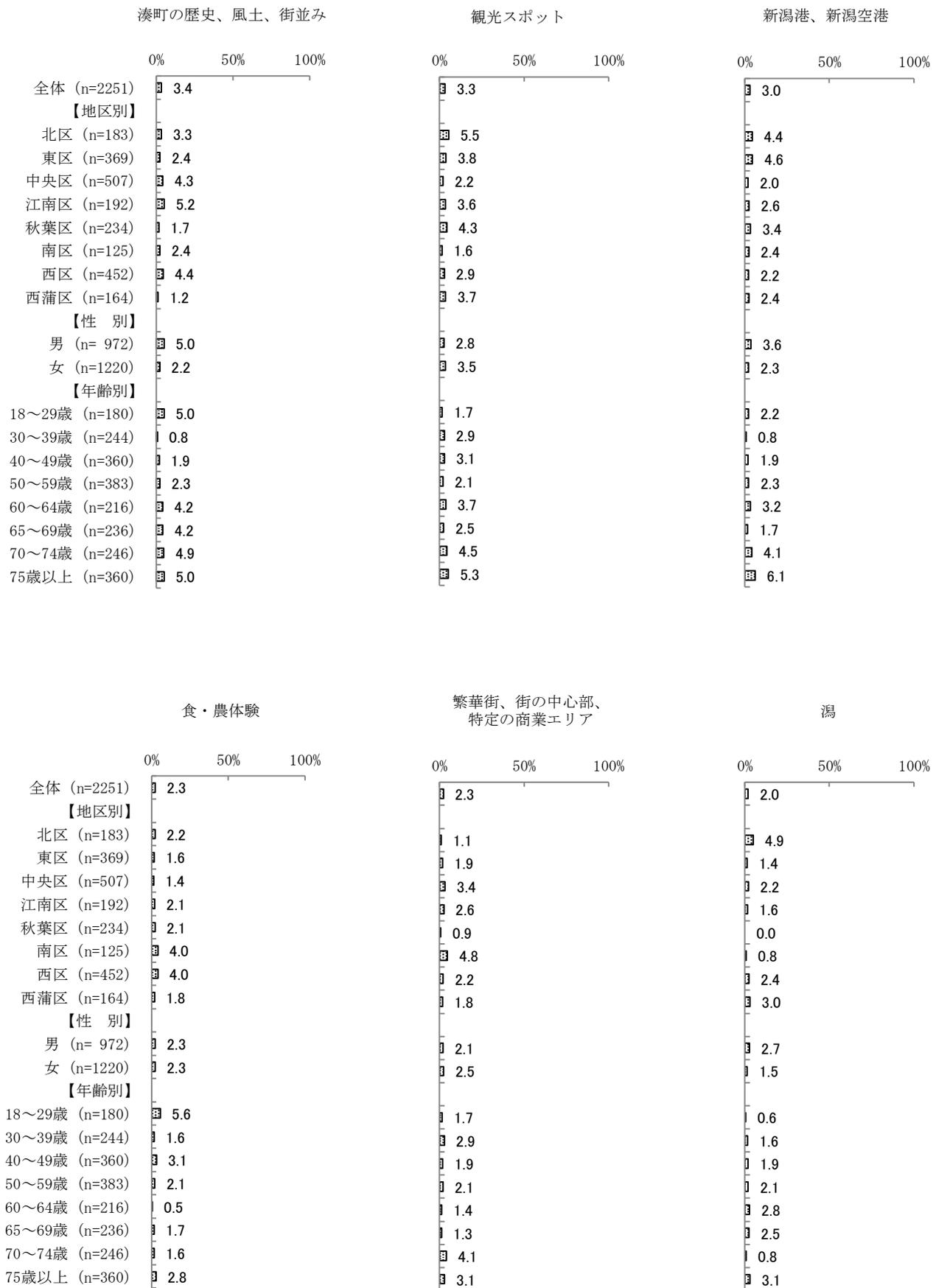
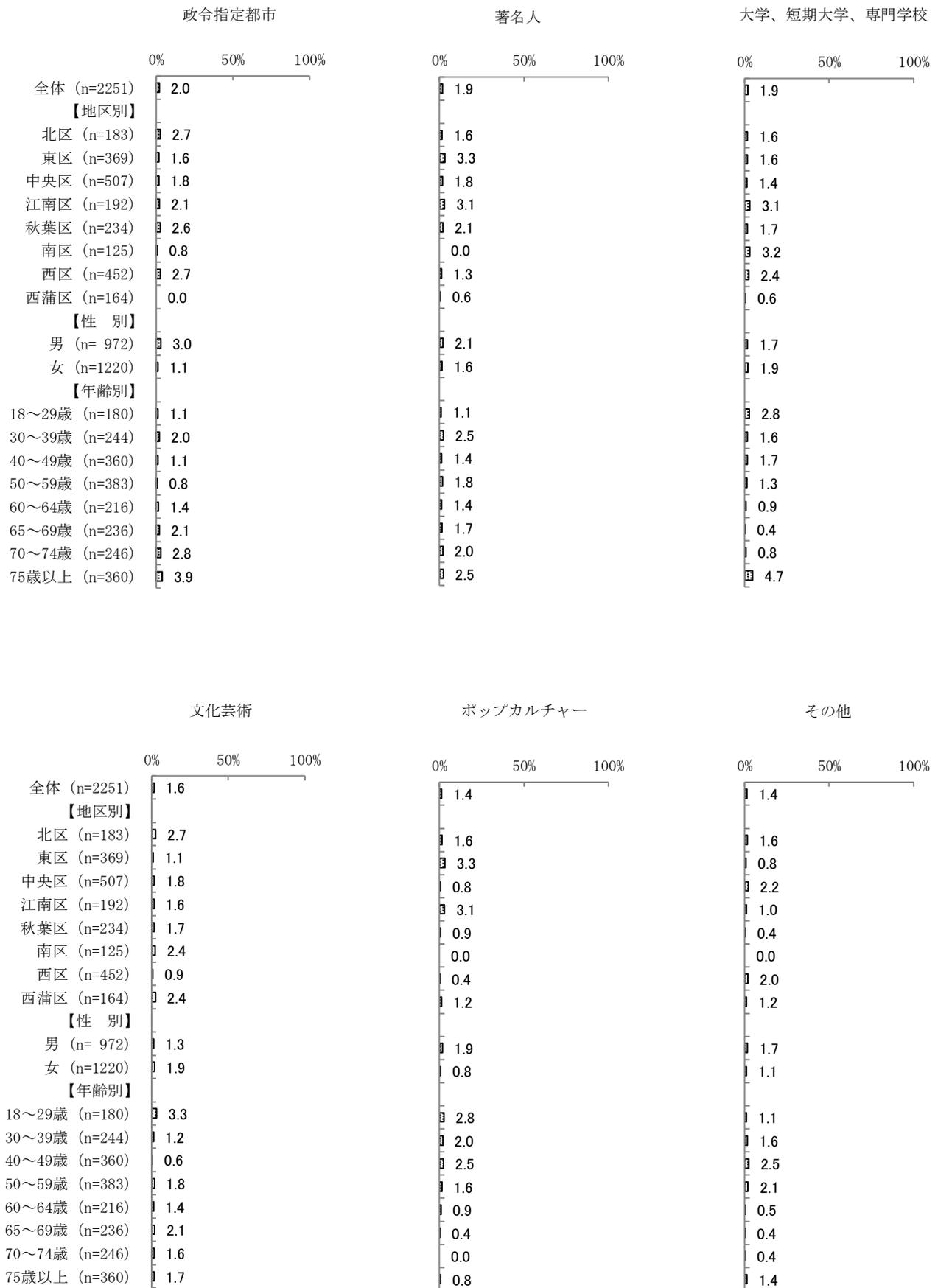


図 1-1 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 4/4

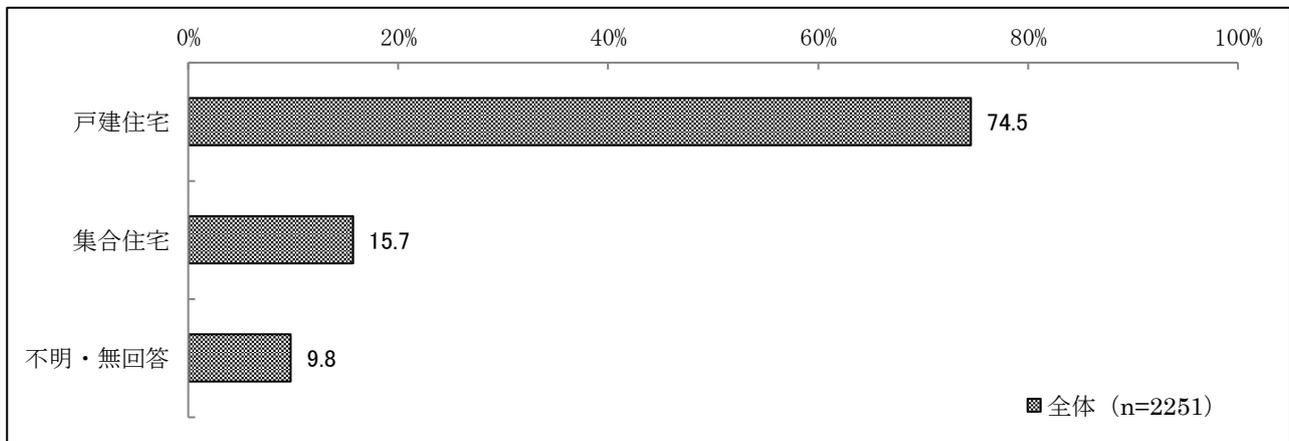


2. 居住に関する意向について

(1) 住み始めた当時の状況

問3 あなたの“現在”のお住まいについて、“住み始めた当時の状況”として当てはまる項目を、下記の選択肢からそれぞれ番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

① 『戸建-集合』別



— 「戸建住宅」が7割超え —

【全体結果】

「戸建住宅」(74.5%)が7割を超え、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-1-1参照)

① 地区別

「戸建住宅」は、中央区(58.0%)で割合が最も低く、中央区以外の地区では7割を超えた。割合が最も高かったのは、西蒲区で86.0%となった。

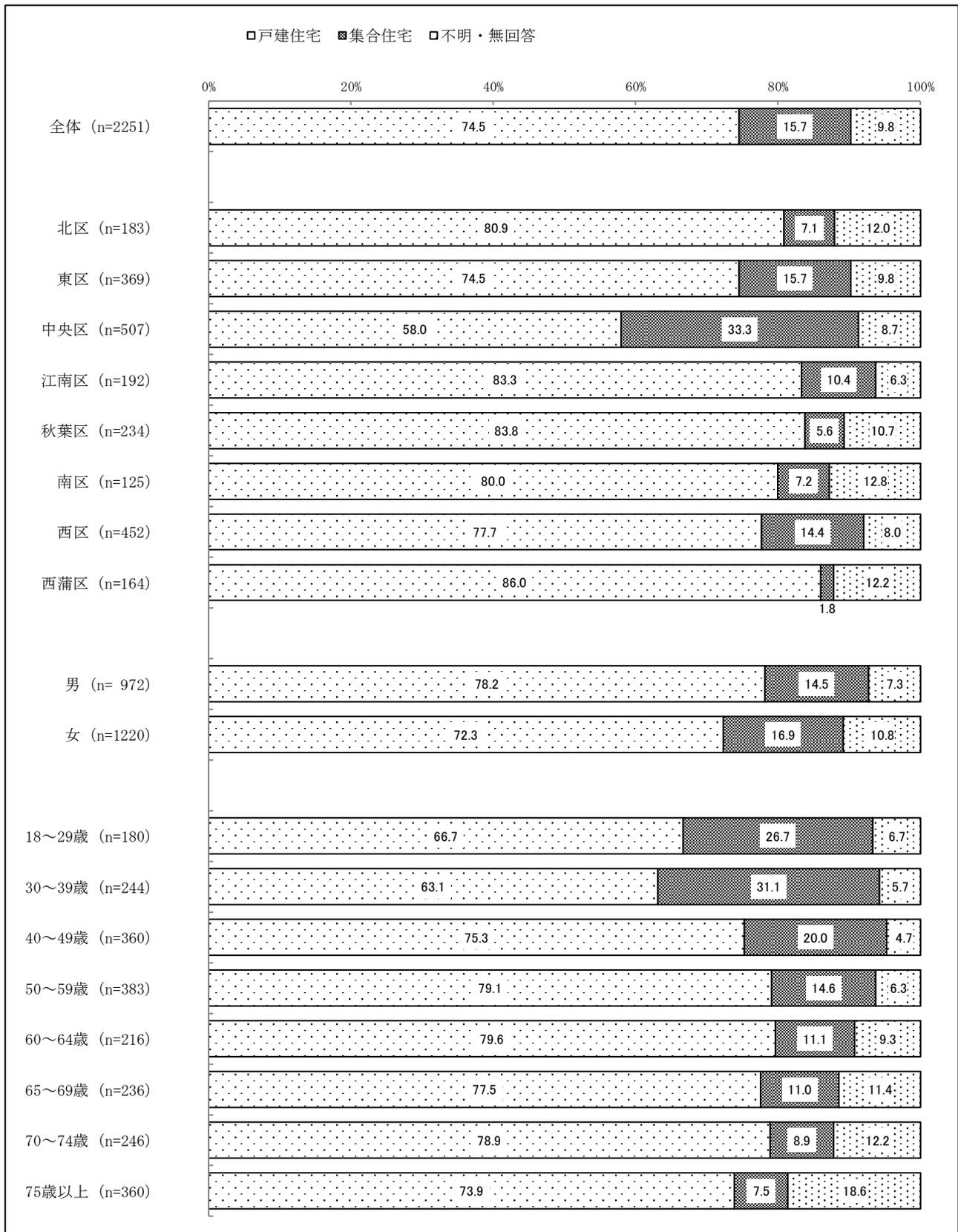
② 性別

「戸建住宅」は、女性(72.3%)と比較して男性(78.2%)の割合がやや高い。

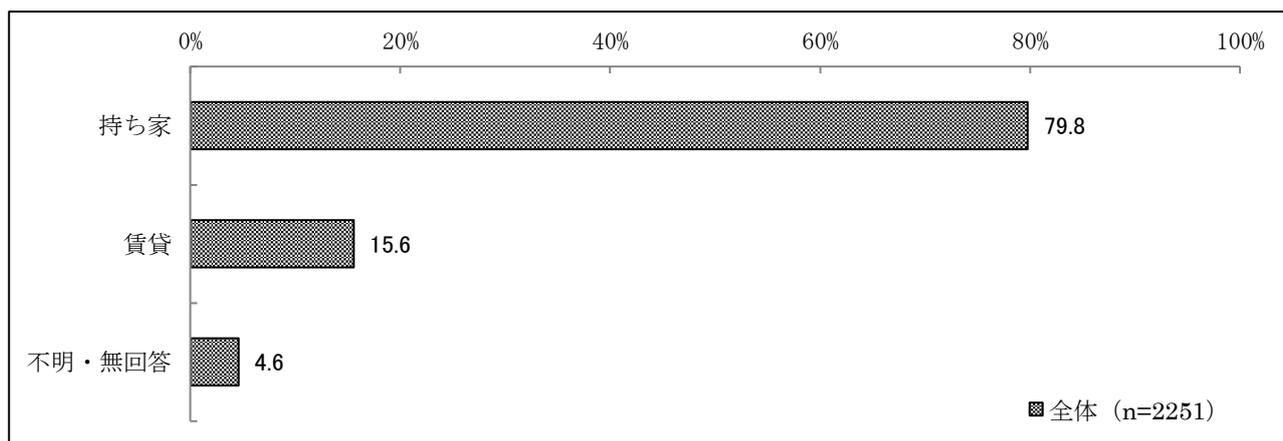
③ 年齢別

「戸建住宅」は、18~29歳(66.7%)、30~39歳(63.1%)の若年層で割合がやや低い。

図 2-1-1 住み始めた当時の状況 ①『戸建-集合』別（地区別/性別/年齢別）



② 『持ち家-賃貸』別



— 「持ち家」が8割以上 —

【全体結果】

「持ち家」(79.8%)が約8割となり、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-1-2参照)

① 地区別

「持ち家」は、中央区(70.2%)で割合が最も低く、その他東区(75.6%)を除いて8割を超えた。

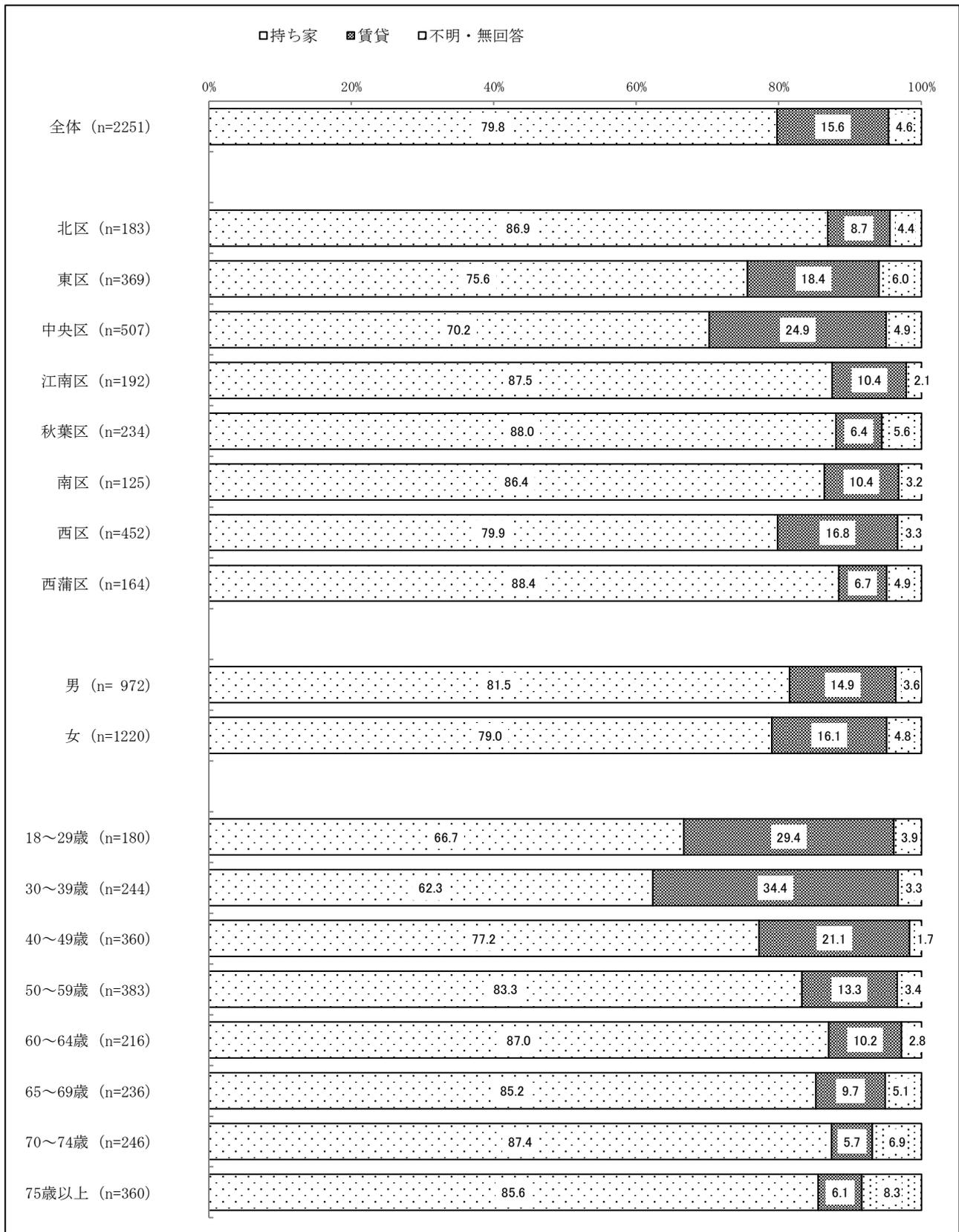
② 性別

「持ち家」は、女性(79.0%)と比較して男性(81.5%)の割合がやや高い。

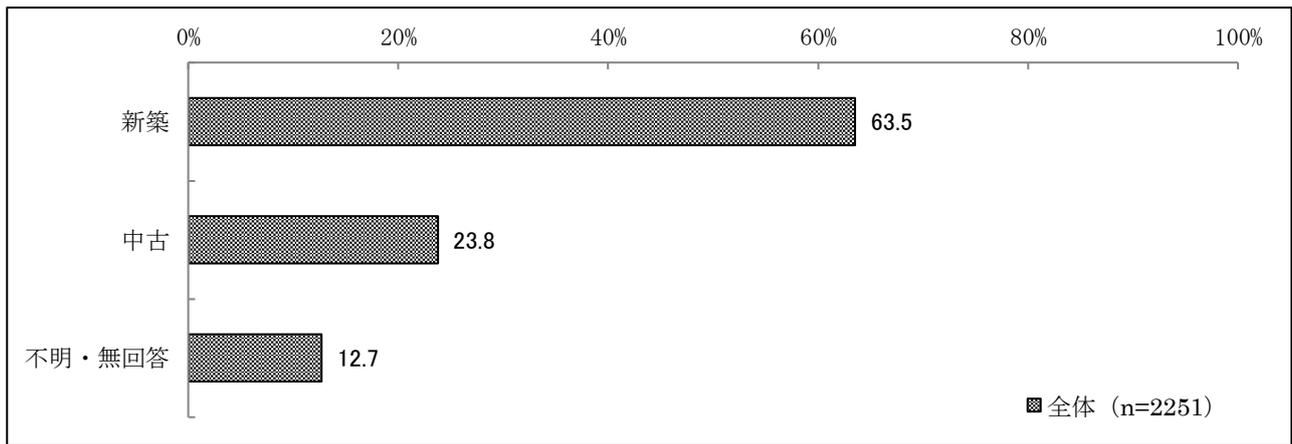
③ 年齢別

「持ち家」は、18~29歳(66.7%)、30~39歳(62.3%)の若年層で割合がやや低い。

図 2-1-2 住み始めた当時の状況 ②『持ち家-賃貸』別（地区別/性別/年齢別）



③ 『新築-中古』別



— 「新築」が6割以上 —

【全体結果】

「新築」(63.5%)が6割を超え、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-1-3参照)

④ 地区別

「新築」は、江南区(76.6%)、秋葉区(71.8%)で割合が高く、中央区(52.3%)で割合が最も低くなった。

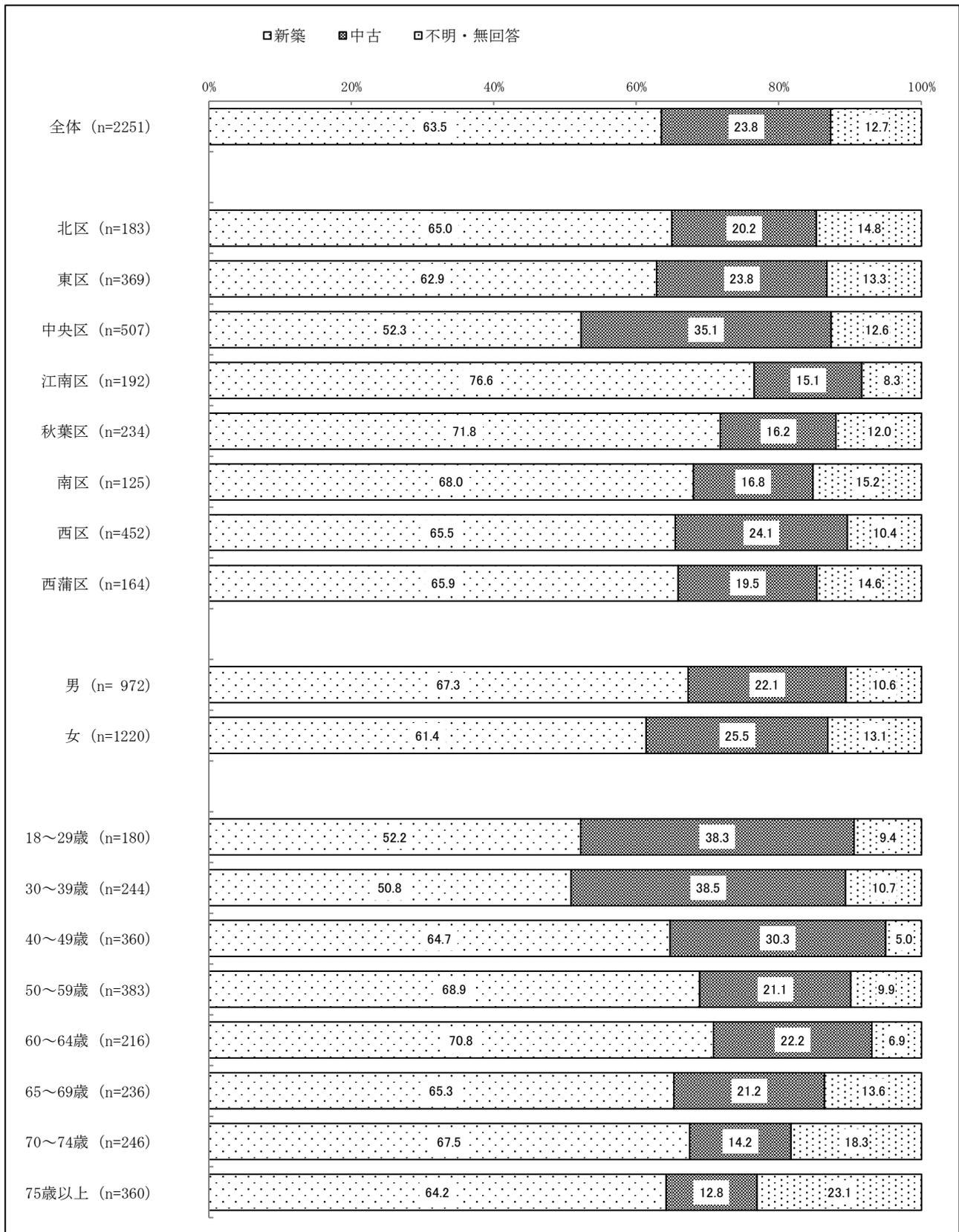
⑤ 性別

「新築」は、女性(61.4%)と比較して男性(67.3%)の割合がやや高い。

⑥ 年齢別

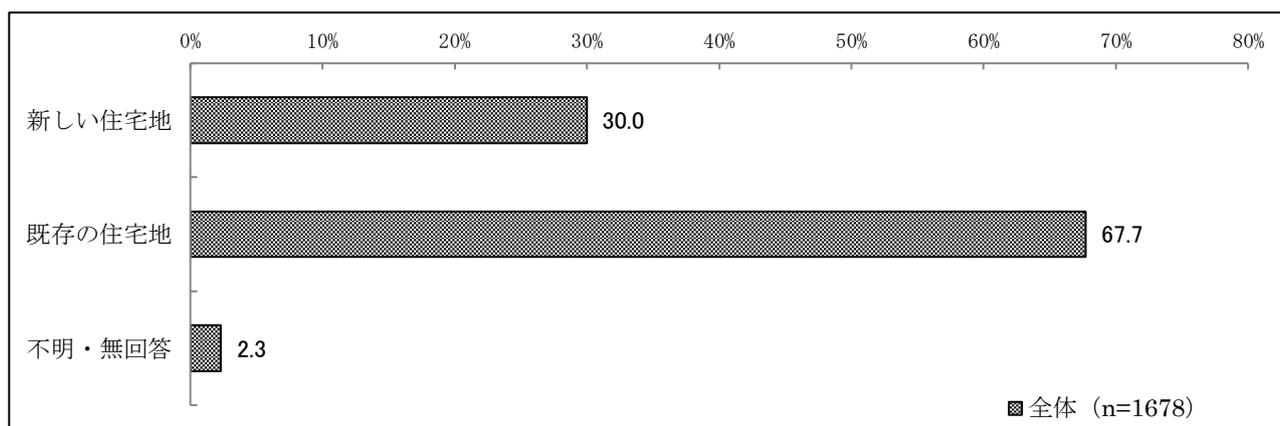
「新築」は、18~29歳(52.2%)、30~39歳(50.8%)の若年層で割合がやや低い。

図 2-1-3 住み始めた当時の状況 ③『新築-中古』別（地区別/性別/年齢別）



④ 住宅地について

問3 上記で、「1. 戸建住宅」を選択した場合のみ番号を1つ選んで○をつけてください。



— 「既存の住宅地」が約7割 —

【全体結果】

「既存の住宅地」(67.7%)が約7割、「新しい住宅地」が3割となった。

【属性別結果】(次ページ図2-2参照)

① 地区別

「既存の住宅地」の割合は、西蒲区(81.6%)、中央区(76.9%)で高い。

② 性別

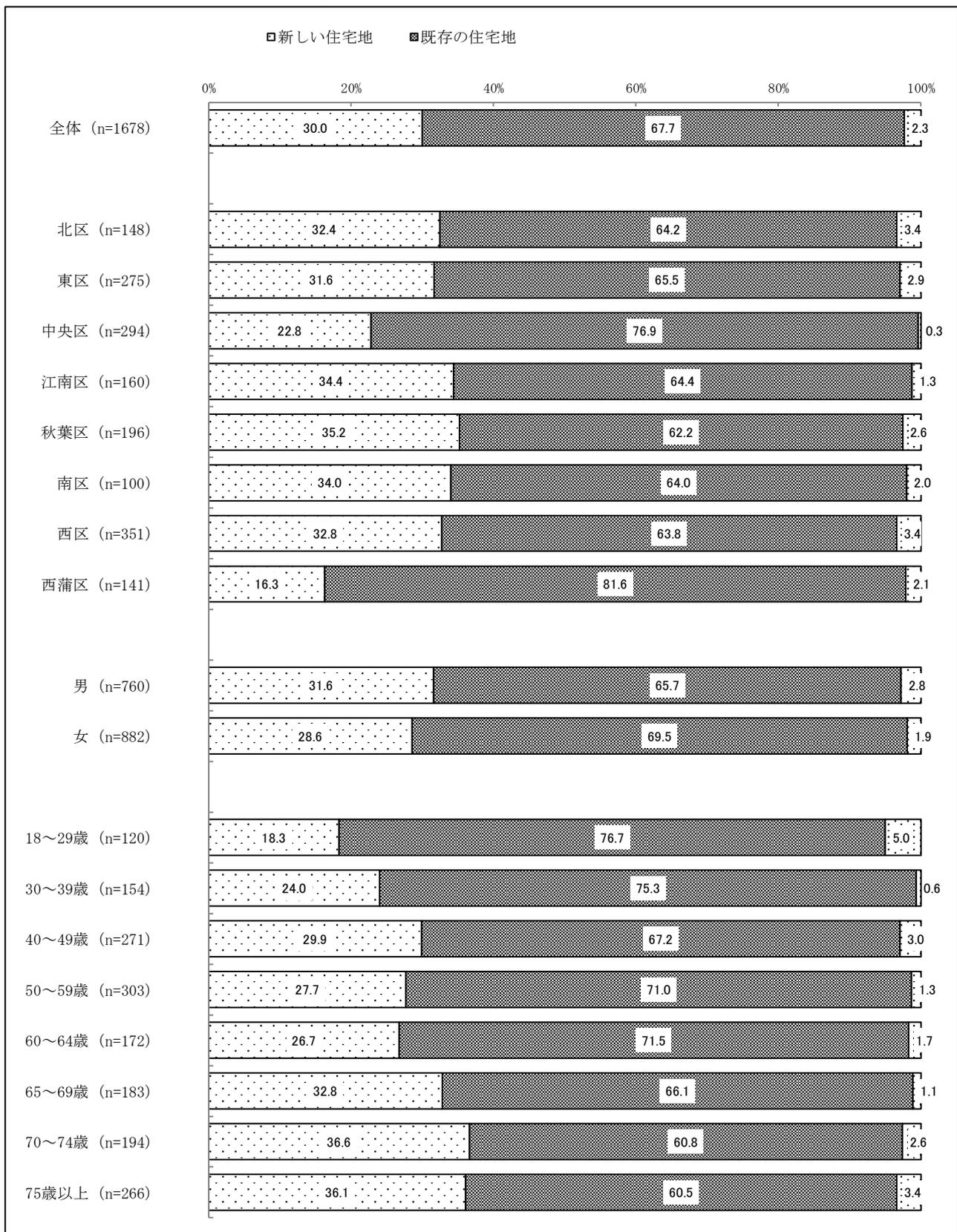
「既存の住宅地」の割合は、男性(65.7%)と比較して女性(69.5%)で若干高い。

③ 年齢別

「新しい住宅地」の割合は、70~74歳(36.6%)、75歳以上(36.1%)の高齢層で高く、「既存の住宅地」の割合は、18~29歳(76.7%)、30~39歳(75.3%)の若年層で高い。

70歳以上の方が住宅を購入する際、新しい住宅地の開発が盛んだった時代背景が窺える。

図 2-2 住み始めた当時の状況 ④ 住宅地について（地区別/性別/年齢別）

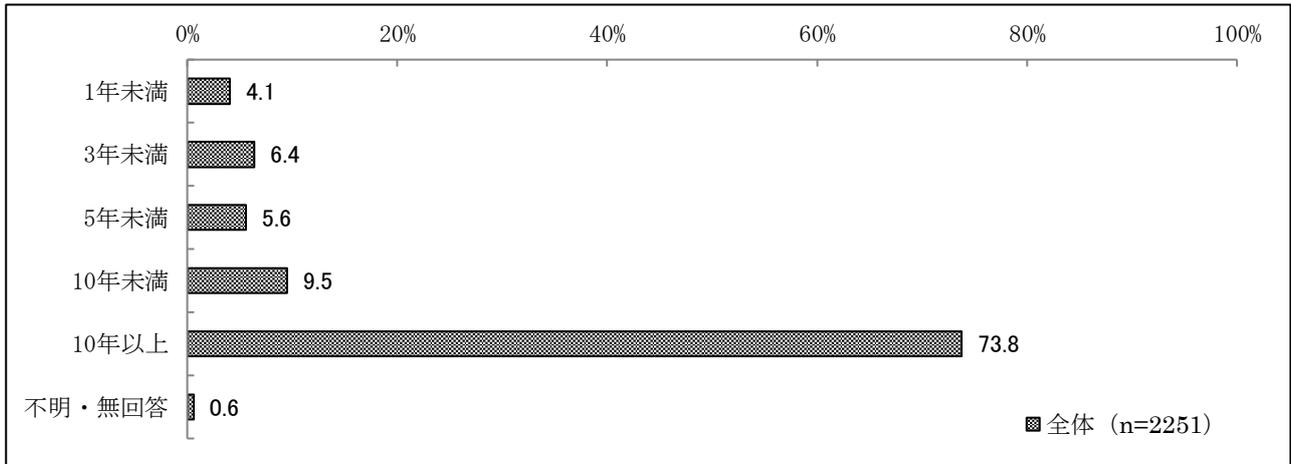


(2) 現在の住まいに住んでいる期間と以前の住まい

問4 あなたは、“現在”のお住まいにどのくらいの期間住んでいますか。

また、“現在”のお住まいに住む以前はどこに住んでいましたか。(〇はそれぞれ1つだけ)

①現在の住まいに住んでいる期間



— 「10年以上」が7割以上 —

【全体結果】

「10年以上」(73.8%)が7割を超え、割合が最も高い。「1年未満」(4.1%)で割合が最も低い。

【属性別結果】(次ページ図2-3参照)

① 地区別

「10年以上」については、全ての区で割合が最も高く、西蒲区(82.3%)、北区(80.3%)では8割を超えた。中央区(65.5%)、西区(72.8%)ではやや割合が低く、「10年未満」が約1割となった。

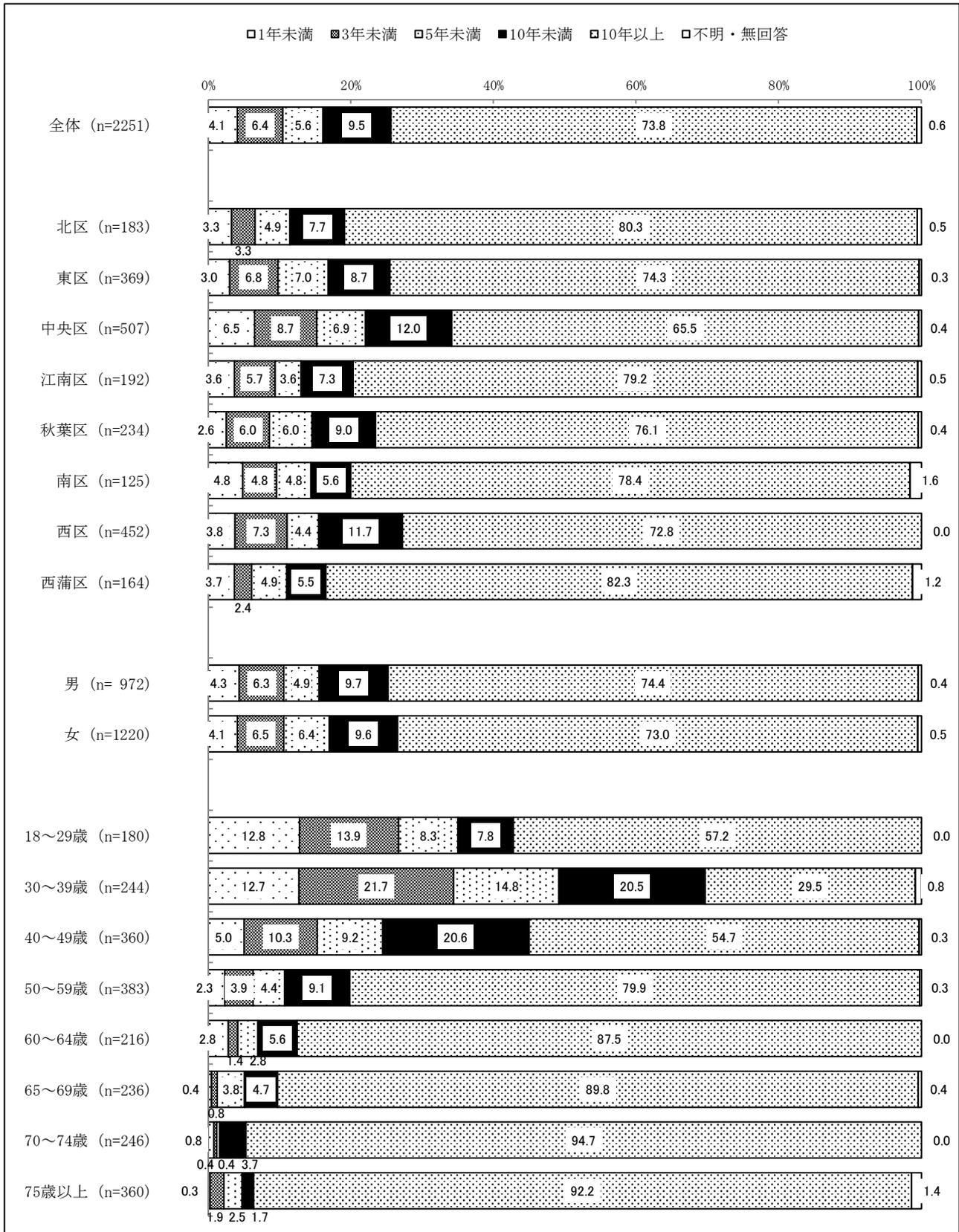
② 性別

ほとんど差はみられない。

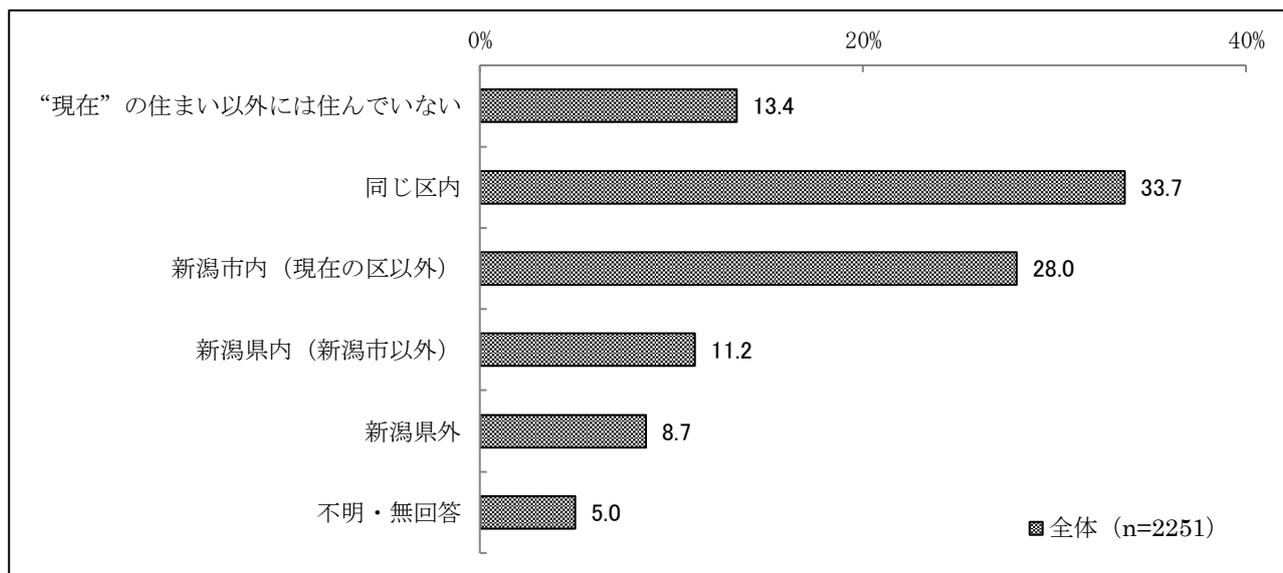
③ 年齢別

「10年以上」については、60歳以上の高齢層で約8割となった。30～39歳(29.5%)で割合が最も低い。

図 2-3 現在の住まいに住んでいる期間（地区別/性別/年齢別）



② 『以前の住まい』



— 『“以前”のお住まい』は「同じ区内」、「新潟市内」が約3割 —

【全体結果】

「同じ区内」(33.7%)が3割を超え、割合が最も高く、次いで「新潟市内（現在の区以外）」(28.0%)で割合が高かった。「“現在”の住まい以外には住んでいない」(13.4%)と「同じ区内」(33.7%)を合わせた『同じ区内計』(47.1%)は5割弱、「新潟市内（現在の区以外）」(28.0%)を合わせた『新潟市内計』(75.1%)は4人に3人を占めている。「新潟県外」(8.7%)からの移住は、1割弱となった。

【属性別結果】(次ページ図2-4参照)

① 地区別

「“現在”の住まい以外には住んでいない」と「同じ区内」を合わせた『同じ区内計』は、西蒲区(57.3%)で割合が最も高く、「新潟市内（現在の区以外）」を合わせた『新潟市内計』は、東区(80.2%)、西区(78.5%)で高く、約8割になった。

北区では、「新潟県外」(14.8%)の割合が他地区と比較して高い。秋葉区では、「新潟県内（新潟市以外）」(18.4%)の割合が他地区と比較して高い。

② 性別

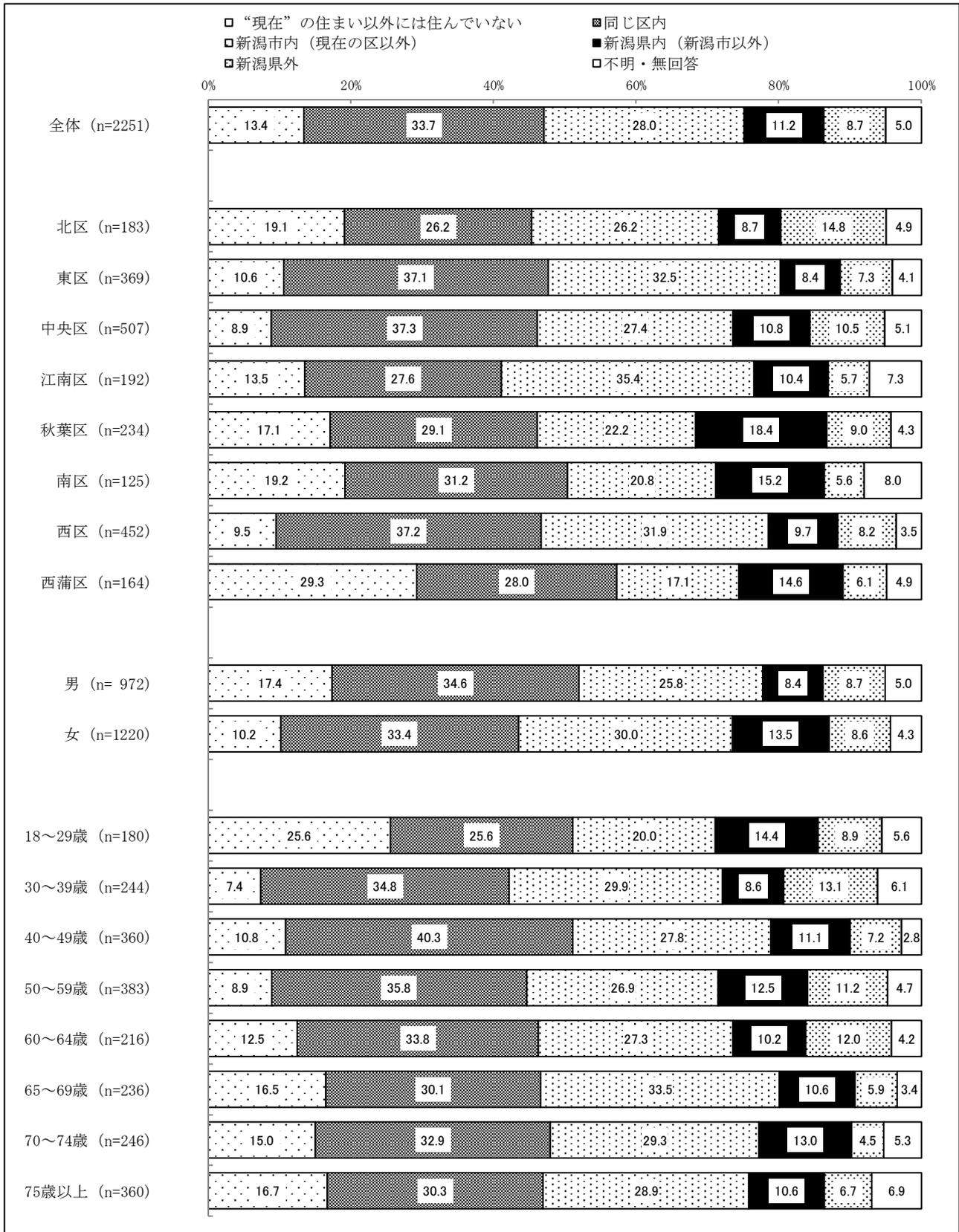
『同じ区内計』と『新潟市内計』いずれも、女性(各43.5%、73.5%)と比較して男性(各52.0%、77.8%)で割合が高い。

③ 年齢別

『同じ区内計』の割合は、18～29歳(51.1%)、40～49歳(51.1%)で高く、5割を超えた。『新潟市内計』の割合は、65～69歳(80.1%)で最も高く、8割となった。

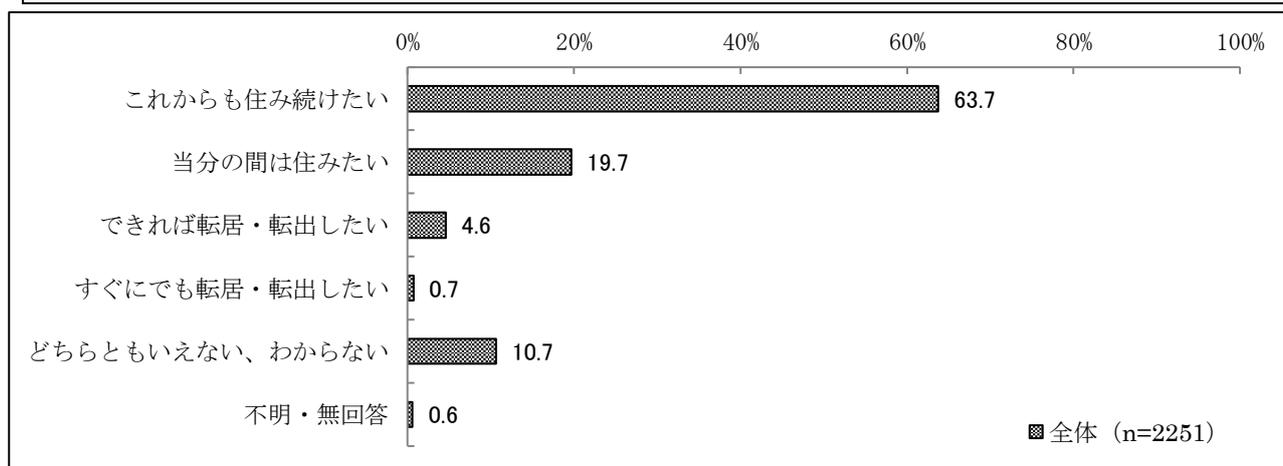
「新潟県外」の割合は、30～39歳(13.1%)で最も高く、1割強となった。

図 2-4 『以前の住まい』（地区別/性別/年齢別）



(3) 現在お住まいの区にこれからも住みたいか

問5 あなたは、現在お住まいの区（現住所）にこれからも住みたいと思いますか。（○は1つだけ）



— 『住みたい』が8割以上 —

【全体結果】

「これからも住み続けたい」(63.7%)の割合が最も高く、6割を超えた。「当分の間は住みたい」(19.7%)を合わせた『住みたい』(83.4%)は8割以上となった。

「できれば転居・転出したい」、「すぐにでも転居・転出したい」を合わせた『転居・転出したい』(5.3%)は1割に満たなかった。

【属性別結果】(次ページ図2-5参照)

① 地区別

『住みたい』の割合は、中央区(87.0%)で最も高く、いずれの地区でも8割近くになった。『転居・転出したい』の割合は、いずれの地区でも1割に満たなかった。

② 性別

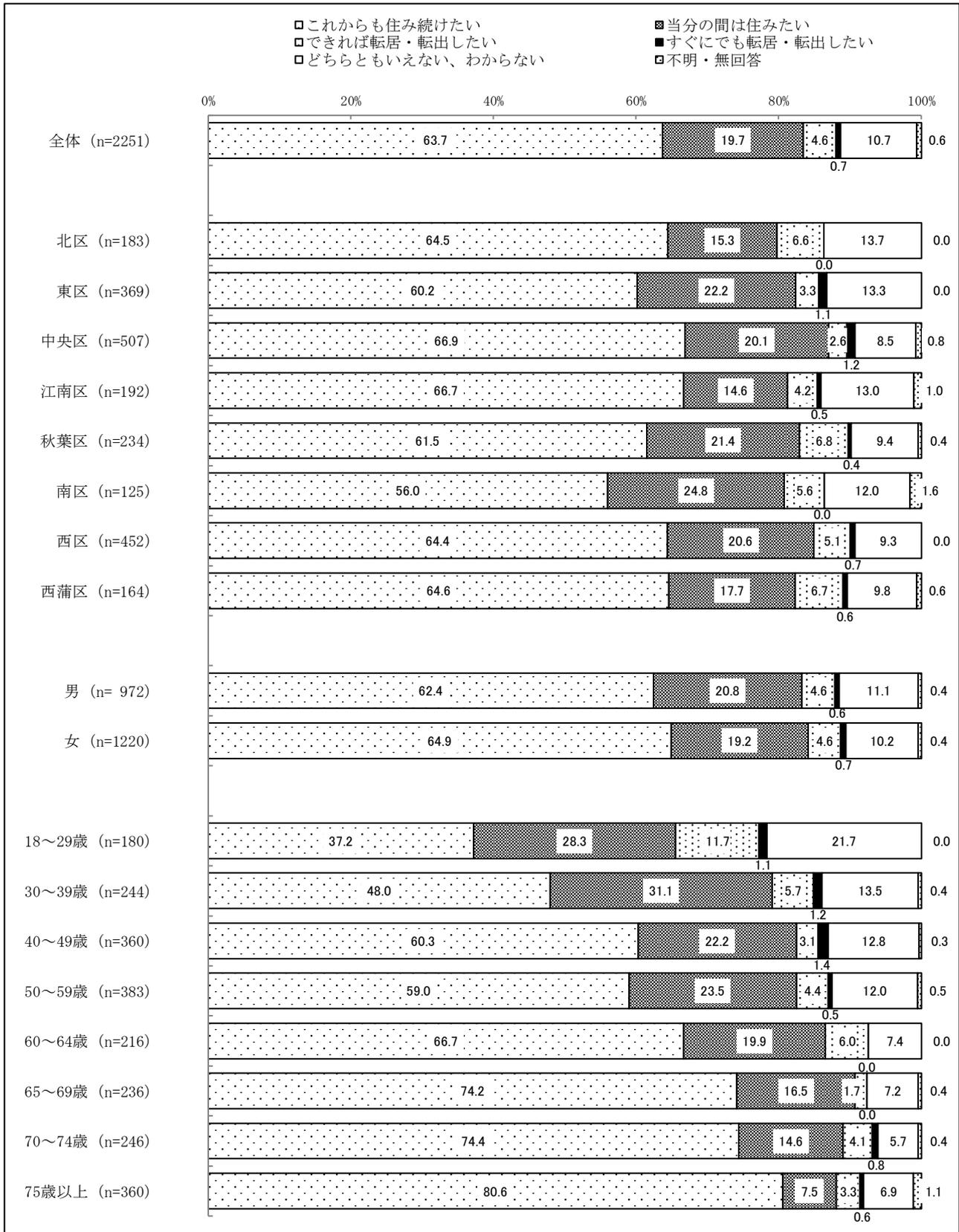
ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

『住みたい』の割合は、65歳以上で約9割となった。

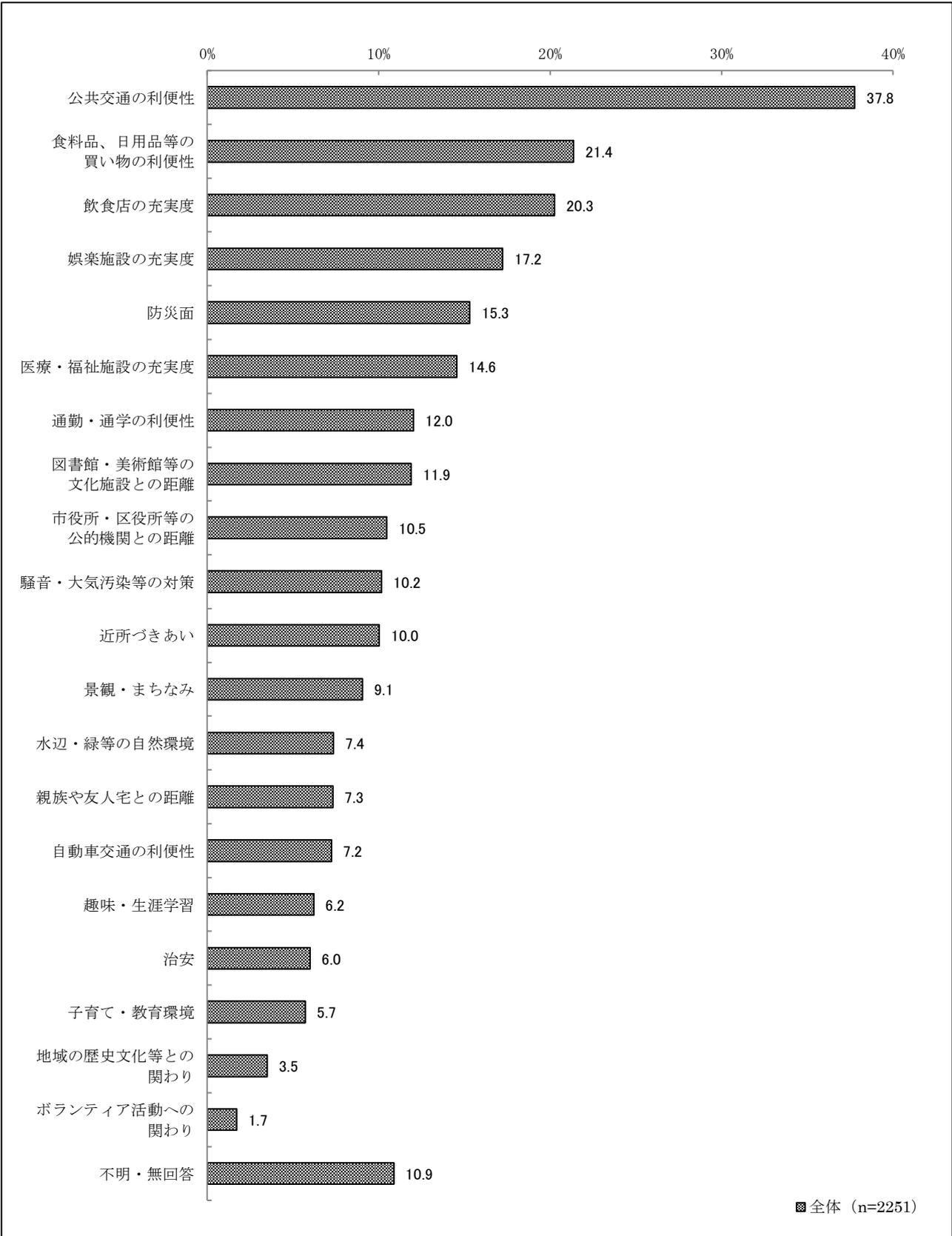
18～29歳では、『住みたい』(65.6%)の割合が低く、『転居・転出したい』(12.8%)の割合が高く、1割を超えている。

図 2-5 現在お住まいの区にこれからも住みたいか（地区別/性別/年齢別）



(4) 現在の住まいに“不満を感じている”項目

問6 現在のお住まいに“不満を感じている”項目は何ですか。下記の選択肢から3つまで選んで、下の回答欄に番号（1～20）をご記入ください。



— 最も不満を感じているのは「公共交通の利便性」で約4割 —

【全体結果】

現在の住まいに不満を感じている項目は、「公共交通の利便性」(37.8%)の割合が最も高く、約4割近くとなった。次いで、「食料品、日用品等の買い物の利便性」(21.4%)が約2割となった。次に「飲食店の充実度」(20.3%)、「娯楽施設の充実度」(17.2%)、「防災面」(15.3%)の順となった。

【属性別結果】(次ページ図2-6参照)

① 地区別

「公共交通の利便性」については、南区(64.8%)で割合が最も高く、次いで、江南区(53.1%)、西蒲区(52.4%)で5割を超えている。

「食料品、日用品等の買い物の利便性」については、西蒲区(36.6%)、北区(33.3%)で割合が高く、3割を超えている。

「医療・福祉施設の充実度」については、西蒲区(27.4%)、秋葉区(23.1%)、北区(21.9%)で割合が高く、2割を超えている。

② 性別

性別で5ポイント以上差がみられたのは、「図書館・美術館等の文化施設との距離」で男性(8.5%)と比較して女性(14.7%)で割合が高かった。

③ 年齢別

18～29歳、30～39歳の若い世代では「飲食店の充実度」、「娯楽施設の充実度」の割合が高い。

これらの点に魅力がないことが、「転居・転出したい」の割合が高いことに結びついていると思われる。

図 2-6 現在の住まいに“不満を感じている”項目（地区別/性別/年齢別） 1/4

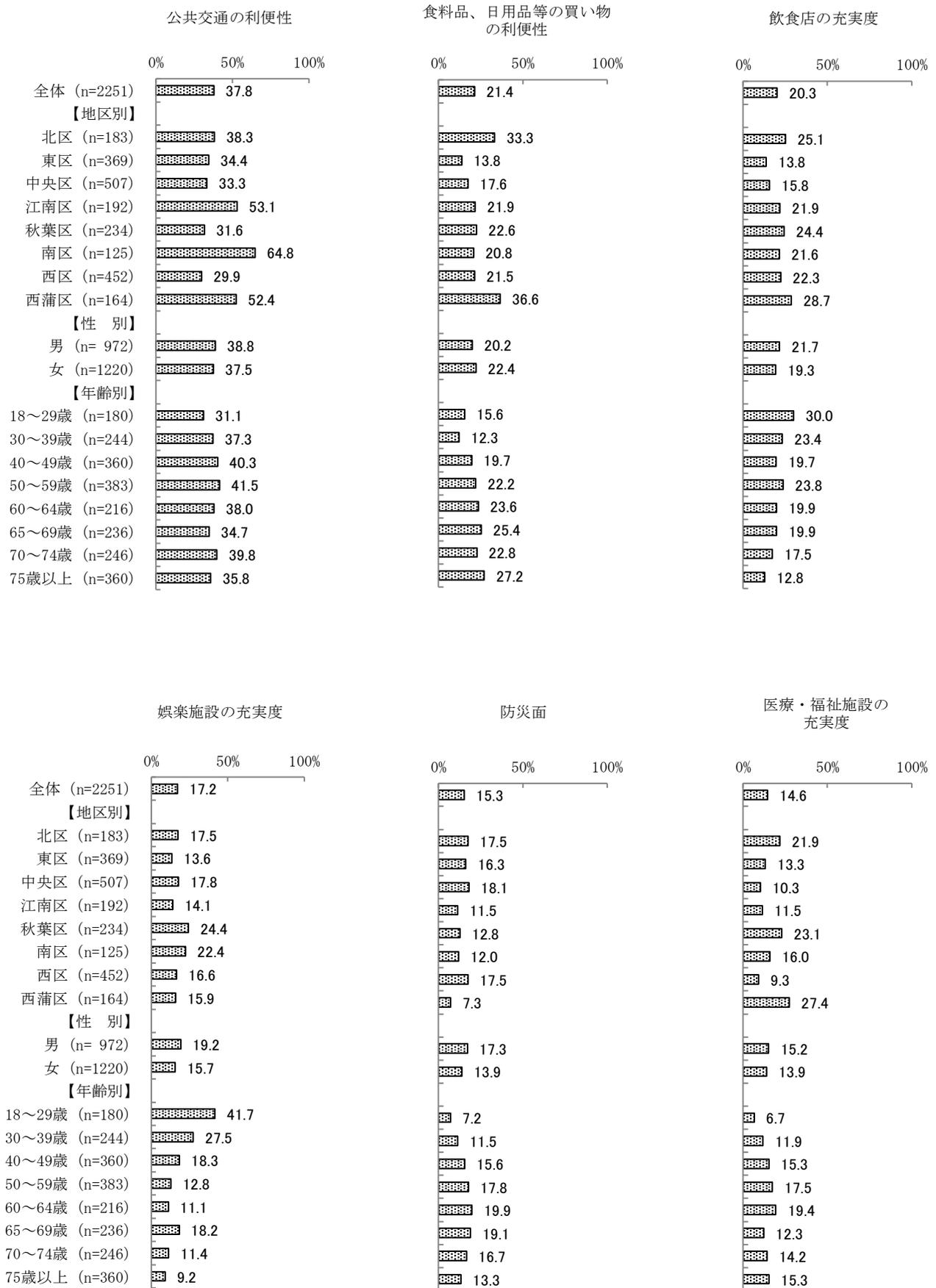


図 2-6 現在の住まいに“不満を感じている”項目（地区別/性別/年齢別） 2/4

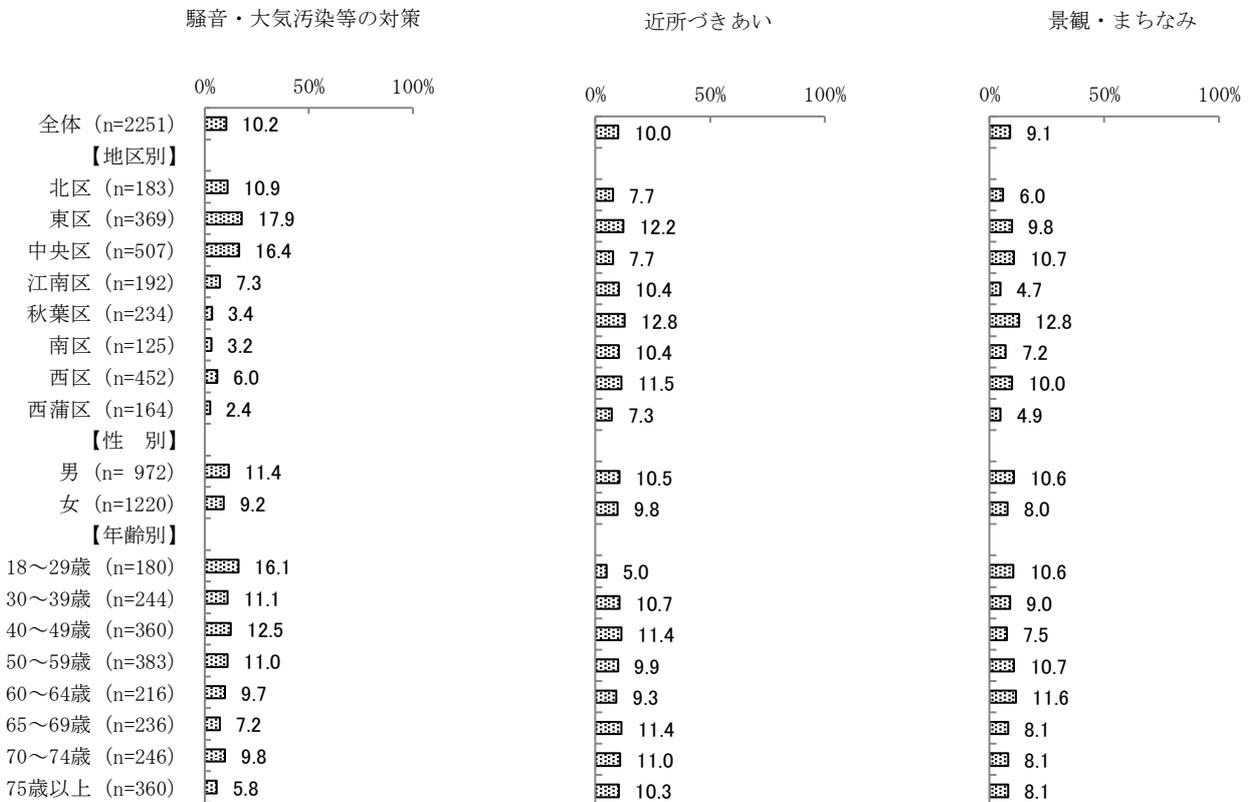
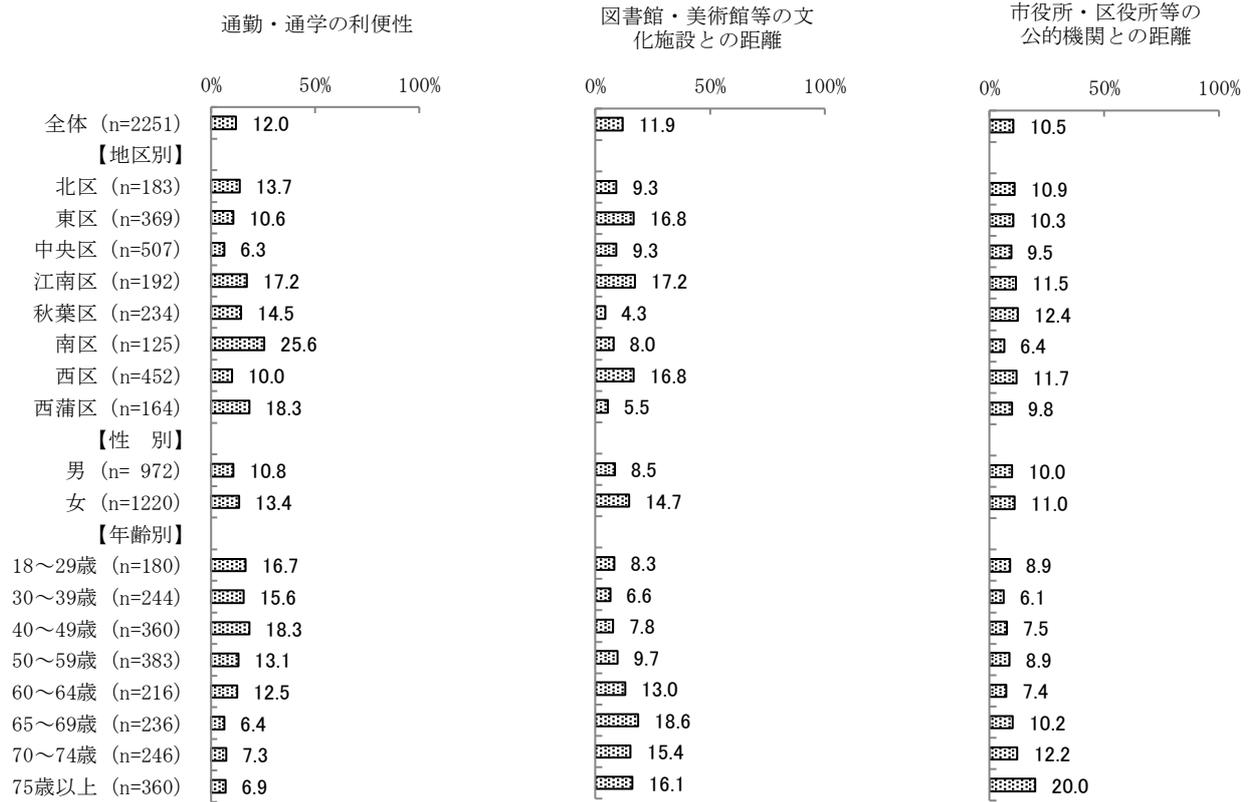


図 2-6 現在の住まいに“不満を感じている”項目（地区別/性別/年齢別） 3/4

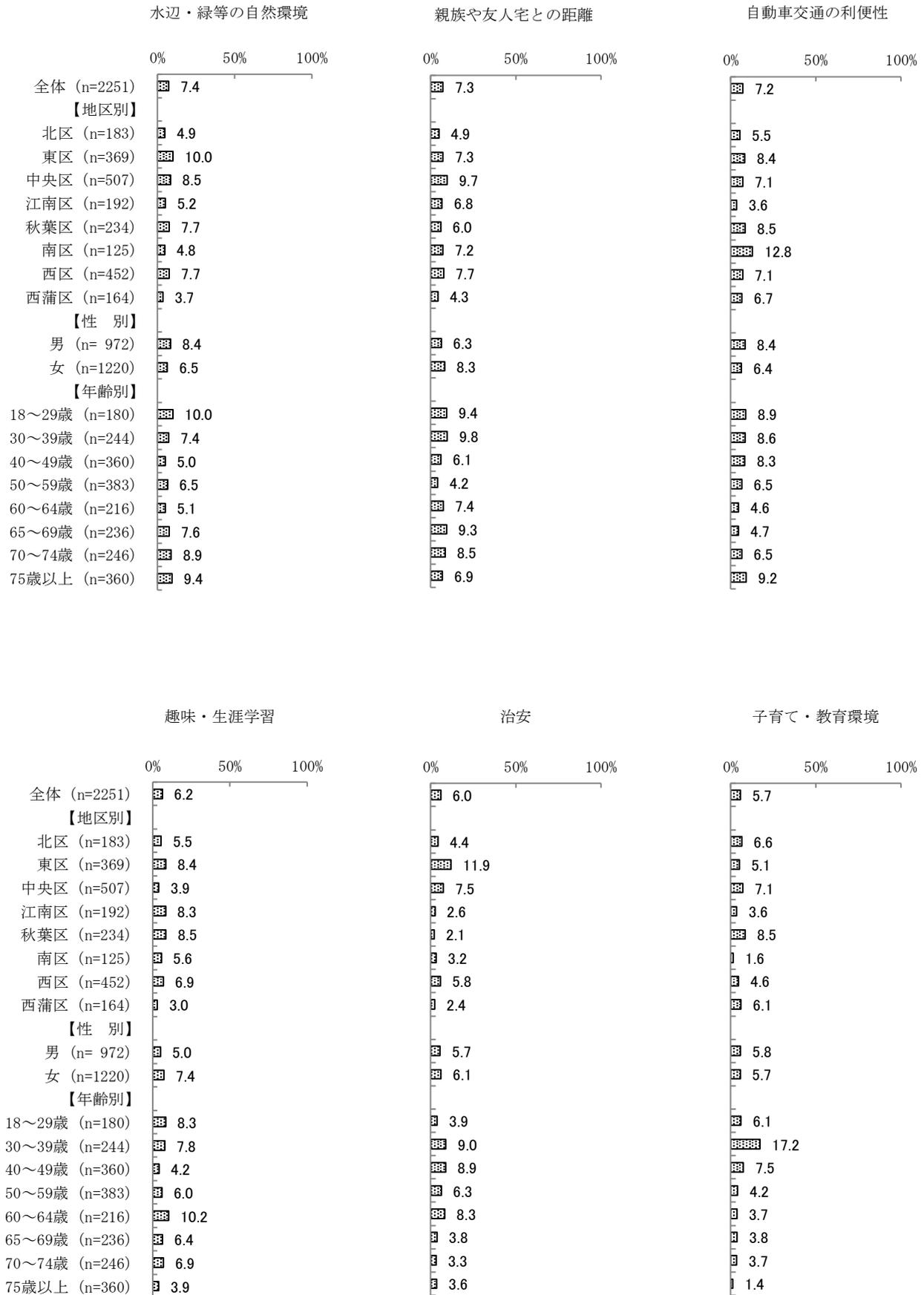
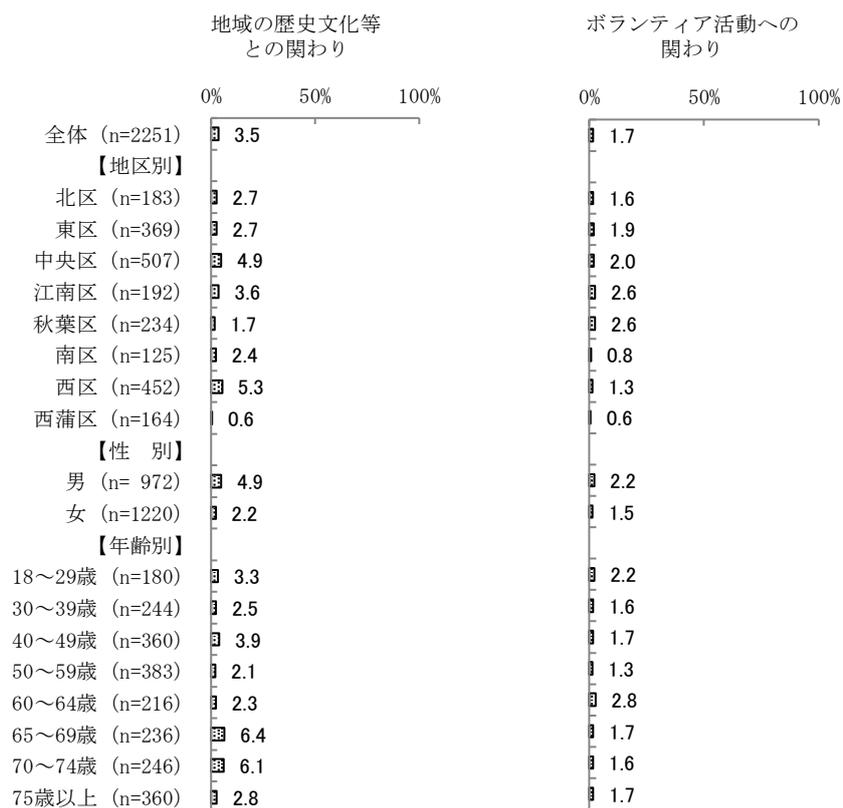


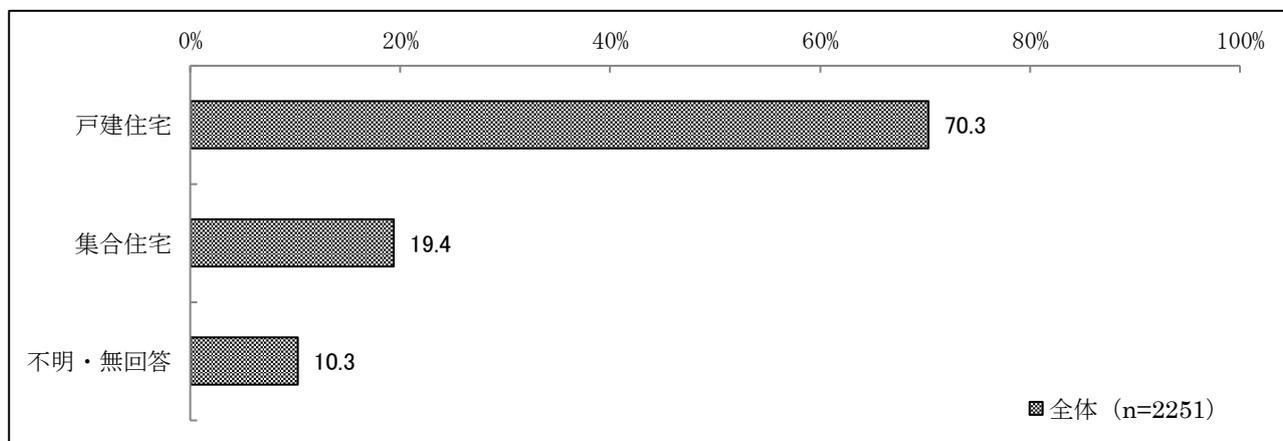
図 2-6 現在の住まいに“不満を感じている”項目（地区別/性別/年齢別） 4/4



(5) 住み替える際の希望

問7 あなたは、次に住み替える際にどのような住まいを希望しますか。
住み替える予定がない方でも、住み替えると仮定してお答えください。
下記の選択肢からそれぞれ番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

① 『戸建-集合』別



— 「戸建住宅」が7割以上 —

【全体結果】

「戸建住宅」(70.3%)が7割を超え、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-7-1参照)

① 地区別

「戸建住宅」は、中央区(60.0%)で割合が最も低くなった。中央区以外の地区では7割を超えた。

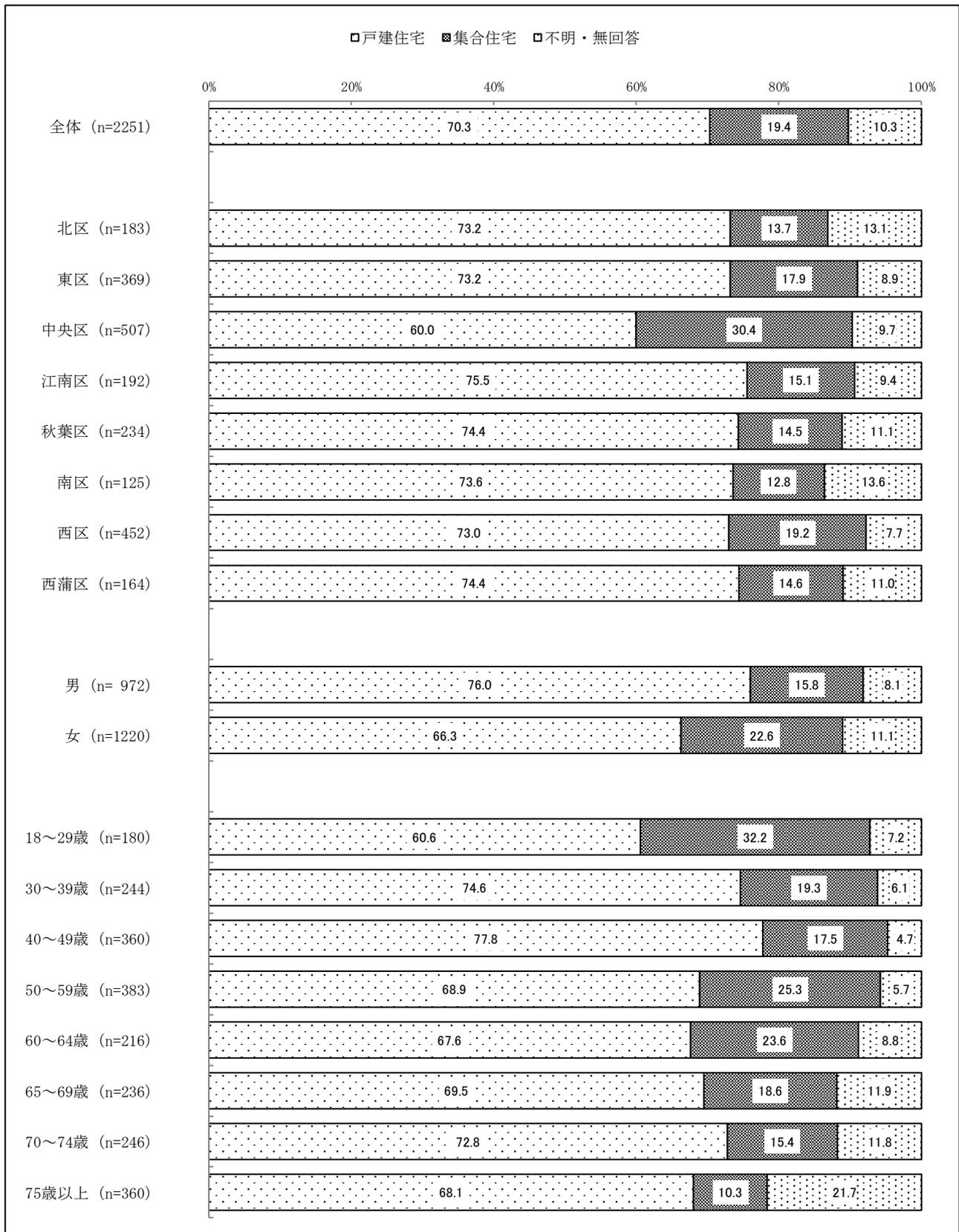
② 性別

「戸建住宅」は、女性(66.3%)と比較して男性(76.0%)の割合が高い。

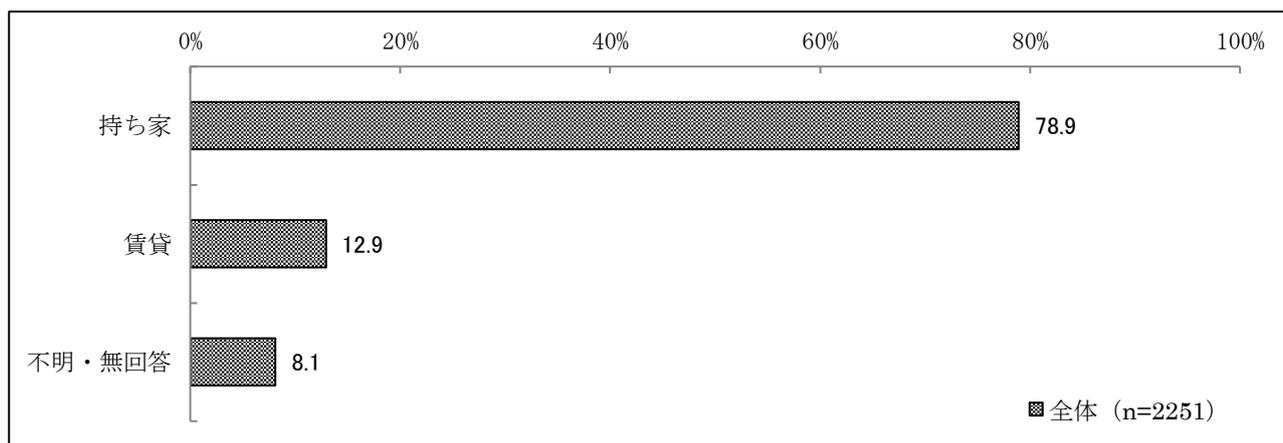
③ 年齢別

「戸建住宅」は、18~29歳(60.6%)で割合がやや低い。

図 2-7-1 住み替える際の希望 ①『戸建-集合』別（地区別/性別/年齢別）



② 『持ち家-賃貸』別



— 「持ち家」が約8割 —

【全体結果】

「持ち家」(78.9%) が約8割となり、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-7-2参照)

① 地区別

「持ち家」がいずれの地区でも約8割近くとなった。

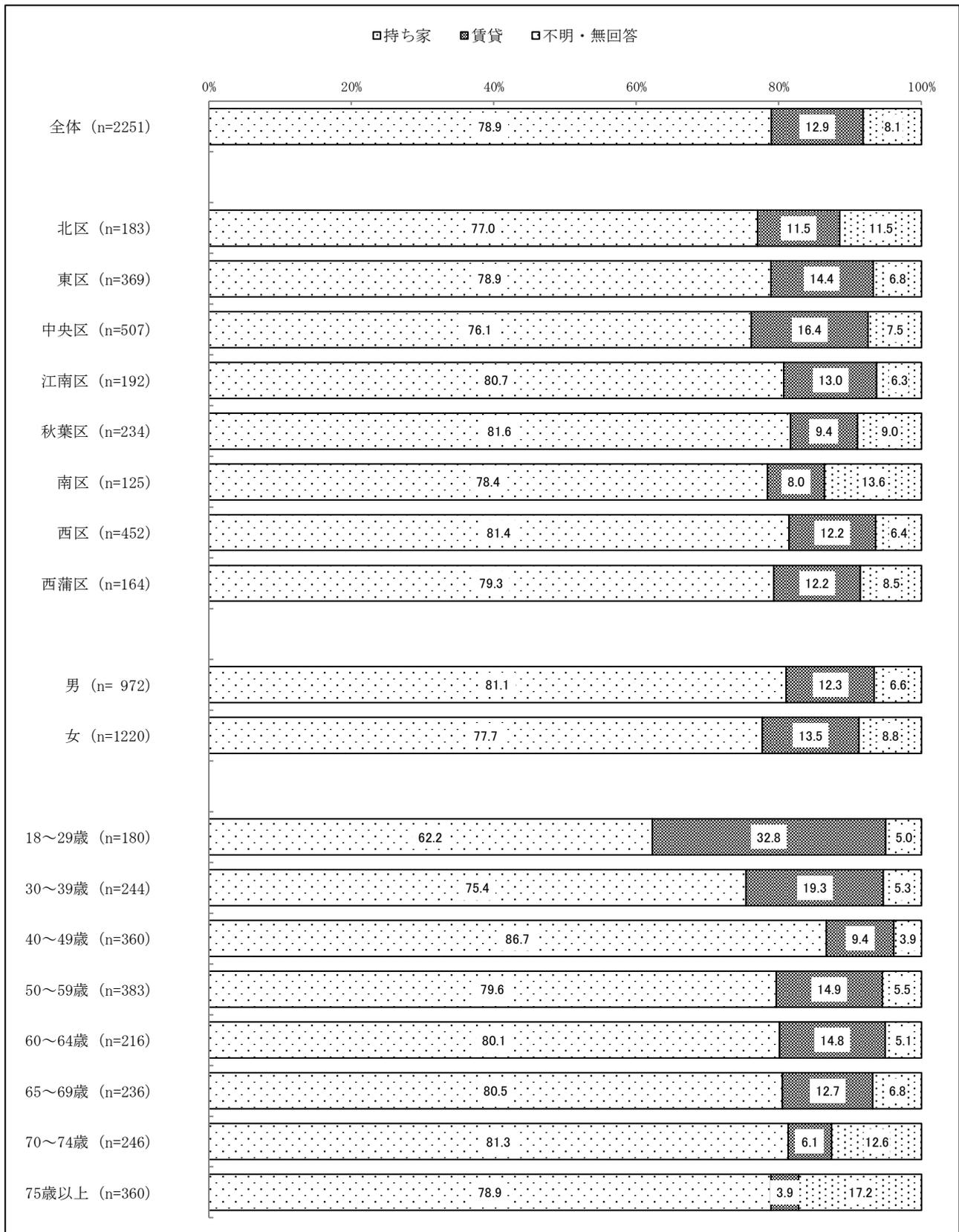
② 性別

「持ち家」は、女性(77.7%)と比較して男性(81.1%)の割合がやや高い。

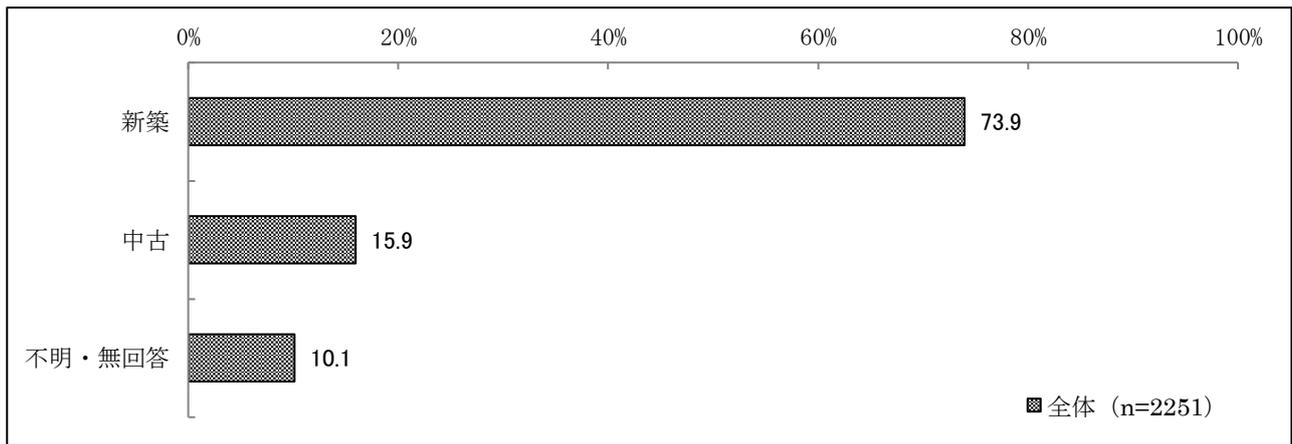
③ 年齢別

「持ち家」は、18~29歳(62.2%)で割合がやや低い。

図 2-7-2 住み替える際の希望 ②『持ち家-賃貸』別（地区別/性別/年齢別）



③ 『新築-中古』別



— 「新築」が7割以上 —

【全体結果】

「新築」(73.9%)が7割を超え、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-7-3参照)

① 地区別

「新築」がいずれの地区でも約7割近くとなった。

② 性別

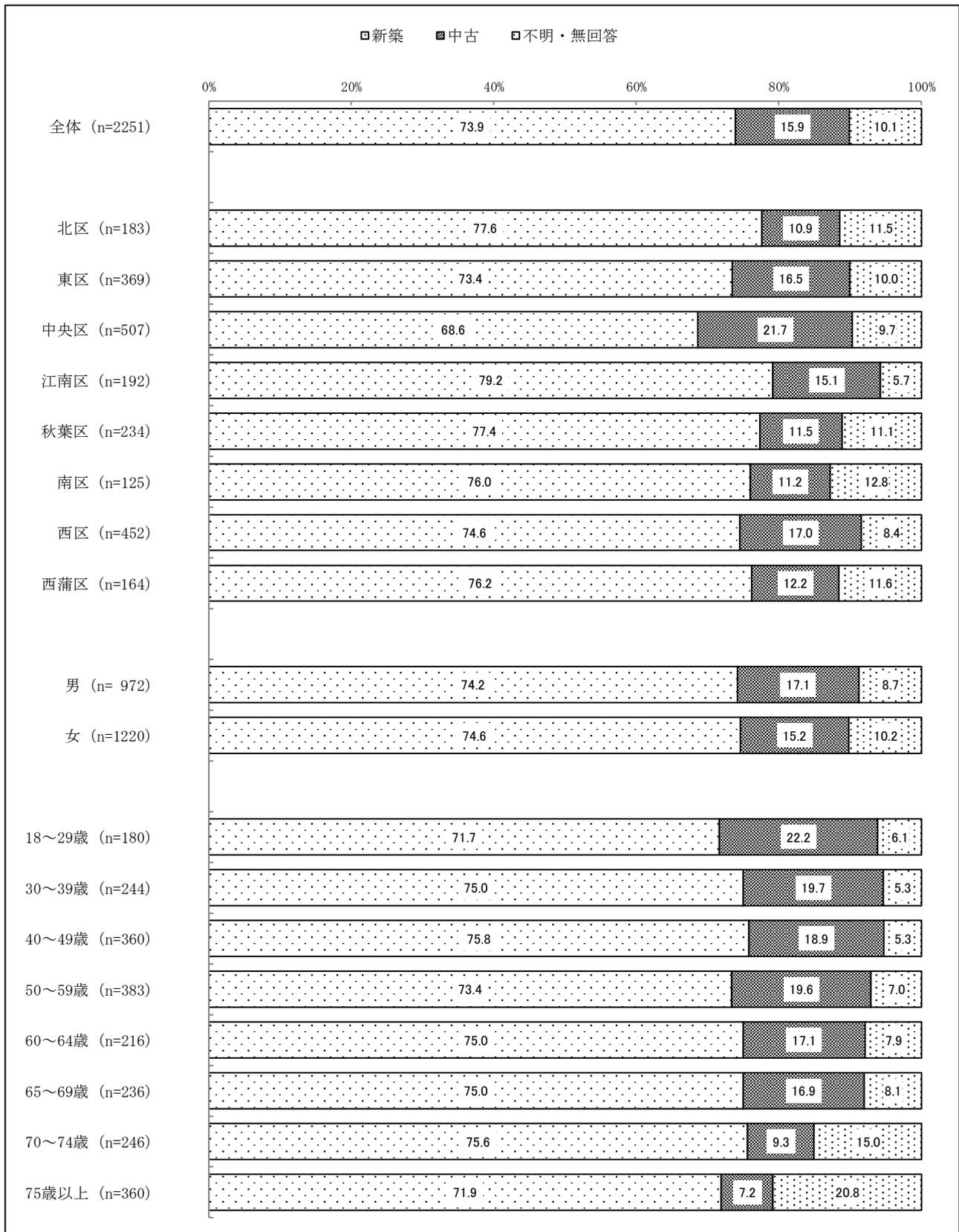
ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

「新築」がいずれの年代でも7割を超えた。

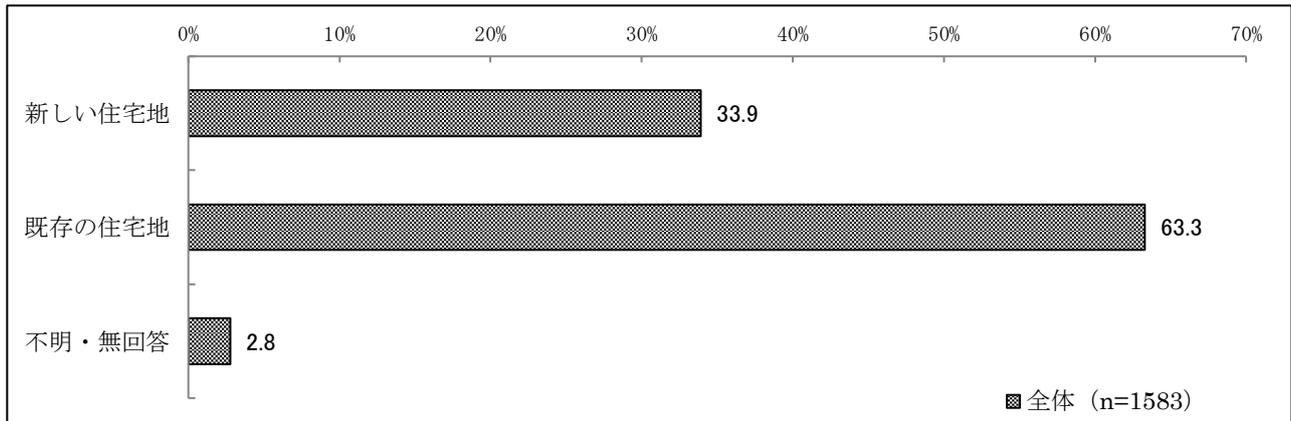
70歳以上で「中古」の割合が1割に満たなかった。

図 2-7-3 住み替える際の希望 ③『新築-中古』別（地区別/性別/年齢別）



④ 住宅地について

問7上記で、「1. 戸建住宅」を選択した場合のみ番号を1つ選んで○をつけてください。



— 戸建住宅のうち「既存の住宅地」が約6割 —

【全体結果】

「既存の住宅地」(63.3%) が約6割となった。

【属性別結果】(次ページ図2-8参照)

① 地区別

「既存の住宅地」の割合は、南区(48.9%)、秋葉区(55.7%)で低く、他地区では6割を超えた。

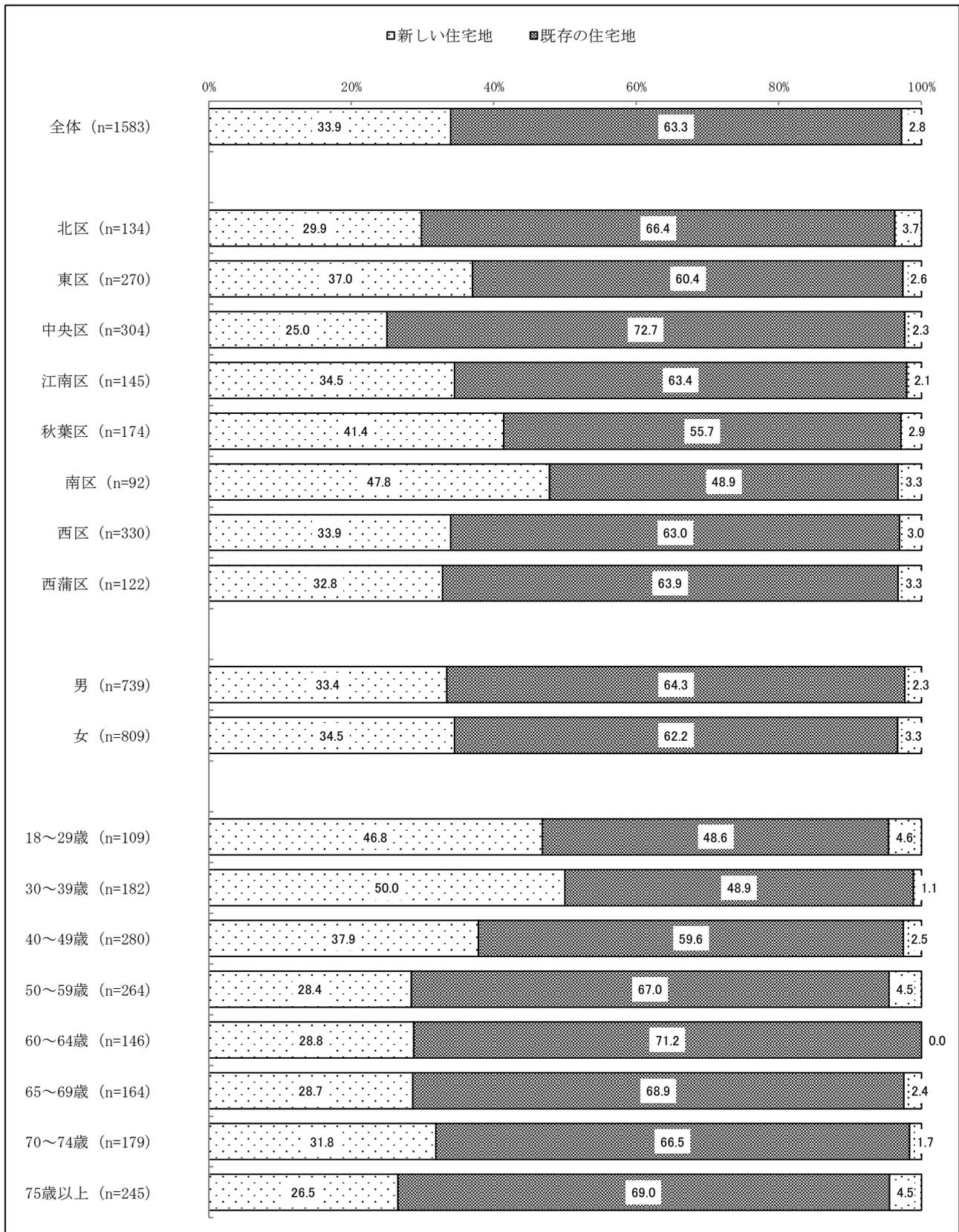
② 性別

ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

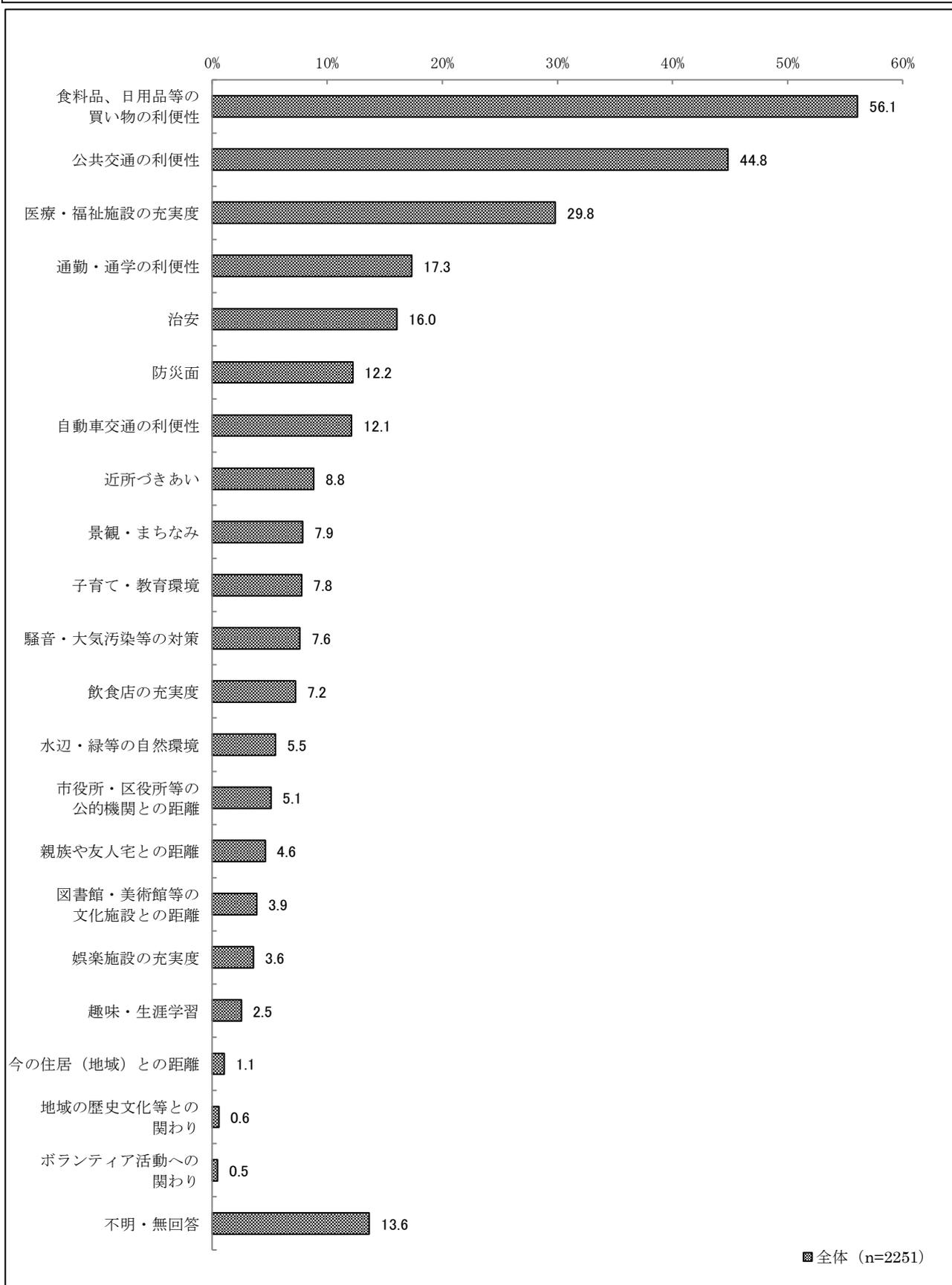
「新しい住宅地」の割合は、18～29歳(46.8%)、30～39歳(50.0%)の若年層で高い。

図 2-8 住み替える際の希望 ④住宅地について（地区別/性別/年齢別）



(6) 居住地を選ぶ際に重視したい項目

問7 また、居住地を選ぶ際に重視したい項目は何ですか。問6の選択肢から3つまで選んで、下の回答欄に番号（1～21）をご記入ください。



— 「食料品、日用品等の買い物の利便性」が5割強 —

【全体結果】

居住地を選ぶ際に重視したい項目は、「食料品、日用品等の買い物の利便性」(56.1%)の割合が最も高く、5割を超えた。次いで、「公共交通の利便性」(44.8%)が4割を超えた。次に「医療・福祉施設の充実度」(29.8%)、「通勤・通学の利便性」(17.3%)、治安(16.0%)の順となった。

【属性別結果】(次ページ図2-9参照)

① 地区別

「食料品、日用品等の買い物の利便性」については、南区(45.6%)以外の地区では5割を超え、割合が最も高い。「公共交通の利便性」は、南区(55.2%)と江南区(53.1%)で割合が高く、5割を超えた。

② 性別

「食料品、日用品等の買い物の利便性」は男性(50.0%)と比較して女性(62.0%)の割合が高い。

③ 年齢別

「医療・福祉施設の充実度」の割合については、50歳以上で割合が高く、3割を超えた。「通勤・通学の利便性」の割合については、39歳以下で割合が高く、3割を超えた。

39歳以下で不満を感じる割合が高かった「飲食店の充実度」、「娯楽施設の充実度」の割合は、重視したい項目としても、40歳以上と比較して割合が高くなっている。特に「娯楽施設の充実度」は、18～29歳で割合が高く、他の年齢と比較して割合の差が大きい。

図 2-9 居住地を選ぶ際に重視したい項目（地区別/性別/年齢別） 2/4

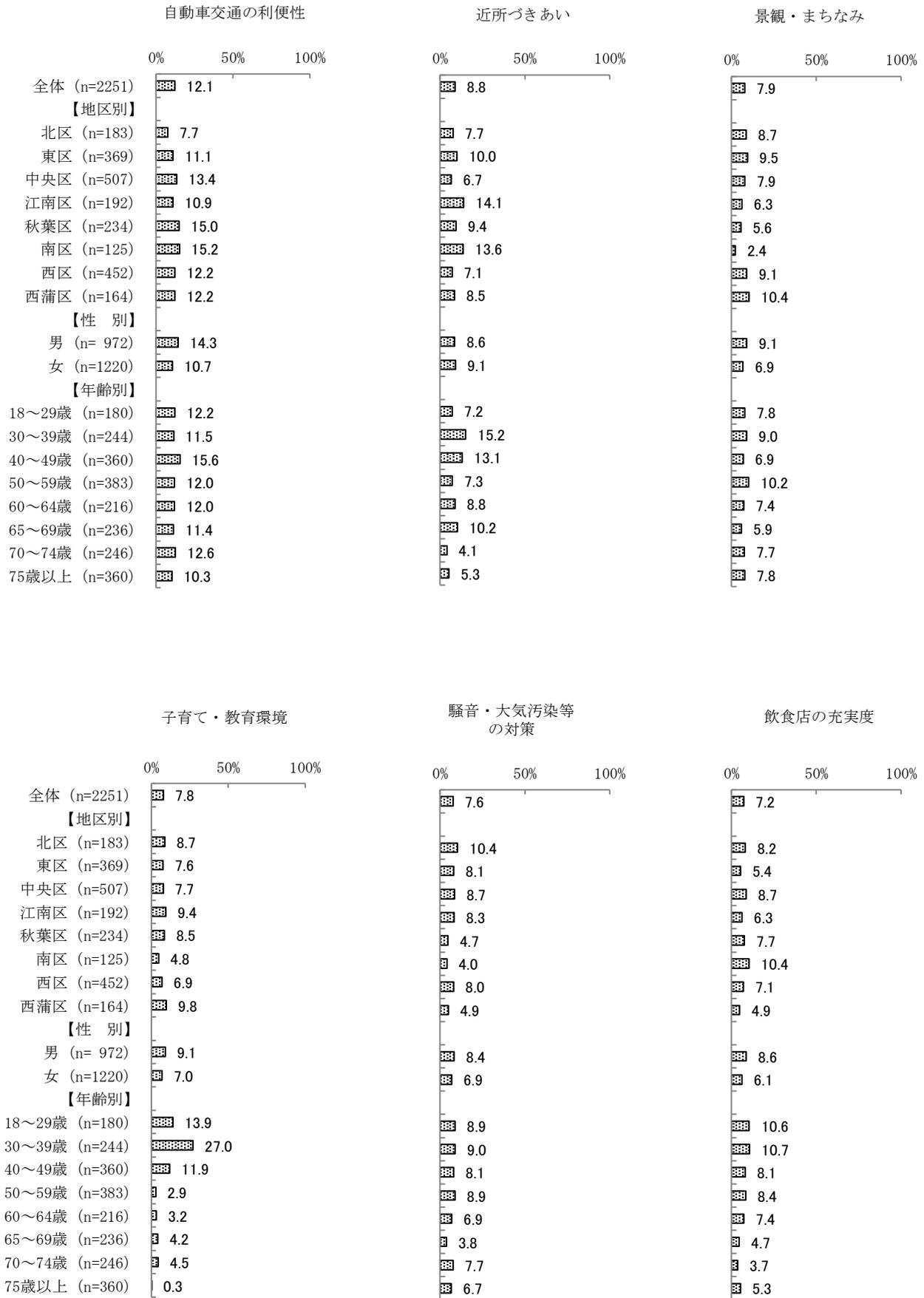


図 2-9 居住地を選ぶ際に重視したい項目（地区別/性別/年齢別） 3/4

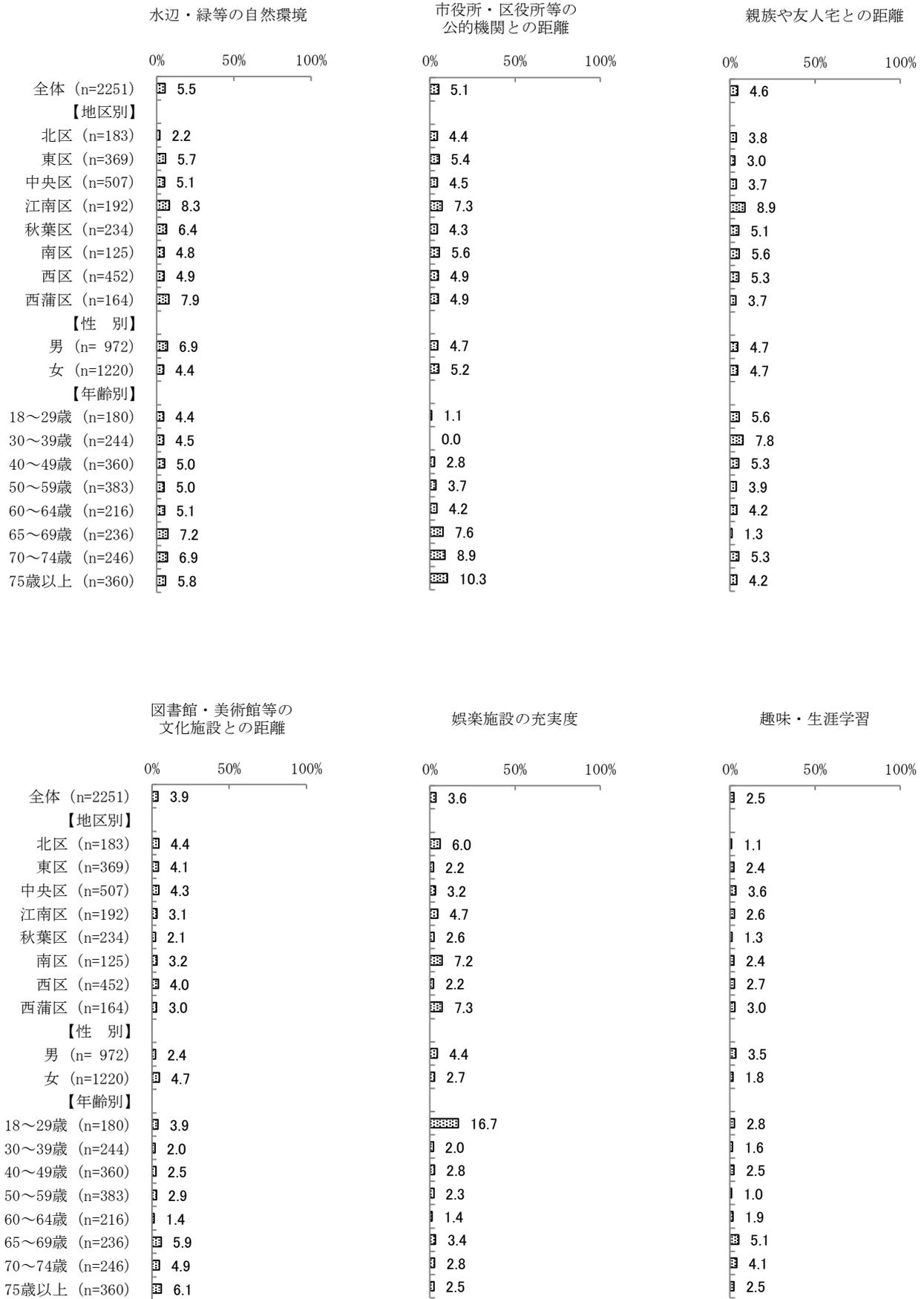
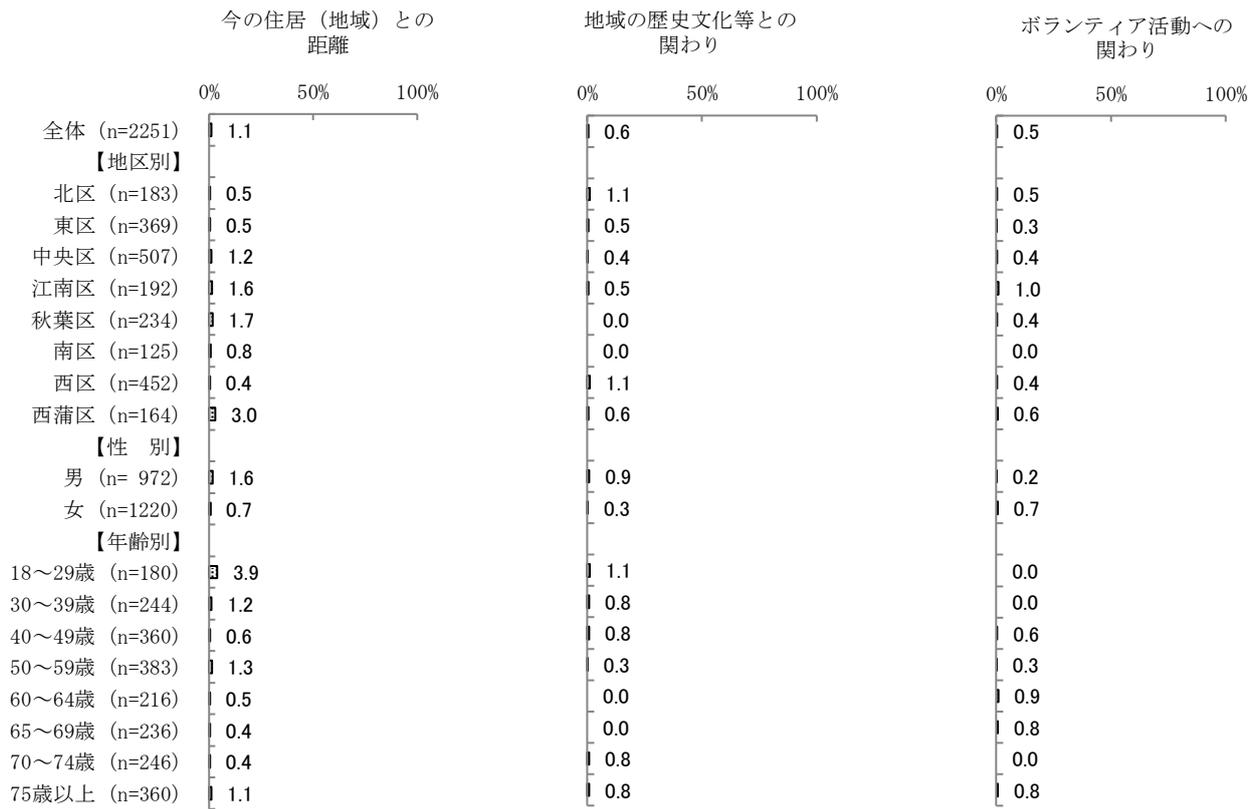


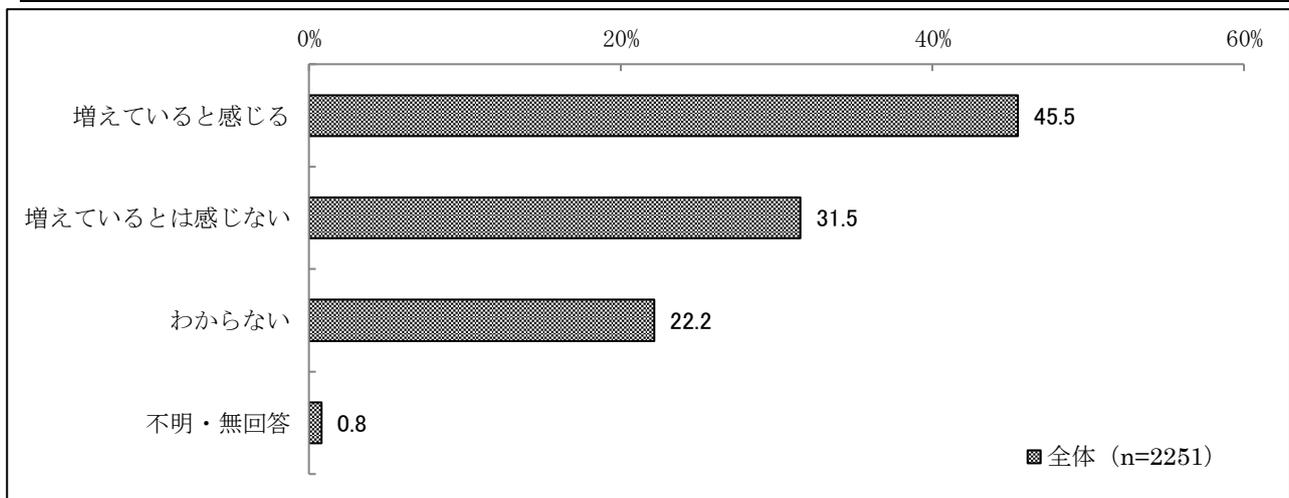
図 2-9 居住地を選ぶ際に重視したい項目（地区別/性別/年齢別） 4/4



3. 空き家について

(1) 地域での空き家について

問8 あなたがお住まいの地域で、空き家が増えていると感じますか。
該当するもの1つに○をつけてください。(○は1つだけ)



— 「増えていると感じる」が4割以上 —

【全体結果】

「増えていると感じる」(45.5%)が4割を超え、割合が最も高い。「増えているとは感じない」(31.5%)は、約3割であった。

【属性別結果】(次ページ図3-1参照)

① 地区別

「増えていると感じる」は、西蒲区(54.3%)で割合が最も高く、次いで、秋葉区(52.1%)、南区(52.0%)、北区(51.9%)と続き、5割を超えている。東区(36.6%)で割合が最も低く、次いで江南区(38.5%)が低い。

② 性別

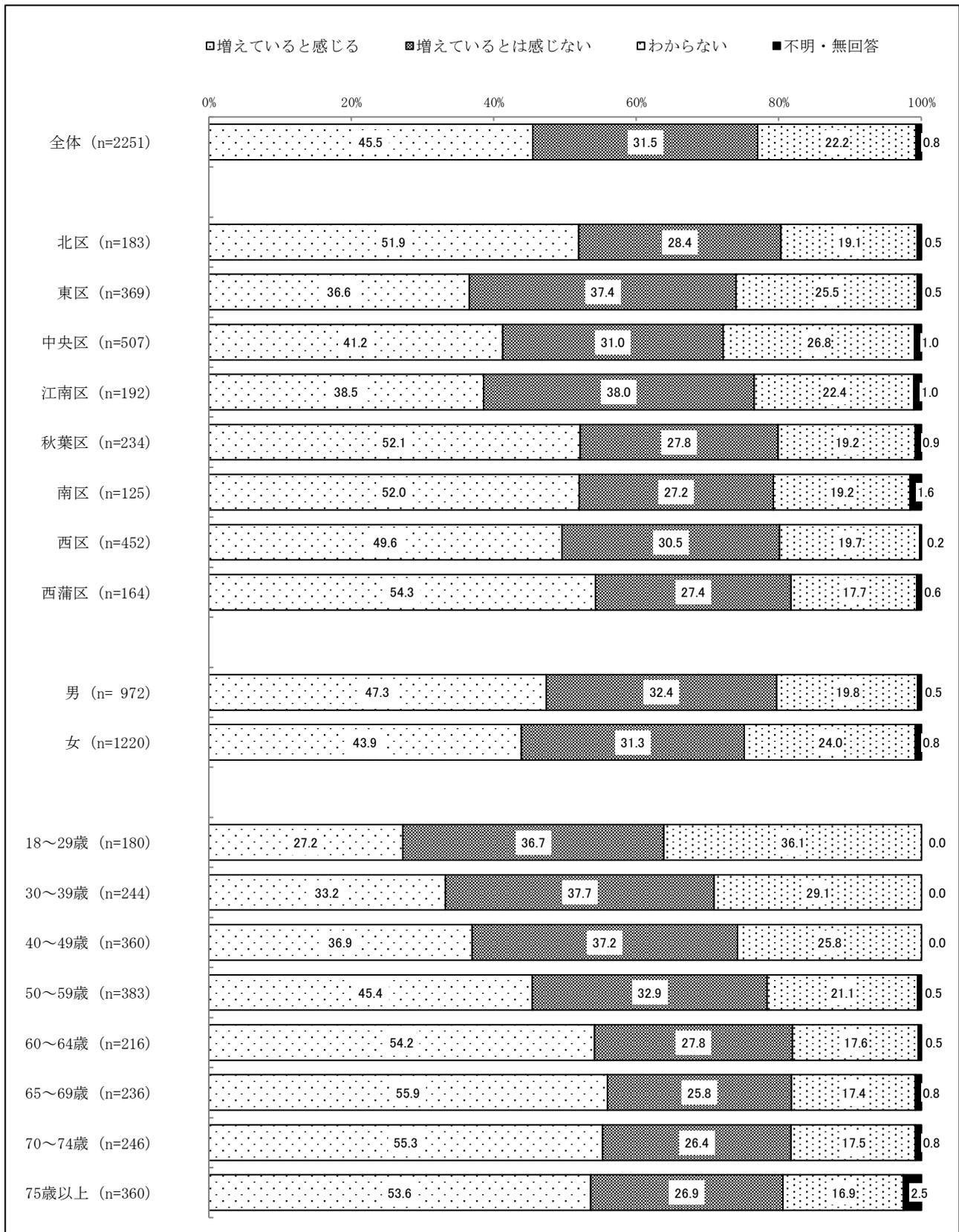
女性(43.9%)と比較して男性(47.3%)は「増えていると感じる」と回答した割合が若干高い。

③ 年齢別

「増えていると感じる」は、60歳以上で割合が高く、5割を超えた。50歳未満では「増えていると感じない」の割合が「増えていると感じる」の割合を上回った。「増えていると感じる」の割合は、高齢になるほど増す傾向がみられる。

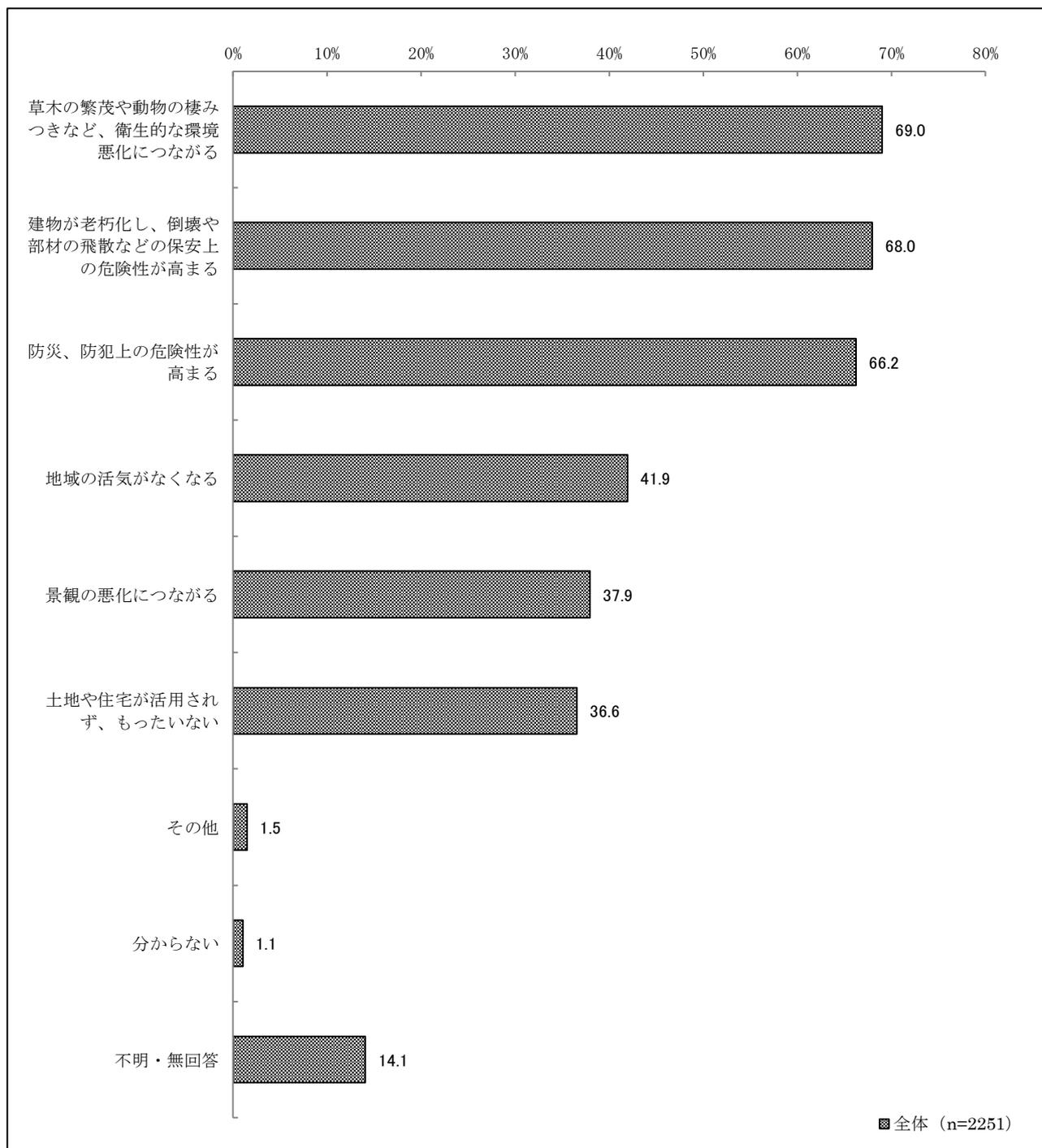
18～29歳では「わからない」(36.1%)の割合が高い。

図 3-1 地域で空き家が増えていると感じるか（地区別/性別/年齢別）



(2) 空き家が増えることによる問題

問9 あなたは、地域に空き家が増えることによって、どのような問題が起こると思いますか。それぞれの項目で該当するもの全てに○をつけてください。また、該当する項目のうち重大な問題と思われる順に1位から3位まで番号でお答えください。(○はいくつでも)



— 空き家が増えることによって起こる問題は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、「防災、防犯上の危険性が高まる」 —

【全体結果】

空き家が増えることによって起こる問題は、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(69.0%)の割合が最も高く、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」(68.0%)、「防災、防犯上の危険性が高まる」(66.2%)となった。

【属性別結果】(次ページ図3-2参照)

① 地区別

「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」については、秋葉区(74.8%)で割合が最も高く、次いで、北区(72.7%)、西区(72.3%)で7割を超えている。

「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」については、西蒲区(73.8%)、秋葉区(73.5%)、南区(72.8%)で割合が高く、7割を超えた。

「防災、防犯上の危険性が高まる」については、東区(68.8%)で割合が最も高く、いずれの地区でも6割を超えた。

② 性別

「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、「防災、防犯上の危険性が高まる」は、男性(各65.0%、66.0%、63.5%)と比較して女性(各72.2%、70.1%、69.3%)の割合がやや高い。

③ 年齢別

18～29歳は、ほかの年齢と比較して、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(55.0%)、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」(60.6%)、「防災、防犯上の危険性が高まる」(58.3%)の割合が低く、「土地や住宅が活用されず、もったいない」(45.0%)の割合が高い。

図 3-2 空き家が増えることによる問題（地区別/性別/年齢別） 1/2

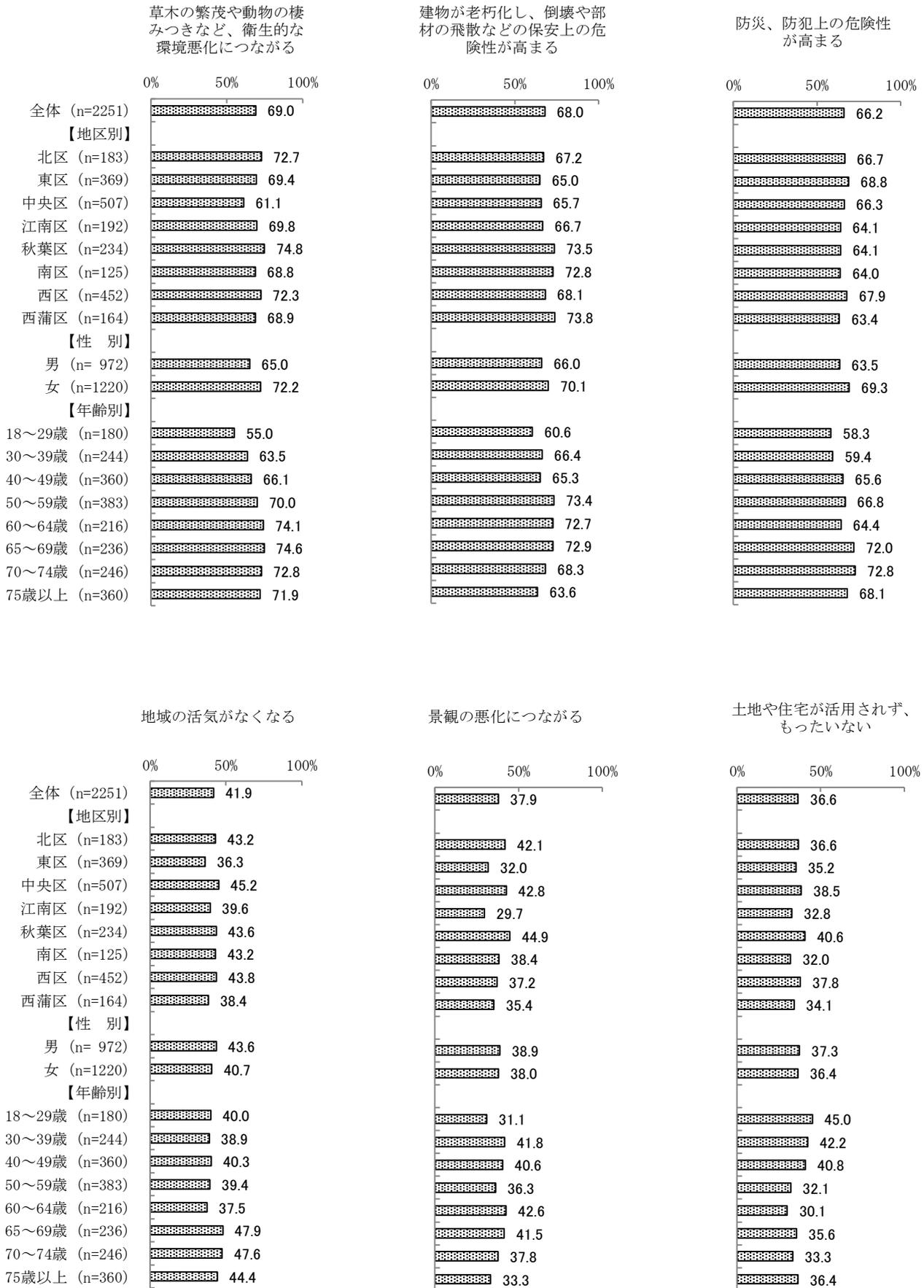
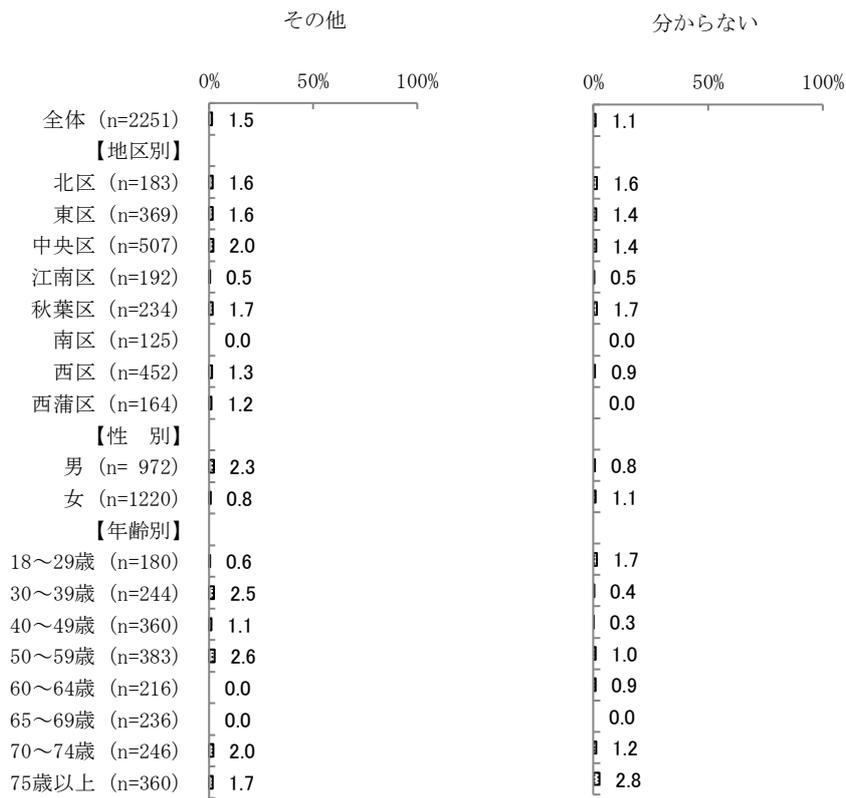
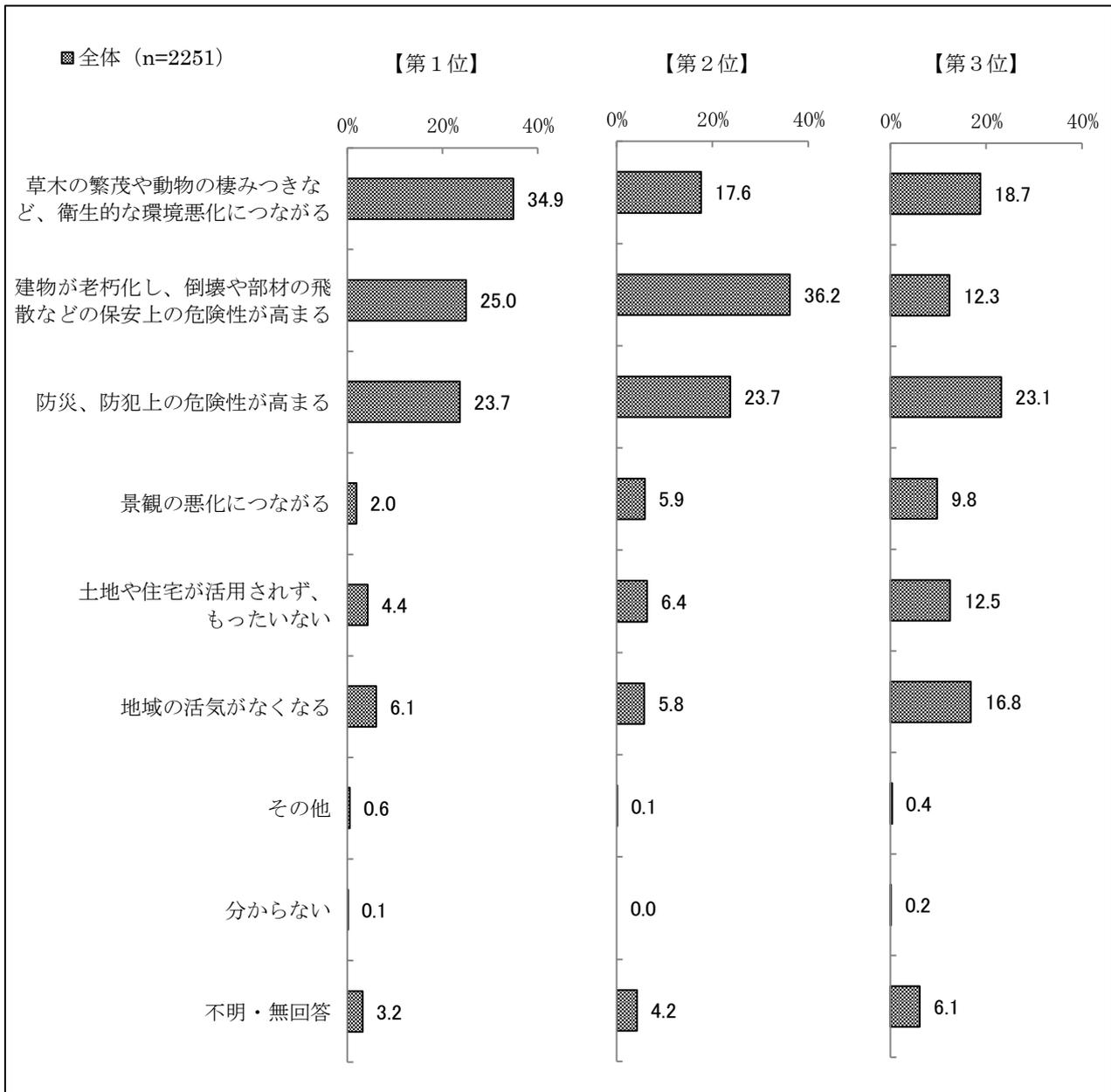


図 3-2 空き家が増えることによる問題（地区別/性別/年齢別） 2/2



問9 上記のうち重大な問題と思われる順に1位から3位まで番号でお答えください。



— 空き家が増えることによる重大な問題は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」と「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」 —

【全体結果】

【第1位】の割合は、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(34.9%)で最も高い。次いで「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」(25.0%)、「防災、防犯上の危険性が高まる」(23.7%)の順に続く。

【第2位】の割合は、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」(36.2%)で最も高い。次いで「防災、防犯上の危険性が高まる」(23.7%)、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(17.6%)の順に続く。

【第3位】の割合は、「防災、防犯上の危険性が高まる」(23.1%)で最も高い。次いで「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(18.7%)、「地域の活気がなくなる」(16.8%)の順に続く。

【平均得点算出結果】

※算出方法

【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、平均得点を算出した結果を85ページに掲載した。(P85の図3-3参照)

算出例を以下に掲載した。

※1：平均得点（ポイント）の算出式

$$\left(\left[\text{第1位回答} \right] \times 3 + \left[\text{第2位回答} \right] \times 2 + \left[\text{第3位回答} \right] \times 1 \right) \div n \text{ 数}$$

※2：平均得点の算出例（全体結果、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」の場合）

$$(786 \times 3 + 396 \times 2 + 422 \times 1) \div 2,251 \div 1.59 \Rightarrow \text{平均得点} = 1.59 \text{ ポイント}$$

【平均得点（ポイント）】をみると、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」が1.60ポイントで最も高い。

以下、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」が1.59ポイント、「防災、防犯上の危険性が高まる」が1.42ポイント、「地域の活気がなくなる」が0.47ポイントで続いている。

【属性別結果】(P86 からの表 3-1 参照)

① 地区別

北区、秋葉区、南区、西区では、第1位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、第2位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、第3位は「防災、防犯上の危険性が高まる」となった。

江南区、西蒲区では、第1位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、第2位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、第3位は「防災、防犯上の危険性が高まる」となった。

東区では、第1位は「防災、防犯上の危険性が高まる」、第2位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、第3位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」となった。

② 性別

男女ともに、第1位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、第2位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、第3位は「防災、防犯上の危険性が高まる」となった。

③ 年齢別

70歳未満では、第1位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」となった。一方、70歳以上では、第1位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」となった。

第2位は18～29歳、75歳以上では「防災、防犯上の危険性が高まる」となり、70～74歳では「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、それ以外では「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」となった。

図 3-3 空き家が増えることによる重大な問題<平均得点 (ポイント)> (全体)

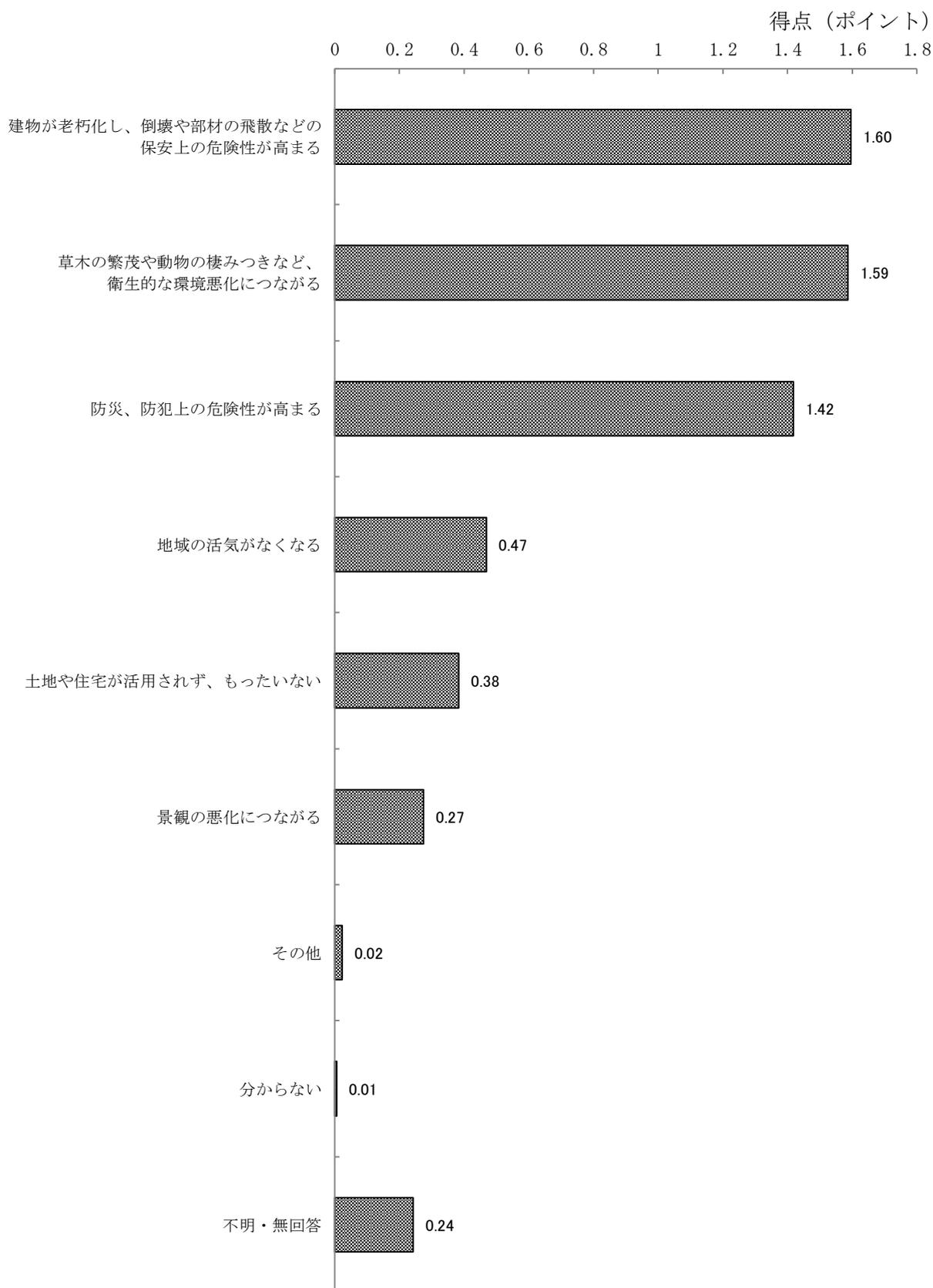


表 3-1 空き家が増えることによる重大な問題

<地区別の上位5つ>

	北区	東区	中央区	江南区
1位	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.68ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.59ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.57ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.74ポイント
2位	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.56ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.58ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.47ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.66ポイント
3位	防災、防犯上の危険性が高まる 1.34ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.53ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.34ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.37ポイント
4位	地域の活気がなくなる 0.43ポイント	地域の活気がなくなる 0.43ポイント	地域の活気がなくなる 0.56ポイント	地域の活気がなくなる 0.45ポイント
5位	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.40ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.38ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.42ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.35ポイント

	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.68ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.84ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.66ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.82ポイント
2位	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.25ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.65ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.53ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.68ポイント
3位	防災、防犯上の危険性が高まる 0.70ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.18ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.47ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.29ポイント
4位	地域の活気がなくなる 0.44ポイント	地域の活気がなくなる 0.45ポイント	地域の活気がなくなる 0.44ポイント	地域の活気がなくなる 0.50ポイント
5位	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.35ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.32ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.43ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.28ポイント

＜性別、年齢別平均得点の上位5つ＞

	男 性	女 性	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.54ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.66ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.38ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.69ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.64ポイント
2位	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.54ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.63ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.31ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.52ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.56ポイント
3位	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.36ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.48ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.30ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.27ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.49ポイント
4位	地域の活気がなくなる 0.54ポイント	地域の活気がなくなる 0.41ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.78ポイント	地域の活気がなくなる 0.53ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.45ポイント
5位	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.40ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.37ポイント	地域の活気がなくなる 0.54ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.48ポイント	地域の活気がなくなる 0.31ポイント

	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳以上	75 歳以上
1位	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.69ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.82ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.70ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.72ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.58ポイント
2位	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.60ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.74ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.67ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.51ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.50ポイント
3位	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.47ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.34ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.42ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.41ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.35ポイント
4位	地域の活気がなくなる 0.47ポイント	地域の活気がなくなる 0.40ポイント	地域の活気がなくなる 0.53ポイント	地域の活気がなくなる 0.53ポイント	地域の活気がなくなる 0.42ポイント
5位	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.33ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.27ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.33ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.33ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.29ポイント

図 3-4-1 空き家が増えることによる重大な問題 第 1 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

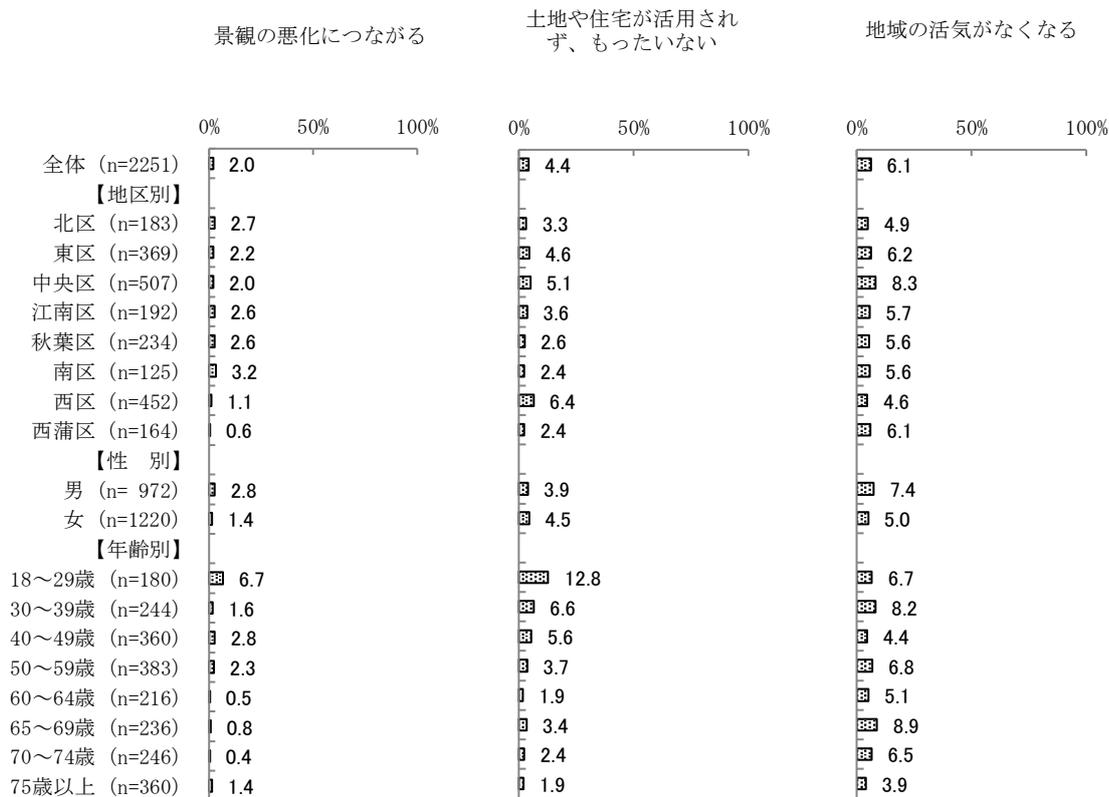
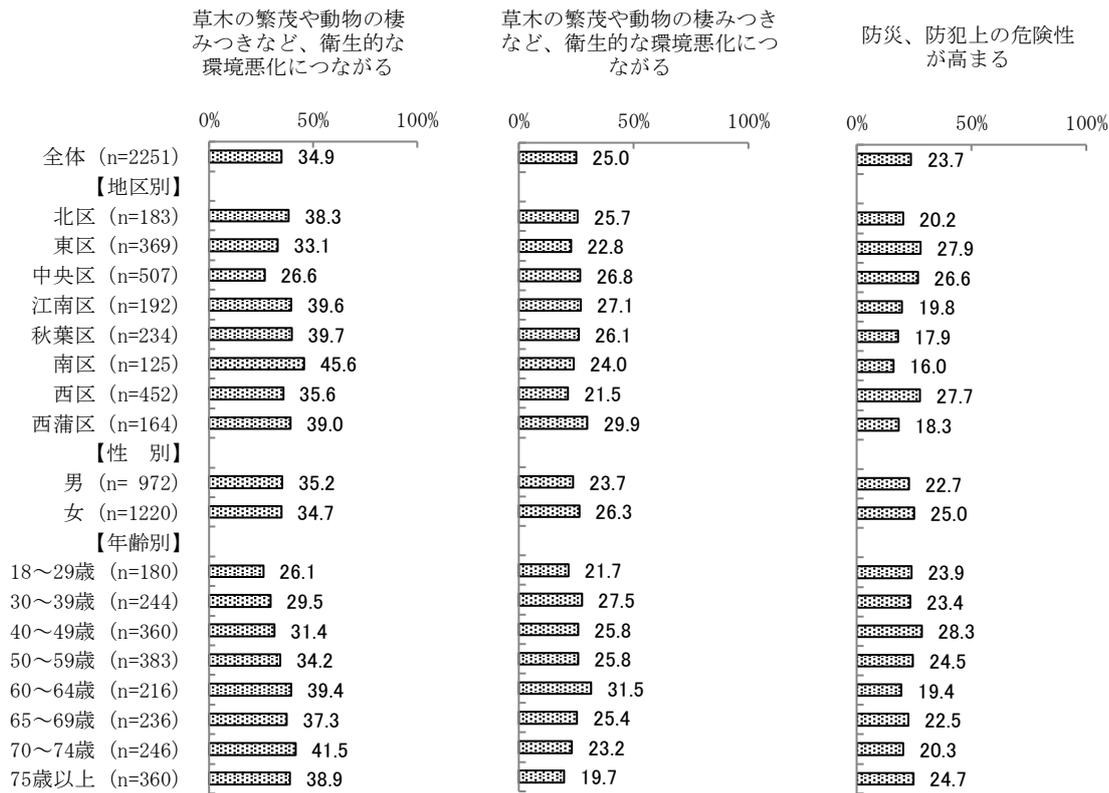


図 3-4-1 空き家が増えることによる重大な問題 第1位（地区別/性別/年齢別） 2/2

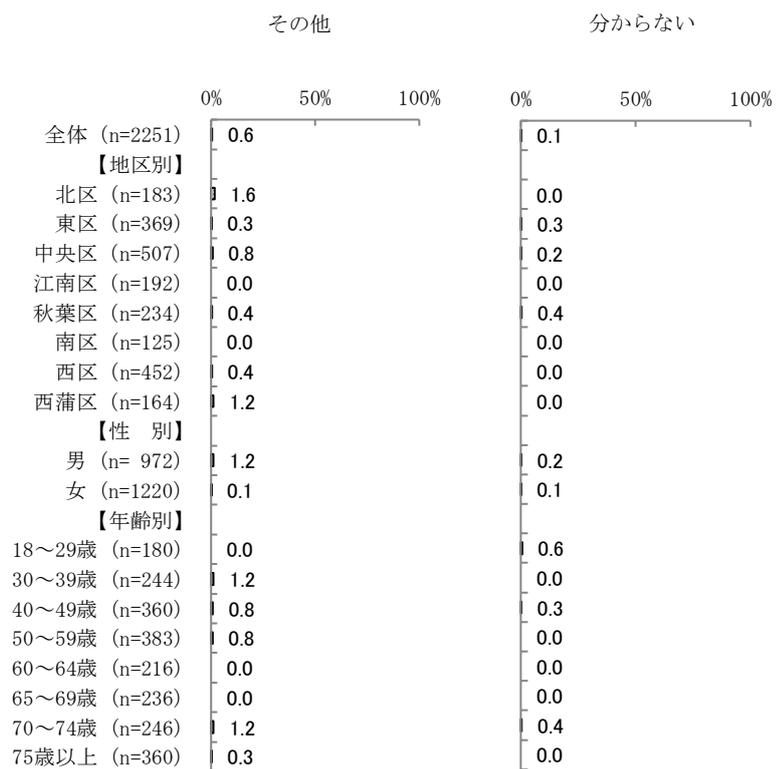


図 3-4-2 空き家が増えることによる重大な問題 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

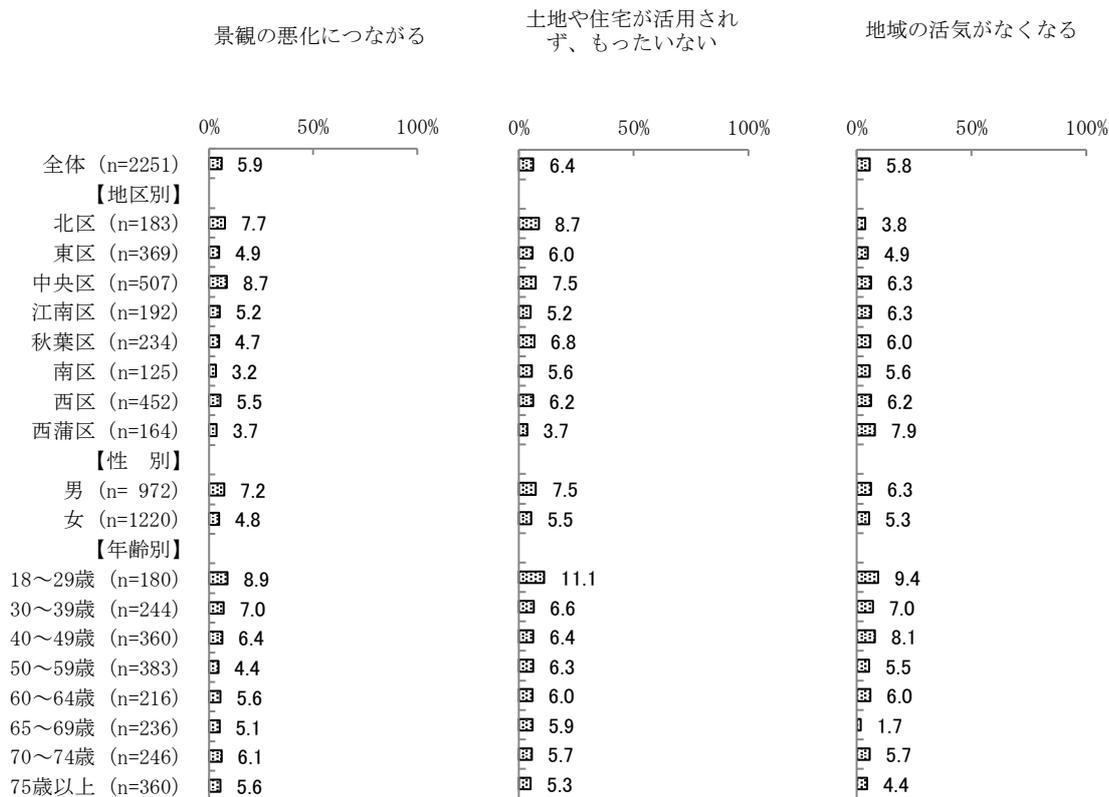
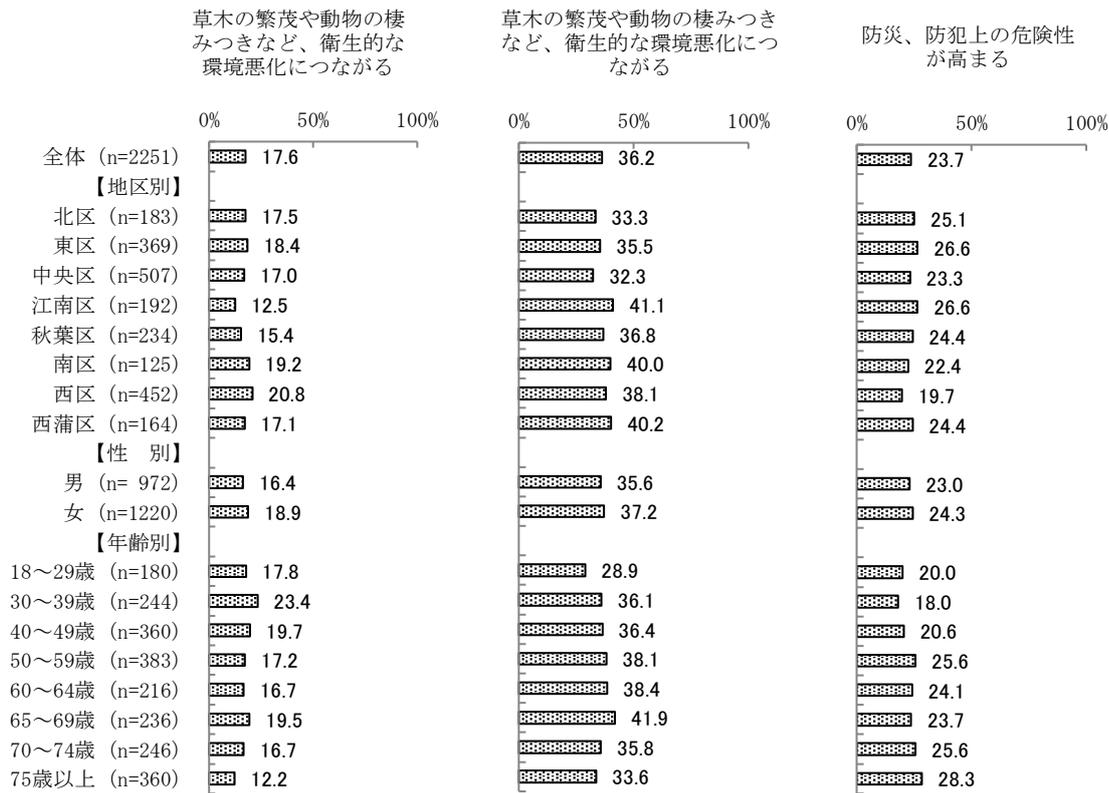


図 3-4-2 空き家が増えることによる重大な問題 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 2/2

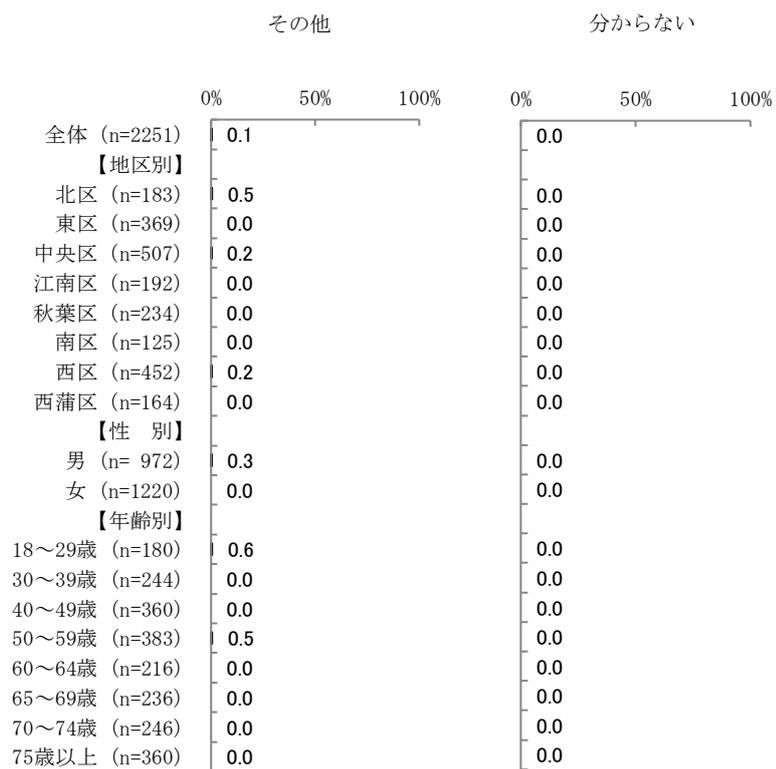


図 3-4-3 空き家が増えることによる重大な問題 第 3 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

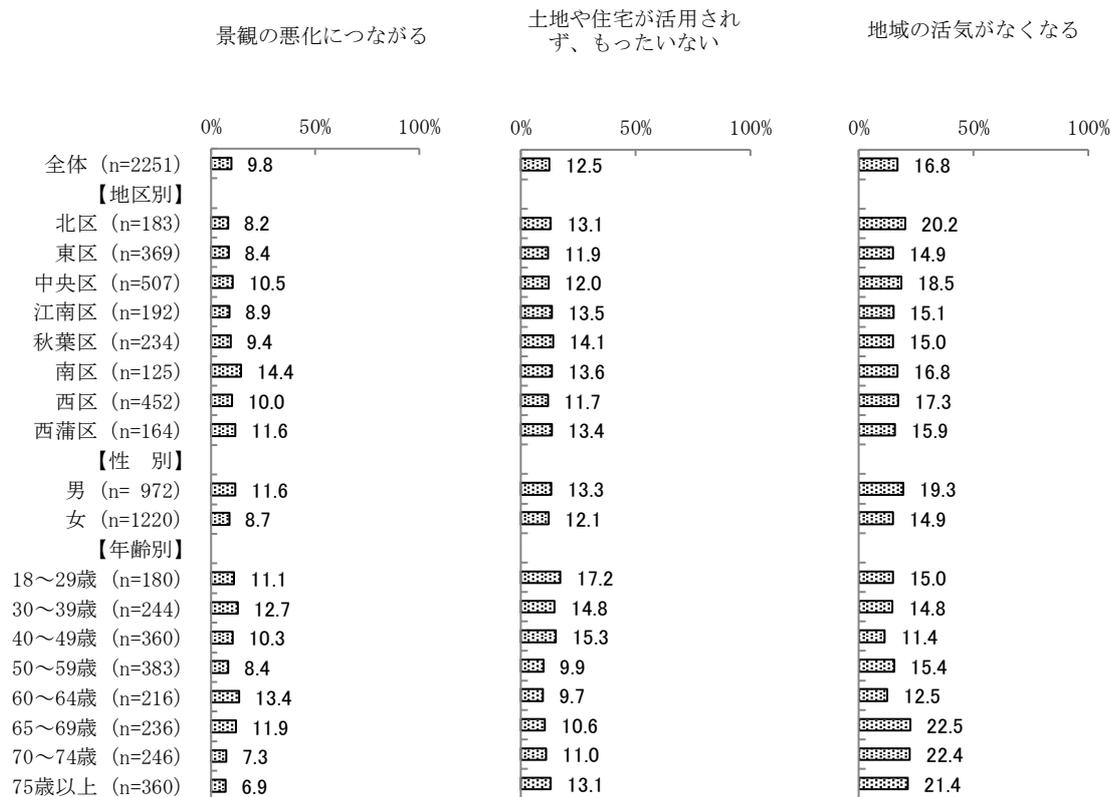
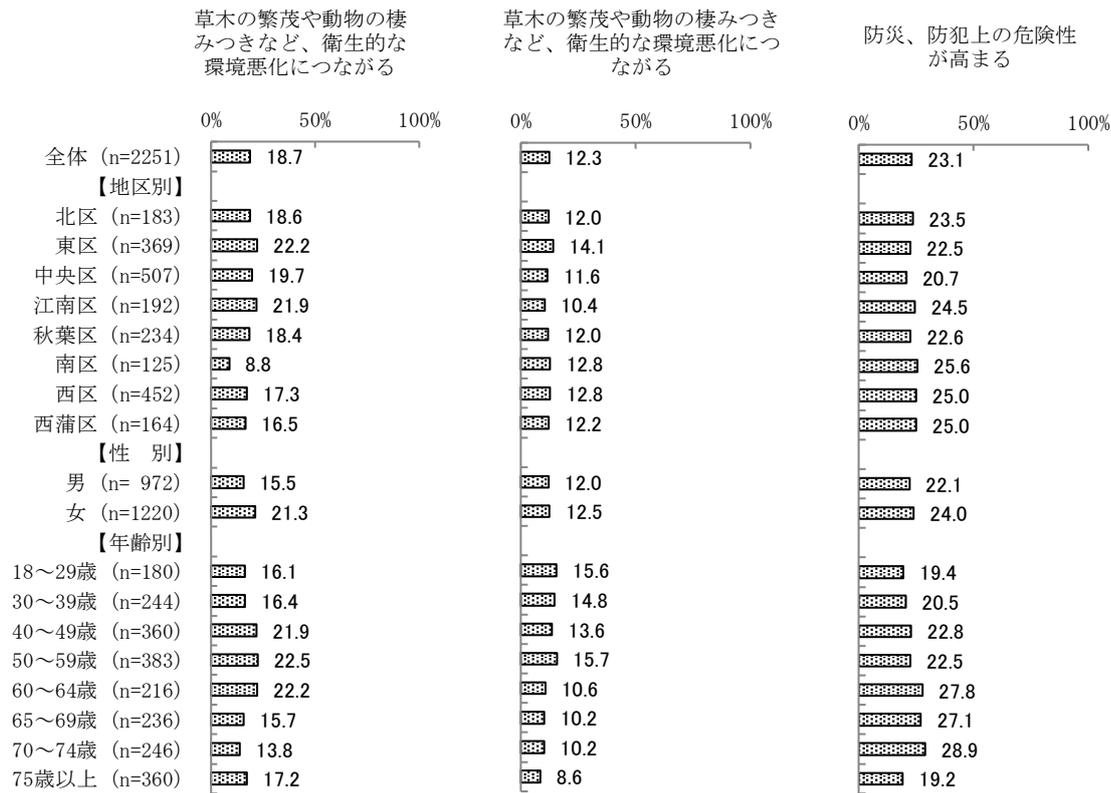
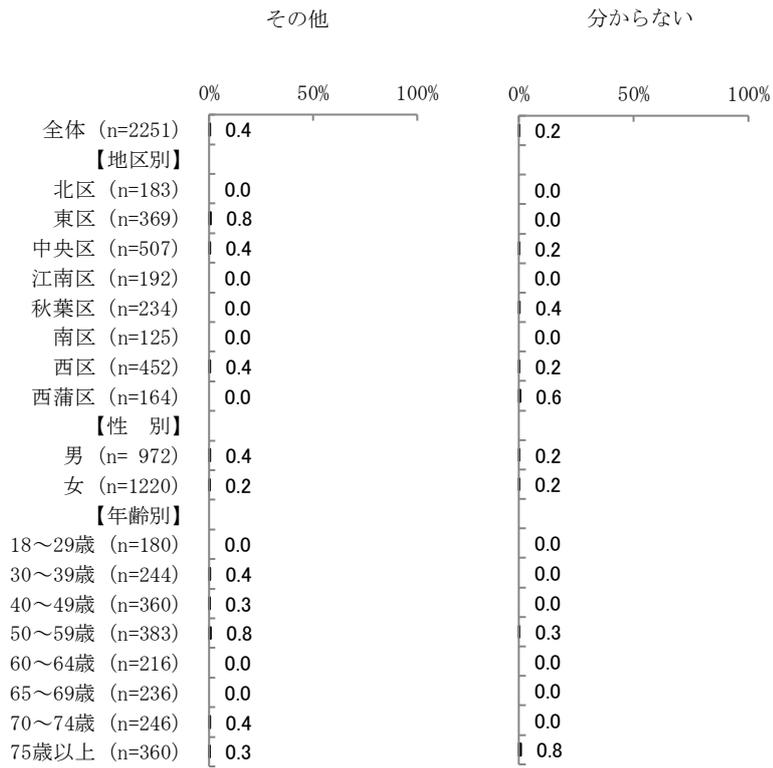
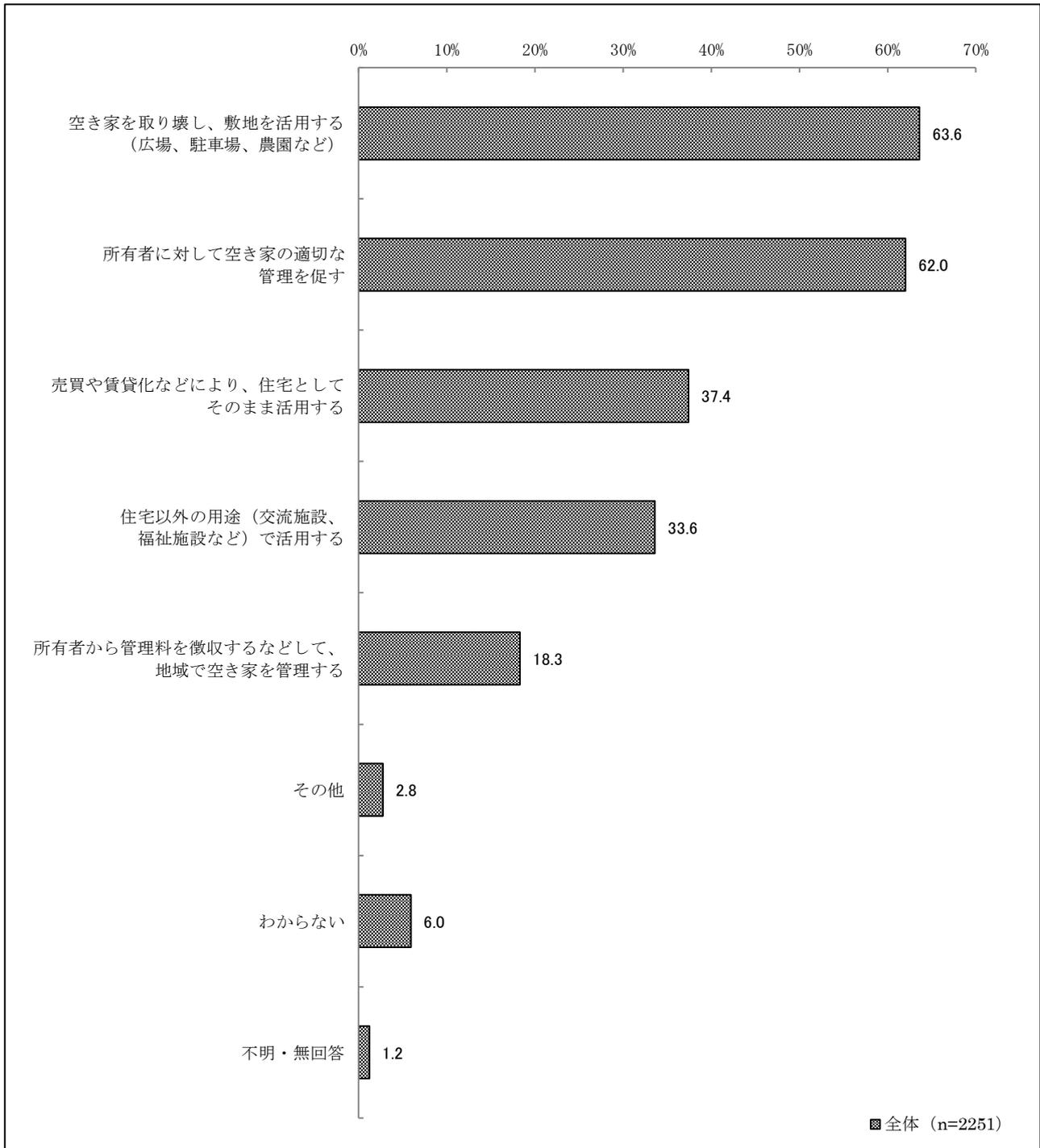


図 3-4-3 空き家が増えることによる重大な問題 第3位（地区別/性別/年齢別） 2/2



(3) 空き家の今後の活用方法

問10 あなたは、地域の空き家を今後どうしていきべきだと思いますか。
該当するもの全てに○をつけてください。(○はいくつでも)



— 「空き家を取り壊し、敷地を活用する」と「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」が6割以上 —

【全体結果】

「空き家を取り壊し、敷地を活用する（広場、駐車場、農園など）」（63.6%）の割合が最も高い。次いで、「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」（62.0%）の割合が高く、6割強となった。

【属性別結果】（次ページ図3-5参照）

① 地区別

「空き家を取り壊し、敷地を活用する（広場、駐車場、農園など）」については、秋葉区（68.4%）で割合が最も高い。

「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」については、西区（67.7%）で割合が最も高い。

「売買や賃貸化などにより、住宅としてそのまま活用する」については、西蒲区（28.0%）と南区（30.4%）で割合が低かった。

② 性別

性別による大きな違いはみられないが、5ポイント以上差がみられたのは、「所有者から管理料を徴収するなどして、地域で空き家を管理する」で、女性（15.7%）と比較して男性（21.4%）で割合が高かった。

③ 年齢別

「空き家を取り壊し、敷地を活用する（広場、駐車場、農園など）」については、30～39歳（82.8%）で割合が最も高い。年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向がみられる。

逆に、「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

図 3-5 空き家の今後の活用方法（地区別/性別/年齢別） 1/2

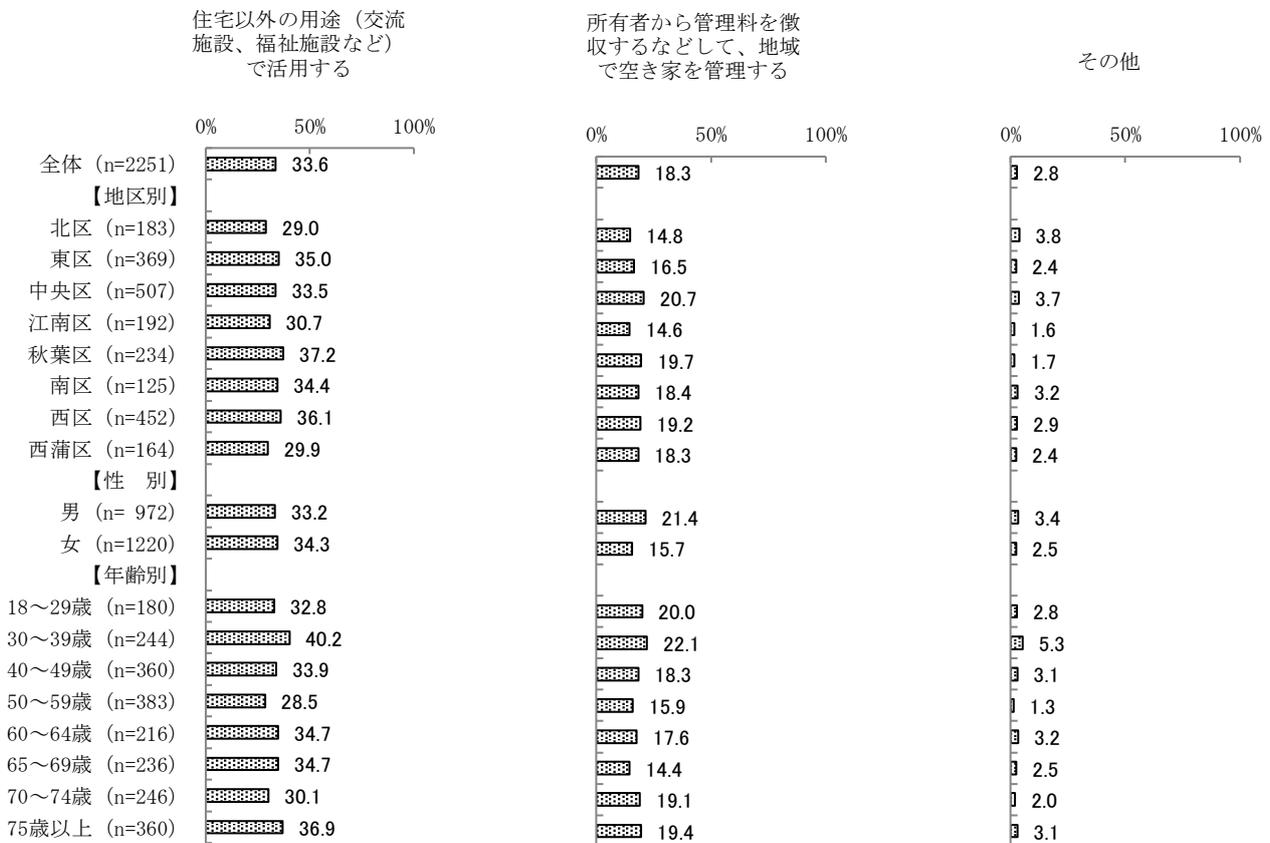
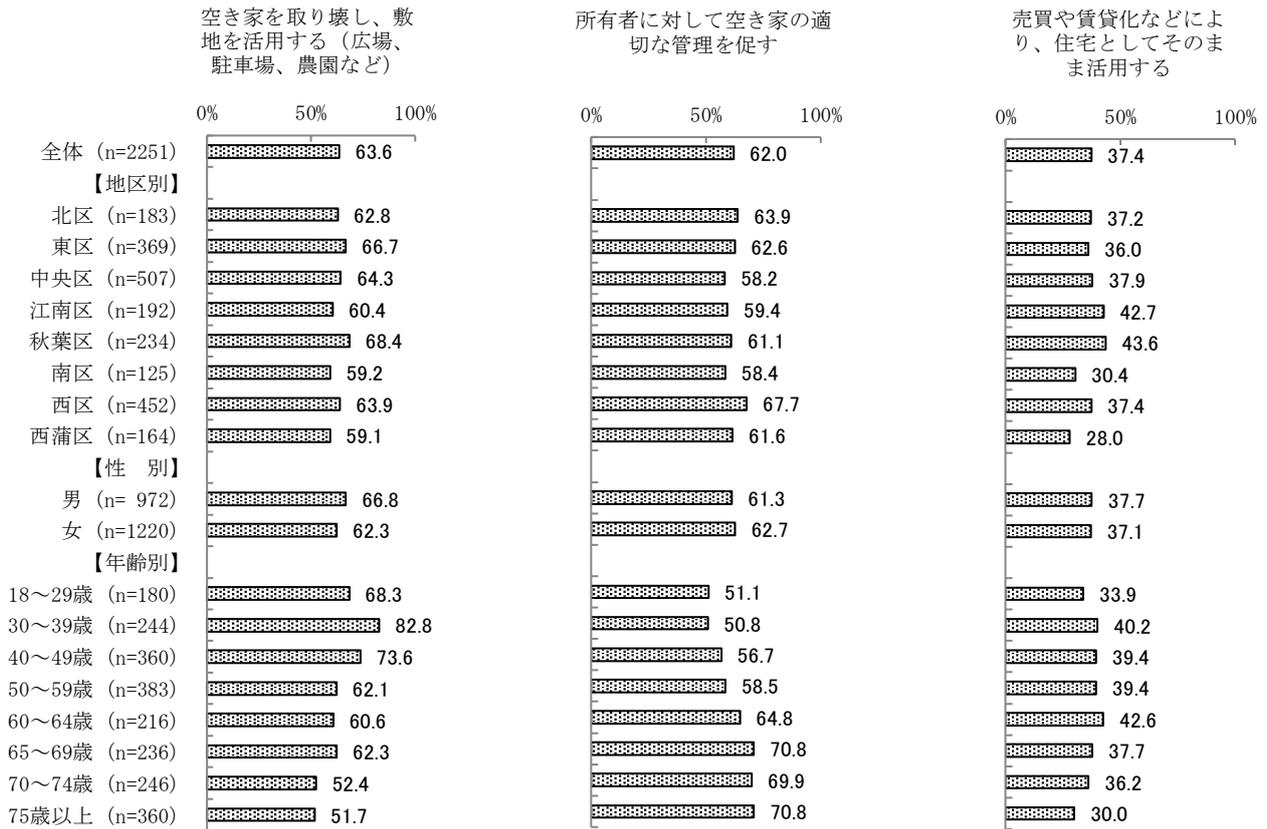
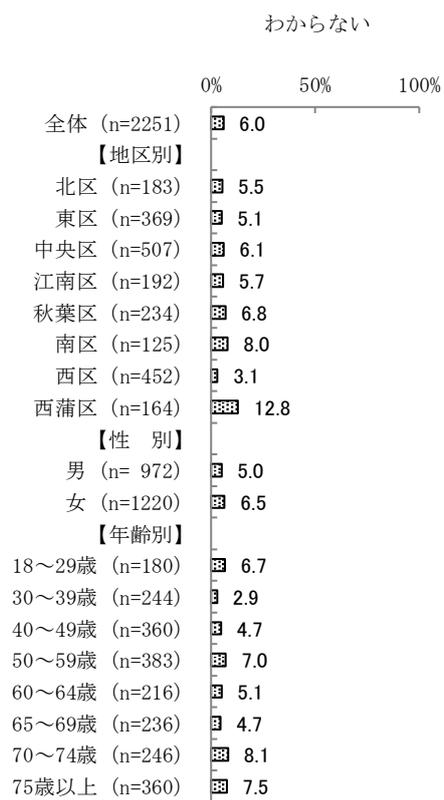
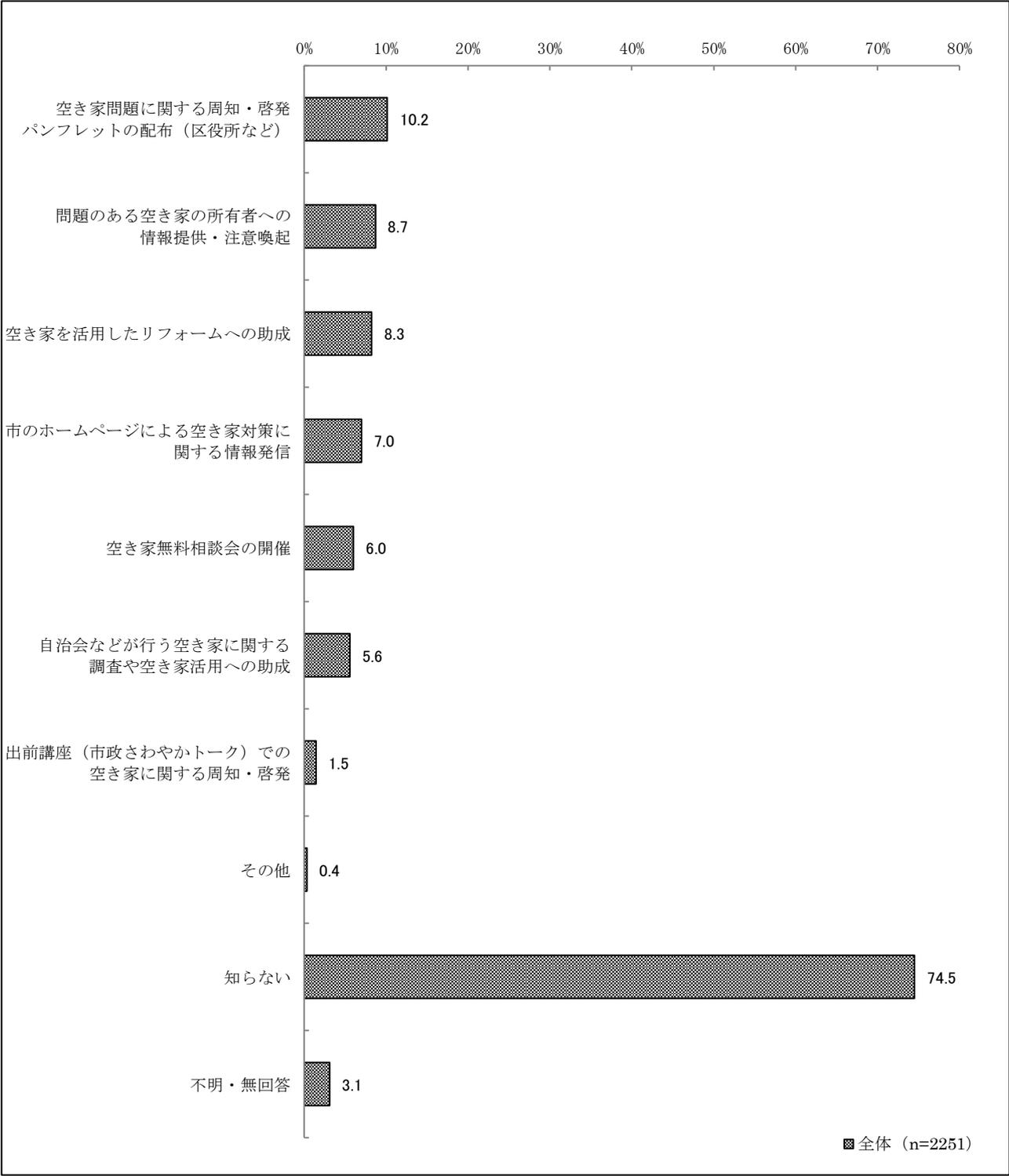


図 3-5 空き家の今後の活用方法（地区別/性別/年齢別） 2/2



(4) 市で行われている空き家対策の取り組みの認知状況

問 1 1 あなたは、市で行われている空き家対策の取り組みについて知っていますか。
該当するもの全てに○をつけてください。(○はいくつでも)



【全体結果】

市で行われている空き家対策の取り組みについて、「知らない」（74.5%）の割合が7割を超えた。取り組みの中では、「空き家問題に関する周知・啓発パンフレットの配布（区役所など）」（10.2%）の割合が最も高かったが、それ以外は1割未満であった。市のいずれかの取り組みを知っていると回答した人（「知らない」74.5%と「不明・無回答」3.1%以外）は約2割であった。

【属性別結果】（次ページ図3-6参照）

① 地区別

「知らない」の割合が最も低い北区（69.4%）でも約7割となった。東区と江南区（いずれも78.6%）では8割近くとなった。

② 性別

ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

「知らない」は、18～29歳（83.3%）、30～39歳（83.6%）で割合が高く、75歳以上（59.4%）で割合が最も低い。年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向がみられる。

図 3-6 市で行われている空き家対策の取り組みの認知状況（地区別/性別/年齢別） 1/2

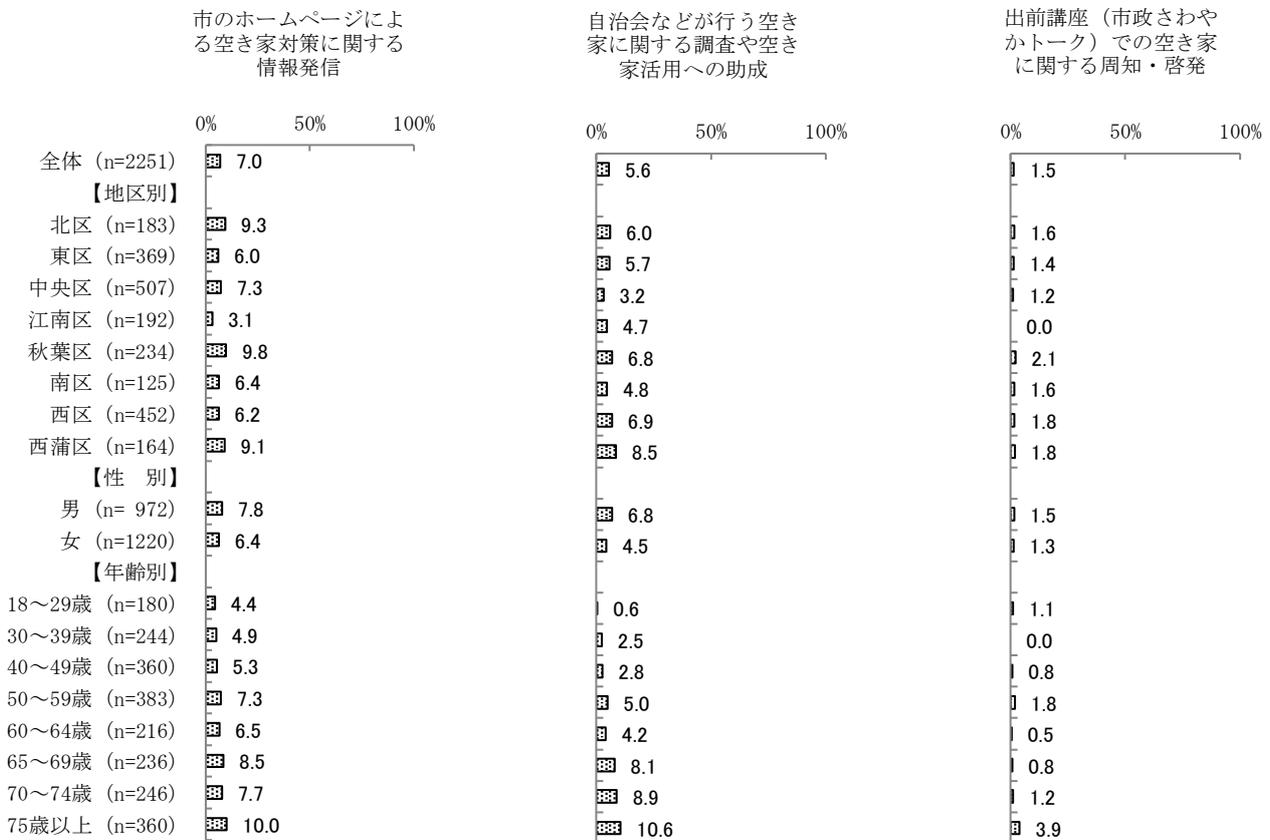
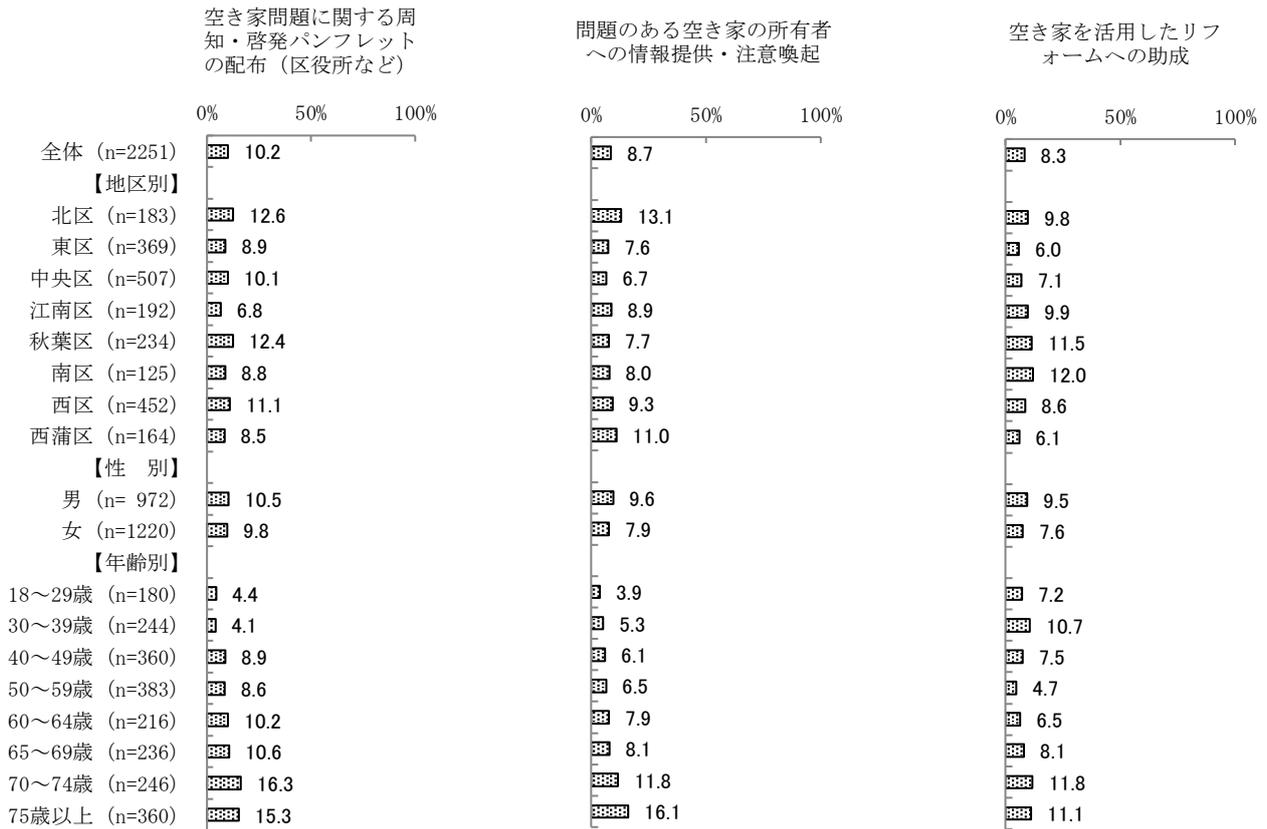
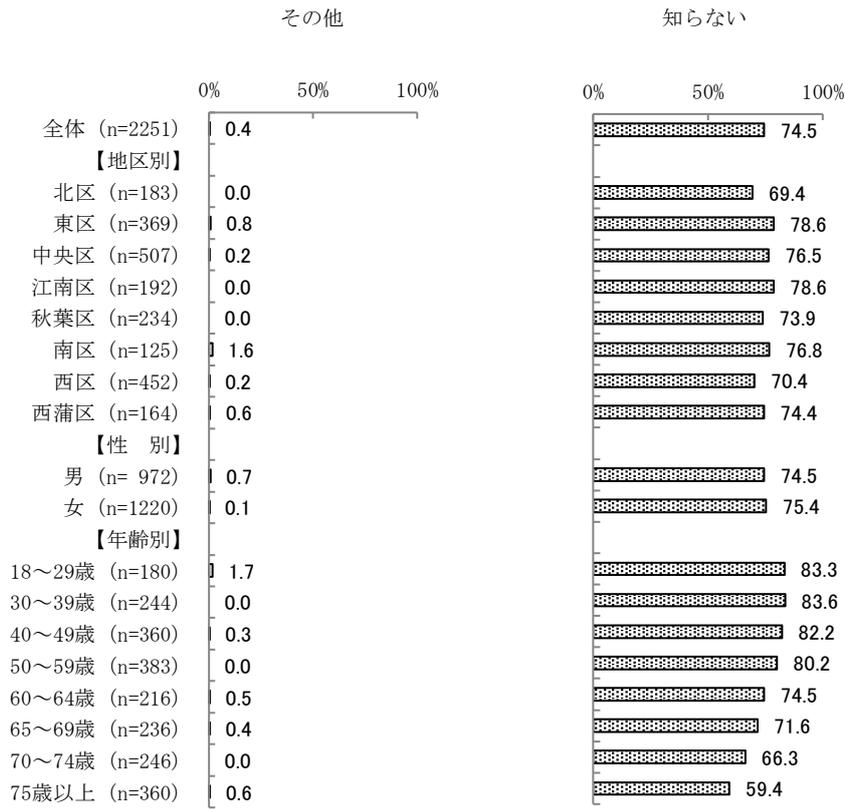
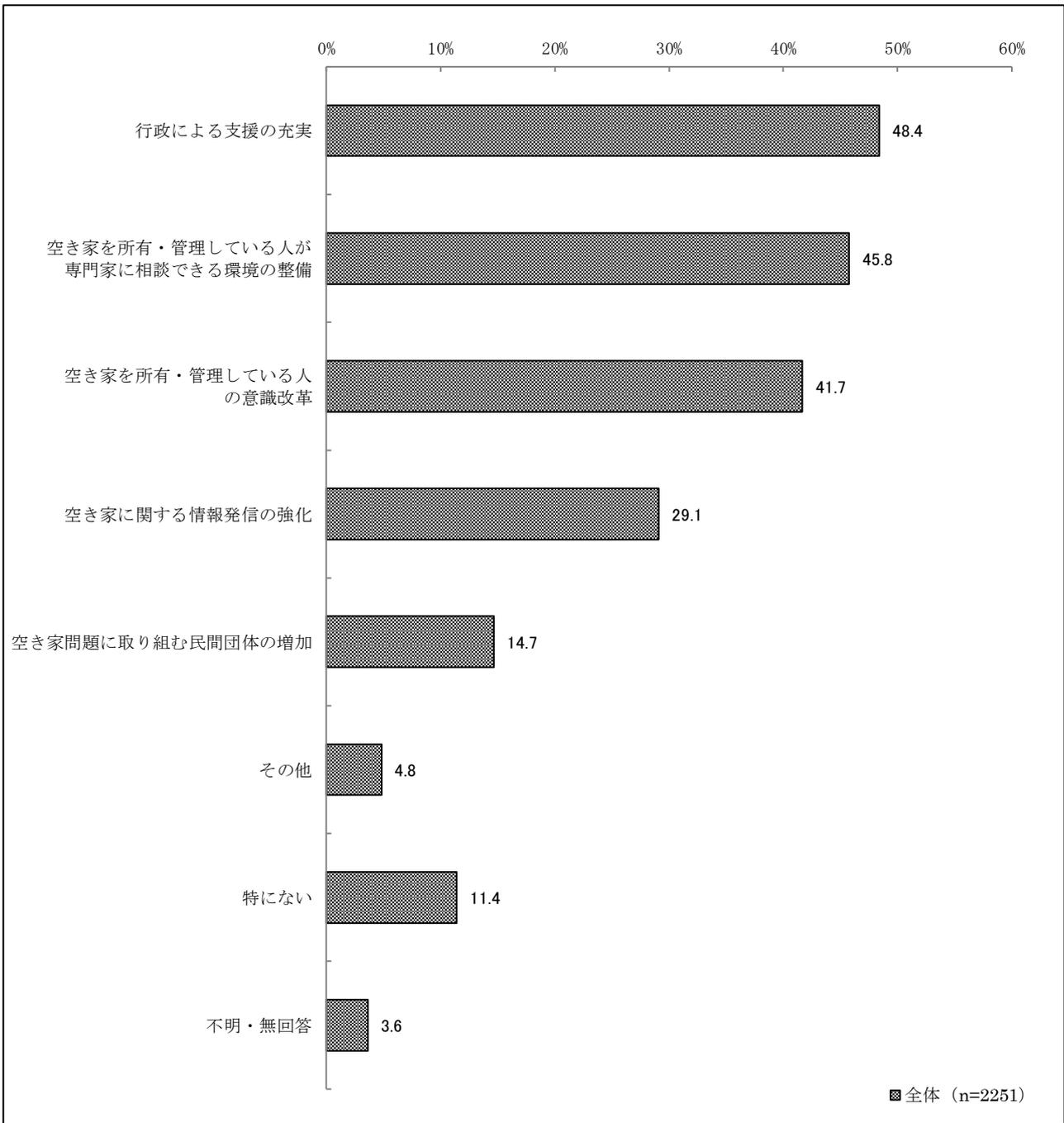


図 3-6 市で行われている空き家対策の取り組みの認知状況（地区別/性別/年齢別） 2/2



(5) 必要だと思う市の空き家対策

問12 あなたは、空き家問題を解決するために、市の空き家対策としてどのようなことが必要だと思いますか。該当するもの全てに○をつけてください。また、具体例があればお答えください。(○はいくつでも)



— 「行政による支援の充実」が約5割 —

【全体結果】

必要だと思う市の空き家対策は、「行政による支援の充実」（48.4％）の割合が最も高く、約5割となった。次いで、「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」（45.8％）、「空き家を所有・管理している人の意識改革」（41.7％）が4割強となった。

【属性別結果】（次ページ図3-7参照）

① 地区別

「行政による支援の充実」については、秋葉区（53.8％）で割合が最も高く、次いで西区（52.9％）で高く5割を超えている。南区（39.2％）で割合が最も低い。「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」については、秋葉区（50.0％）で割合が最も高く、西蒲区（41.5％）で割合が最も低い。

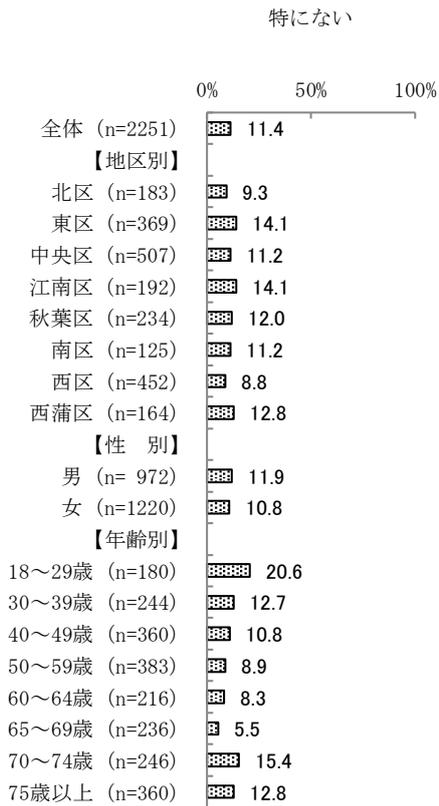
② 性別

ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

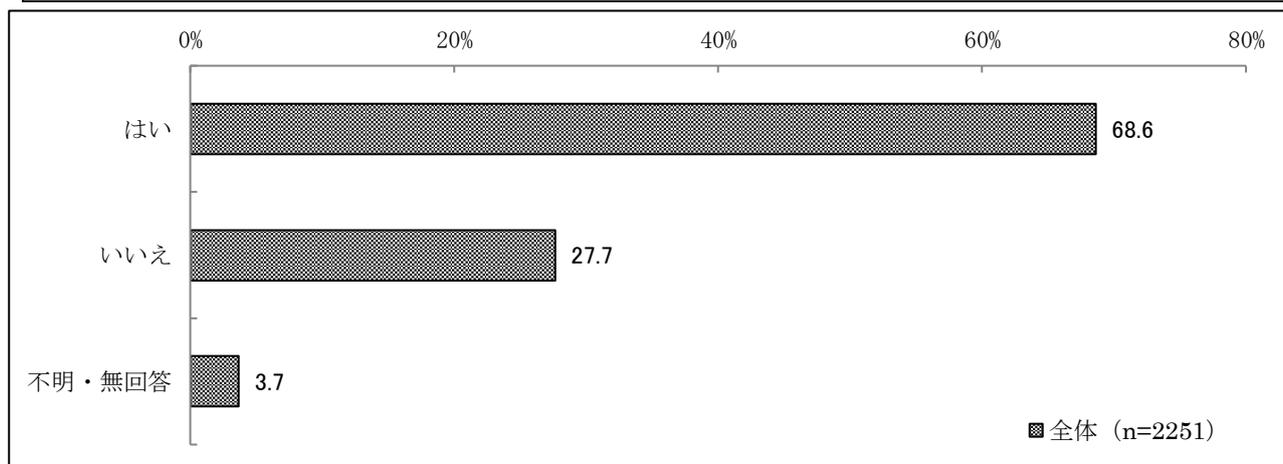
「行政による支援の充実」、「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」については、40～49歳（各54.7％、51.7％）で割合が最も高くなっている。

図 3-7 必要だと思う市の空き家対策（地区別/性別/年齢別） 2/2



(6) 空き家の所有者（管理者）になる可能性の認知

問13 あなたは、様々な理由で誰もが空き家の所有者（管理者）になる可能性があることをご存知ですか。該当するもの1つに○をつけてください。



— 「はい」（知っている）が約7割 —

【全体結果】

「はい」（68.6%）が約7割となった。

【属性別結果】（次ページ図3-8参照）

① 地区別

「はい」は、南区（78.4%）で割合が最も高く、約8割となった。東区（62.3%）で割合が最も低い。

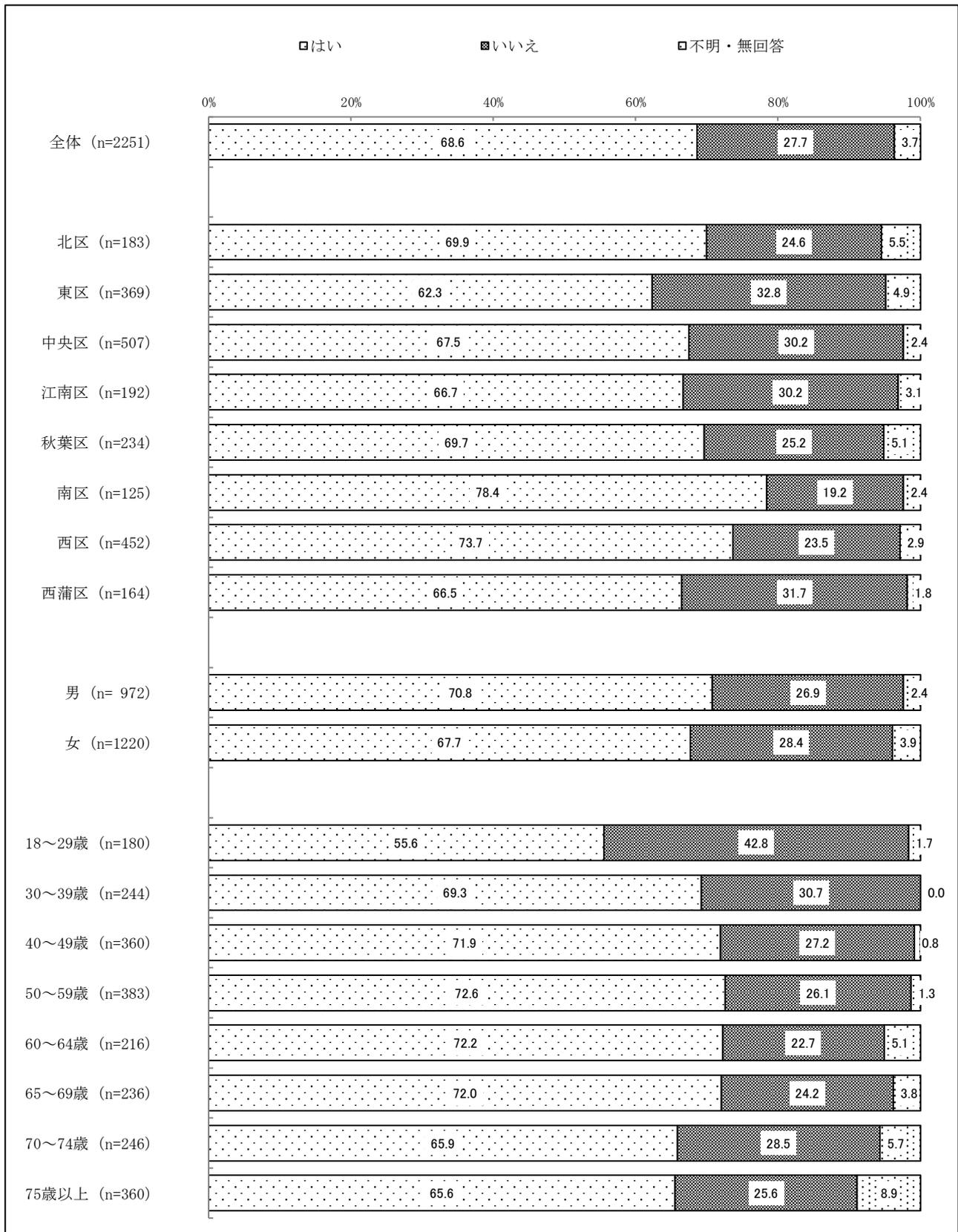
② 性別

「はい」は、女性（67.7%）と比較して男性（70.8%）で割合がやや高くなっている。

③ 年齢別

「はい」は、30～69歳では約7割となっているが、70歳以上では65%程度となっており、18～29歳では6割以下となっている。

図 3-8 空き家の所有者（管理者）になる可能性の認知

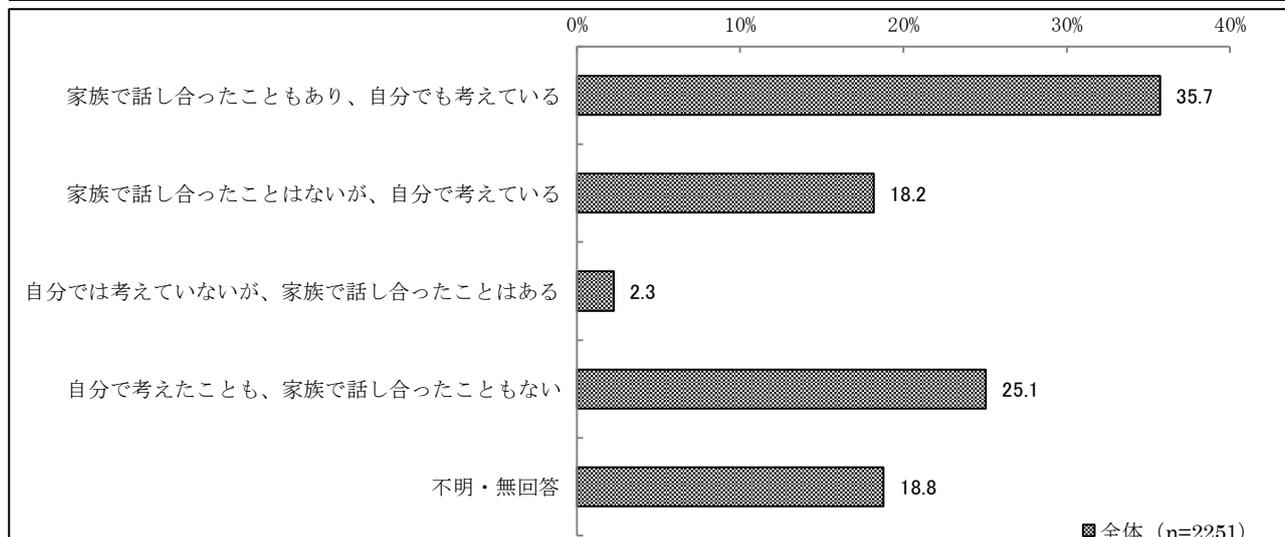


(7) 家族等との話し合い

《持ち家（マンションなどを含む）に現在居住されている方にお聞きします》

※現在賃貸住宅などにお住まいの方は回答不要です。

問14 自身が居住している住戸が将来空き家にならないように考えたり、家族等と話し合ったことがありますか。該当するもの1つに○をつけてください。また、2～4を選んだ方は、家族で話し合ったり、自分で考えたりしにくい理由をお答えください。（○は1つだけ）



— 「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」が3割以上 —

【全体結果】

「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」(35.7%)の割合が最も高く、3割を超えた。次いで、「自分で考えたことも、家族で話し合ったこともない」(25.1%)、「家族で話し合ったことはないが、自分でも考えている」(18.2%)と続くが、「自分では考えていないが、家族で話し合ったことはある」は1割に満たなかった。なお、家族で話し合ったり、自分で考えたりしにくい理由としては、主に「まだ先のことだと思っているから」という回答が多かった。

【属性別結果】(次ページ図3-9参照)

① 地区別

「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」については、地区別での大きな差はみられない。「家族で話し合ったことはないが、自分でも考えている」は秋葉区(26.1%)で、「自分で考えたことも、家族で話し合ったこともない」は江南区(32.8%)、西蒲区(32.3%)で割合が高い。

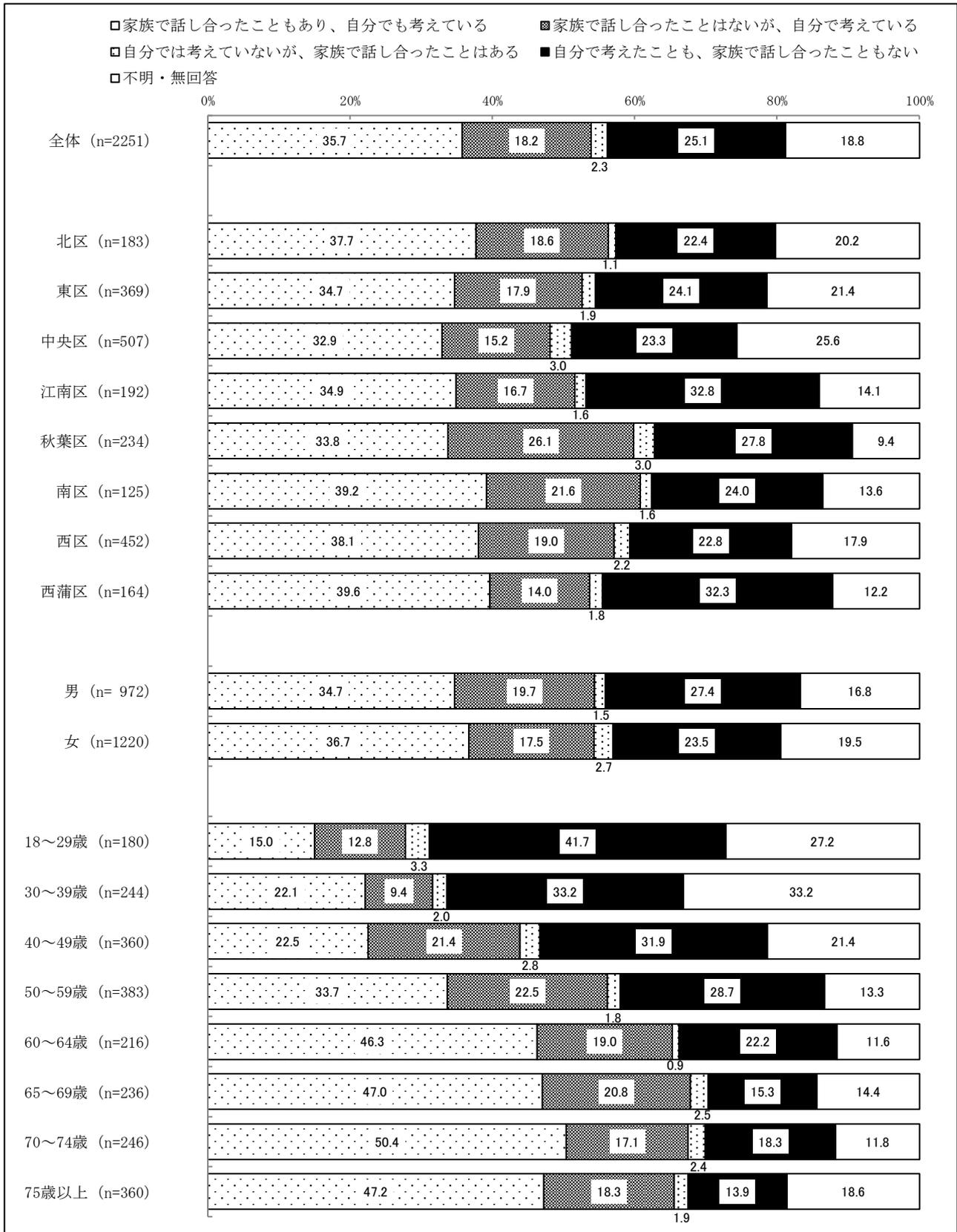
② 性別

性別での大きな差はみられない。

③ 年齢別

60歳以上では、「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」の割合が高くなっているが、5割程度に留まっている。

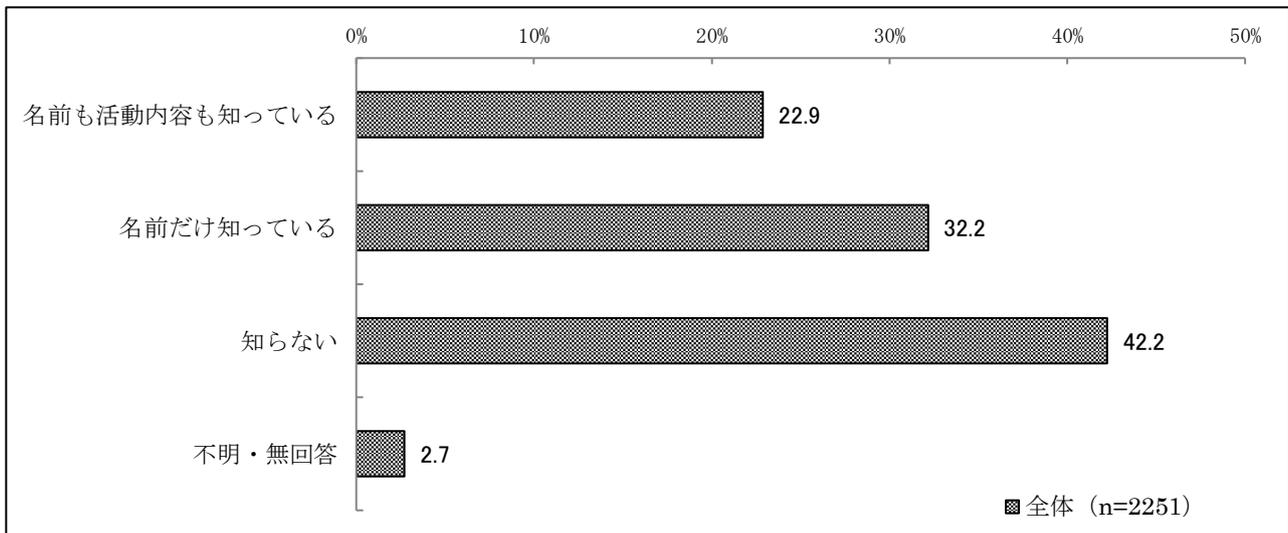
図 3-9 家族等との話し合い（地区別/性別/年齢別）



4. 地域コミュニティ協議会の認知度について

(1) 地域コミュニティ協議会の認知度

問15 あなたがお住いの地域に、「地域コミュニティ協議会」が組織されていることを知っていますか。(例 浜浦小学校区コミュニティ協議会、コミュニティ木崎村ほか) (○は1つだけ)



— 『知っている』が約5割 —

【全体結果】

「名前も活動内容も知っている」(22.9%)、「名前だけ知っている」(32.2%)を合わせた『知っている』(55.1%)は5割を超えた。

【属性別結果】(次ページ図4-1参照)

① 地区別

『知っている』は、北区(64.5%)で割合が最も高く、次に南区(64.0%)で割合が高い。中央区(45.8%)と東区(48.8%)で割合が低く、5割以下となった。

② 性別

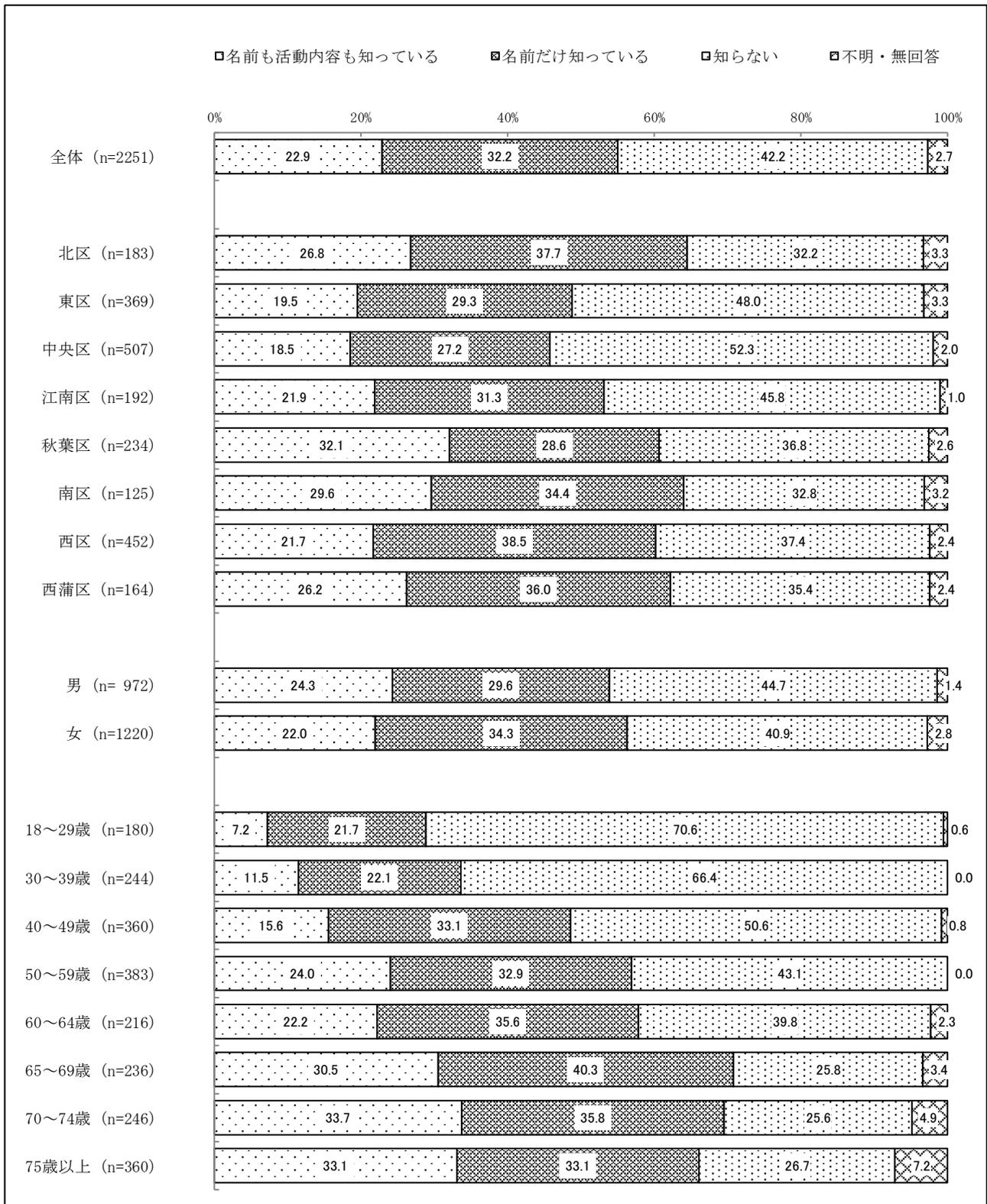
性別での大きな差はみられない。

③ 年齢別

『知っている』は、65~69歳(70.8%)で割合が最も高く、7割となった。逆に、18~29歳(28.9%)は最も割合が低く、7割が「知らない」(70.6%)となった。

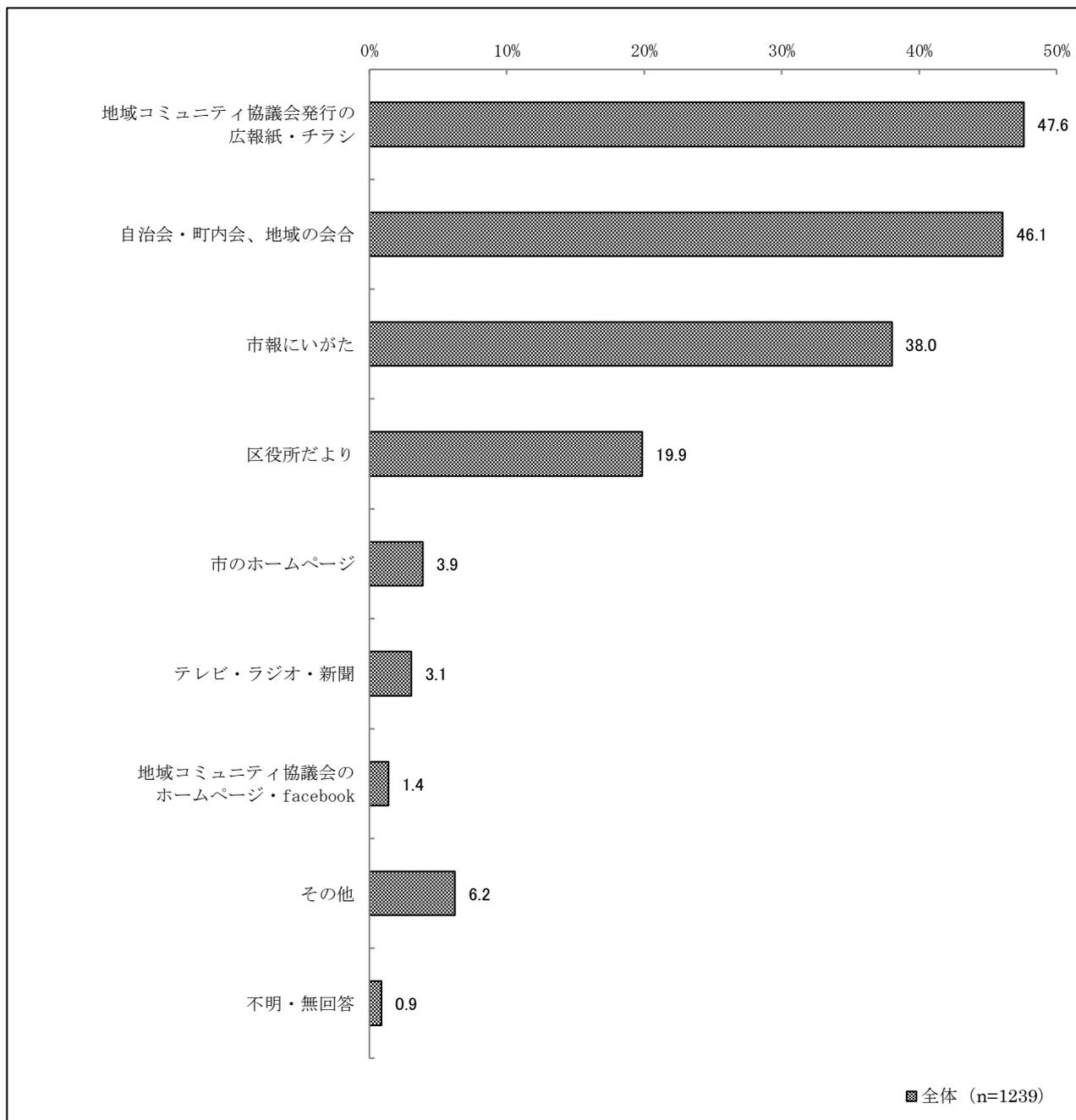
年齢が高い程、『知っている』の割合が高くなる傾向がみられる。

図 4-1 地域コミュニティ協議会の認知度（地区別/性別/年齢別）



(2) 地域コミュニティ協議会についての情報入手方法

問16 上記の問15で「1」または「2」と答えた方に質問です。あなたは「地域コミュニティ協議会」についての情報を何から入手しましたか。(〇はいくつでも)



— 「地域コミュニティ協議会発行の広報紙・チラシ」が約5割 —

【全体結果】

「地域コミュニティ協議会発行の広報紙・チラシ」(47.6%)の割合が最も高く、約5割となった。次いで「自治会・町内会、地域の会合」(46.1%)、「市報にいがた」(38.0%)、「区役所だより」(19.9%)の順となった。

【属性別結果】(次ページ図4-2参照)

① 地区別

「地域コミュニティ協議会発行の広報紙・チラシ」は、秋葉区(65.5%)で割合が最も高い。「自治会・町内会、地域の会合」は、秋葉区(54.2%)、東区(53.9%)で割合がやや高い。

「市報にいがた」は、秋葉区(23.9%)、南区(25.0%)で割合が低い。

② 性別

「地域コミュニティ協議会発行の広報紙・チラシ」は、男性(44.5%)と比較して、女性(50.4%)で割合が高い。

③ 年齢別

18～29歳では、「地域コミュニティ協議会発行の広報紙・チラシ」(28.8%)、「自治会・町内会、地域の会合」(32.7%)、「市報にいがた」(17.3%)、「区役所だより」(3.8%)いずれの項目でも割合が最も低い。

図 4-2 地域コミュニティ協議会についての情報入手方法（地区別/性別/年齢別） 1/2

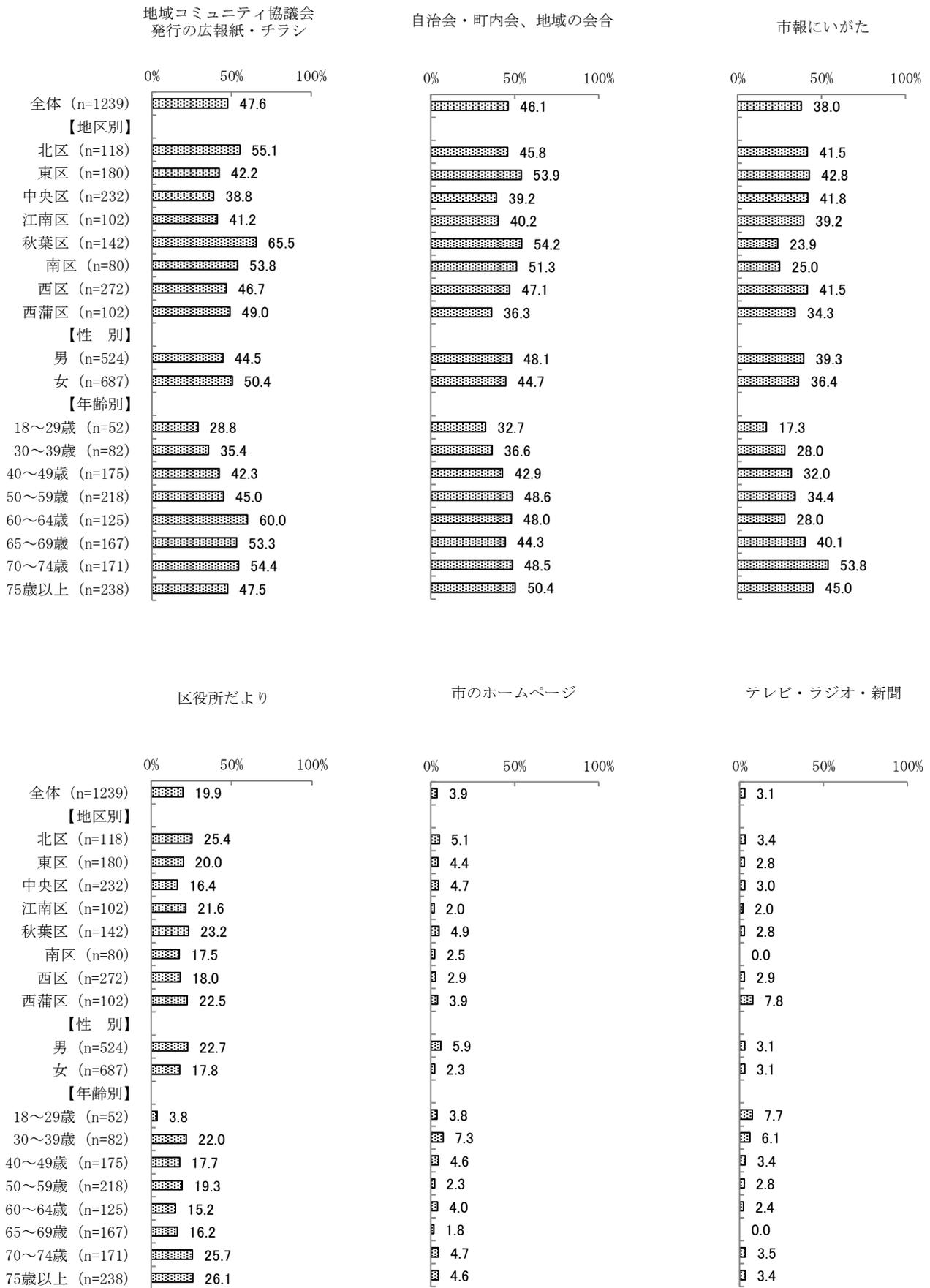
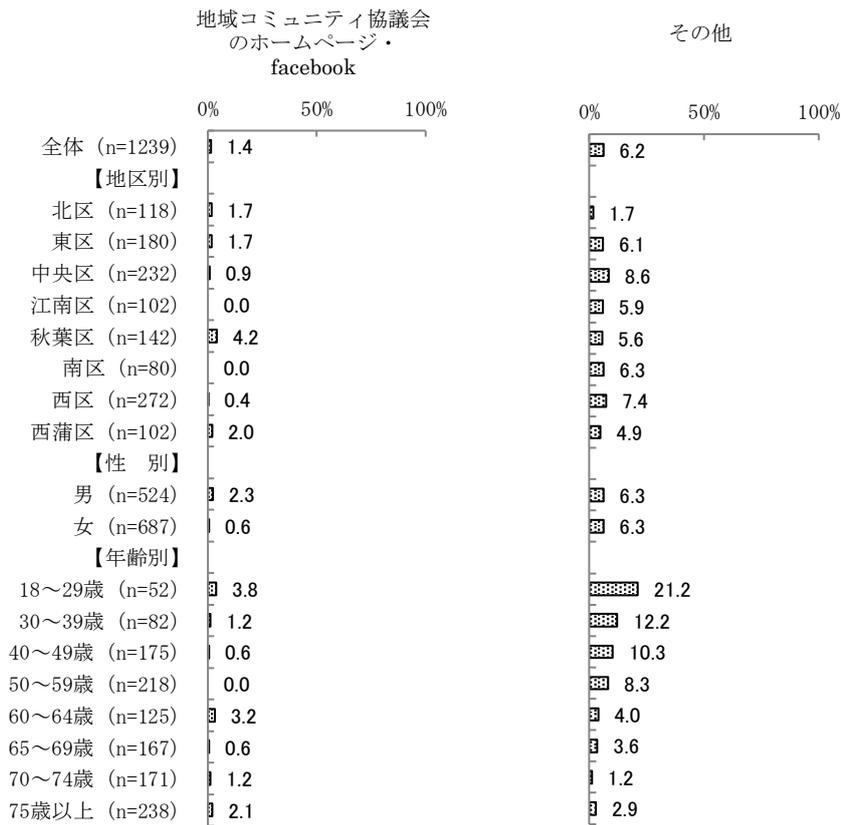
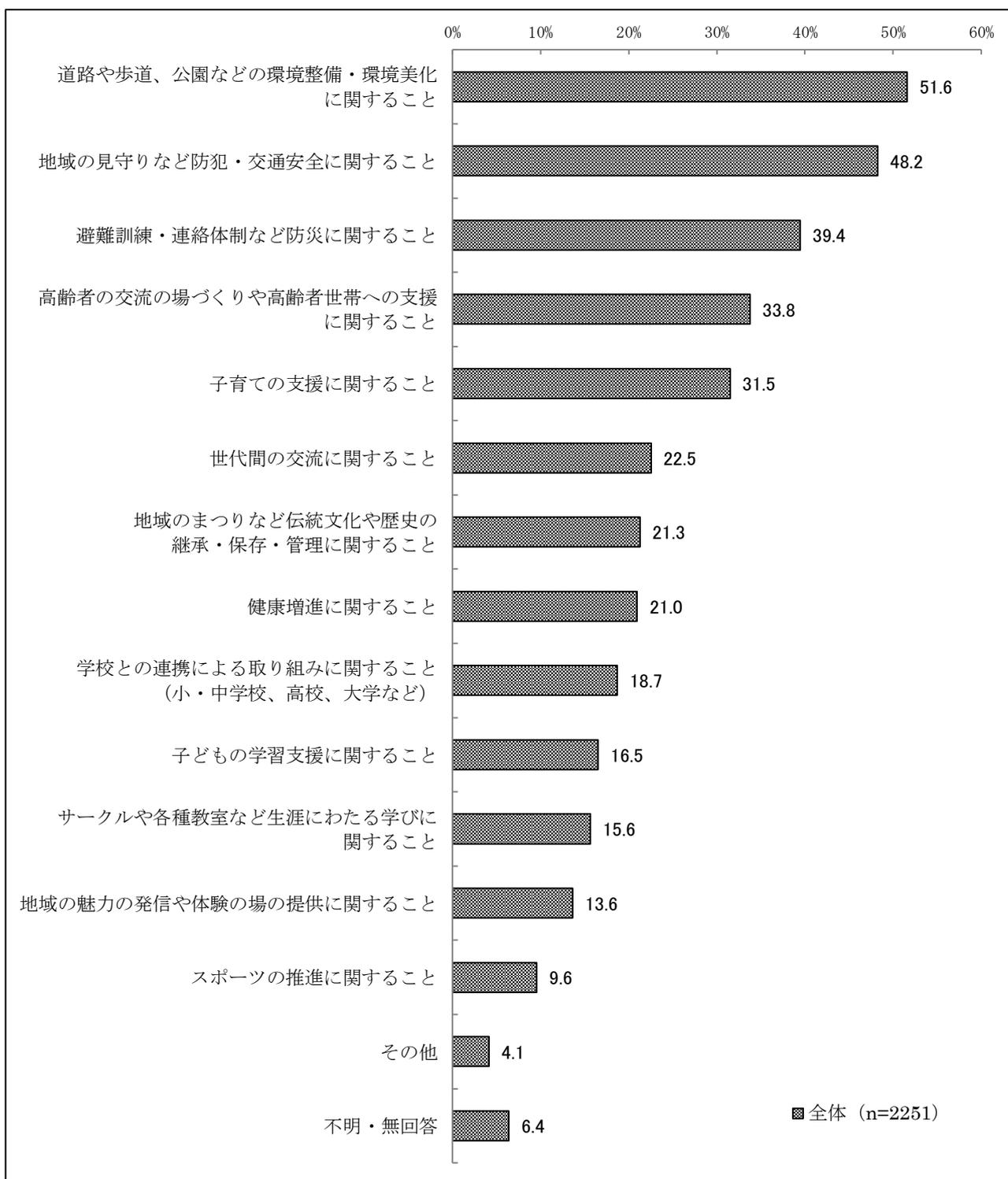


図 4-2 地域コミュニティ協議会についての情報入手方法（地区別/性別/年齢別） 2/2



(3) 地域がより良くなるための課題

問17 回答者みなさまへ質問です。あなたのお住いの地域がより良くなるための課題は何だと思いますか。(〇はいくつでも)



— 「道路や歩道、公園などの環境整備・環境美化に関すること」が5割 —

【全体結果】

「道路や歩道、公園などの環境整備・環境美化に関すること」(51.6%)の割合が最も高く、次いで、「地域の見守りなど防犯・交通安全に関すること」(48.2%)の割合が高く、約5割となった。

【属性別結果】(次ページ図4-3参照)

① 地区別

「道路や歩道、公園などの環境整備・環境美化に関すること」については、秋葉区(55.6%)で割合が最も高く、いずれの地区でも5割近くとなった。

「地域の見守りなど防犯・交通安全に関すること」、「避難訓練・連絡体制など防災に関すること」は西蒲区(各40.2%、31.1%)で割合が低かった。

② 性別

「避難訓練・連絡体制など防災に関すること」、「高齢者の交流の場づくりや高齢者世帯への支援に関すること」で、男性(各37.0%、30.2%)と比較して、女性(各41.6%、36.6%)で割合がやや高かった。

③ 年齢別

「地域の見守りなど防犯・交通安全に関すること」、「避難訓練・連絡体制など防災に関すること」、「高齢者の交流の場づくりや高齢者世帯への支援に関すること」については、75歳以上(各54.4%、49.2%、49.7%)の割合が高く、5割近くとなった。

「子育ての支援に関すること」は、30～39歳(54.5%)で割合が最も高い。

図 4-3 地域がより良くなるための課題（地区別/性別/年齢別） 1/3

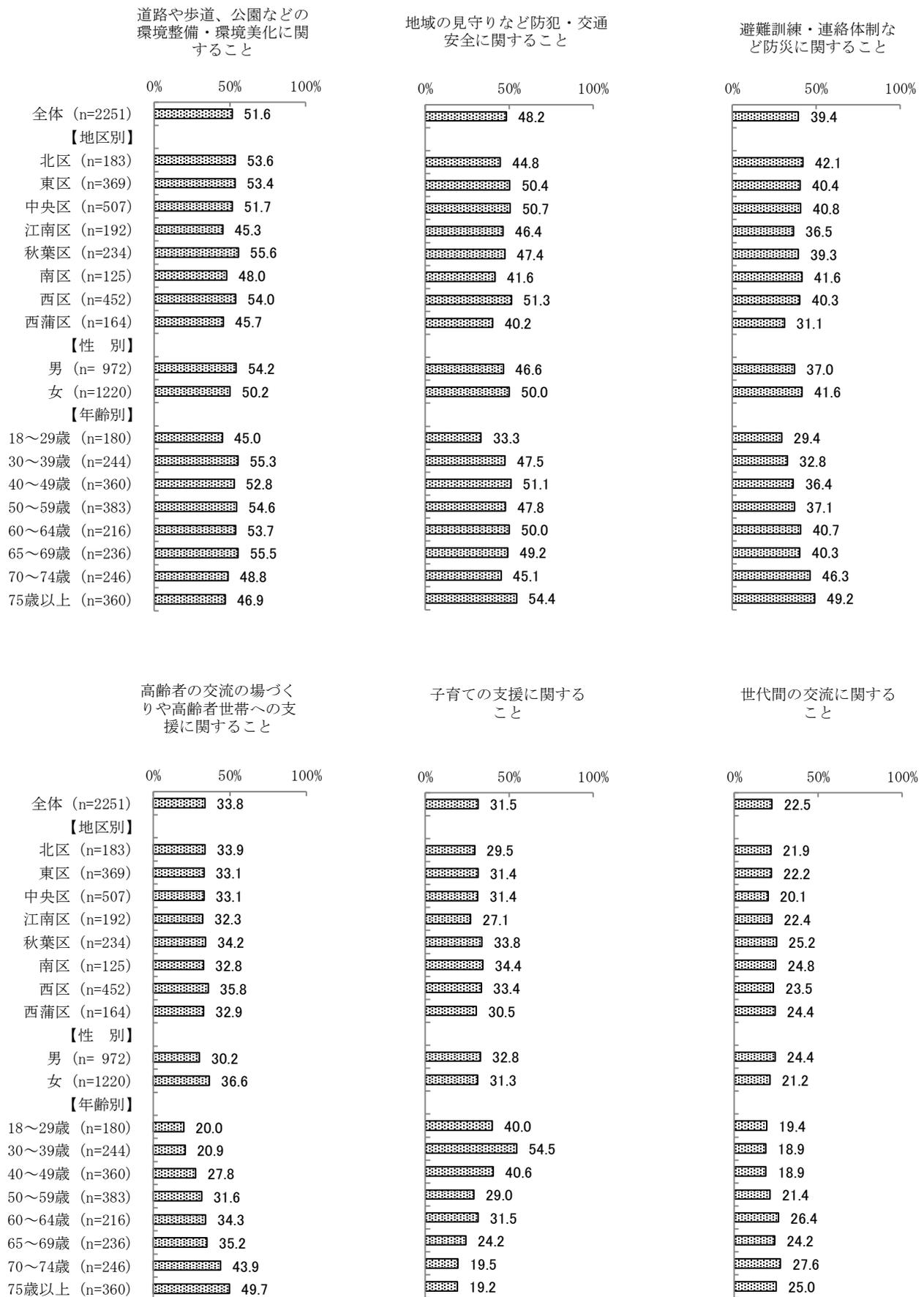


図 4-3 地域がより良くなるための課題（地区別/性別/年齢別） 2/3

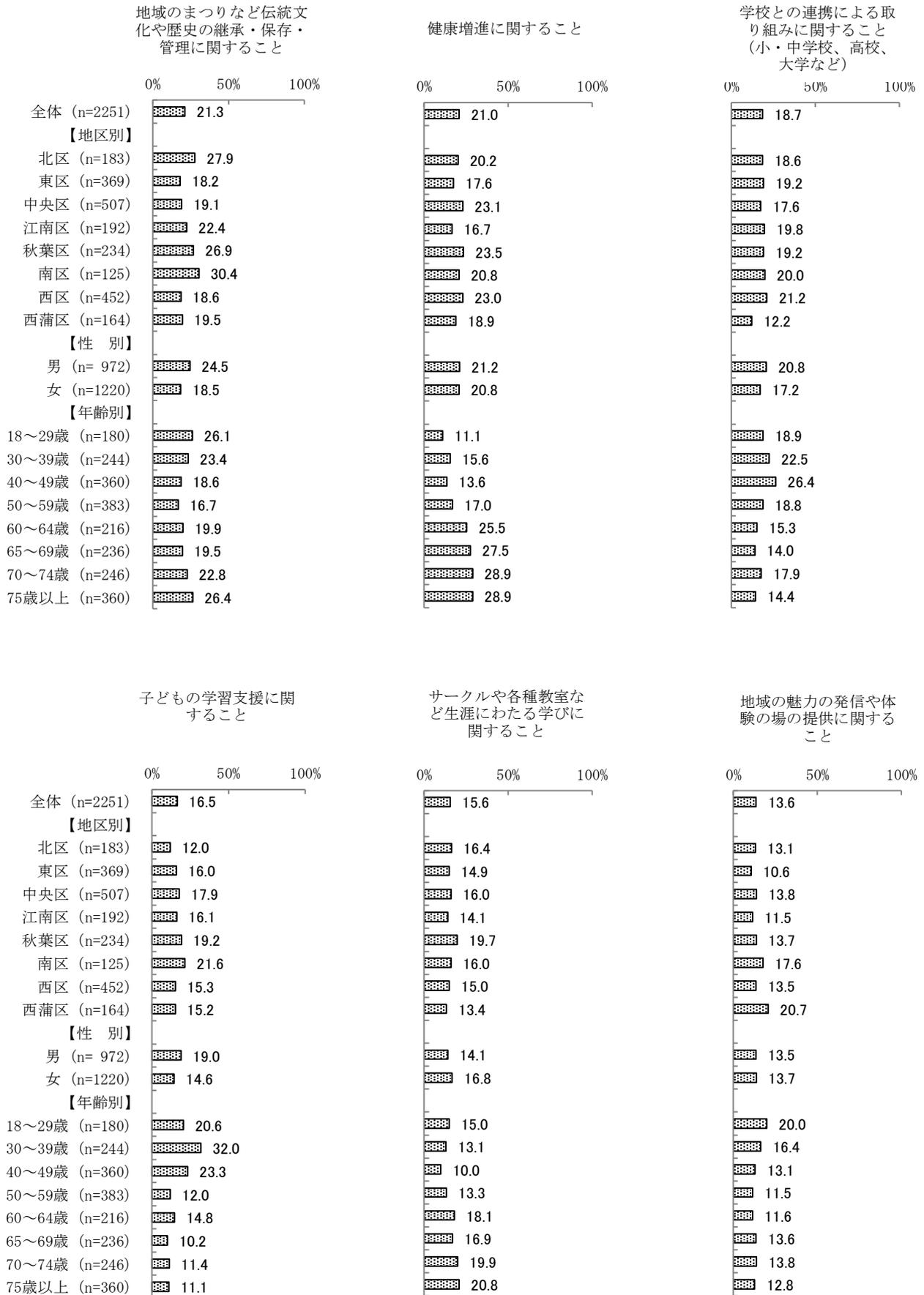
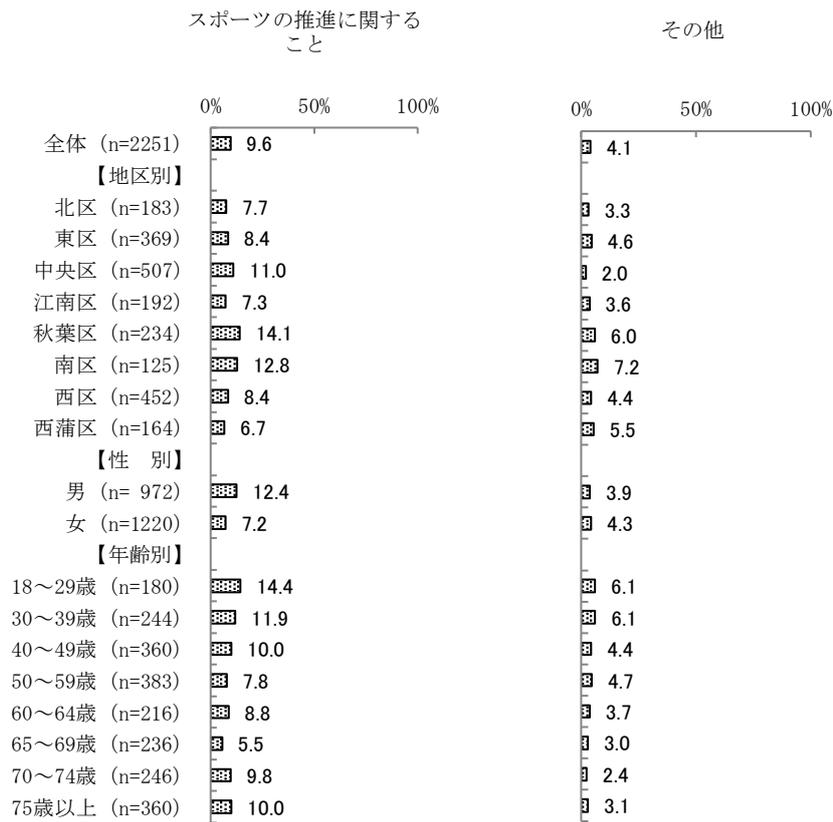


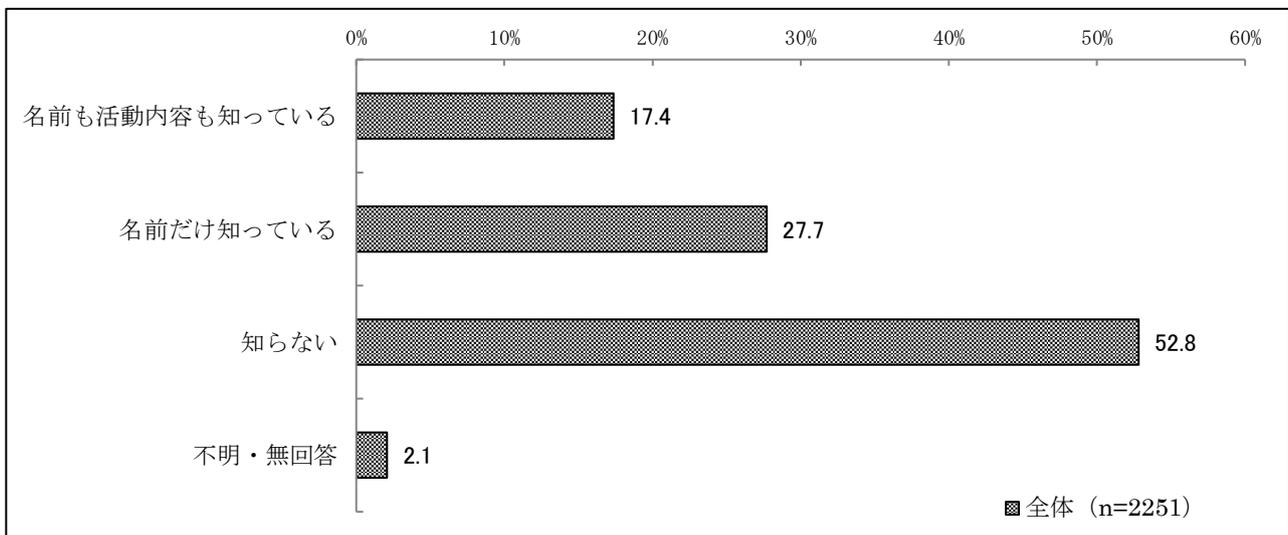
図 4-3 地域がより良くなるための課題（地区別/性別/年齢別） 3/3



5. 区自治協議会の認知度について

(1) 区自治協議会の認知度

問18 あなたがお住いの区の、「区自治協議会」について、知っていますか。(○は1つだけ)



— 「知らない」が5割 —

【全体結果】

「名前も活動内容も知っている」(17.4%)、「名前だけ知っている」(27.7%)を合わせた『知っている』(45.1%)は5割に満たなかった。「知らない」(52.8%)と回答した割合は5割を超えた。

【属性別結果】(次ページ図5-1参照)

① 地区別

『知っている』の割合は、西蒲区(58.5%)で割合が最も高く、6割近くになった。次いで、北区(56.3%)、南区(54.4%)と続き、5割を超えた。割合が最も低いのは中央区(33.1%)だった。

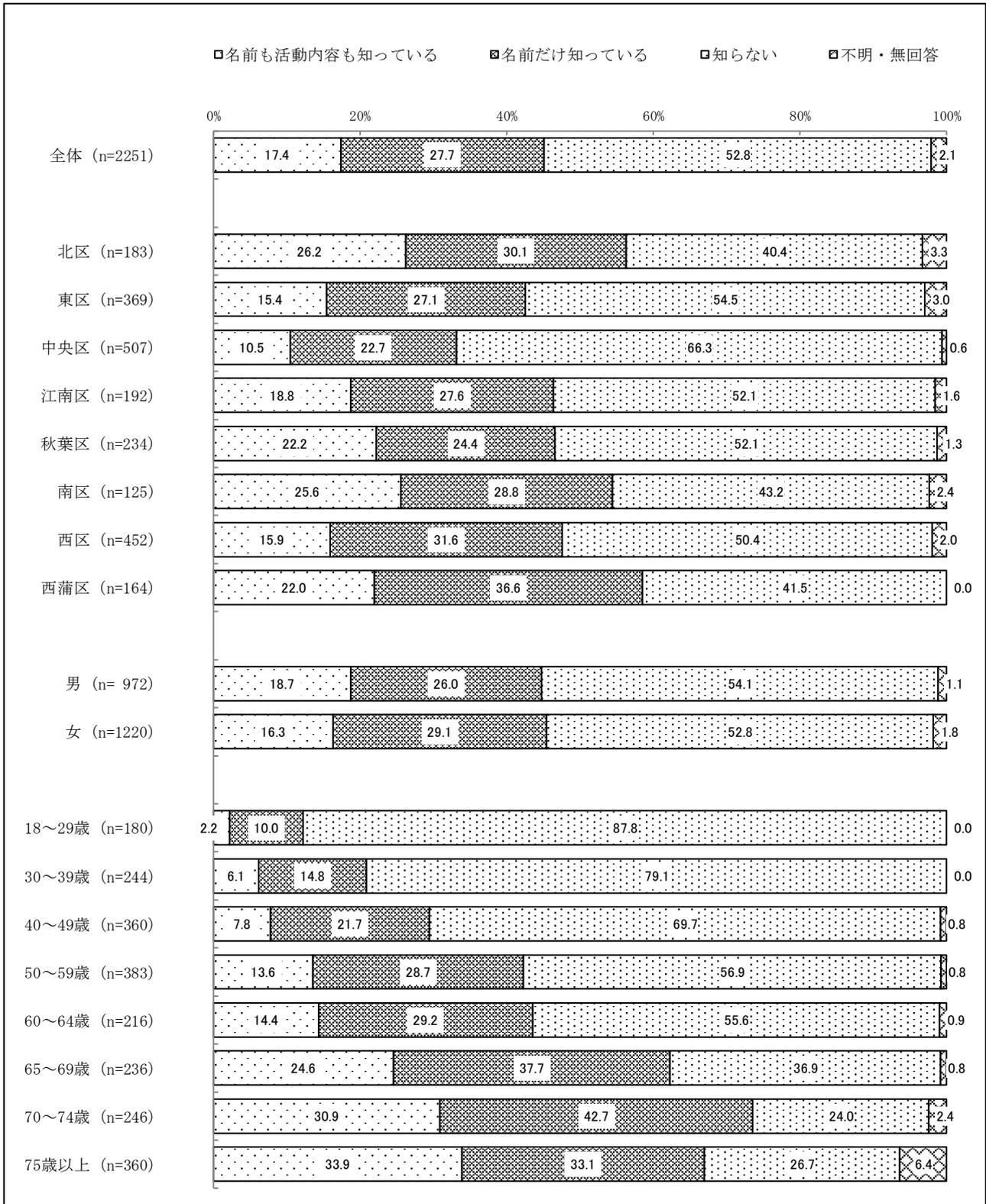
② 性別

性別で大きな差はみられない。

③ 年齢別

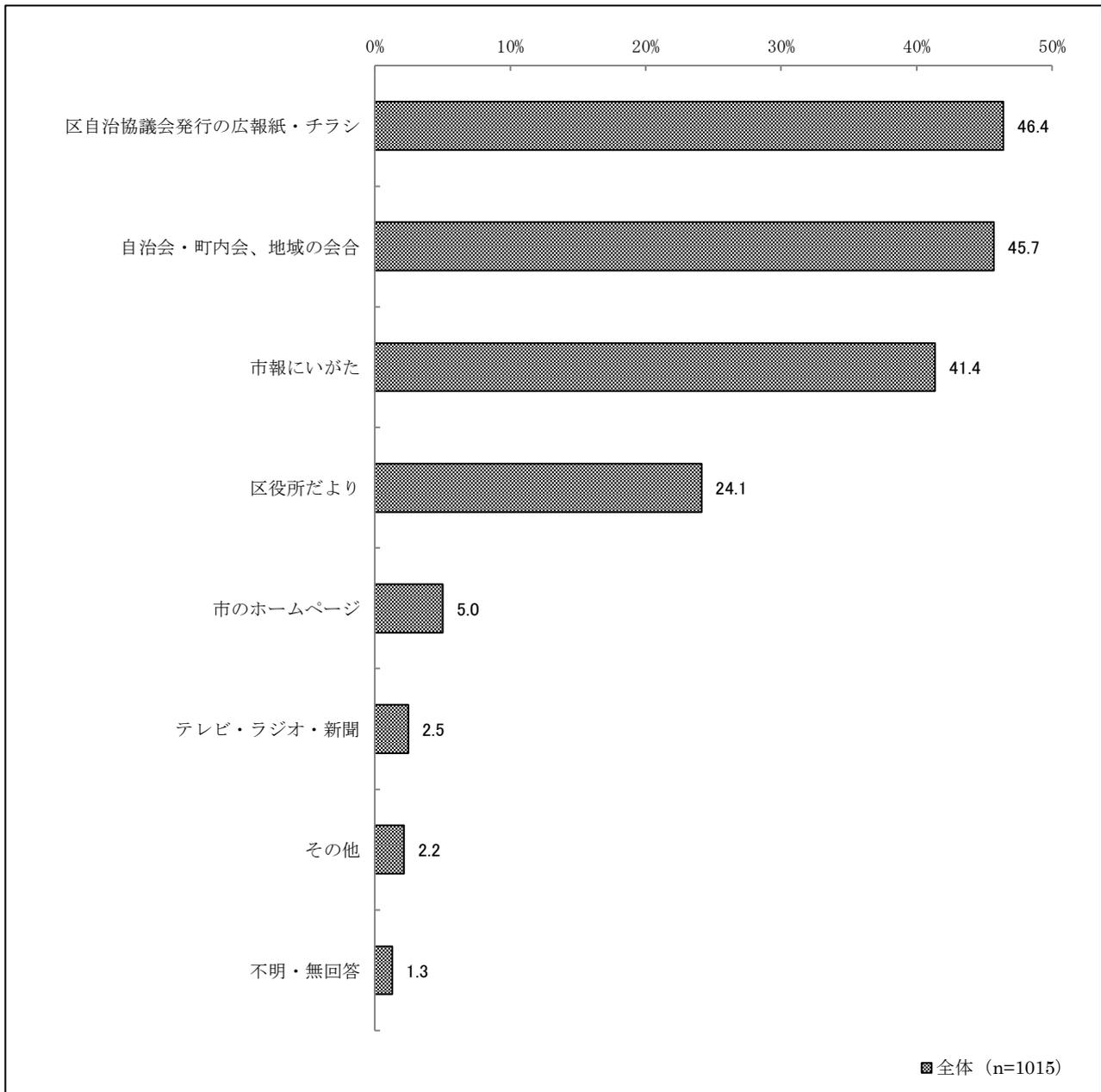
『知っている』の割合は、65歳以上で6割を超えている。若年層になるほど割合が低く、18~29歳(12.2%)で1割程度に留まっている。

図 5-1 区自治協議会の認知度（地区別/性別/年齢別）



(2) 区自治協議会についての情報入手方法

問19 上記の問18で、「1」または「2」と答えた方に質問です。あなたは「区自治協議会」についての情報を何から入手しましたか。(〇はいくつでも)



— 「区自治協議会発行の広報紙・チラシ」が約5割 —

【全体結果】

「区自治協議会発行の広報紙・チラシ」(46.4%)の割合が最も高く、約5割となった。次いで「自治会・町内会、地域の会合」(45.7%)、「市報にいがた」(41.4%)、「区役所だより」(24.1%)の順となった。

【属性別結果】(次ページ図5-2参照)

① 地区別

「区自治協議会発行の広報紙・チラシ」は、北区(57.3%)、秋葉区(55.0%)で割合が高い。「自治会・町内会、地域の会合」は、南区(58.8%)、秋葉区(54.1%)で割合が高い。

「区自治協議会発行の広報紙・チラシ」、「自治会・町内会、地域の会合」いずれも、中央区(各39.3%、38.7%)、江南区(37.1%、41.6%)で割合が低い。

② 性別

性別での大きな差はみられない。

③ 年齢別

18～29歳では、「区自治協議会発行の広報紙・チラシ」(18.2%)、「市報にいがた」(22.7%)、「区役所だより」(9.1%)、いずれの項目でも割合が最も低い。

図 5-2 区自治協議会についての情報入手方法（地区別/性別/年齢別） 1/2

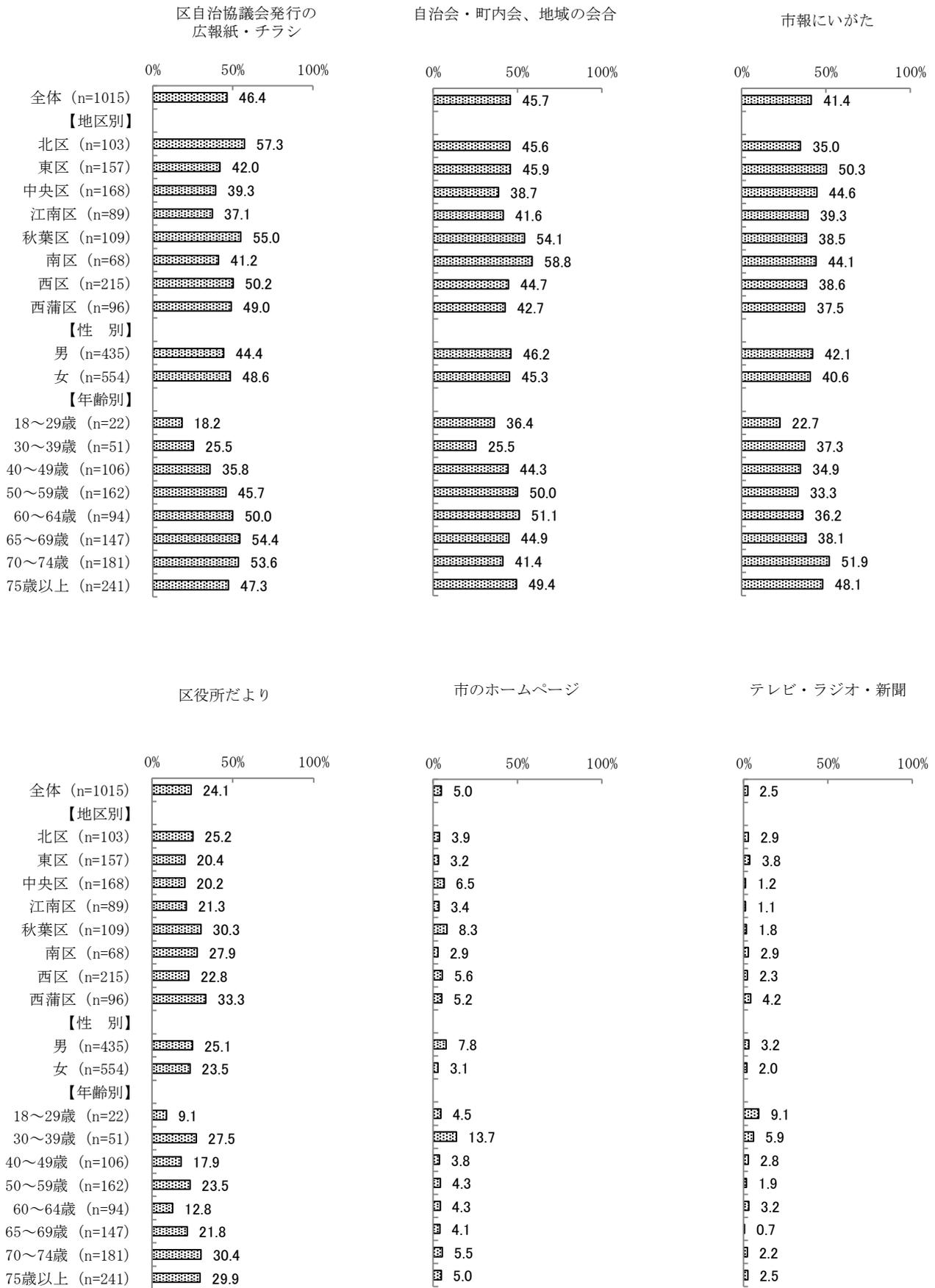
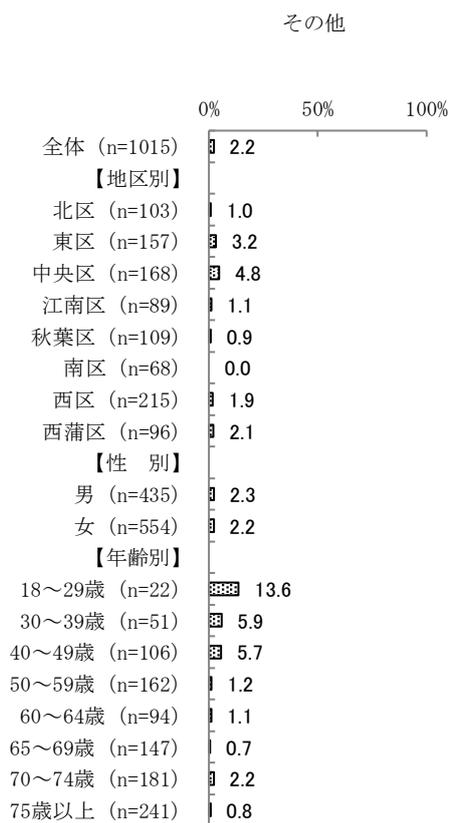
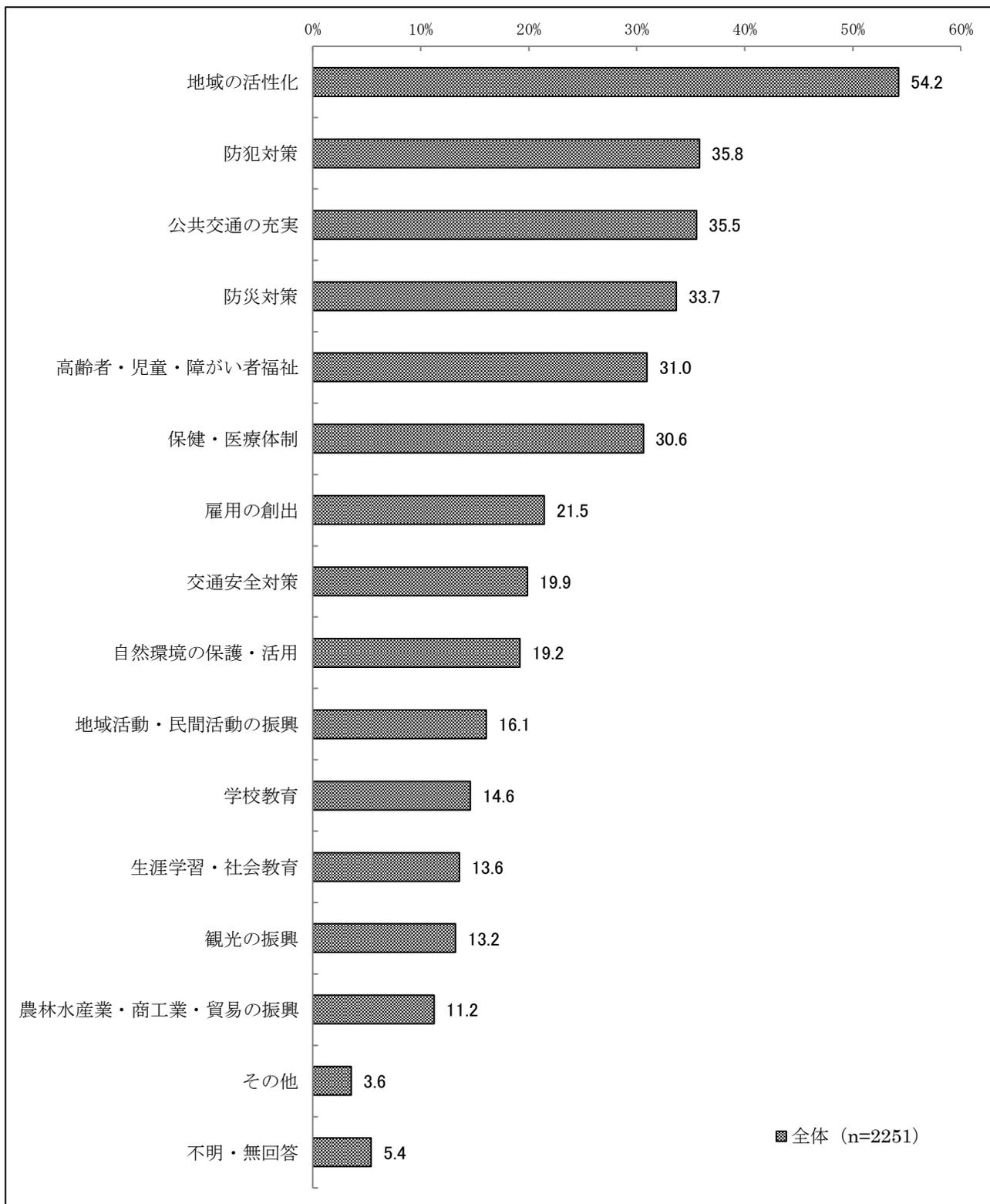


図 5-2 区自治協議会についての情報入手方法（地区別/性別/年齢別） 2/2



(3) 区がより良くなるための課題

問20 回答者みなさまへ質問です。あなたのお住いの区がより良くなるための課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)



— 「地域の活性化」が5割以上 —

【全体結果】

「地域の活性化」(54.2%)の割合が最も高く、5割を超えた。次いで、「防犯対策」(35.8%)、「公共交通の充実」(35.5%)、防災対策(33.7%)、「高齢者・児童・障がい者福祉」(31.0%)、「保健・医療体制」(30.6%)と続き、3割を超えた。

【属性別結果】(次ページ図5-3参照)

① 地区別

「地域の活性化」については、西蒲区(60.4%)で割合が最も高く、いずれの地区でも5割近くとなった。「防犯対策」については、西蒲区(20.1%)で割合が低く、他の地区との差がみられた。「公共交通の充実」については、南区(52.8%)で割合が高く、他の地区との差が大きい。

② 性別

性別で5ポイント以上差がみられたのは、「農林水産業・商工業・貿易の振興」で、女性(8.9%)と比較して男性(14.6%)で割合が高かった。

③ 年齢別

「地域の活性化」については、70～74歳(61.0%)、65～69歳(60.6%)で割合が高く、6割となった。

全体に福祉や医療に関することは高齢層で、教育や雇用に関することは若年層で割合が高くなっている。

図 5-3 区がより良くなるための課題（地区別/性別/年齢別） 1/3

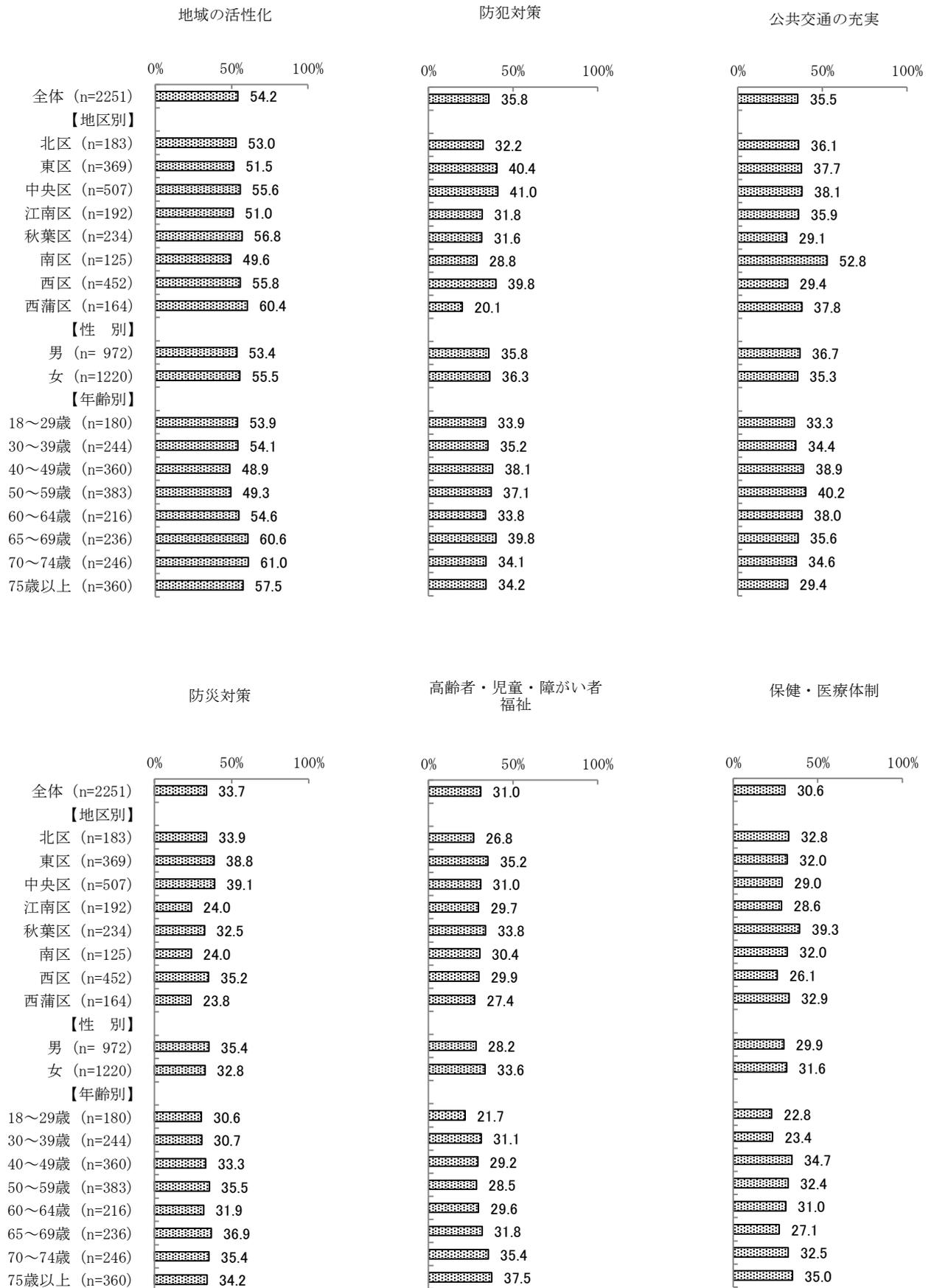


図 5-3 区がより良くなるための課題（地区別/性別/年齢別） 2/3

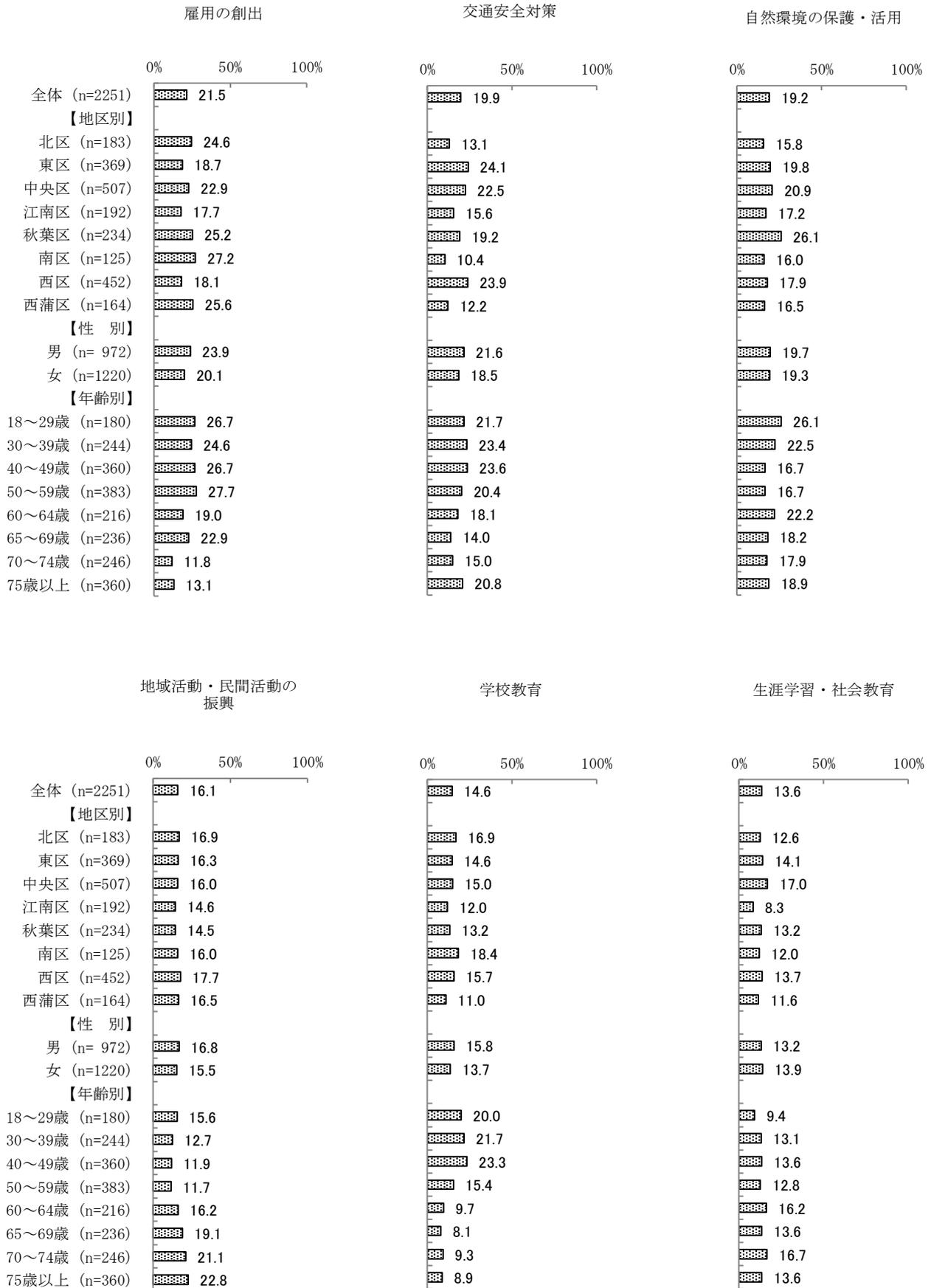
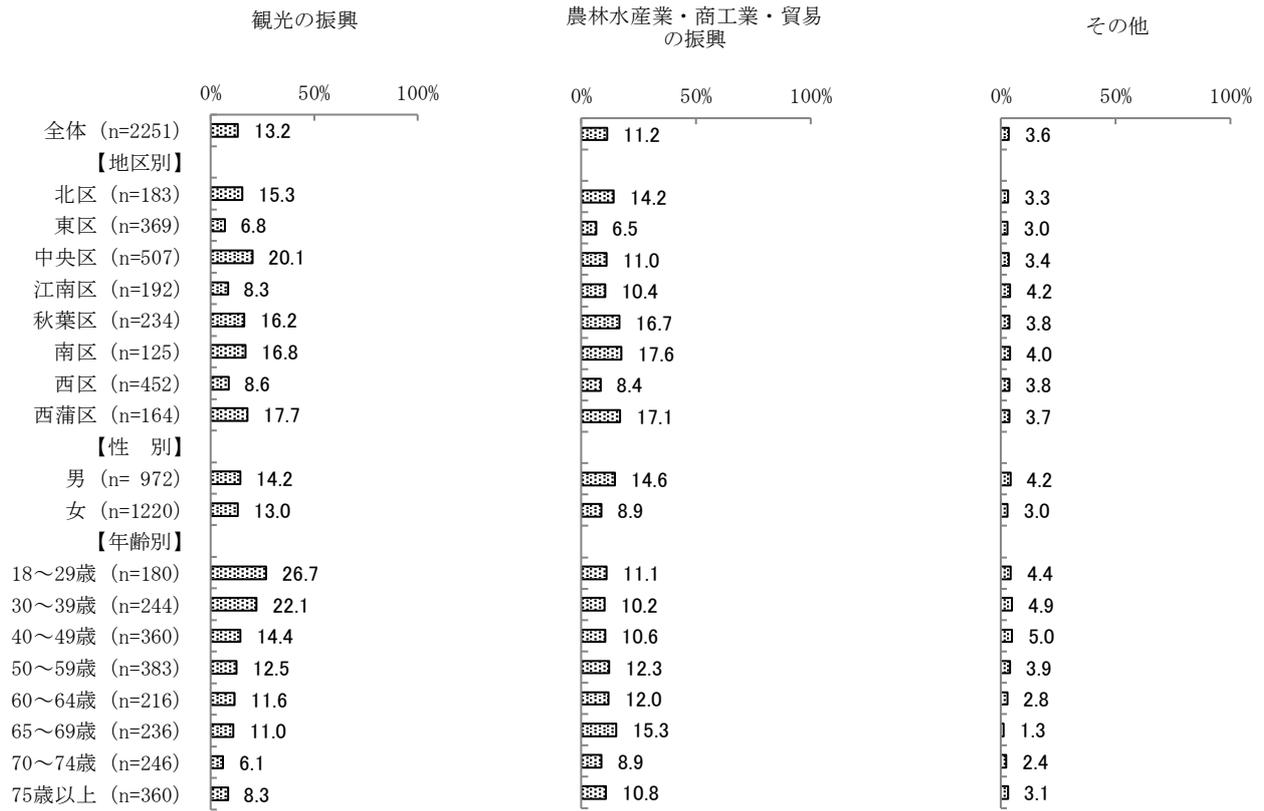


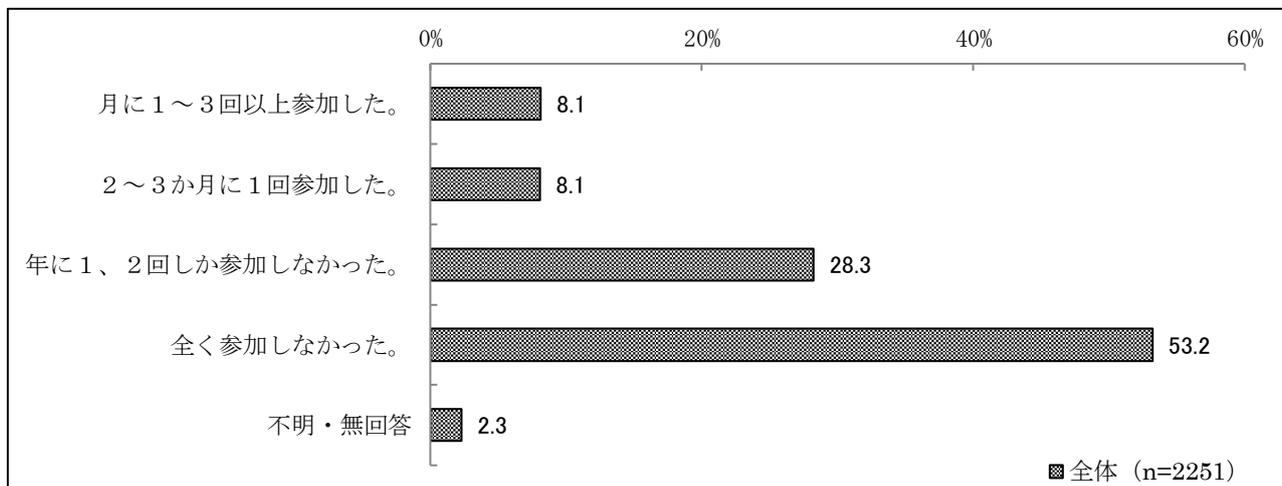
図 5-3 区がより良くなるための課題（地区別/性別/年齢別） 3/3



6. 地域活動への参加状況について

(1) 地域活動への参加状況

問21 あなたは昨年、地域で開催された地域活動（自治会・町内会の行事や、サークル活動など）にどれくらい参加しましたか？あなたの参加頻度に最も近いものを1つ選び、○をつけてください。



— 『参加しなかった』が8割以上 —

【全体結果】

「全く参加しなかった」(53.2%)の割合が最も高く、「年に1、2回しか参加しなかった」(28.3%)と合わせた『参加しなかった』(81.5%)の割合は、8割を超えた。

「月に1～3回以上参加した」と「2～3か月に1回参加した」を合わせた『参加した』(16.2%)の割合は、2割に満たなかった。

【属性別結果】(次ページ図6-1参照)

① 地区別

『参加しなかった』の割合は、中央区(90.3%)で最も高い。

『参加した』の割合は、北区(24.0%)、西蒲区(22.6%)で2割を超えた。

② 性別

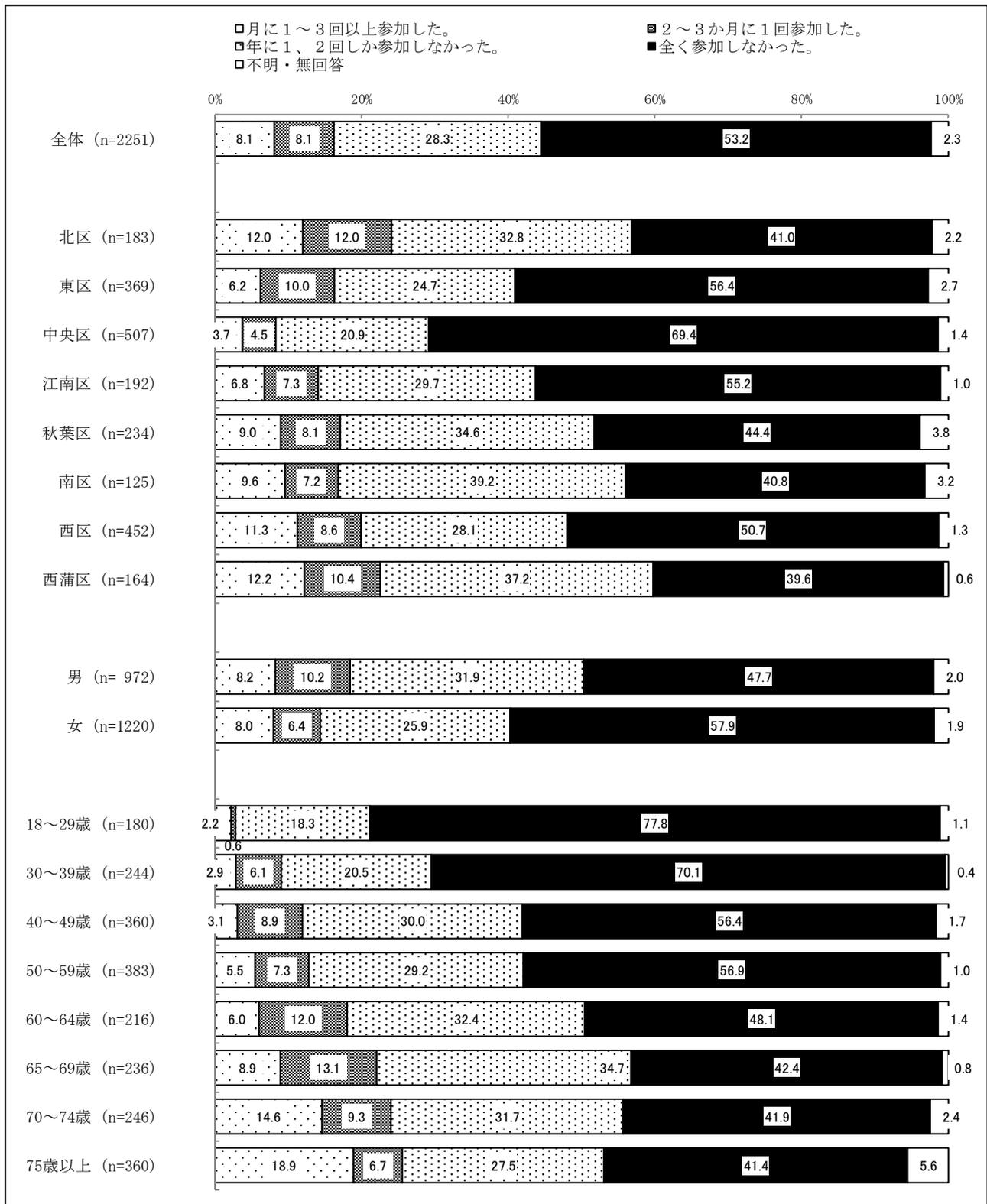
『参加した』は、女性(14.3%)と比較して男性(18.4%)で割合が高い。

③ 年齢別

『参加した』の割合は、高齢になるほど割合が高く、75歳以上(25.6%)が最も高い。

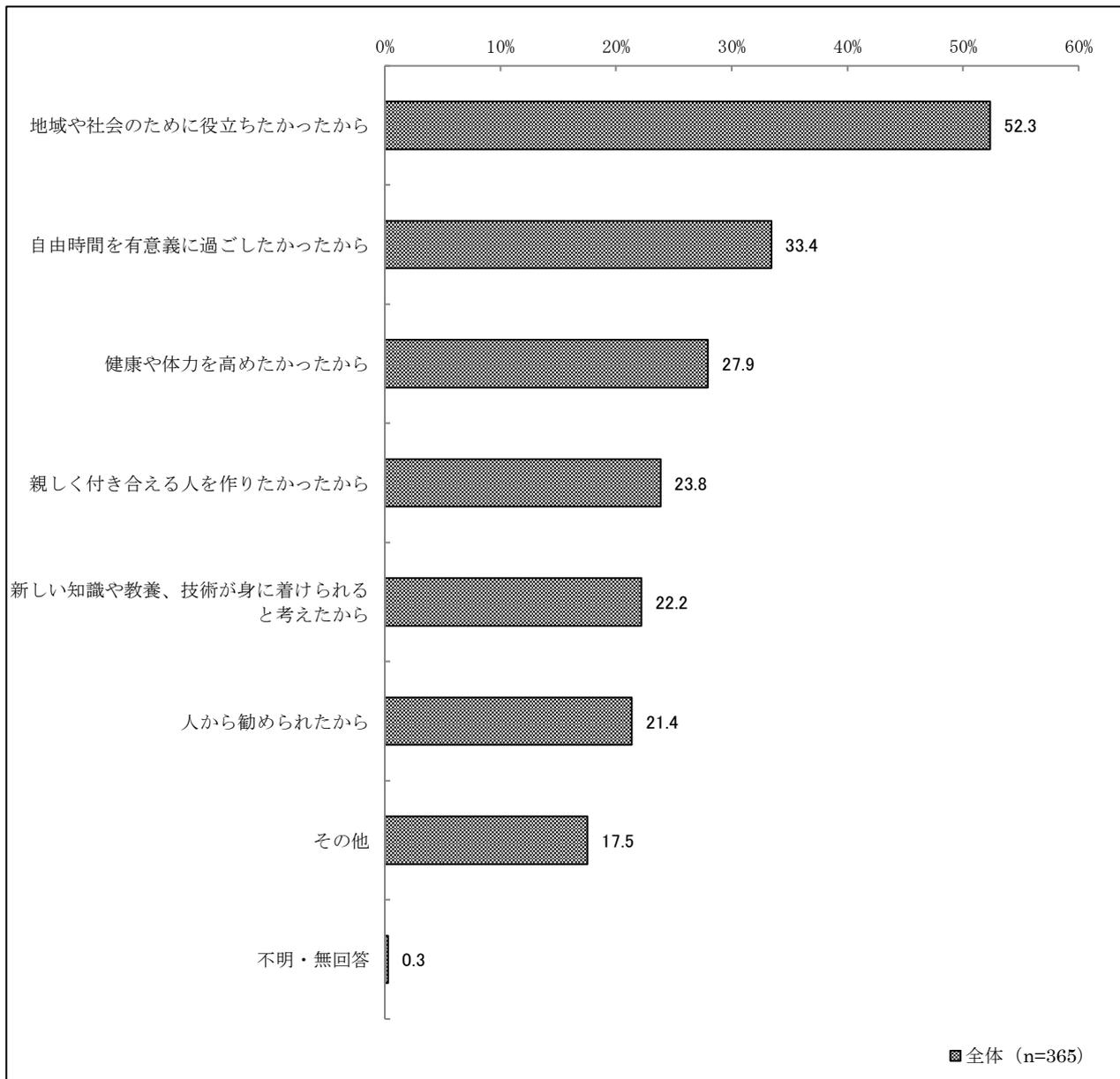
18～29歳では『参加しなかった』(96.1%)の割合は、9割を超えた。

図 6-1 地域活動への参加状況（地区別/性別/年齢別）



(2) 地域活動に参加しようと思った理由

問22 上記の問21で「1」または「2」と答えた方に質問です。あなたが地域活動に参加しようと思った理由やきっかけは、次のうちどれに当てはまりますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。



— 「地域や社会のために役立ちたかったから」が5割 —

【全体結果】

「地域や社会のために役立ちたかったから」(52.3%)が5割を超え、割合が最も高い。次いで「自由時間を有意義に過ごしたかったから」(33.4%)、「健康や体力を高めたかったから」(27.9%)、「親しく付き合える人を作りたいかったから」(23.8%)、「新しい知識や教養、技術が身に付けられると考えたから」(22.2%)、「人から勧められたから」(21.4%)の順に続く。

【属性別結果】（次ページ図 6-2 参照）

① 地区別

いずれの地区でも「地域や社会のために役立ちたかったから」の割合が最も高く、南区（61.9%）の割合が最も高い。

西区は、「健康や体力を高めたかったから」（42.2%）の割合が他地区と比べて高い。

中央区は、「新しい知識や教養、技術が身に着けられると考えたから」（35.7%）の割合が他地区と比べて高い。

② 性別

「地域や社会のために役立ちたかったから」は、女性（40.6%）と比較して、男性（63.7%）で割合が高く、「自由時間を有意義に過ごしたかったから」、「健康や体力を高めたかったから」は、男性（各 22.3%、15.1%）と比較して、女性（各 43.4%、40.6%）で割合が高い。

③ 年齢別

「自由時間を有意義に過ごしたかったから」、「健康や体力を高めたかったから」、「親しく付き合える人を作りたかったから」は高齢になるほど割合が高くなる傾向がみられる。

図 6-2 地域活動に参加しようと思った理由（地区別/性別/年齢別） 1/2

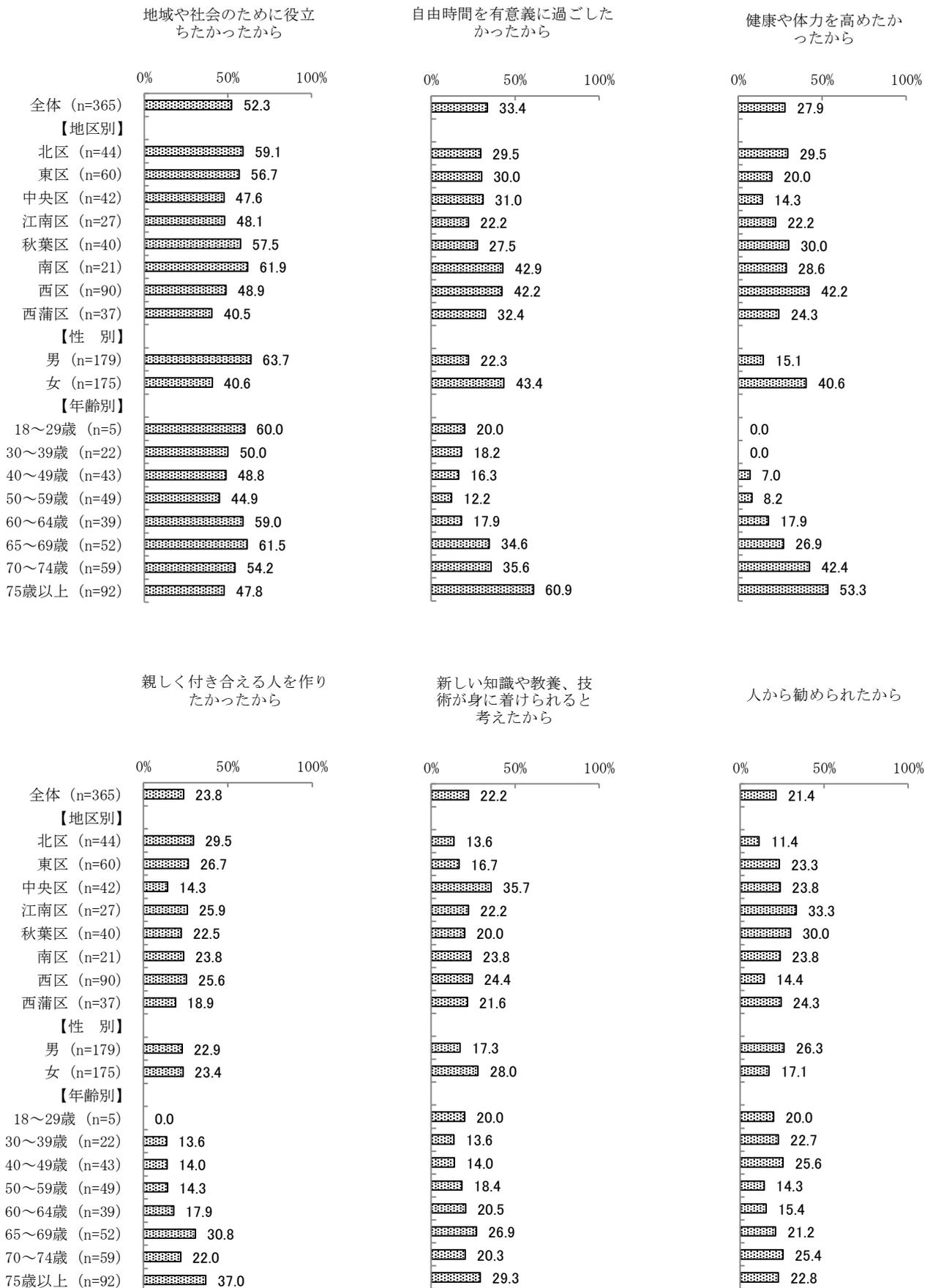
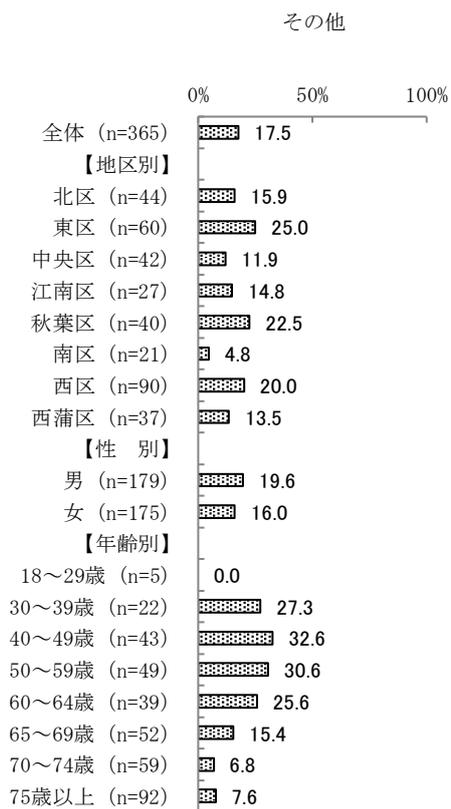
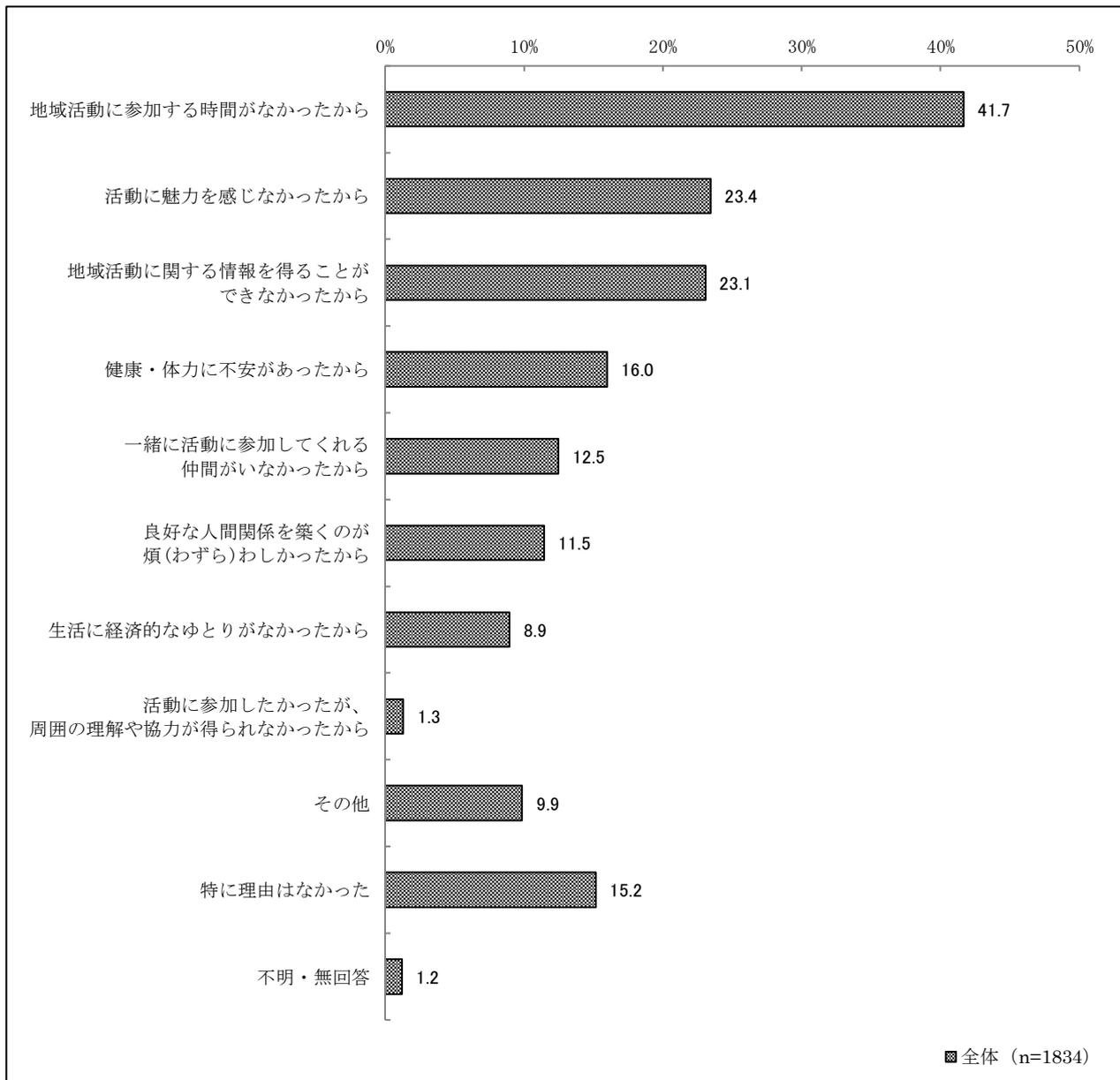


図 6-2 地域活動に参加しようと思った理由（地区別/性別/年齢別） 2/2



(3) 地域活動に参加できなかった要因

問23 問21の質問で「3」または「4」と答えた方に質問です。あなたが頻繁に地域活動に参加できなかった要因は、次のうちどれに当てはまりますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。



— 「地域活動に参加する時間がなかったから」が4割以上 —

【全体結果】

「地域活動に参加する時間がなかったから」(41.7%)が4割を超え、割合が最も高い。次いで「活動に魅力を感じなかったから」(23.4%)、「地域活動に関する情報を得ることができなかったから」(23.1%)の順に続き、2割を超えた。

「特に理由はなかった」(15.2%)も1割を超えた。

【属性別結果】（次ページ図 6-3 参照）

① 地区別

全ての地区で「地域活動に参加する時間がなかったから」の割合が最も高く、秋葉区（47.6%）の割合が最も高い。

中央区は、「地域活動に関する情報を得ることができなかったから」（31.9%）が、他地区と比べて高い。

② 性別

「活動に魅力を感じなかったから」については、女性（21.3%）と比較して、男性（26.6%）で割合が高かった。

③ 年齢別

「地域活動に関する情報を得ることができなかったから」は、18～29歳（37.6%）で割合が最も高く、若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

「健康・体力に不安があったから」は、75歳以上（43.1%）で割合が最も高く、65歳以上の高齢者で割合が高い。

図 6-3 地域活動に参加できなかった要因（地区別/性別/年齢別） 1/2

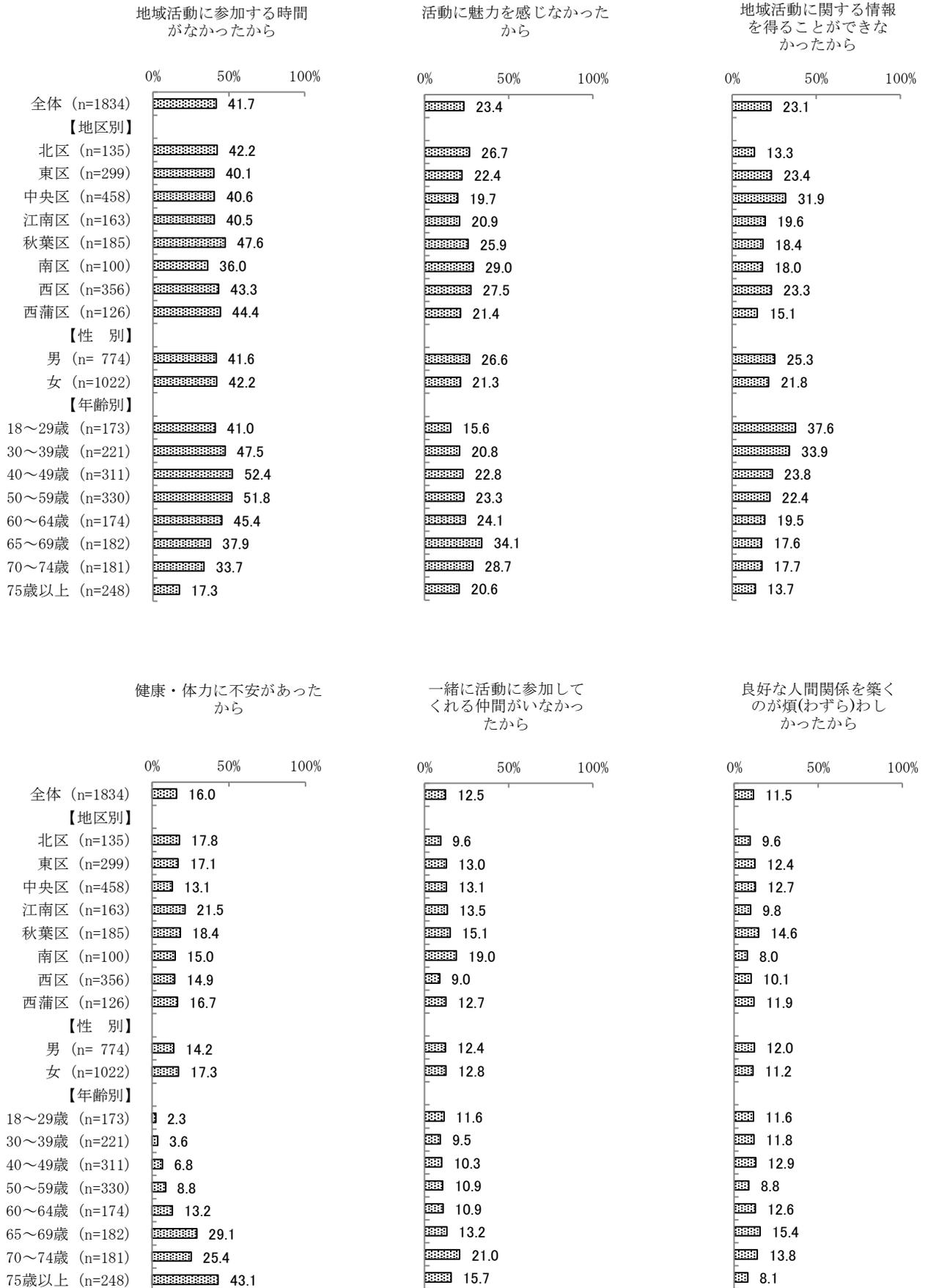
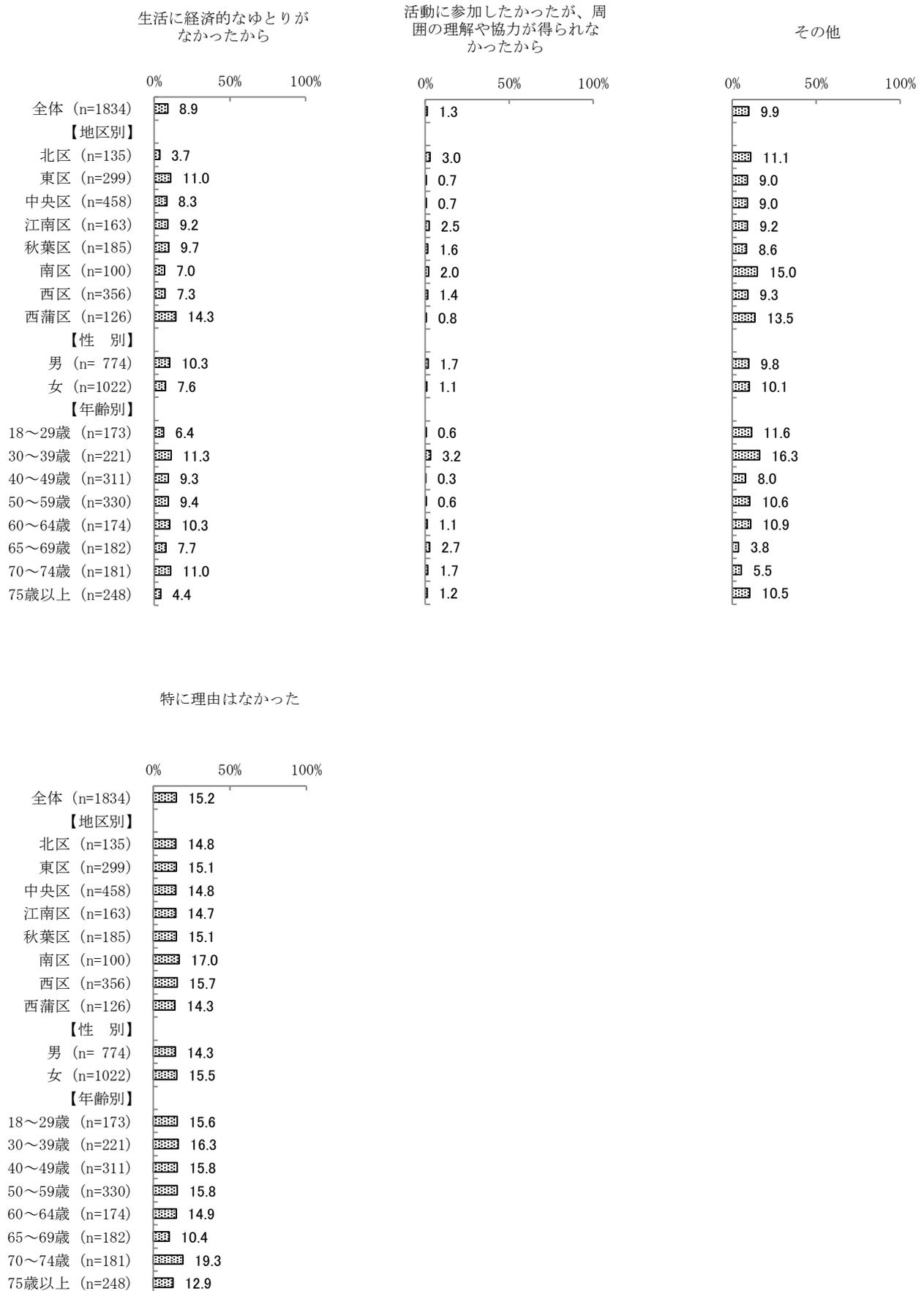


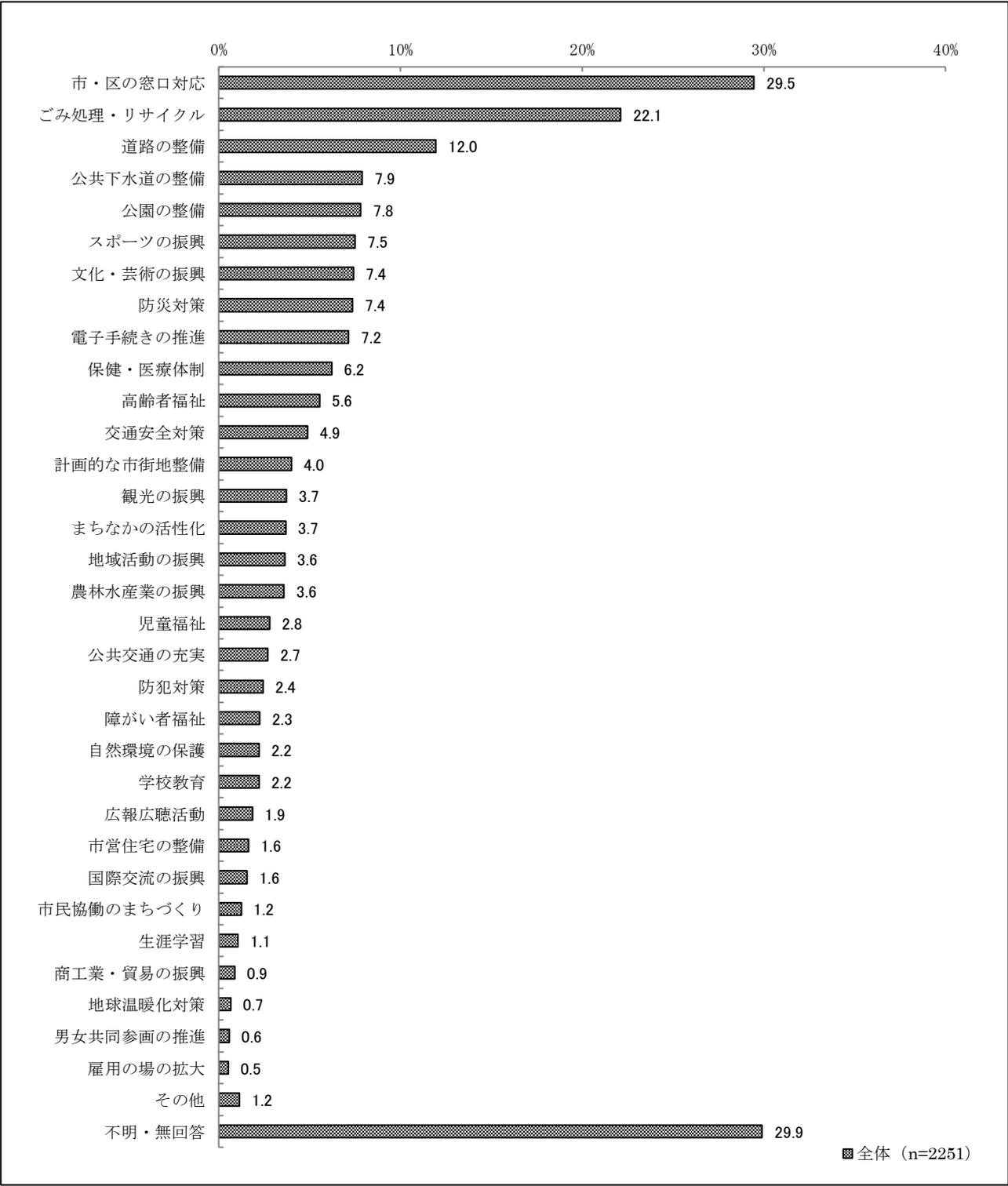
図 6-3 地域活動に参加できなかった要因（地区別/性別/年齢別） 2/2



7. 市政全般と区政について

(1) 新潟市として良くなっているもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ①「新潟市として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



【全体結果】

新潟市として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(29.5%)の割合が最も高く、約3割となった。次いで、「ごみ処理・リサイクル」(22.1%)が2割強となった。次に「道路の整備」(12.0%)が続くが、以下は1割未満となった。

【属性別結果】(次ページ図7-1参照)

① 地区別

「市・区の窓口対応」については、西区(36.5%)で割合が最も高く、次いで、東区(32.5%)、中央区(30.6%)で3割を超えている。割合が最も低いのは西蒲区(16.5%)で、1割台となった。

② 性別

「ごみ処理・リサイクル」は、男性(19.0%)と比較して女性(25.0%)で割合が高い。

③ 年齢別

「市・区の窓口対応」、「ごみ処理・リサイクル」は、65～69歳(各42.4%、31.8%)で割合が最も高く、18～29歳(各14.4%、12.2%)で割合が最も低い。

18～29歳では、「道路の整備」(23.3%)、「交通安全対策」(10.0%)の割合が、30～39歳では「公園の整備」(16.0%)の割合が高く、他の年代と差がみられた。

図 7-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

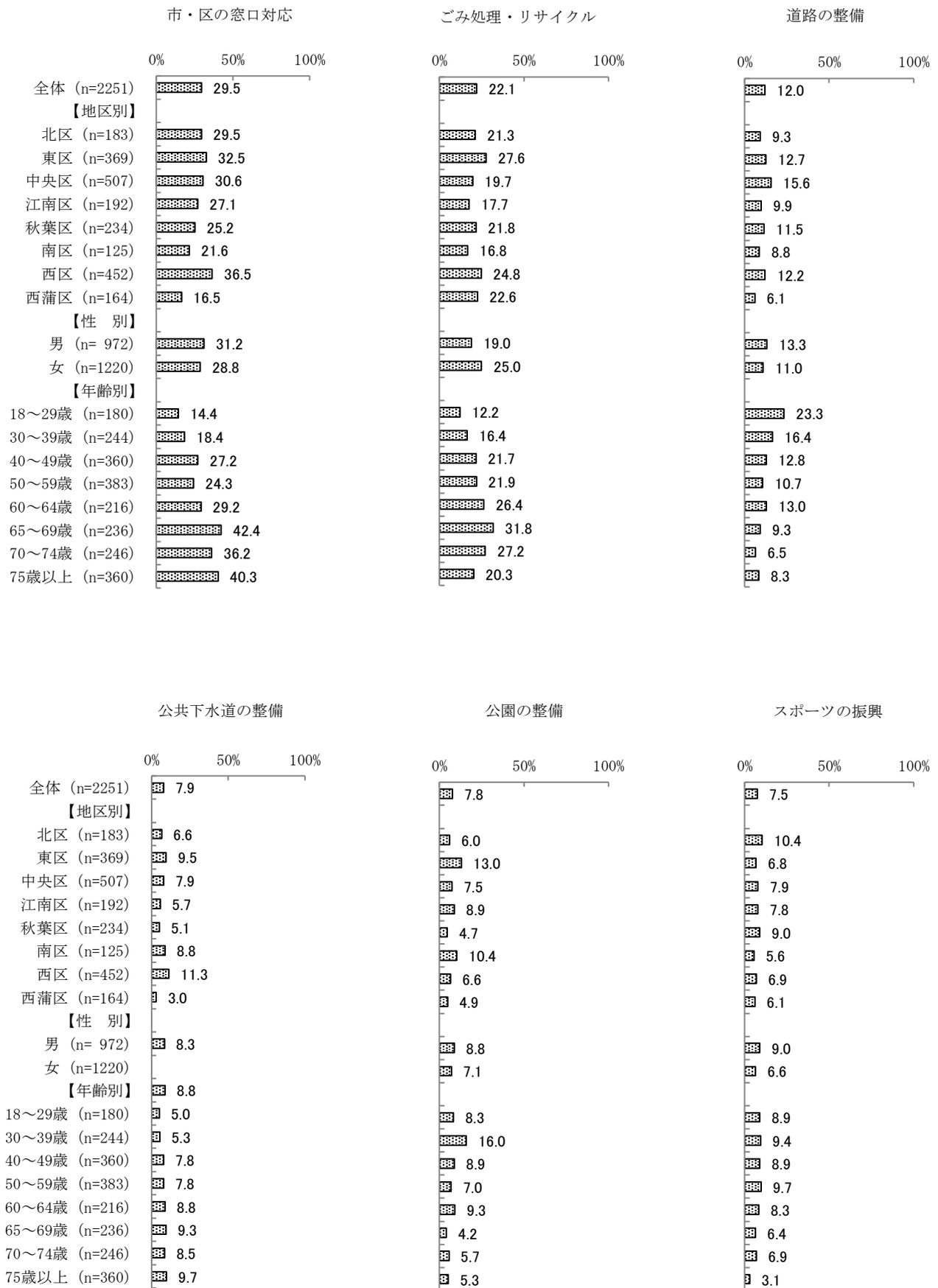


図 7-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

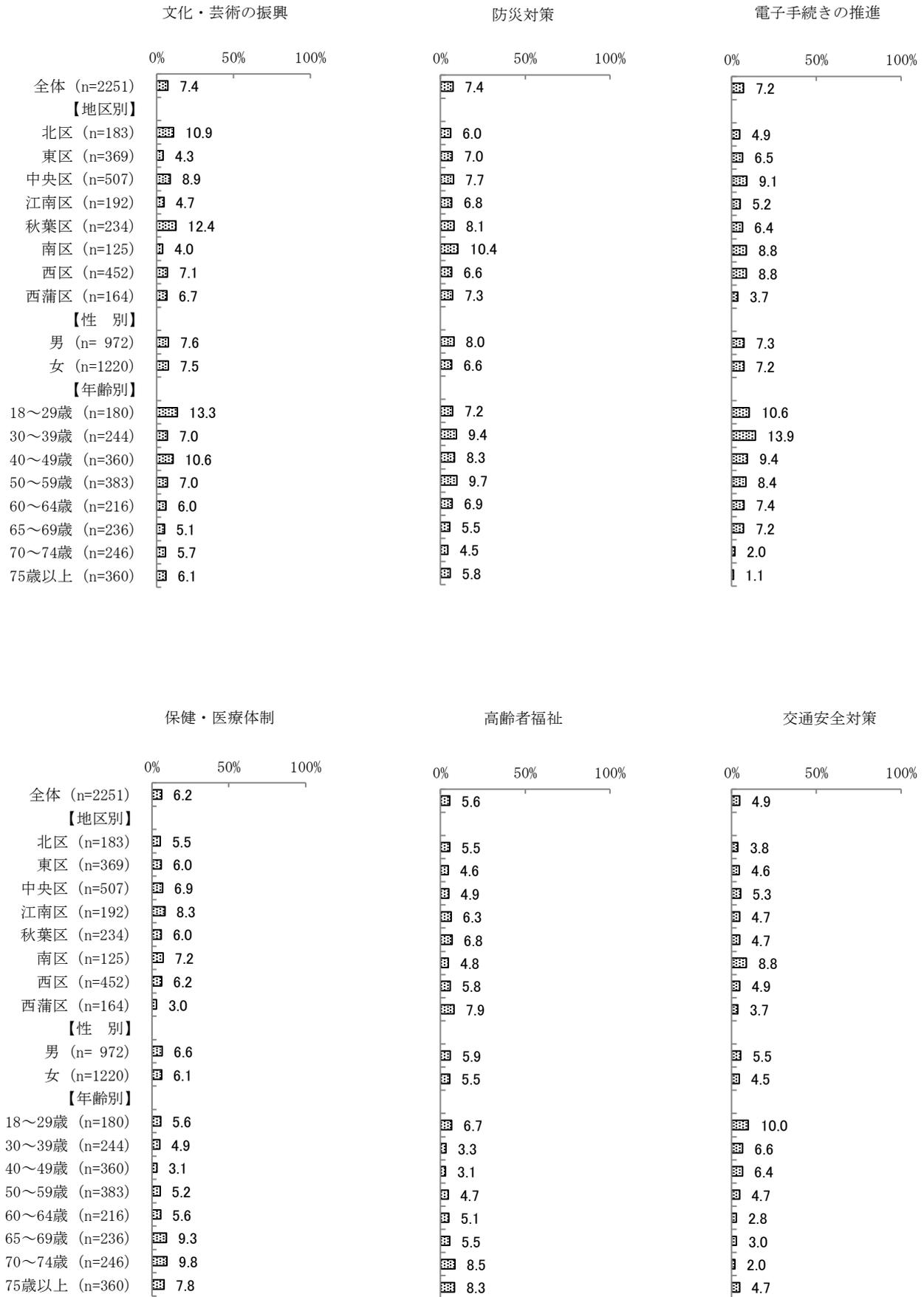


図 7-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

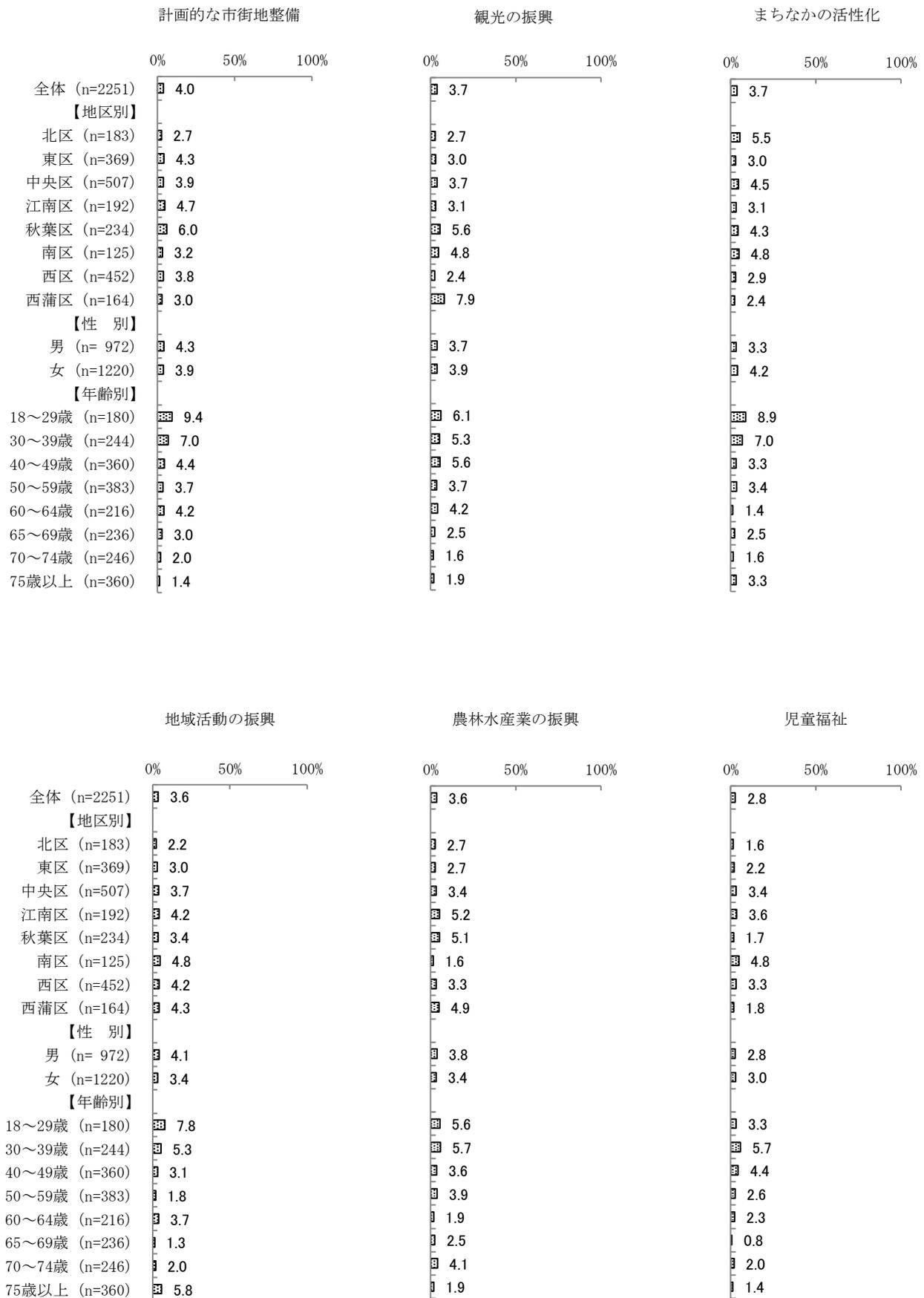


図 7-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

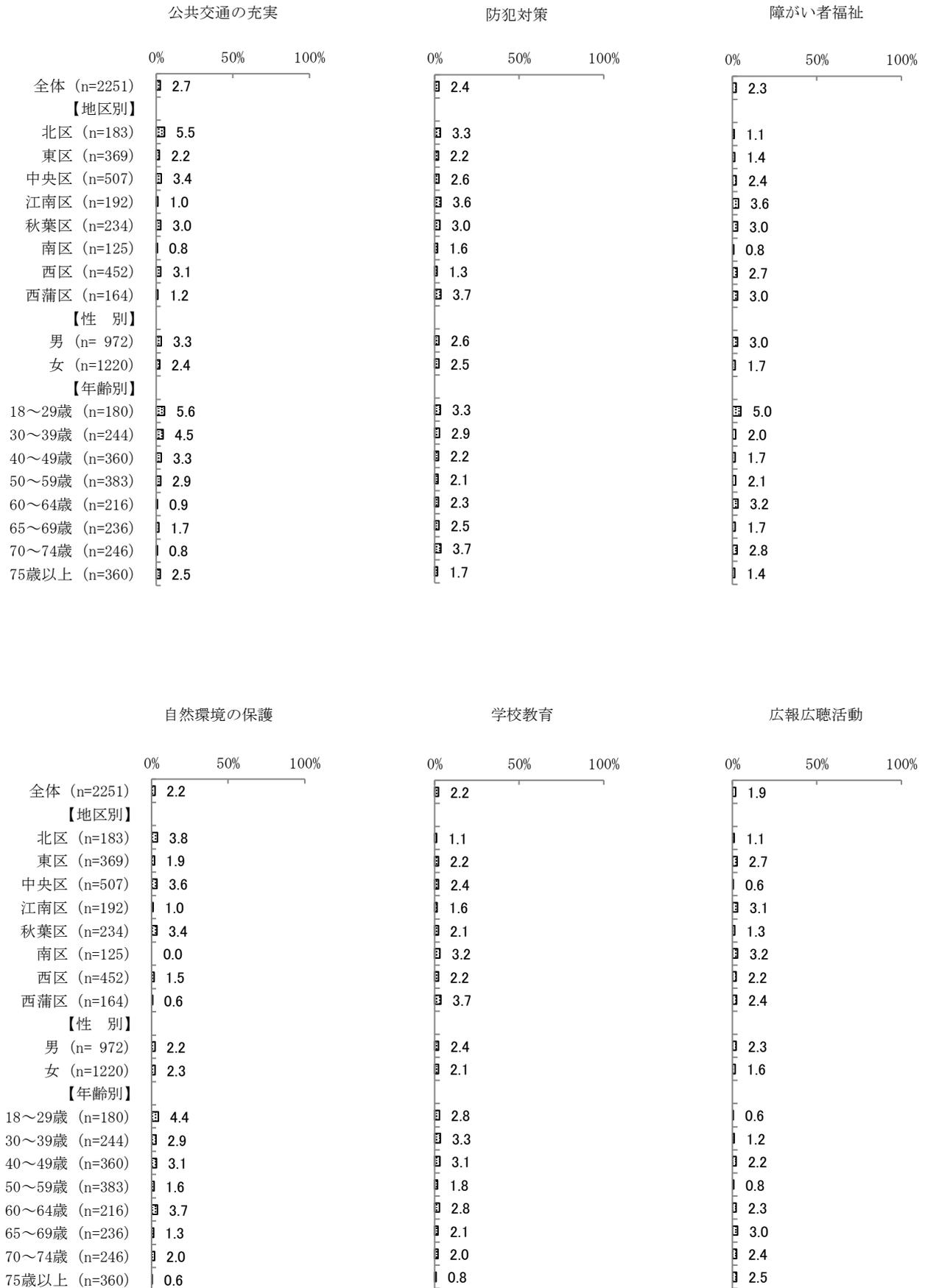


図 7-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

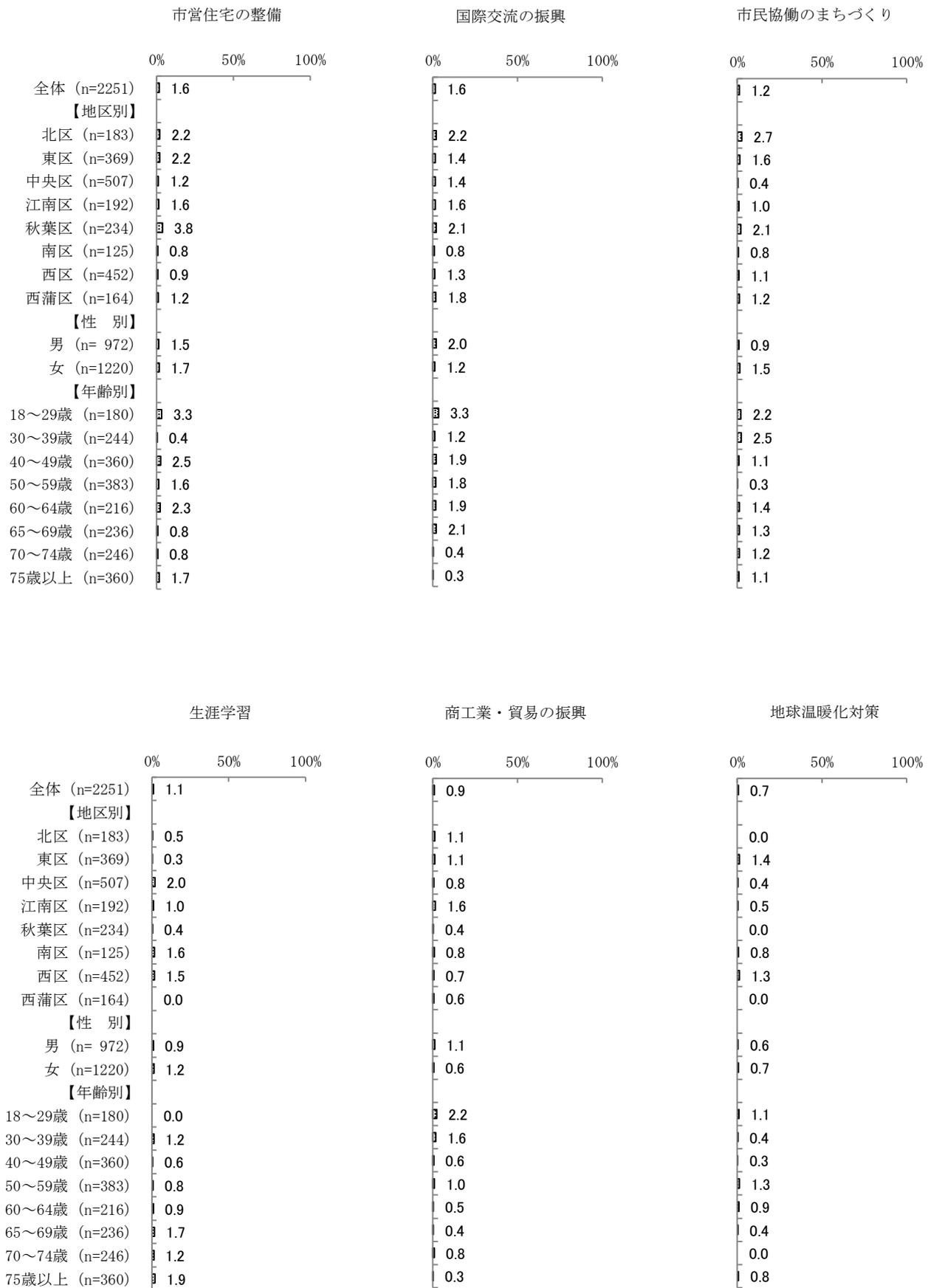
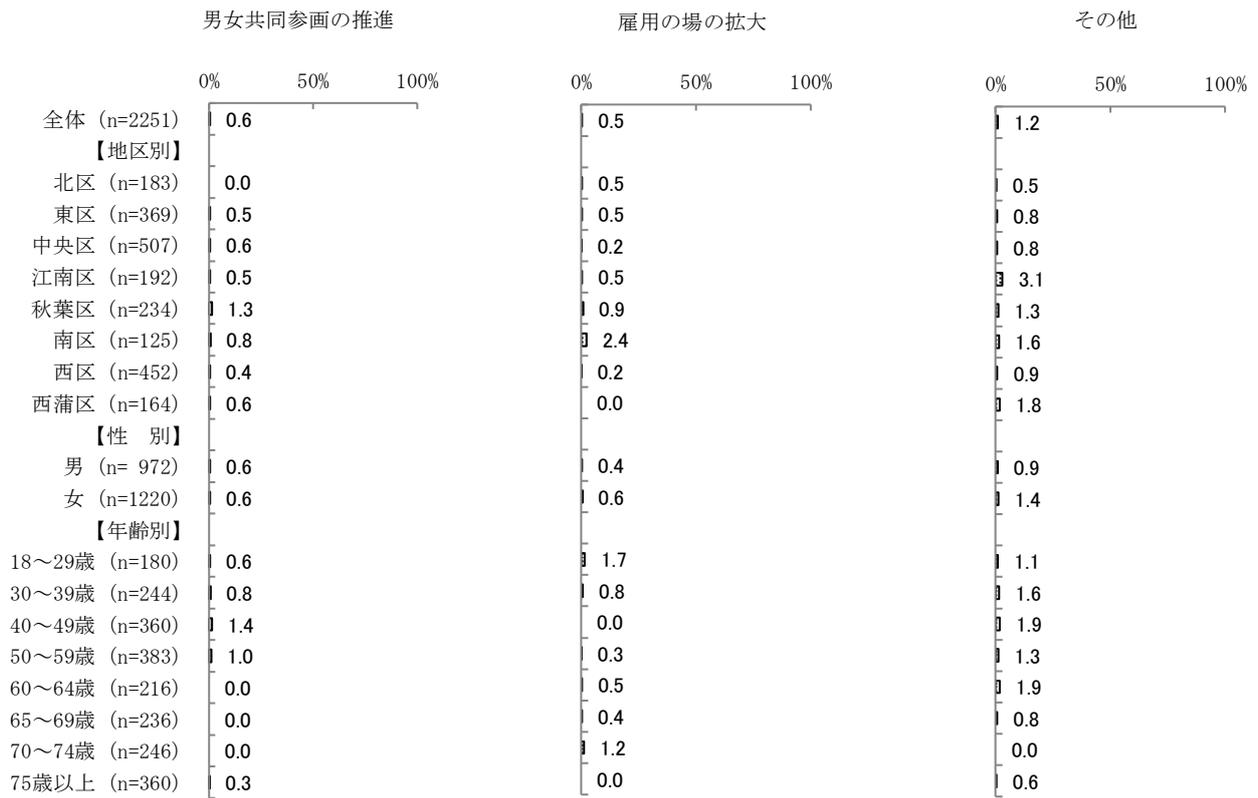
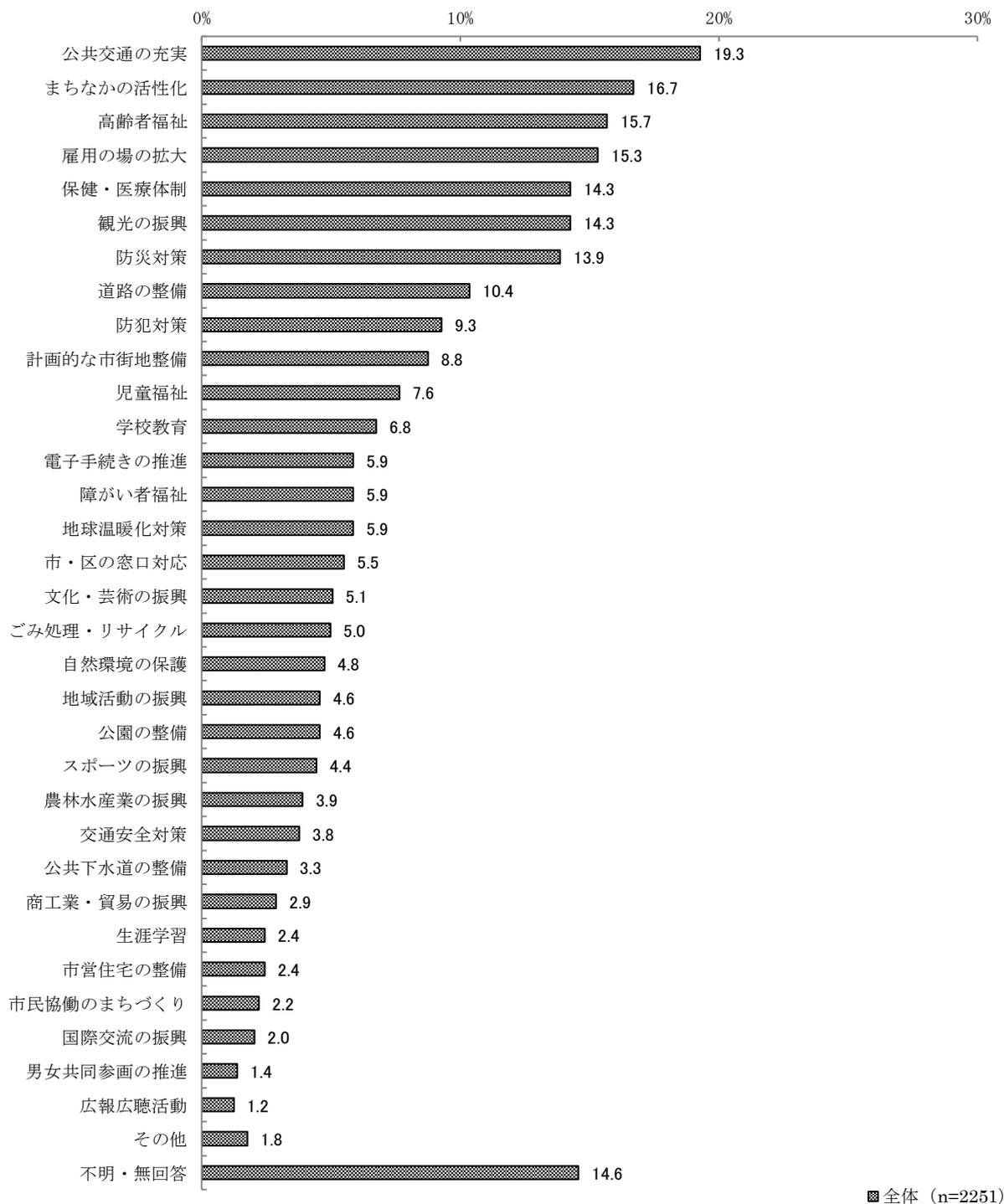


図 7-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



— 約2割が「公共交通の充実」を要望 —

【全体結果】

新潟市として今後もっと力を入れてほしいものは、「公共交通の充実」（19.3％）が最も高く、約2割となった。次いで「まちなかの活性化」（16.7％）、「高齢者福祉」（15.7％）、「雇用の場の拡大」（15.3％）の順に続く。

【属性別結果】（次ページ図7-2参照）

① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「公共交通の充実」は、南区（25.6％）、中央区（22.7％）で割合が高く、2割を超えている。

「まちなかの活性化」は、中央区（22.7％）で割合が最も高い。逆に、江南区（10.4％）、秋葉区（11.1％）、西蒲区（12.2％）で割合が低くなった。

東区では「高齢者福祉」（19.0％）の割合が最も高くなっている。秋葉区では、「雇用の場の拡大」（23.1％）、「保健・医療体制」（20.5％）が2割を超え高く、他の区と比べて差がみられた。

東区、秋葉区を除く他の区では「公共交通の充実」が最も高かった。

② 性別

「まちなかの活性化」は、男性（13.7％）と比べて女性（19.2％）で割合が高い。

③ 年齢別

「公共交通の充実」は、60～64歳（26.4％）で、割合が最も高い。「まちなかの活性化」は、18～29歳（22.2％）で割合が最も高く2割を超えた。

「観光の振興」は、18～29歳（23.9％）では、割合が最も高い項目となっている。

30～39歳では、「観光の振興」（17.2％）、「雇用の場の拡大」（17.2％）と答えた割合が最も高い。

図 7-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

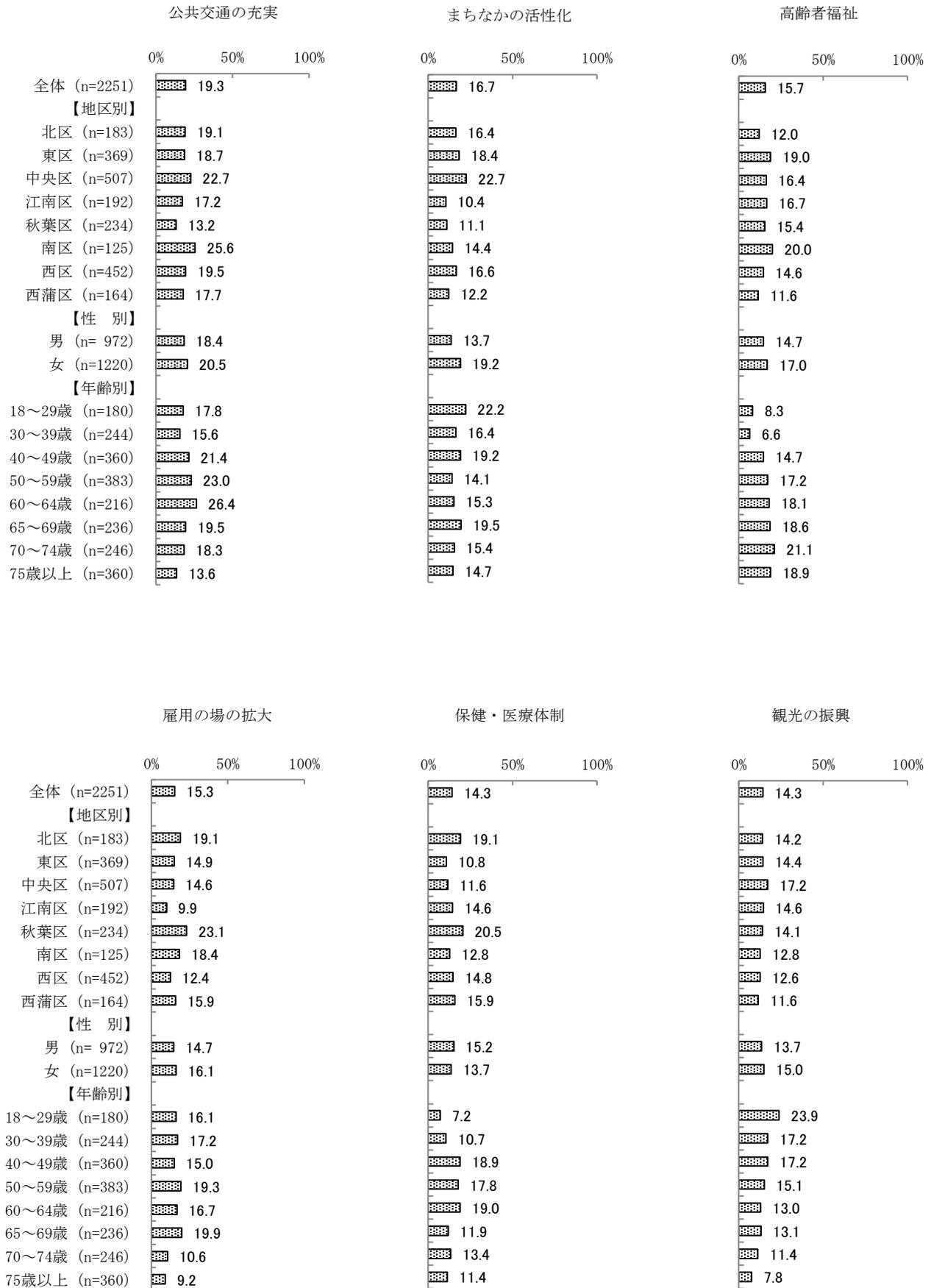


図 7-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

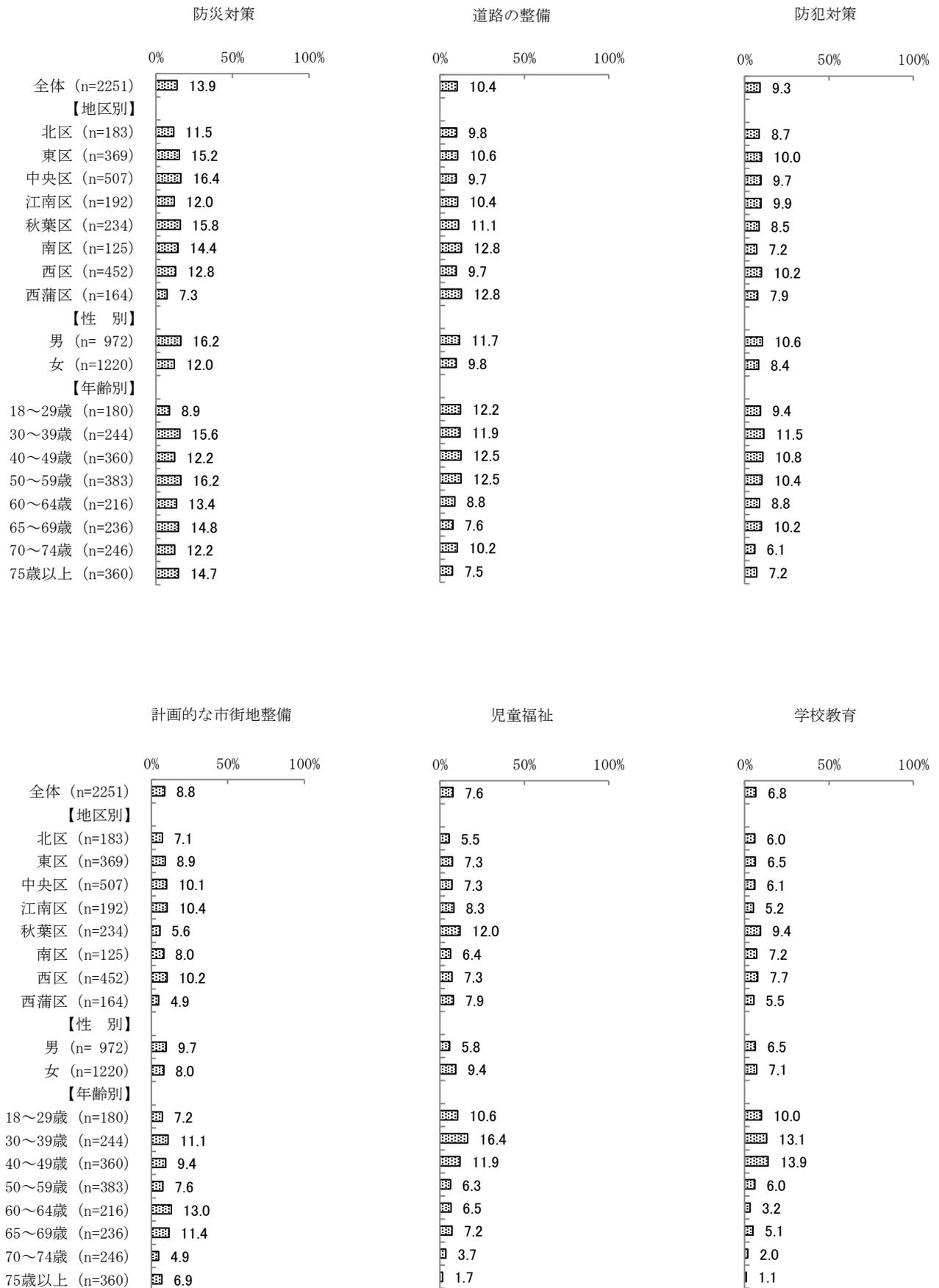


図 7-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

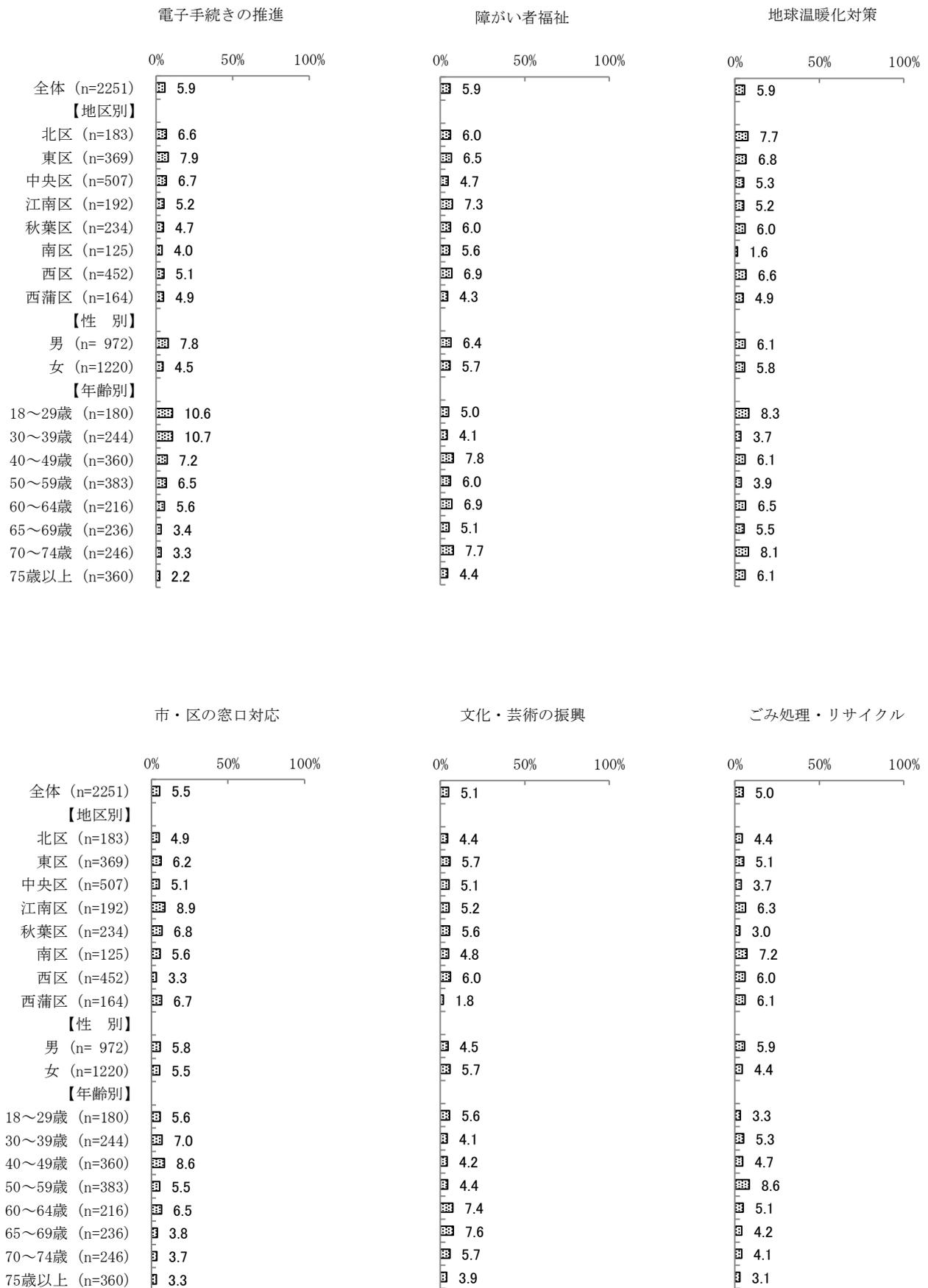


図 7-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

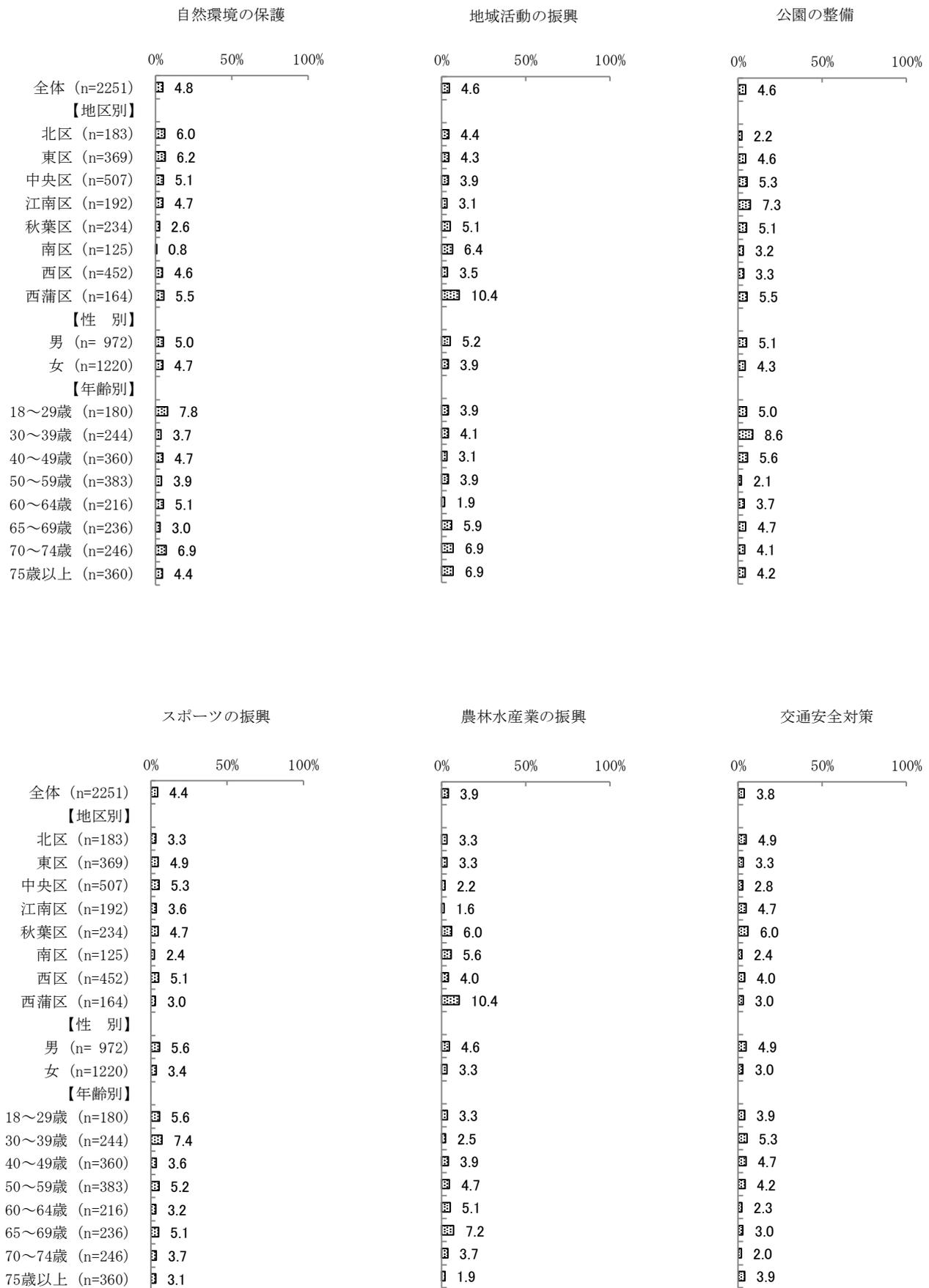


図 7-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

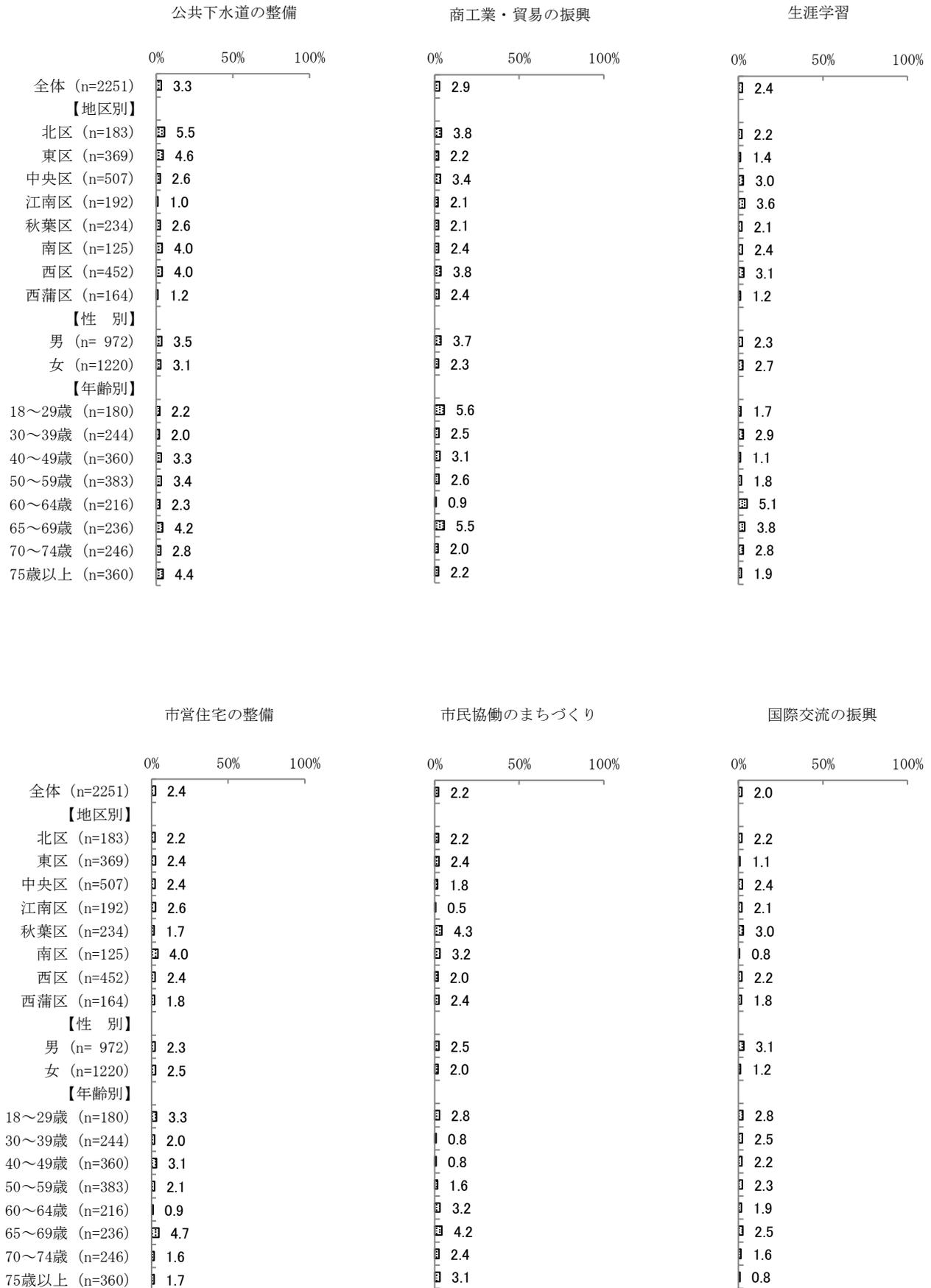
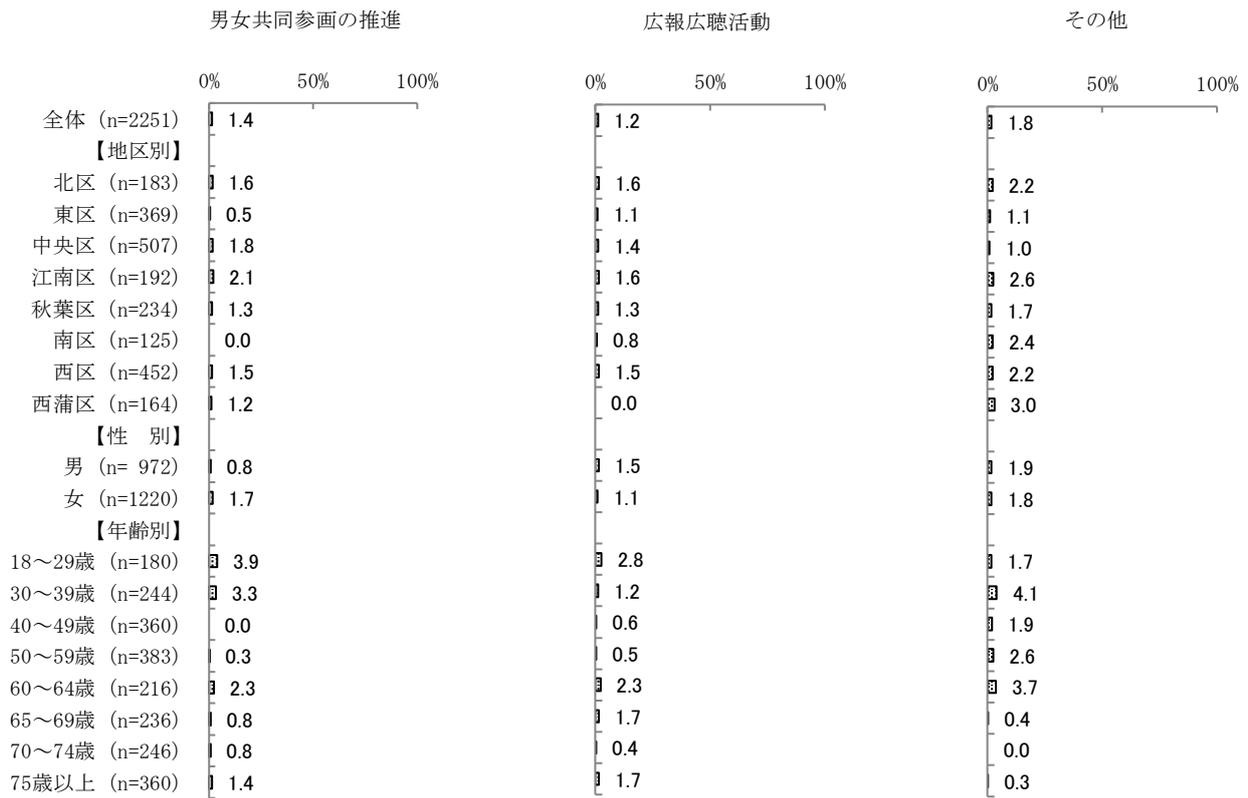
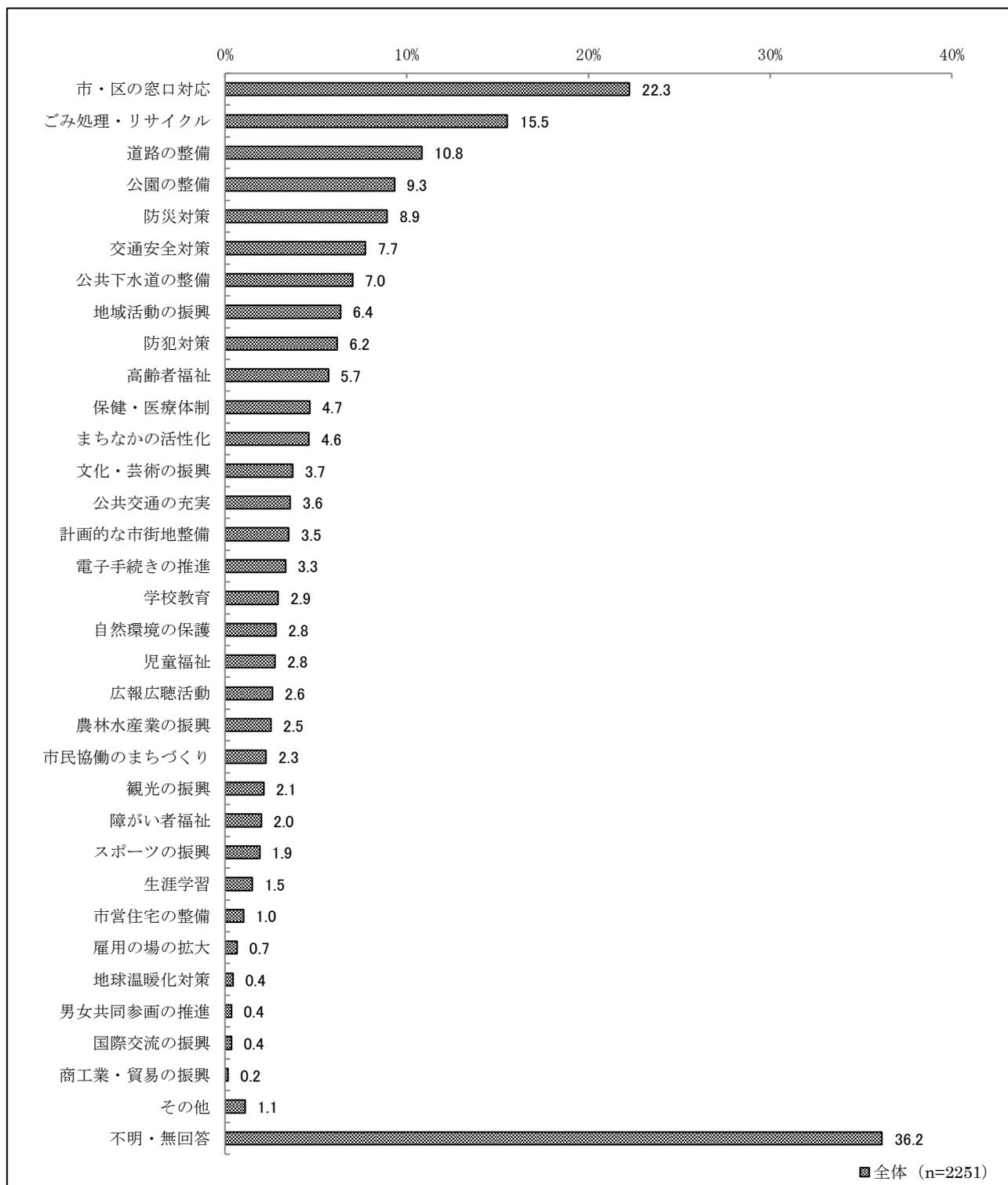


図 7-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(3) 区として良くなっているもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ③「区として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄
 に番号(1~33)をご記入ください。



— 2割強が「市・区の窓口対応」を評価 —

【全体結果】

区として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(22.3%)の割合が最も高い。以下「ごみ処理・リサイクル」(15.5%)、「道路の整備」(10.8%)となった。次に「公園の整備」(9.3%)が続くが、以下は1割未満となった。

【属性別結果】(次ページ図7-3参照)

① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「市・区の窓口対応」は、西区(26.8%)の割合が最も高く、西蒲区以外の区で2割を超えている。

「道路の整備」は中央区(15.2%)で割合が高く、「公園の整備」は東区(16.5%)で割合が高い。

② 性別

「ごみ処理・リサイクル」は、男性(14.0%)と比べて女性(17.0%)で割合がやや高い。

③ 年齢別

「市・区の窓口対応」は、60～64歳(35.6%)で最も割合が高く、3割を超えている。

「道路の整備」は、若年層ほど割合が高く、18～29歳(18.3%)、30～39歳(15.6%)では割合が最も高い項目となっている。

図 7-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

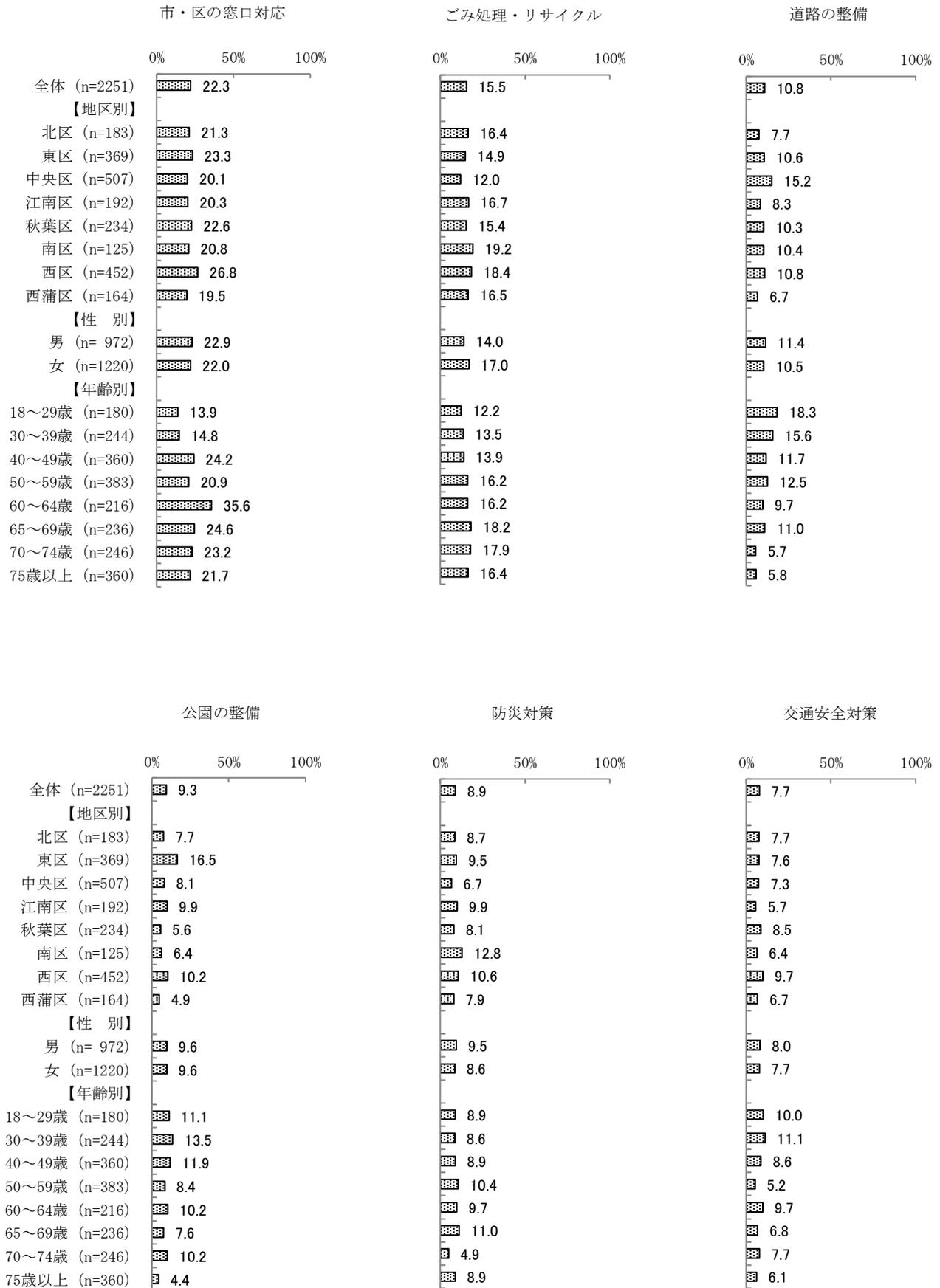


図 7-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

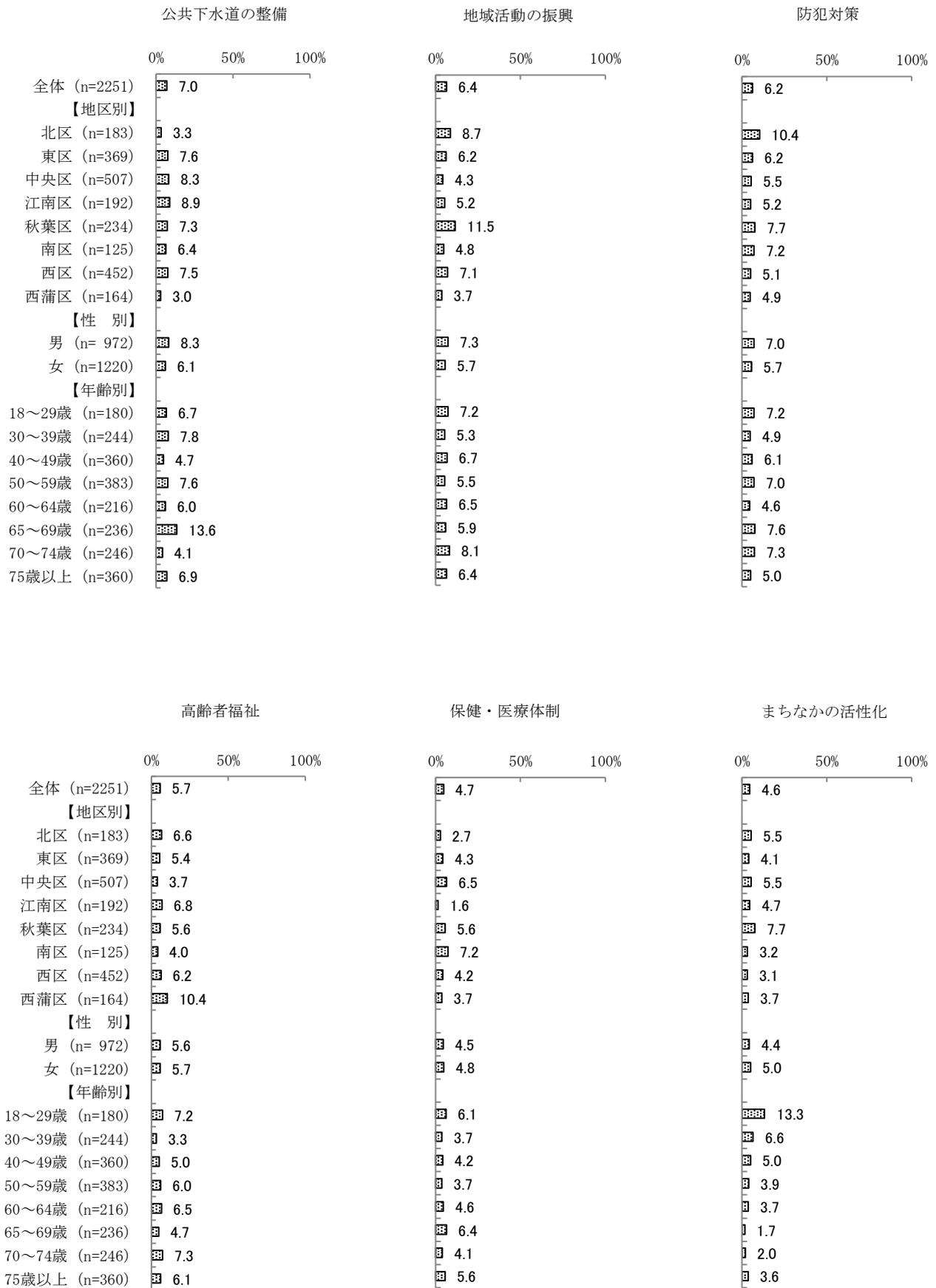


図 7-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

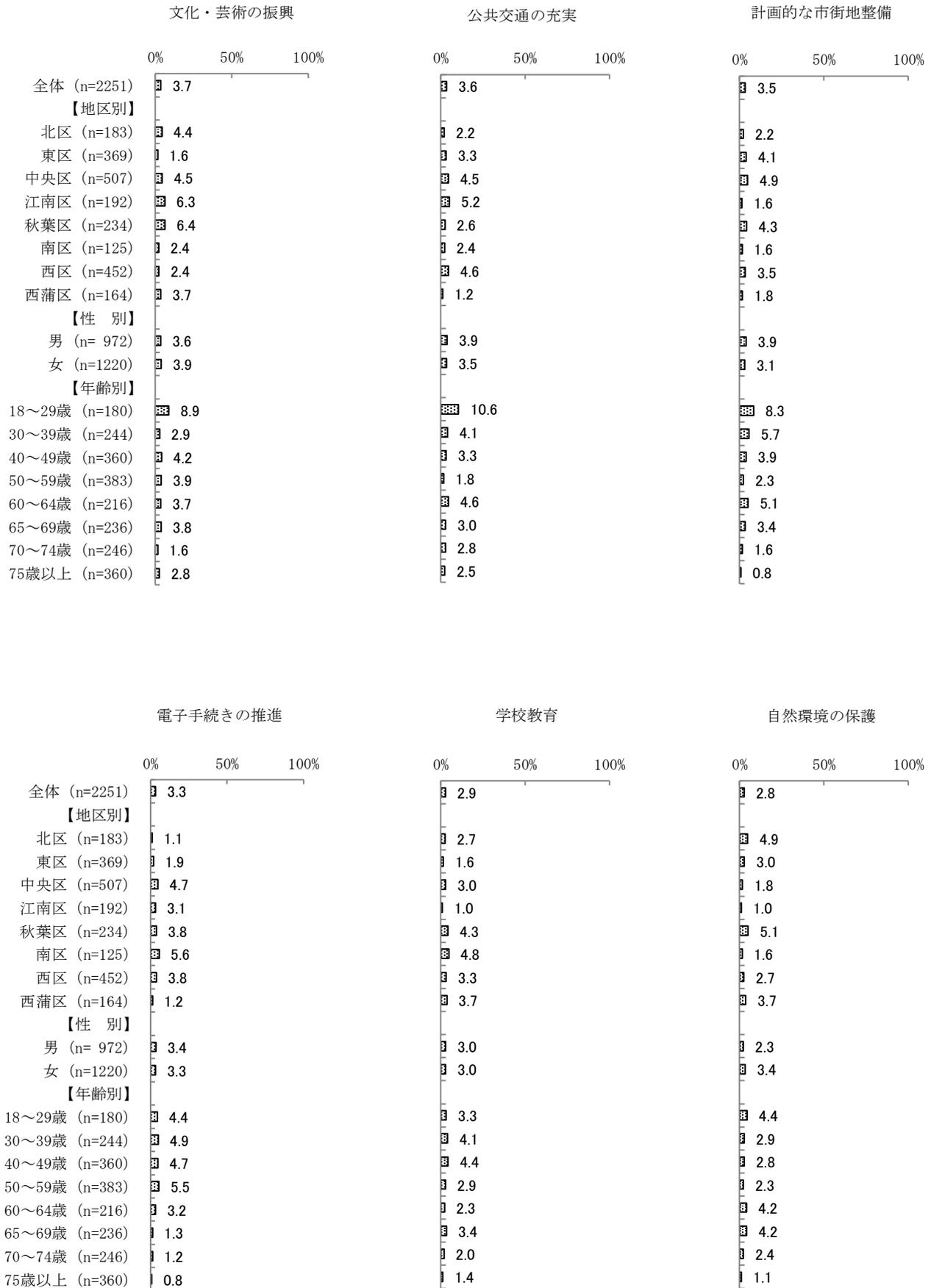


図 7-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

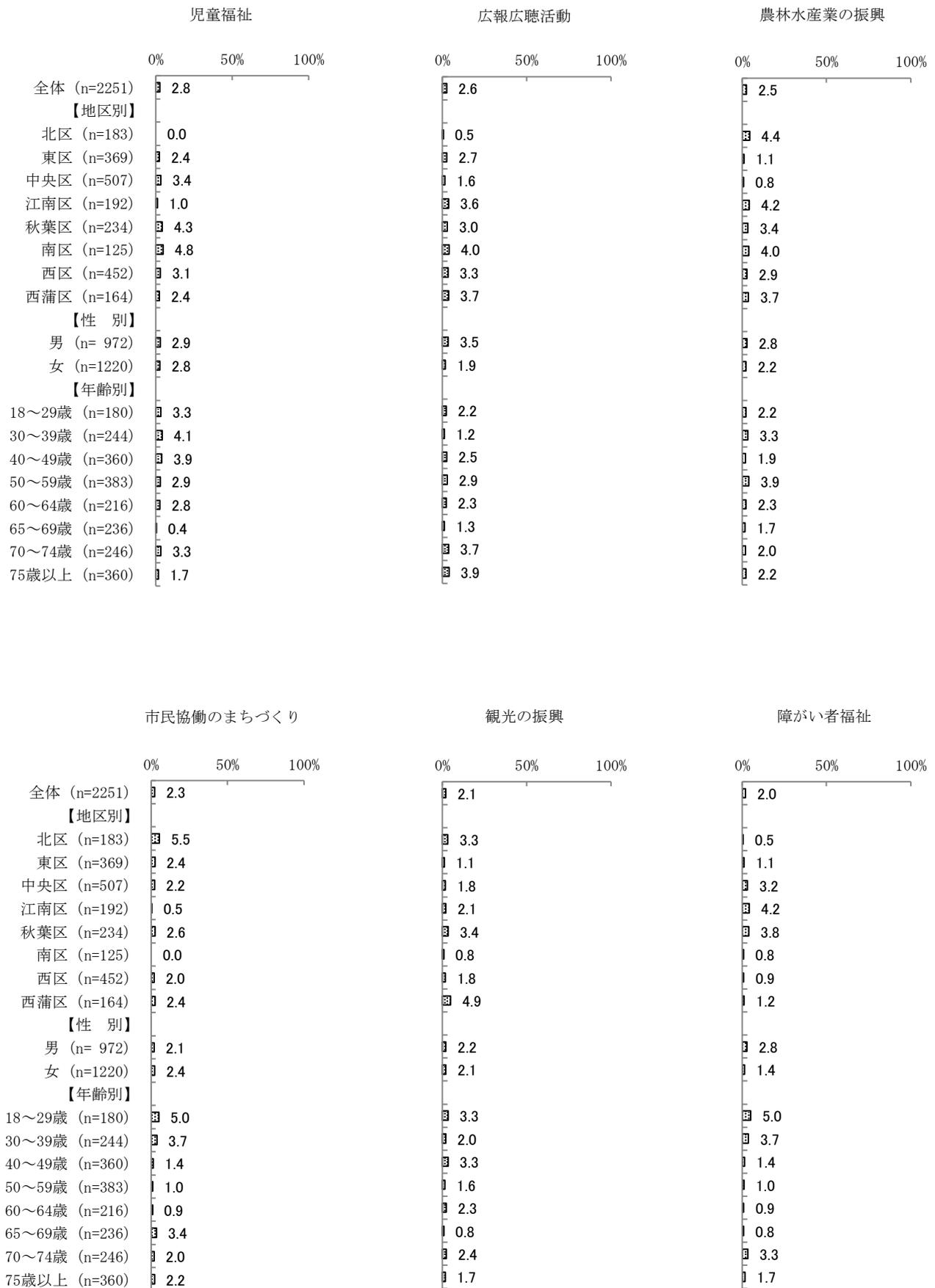


図 7-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

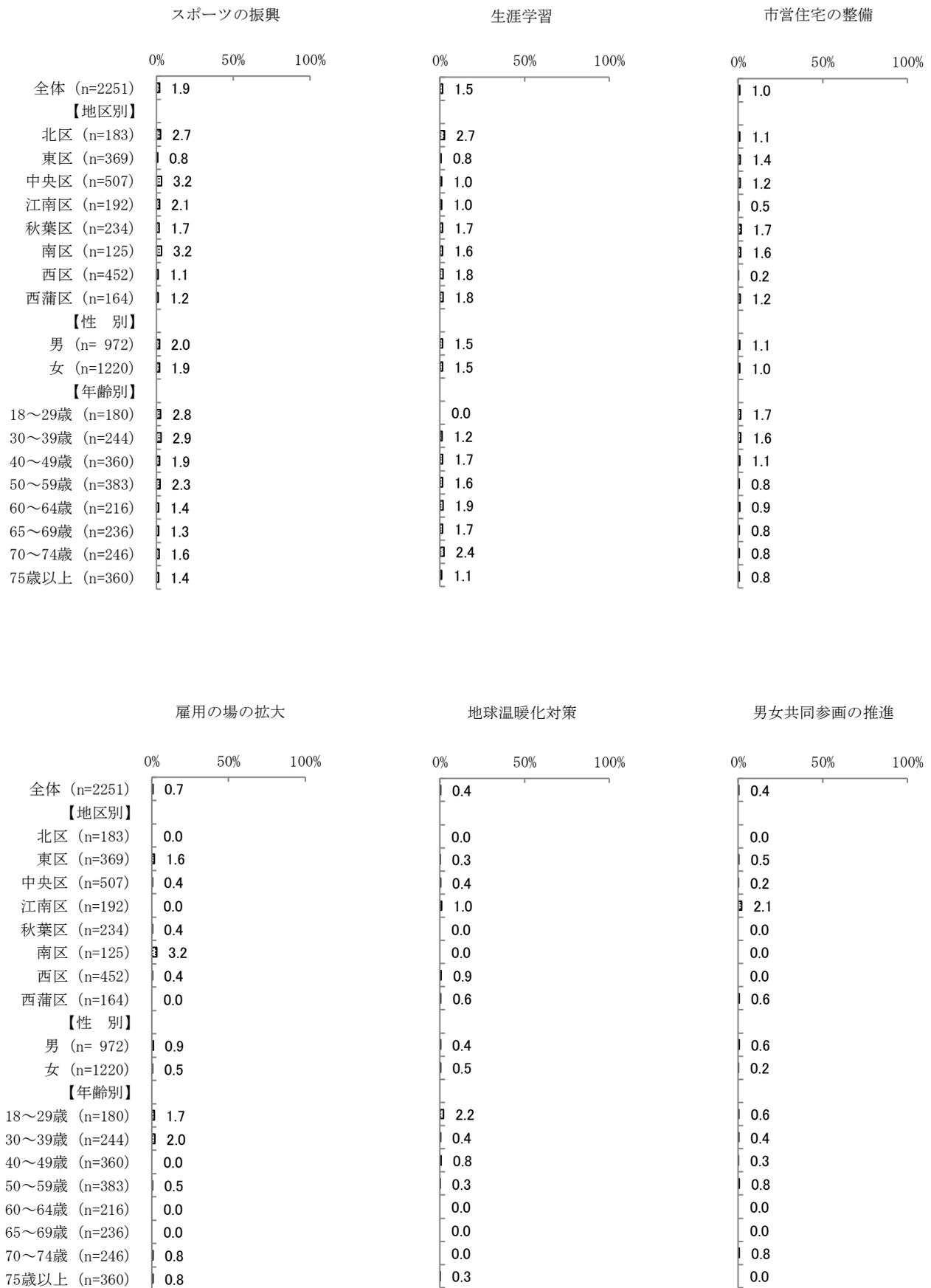
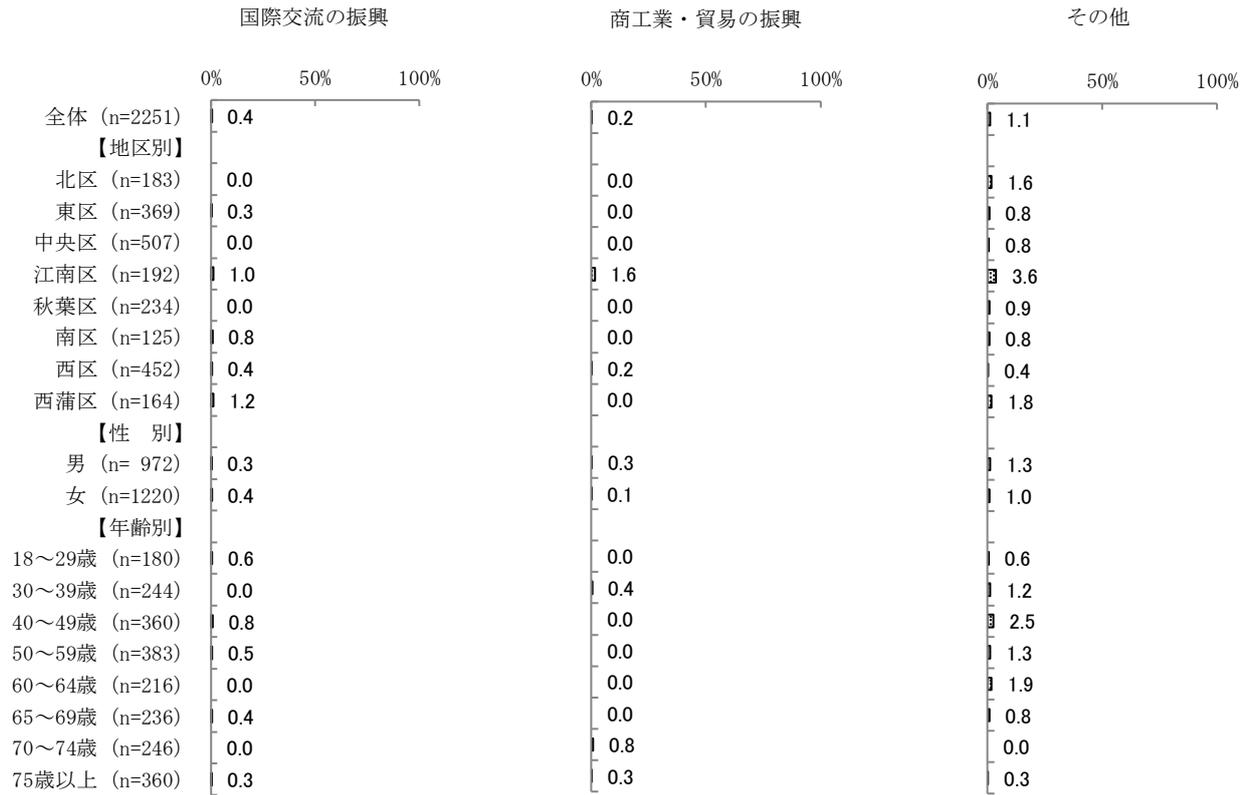
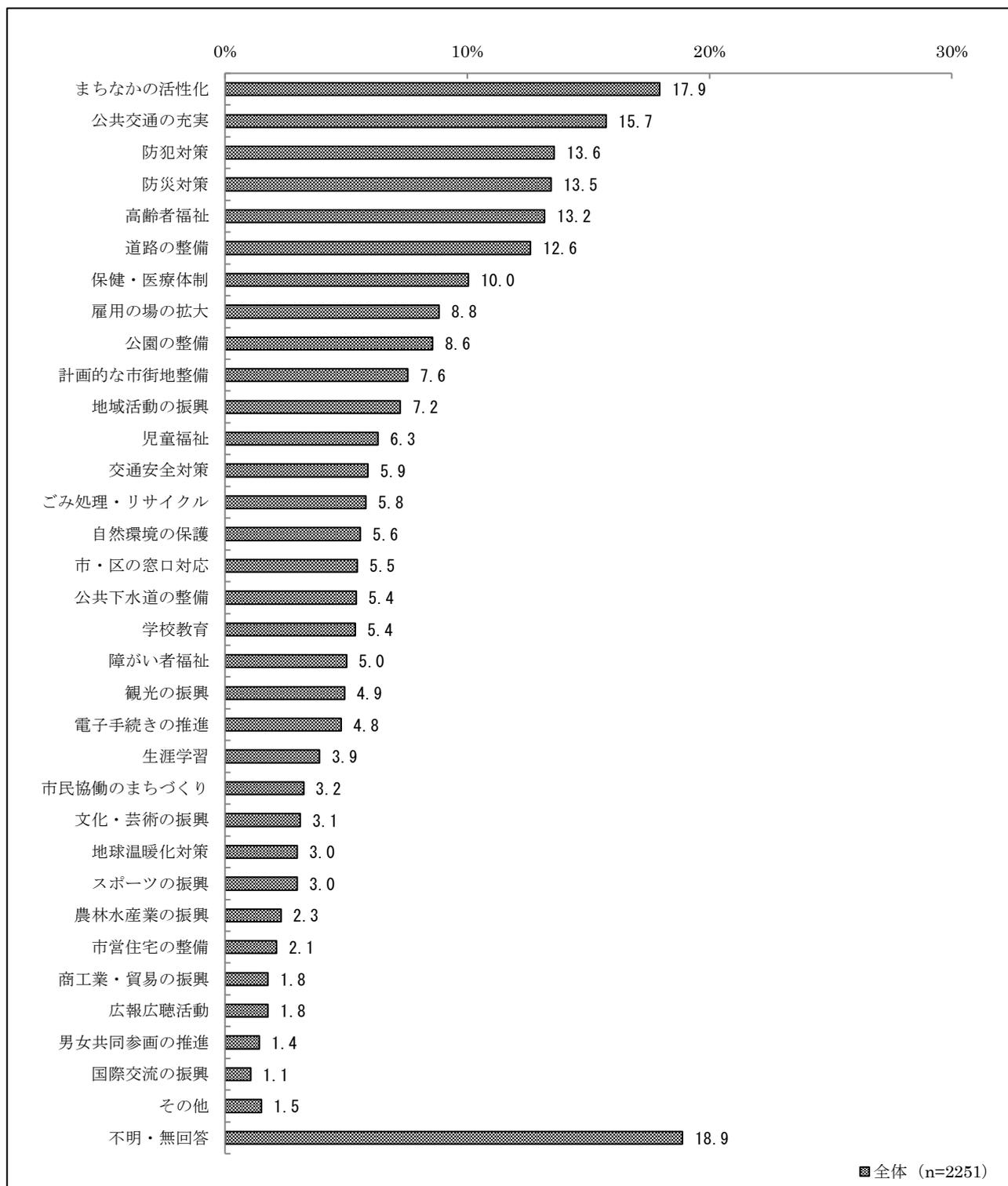


図 7-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



— 「まちなかの活性化」が約2割でトップ —

【全体結果】

区として今後もっと力を入れてほしいものは、「まちなかの活性化」(17.9%)の割合が最も高い。以下、「公共交通の充実」(15.7%)、「防犯対策」(13.6%)、「防災対策」(13.5%)、「高齢者福祉」(13.2%)、「道路の整備」(12.6%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図7-4参照)

① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「まちなかの活性化」は、中央区(24.7%)では、他区と比べて割合が高くなっている。

南区では「公共交通の充実」(29.6%)が、約3割となり、割合が最も高い項目となっている。

東区と西区では「防犯対策」(各18.7%、19.2%)が、割合が最も高い項目となっている。

② 性別

性別での大きな差はみられない。

③ 年齢別

18～29歳、30～39歳、60～64歳、65～69歳では、「まちなかの活性化」(各23.3%、18.0%、19.4%、23.3%)の割合が最も高い。40～49歳は「防犯対策」(21.4%)が、50～59歳、70～74歳は「公共交通の充実」(各21.7%、17.1%)が、75歳以上は「高齢者福祉」(14.7%)の割合が最も高い。

18～29歳は、「観光の振興」(13.9%)が、30～39歳は、「公園の整備」(14.8%)、「計画的な市街地整備」(12.7%)、「児童福祉」(13.1%)が、他の年齢層と比べて割合が高く、差がみられた。

図 7-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

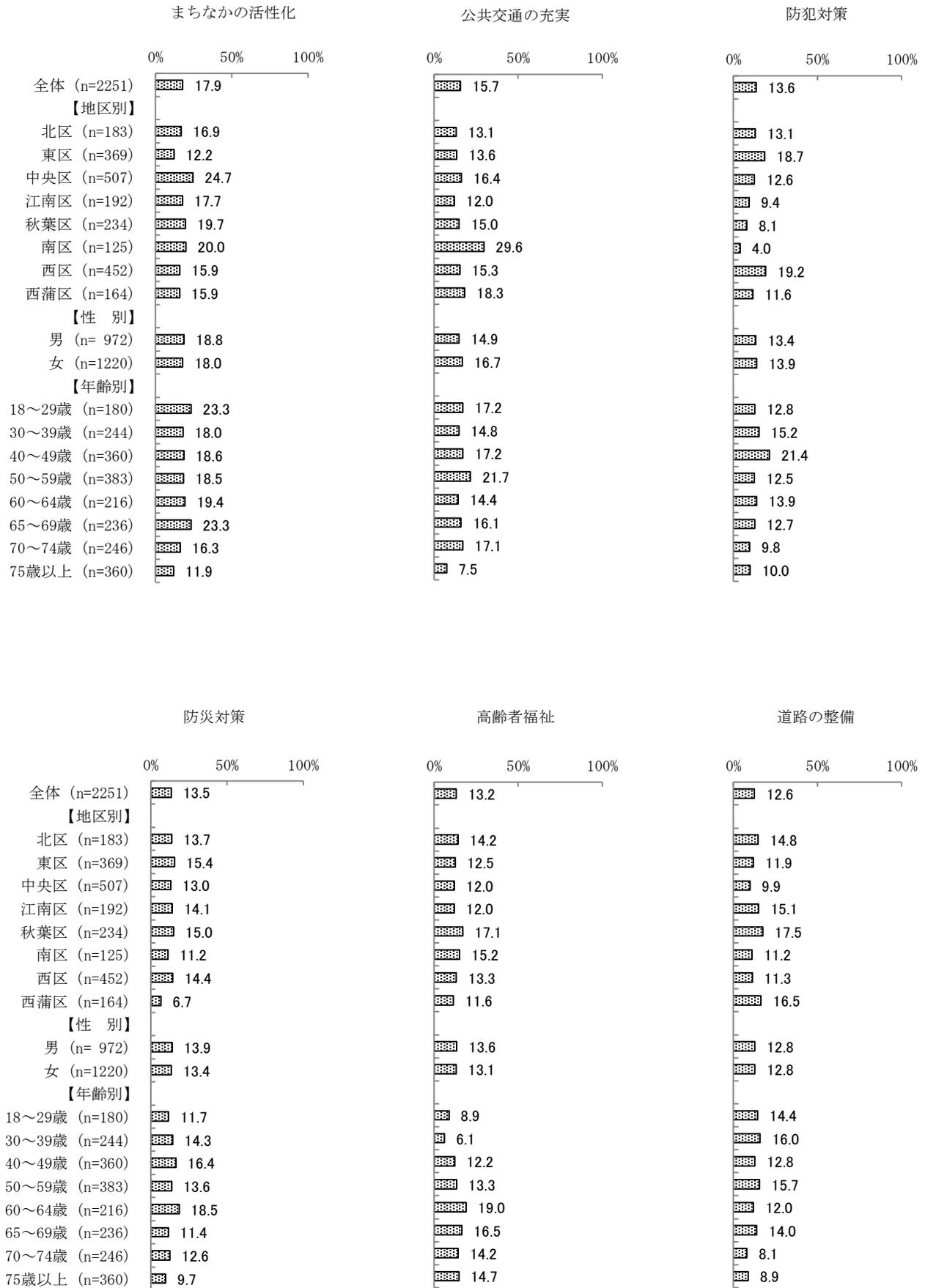


図 7-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

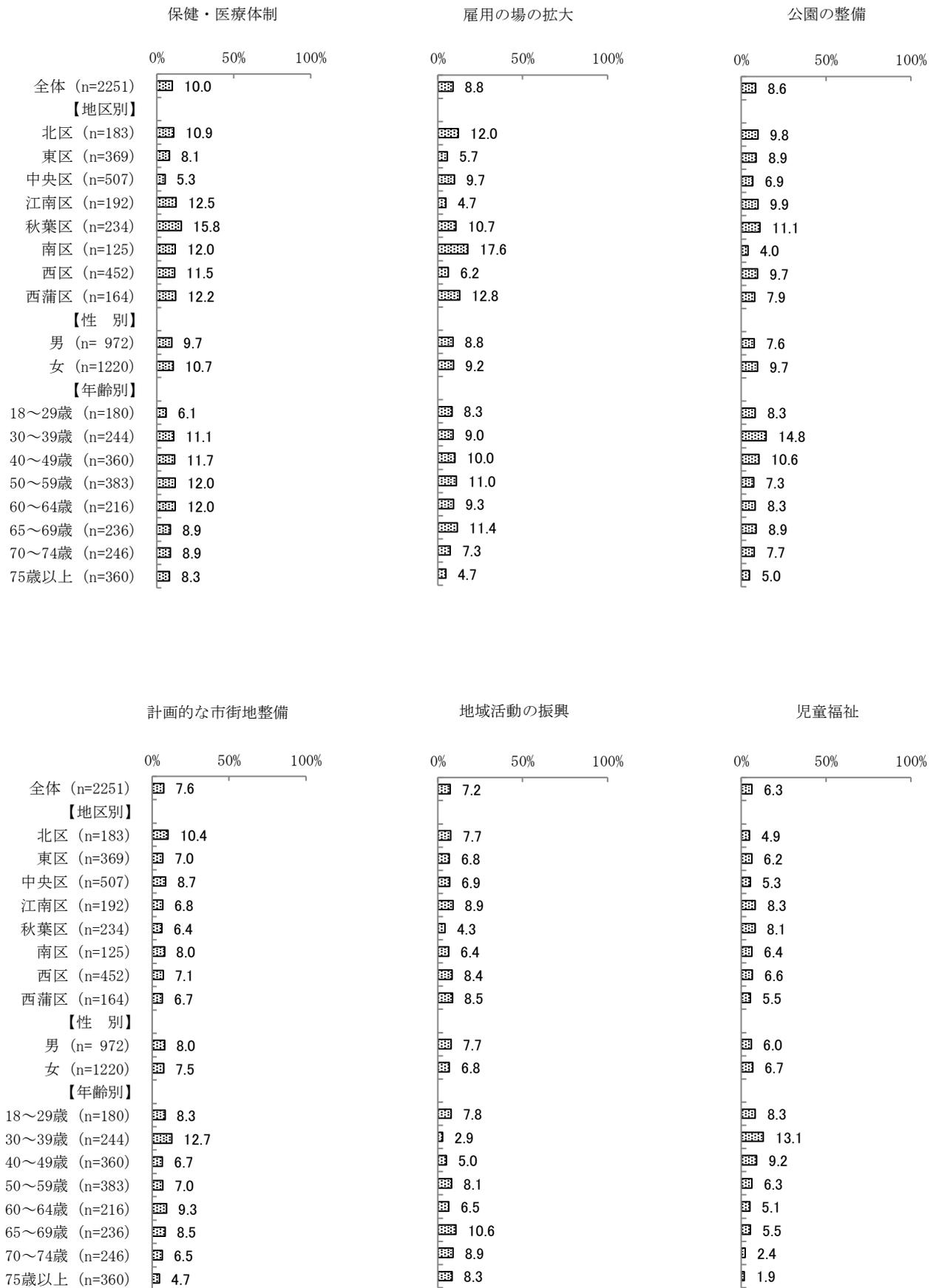


図 7-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

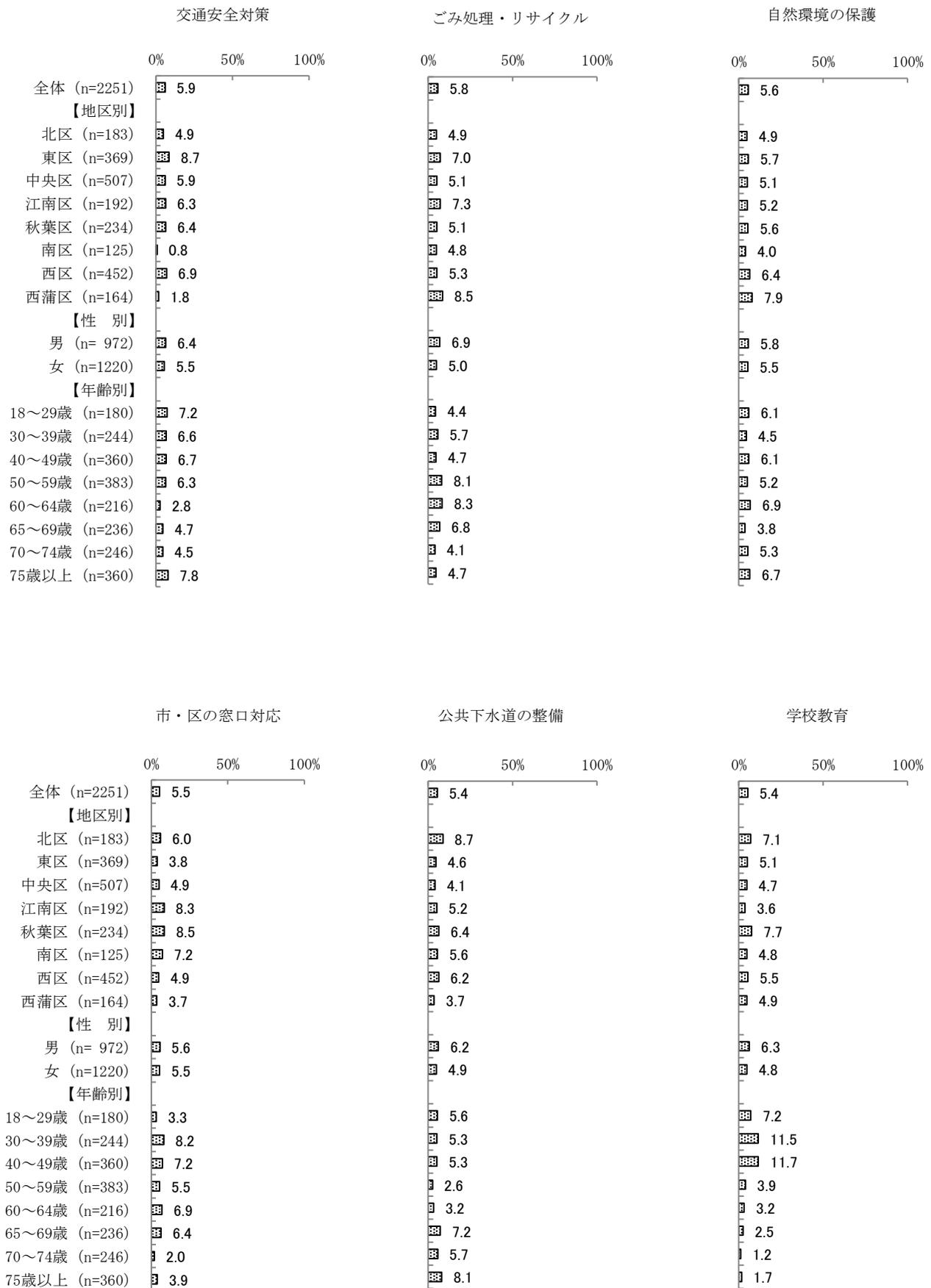


図 7-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

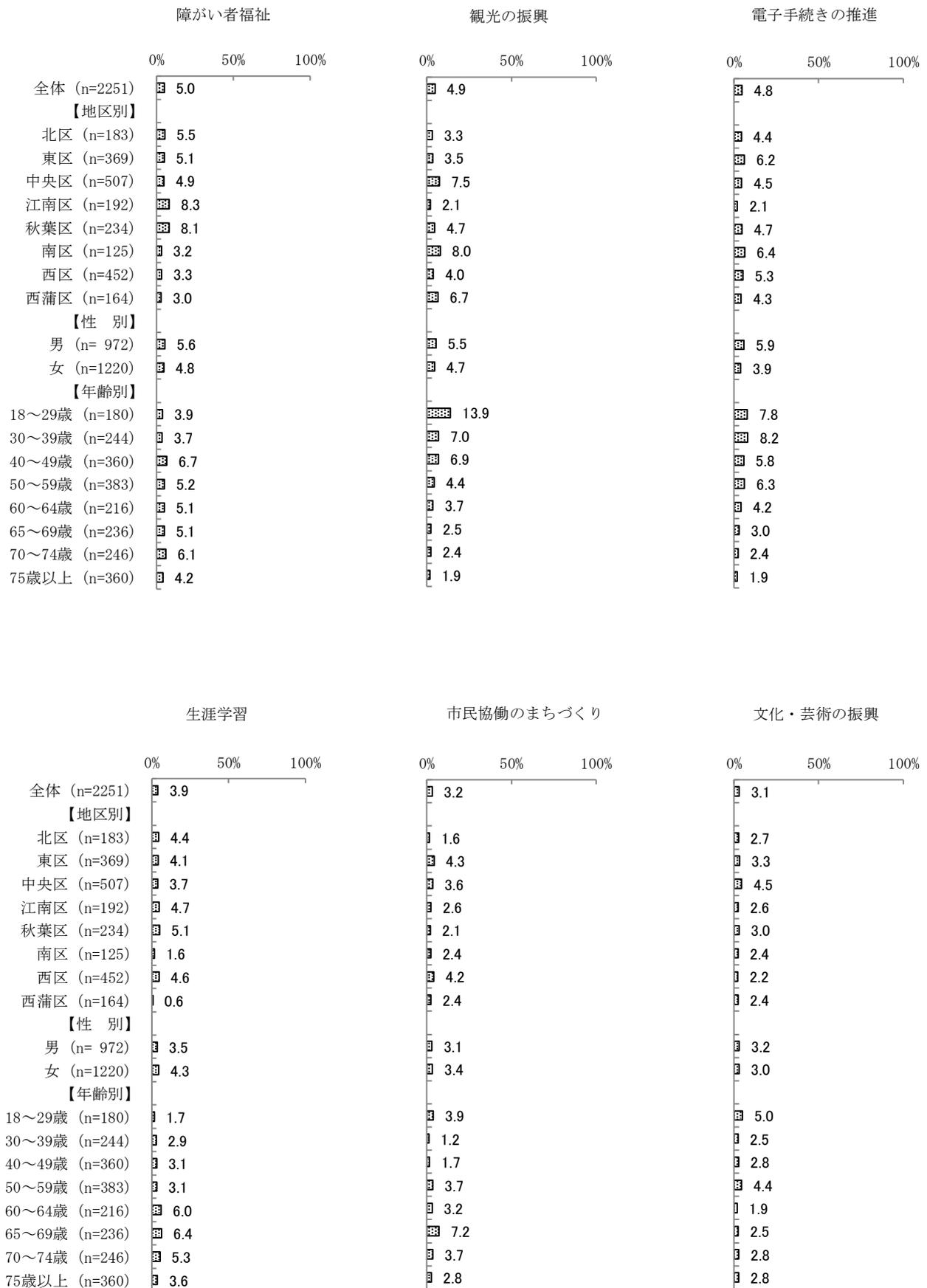


図 7-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

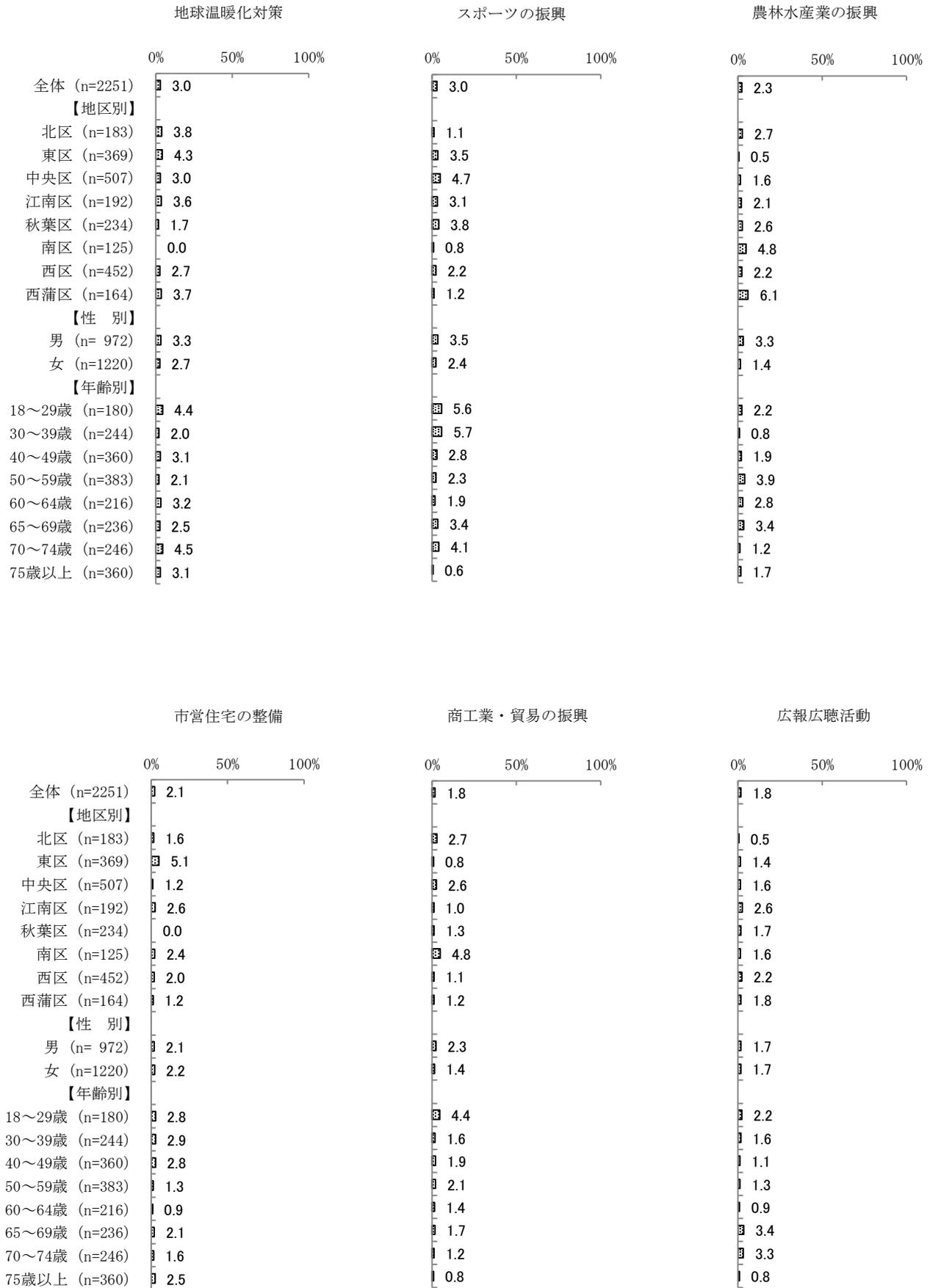
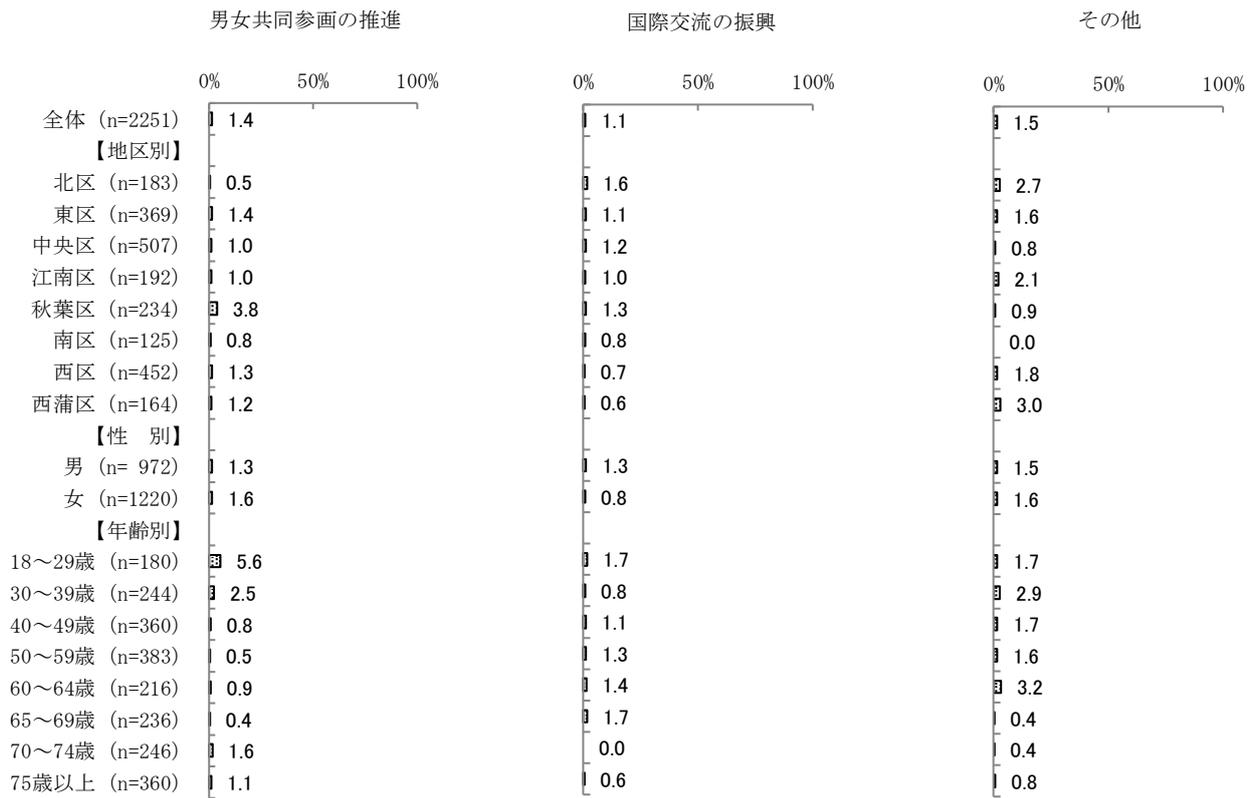


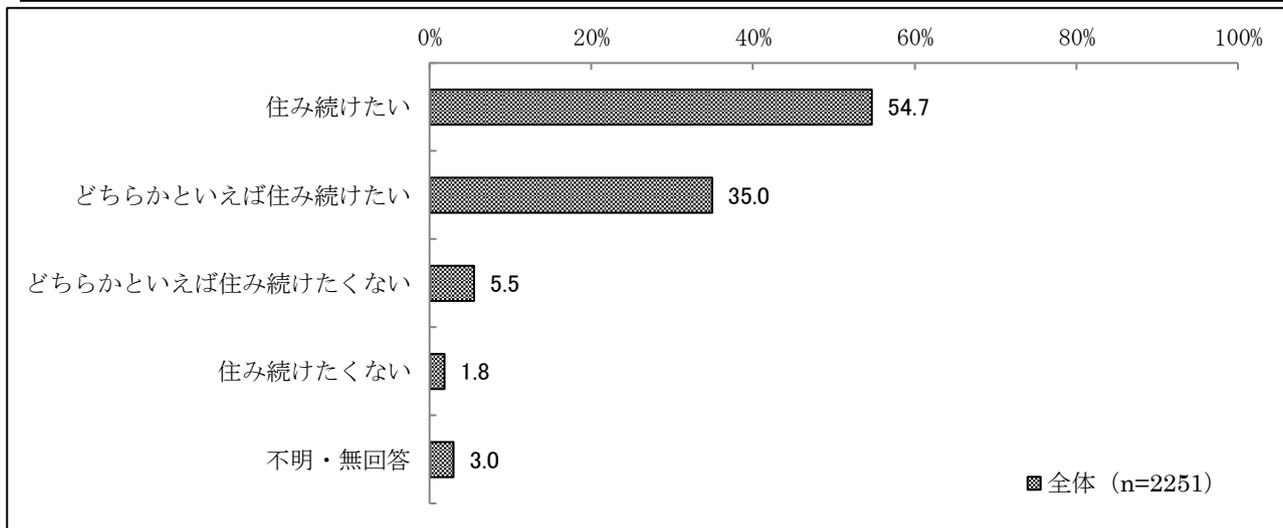
図 7-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



8. 市の取り組みについて

(1) 新潟市に住み続けたいか

問25 新潟市は、総合計画「にいがた未来ビジョン」に基づき、人口減少、少子・超高齢化の進行に対応し、「将来にわたって活力ある、住みよいまち、暮らしたいまち」を目指した取り組みを進めています。そこで、あなたの感想をお聞かせください。あなたは「新潟市」に住み続けたいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選び、○を付けてください。



— 『住み続けたい』が約9割 —

【全体結果】

「住み続けたい」(54.7%)の割合が最も高く、5割を超えた。「どちらかといえば住み続けたい」(35.0%)を合わせた『住み続けたい』(89.7%)は約9割となった。

「どちらかといえば住み続けたくない」(5.5%)、「住み続けたくない」(1.8%)を合わせた『住み続けたくない』(7.3%)は1割に満たなかった。

【属性別結果】(次ページ図8-1参照)

① 地区別

『住み続けたい』の割合は、江南区(93.8%)で最も高く、いずれの地区でも9割前後となった。『住み続けたくない』の割合は、西蒲区(11.6%)以外の地区では1割に満たなかった。

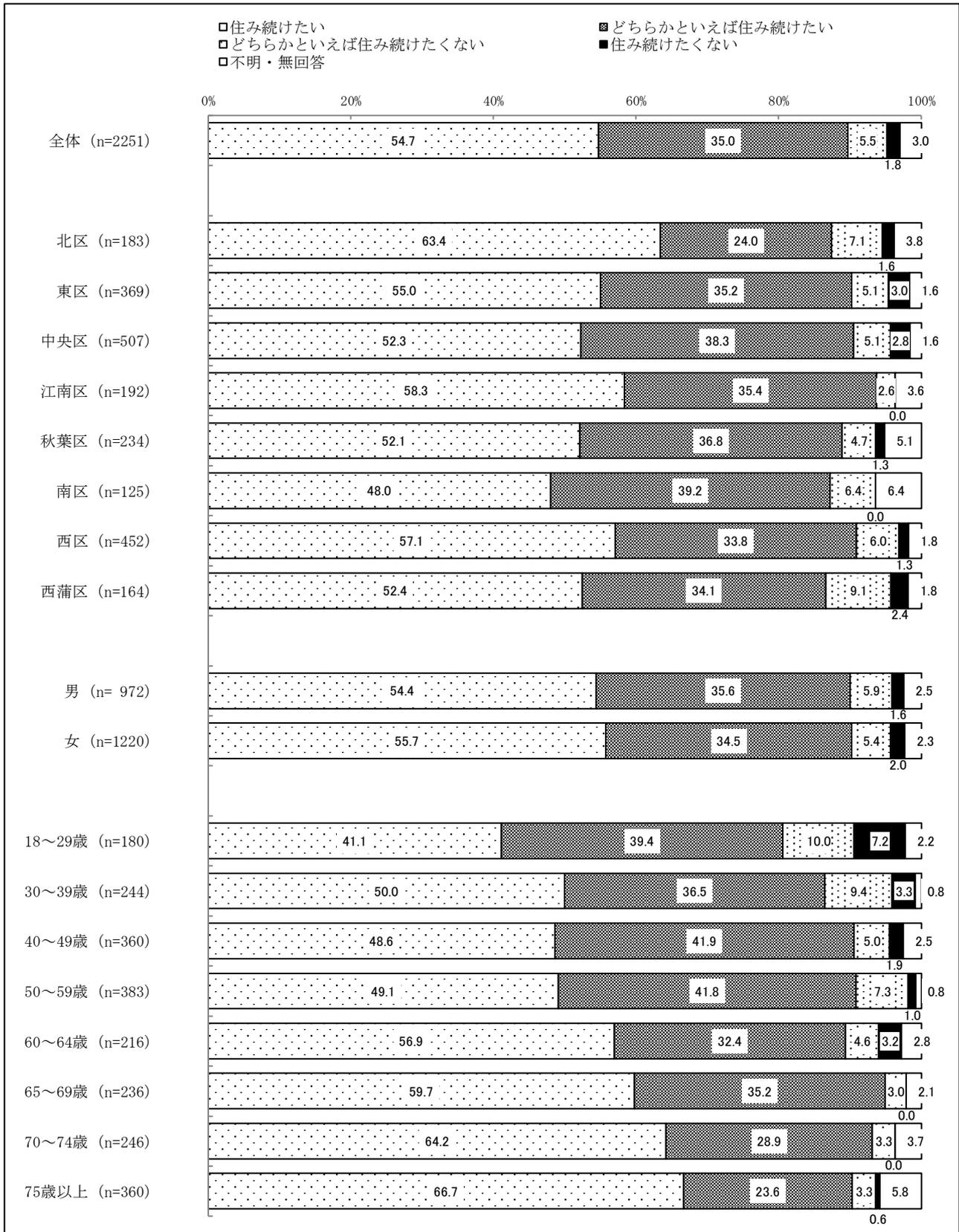
② 性別

ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

『住み続けたい』の割合は、18～29歳(80.6%)で最も低い。

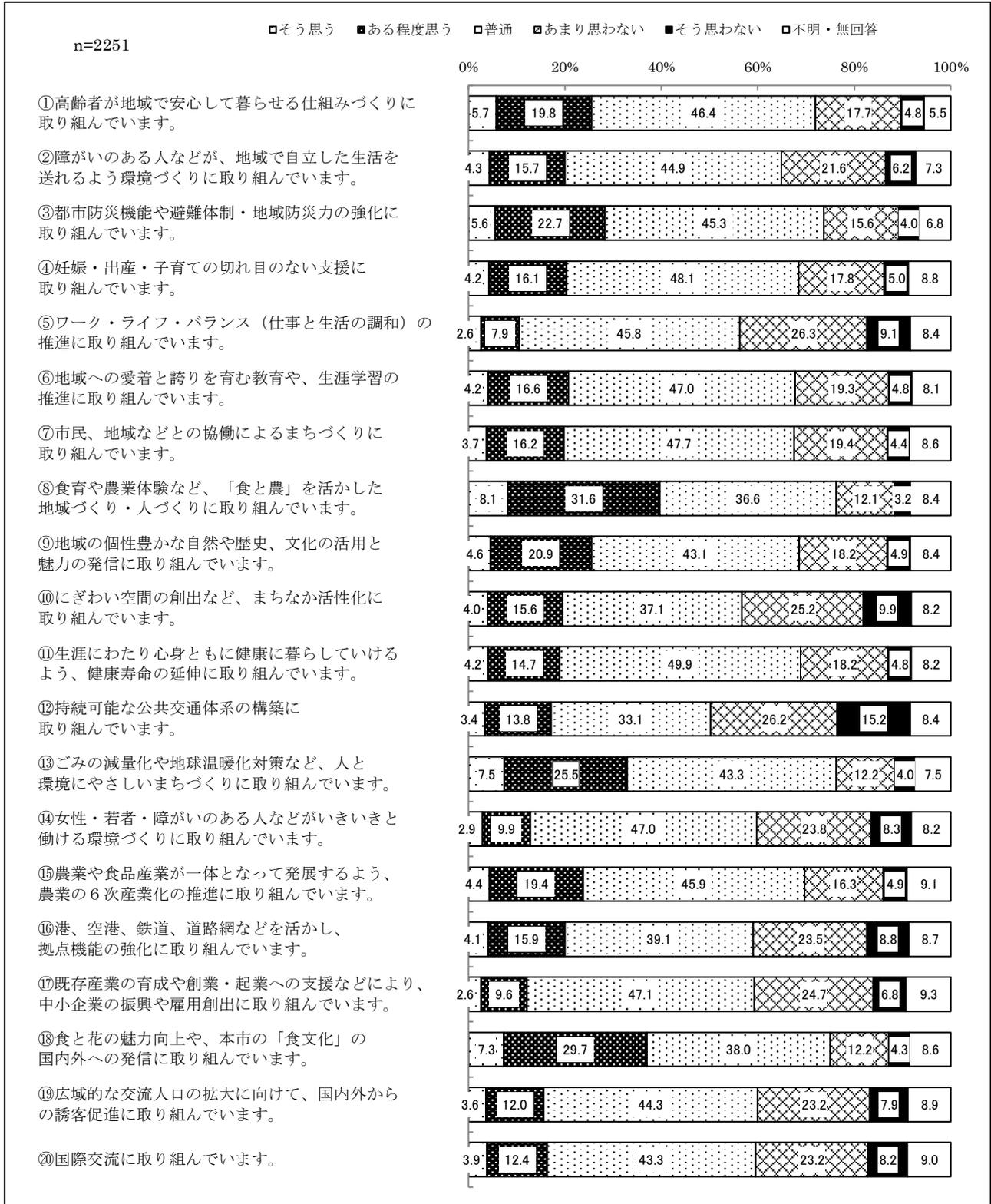
図 8-1 新潟市に住み続けたいか（地区別/性別/年齢別）



(2) 取り組みへの感想

問26 新潟市が進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。また、これらの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで○をつけてください。

【取り組みへの感想】



【全体結果】

市の取り組み状況への感想について、「そう思う」の割合は、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(8.1%)で最も高い。以下、「そう思う」の割合は、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(7.5%)、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(7.3%)の順に続く。

一方、「そう思わない」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(15.2%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(9.9%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(9.1%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(8.8%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(8.3%)の順に続く。

感想について、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合、及び、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(39.7%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(37.0%)、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(33.0%)、と続き、3割以上となっている。

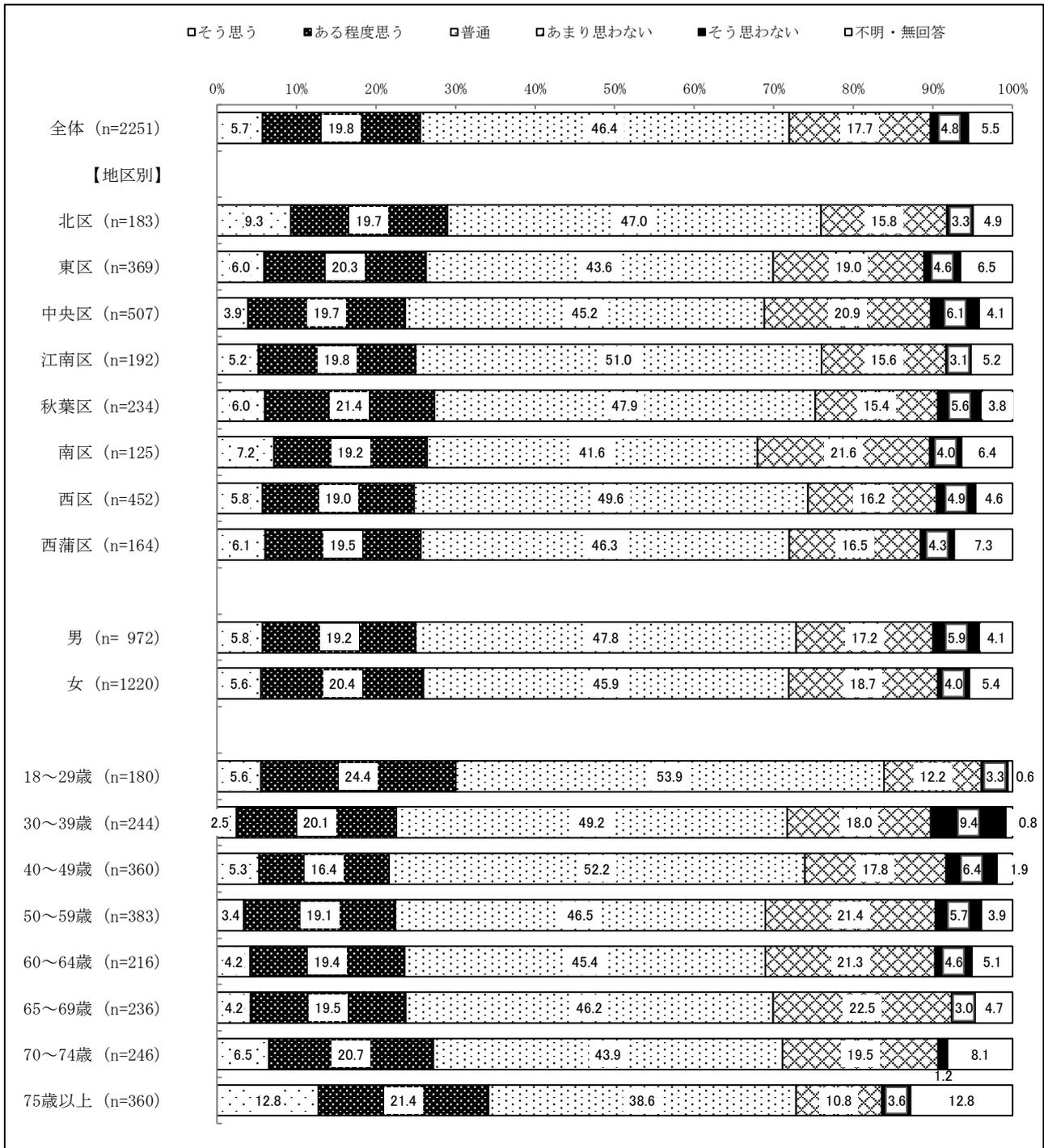
また、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」(28.3%)、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」(25.5%)、「⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。」(25.5%)、「⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。」(23.8%)、「⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。」(20.7%)、「④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。」(20.3%)、「②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。」(20.0%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(20.0%)、が2割台で続いている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(41.4%)が最も高い。以下、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(35.4%)、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(35.1%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(32.3%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(32.1%)の順に続く。

【属性別結果】

次ページ以降に組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

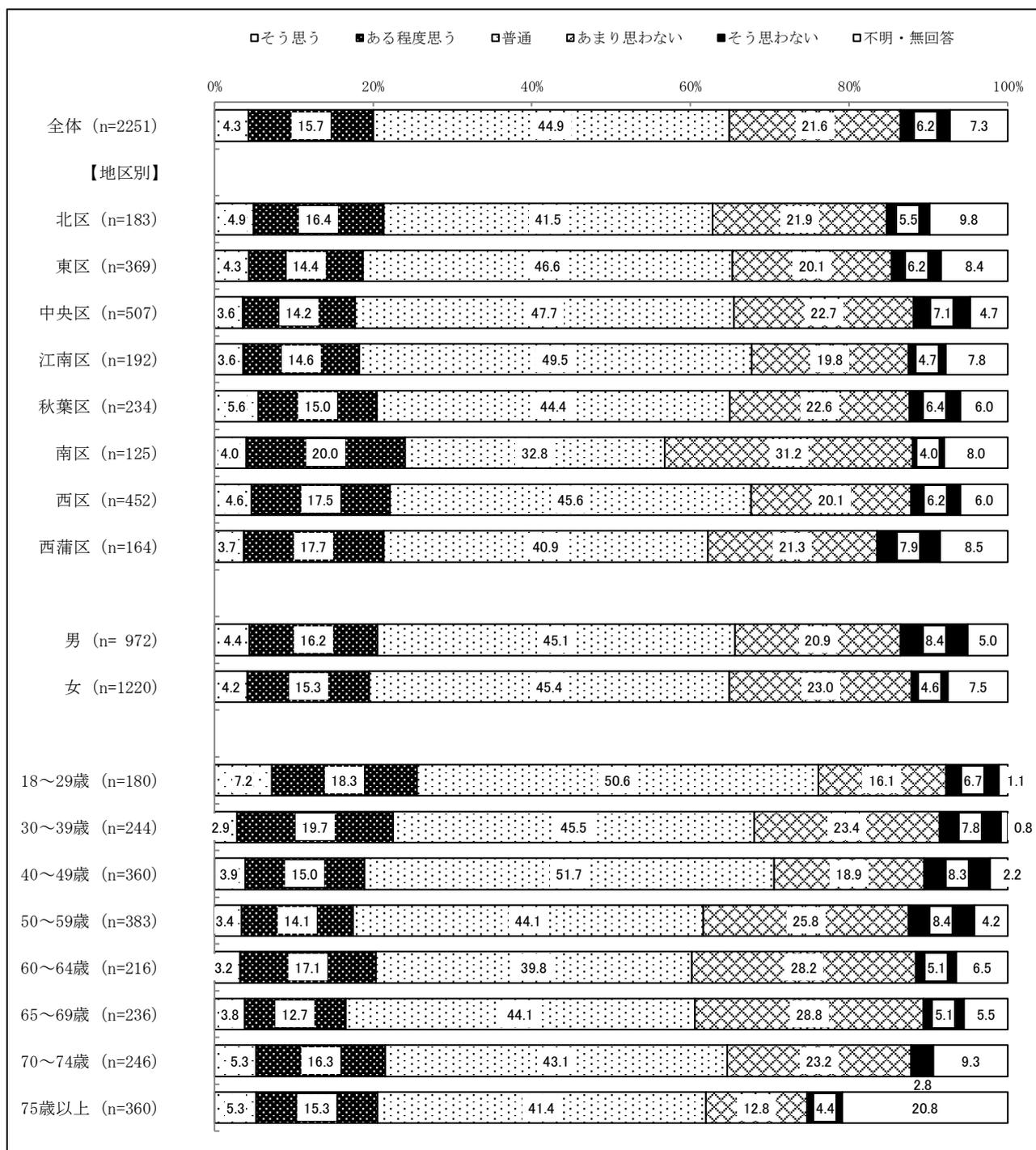
①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（29.0%）が最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、75歳以上（34.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（25.6%）が最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（27.5%）で最も高い。

②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。

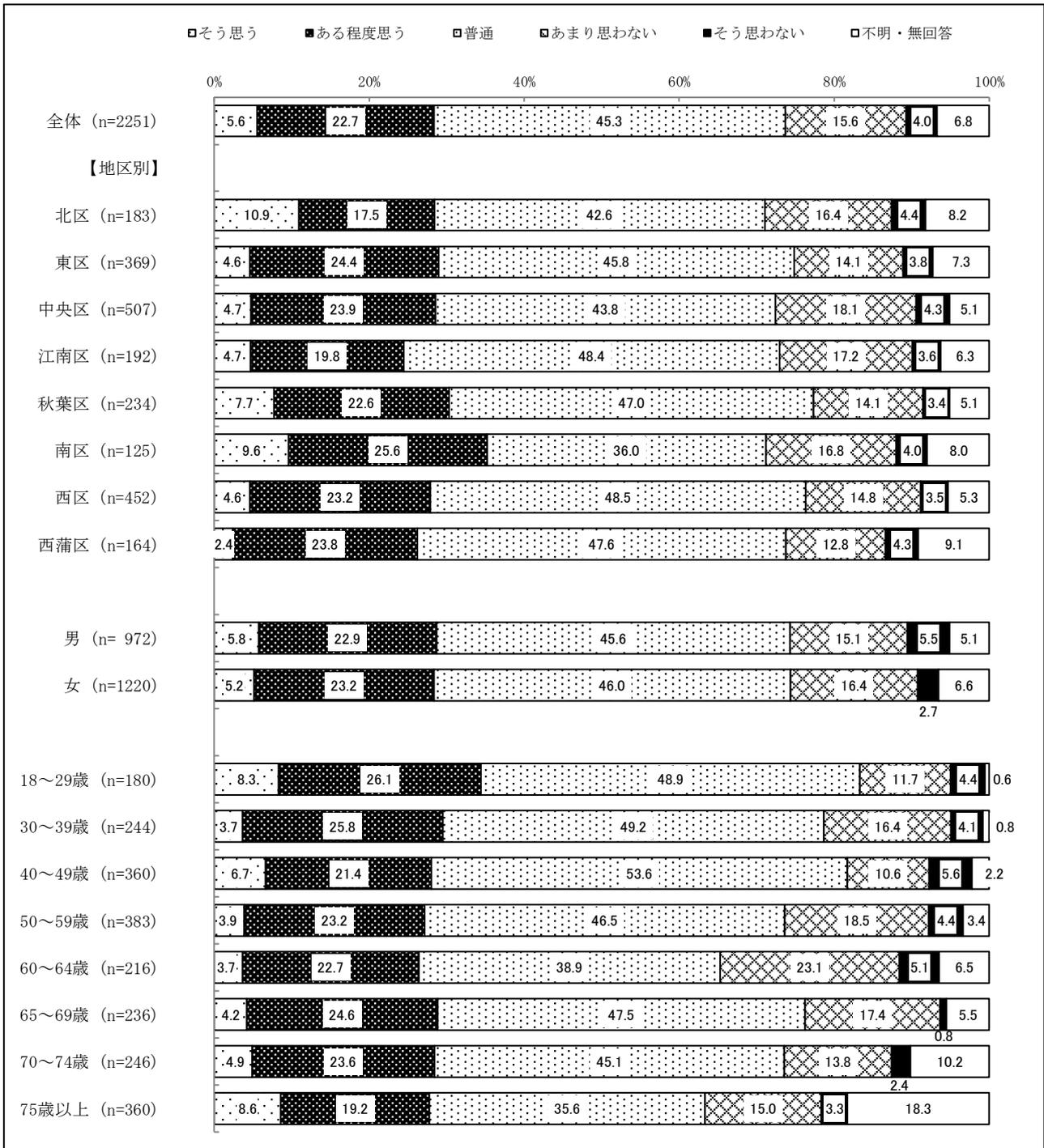


地区別・性別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.0%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（25.6%）で最も高い。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（35.2%）が最も高い。性別による大きな差はない。年齢別では、50～59歳（34.2%）で最も高い。

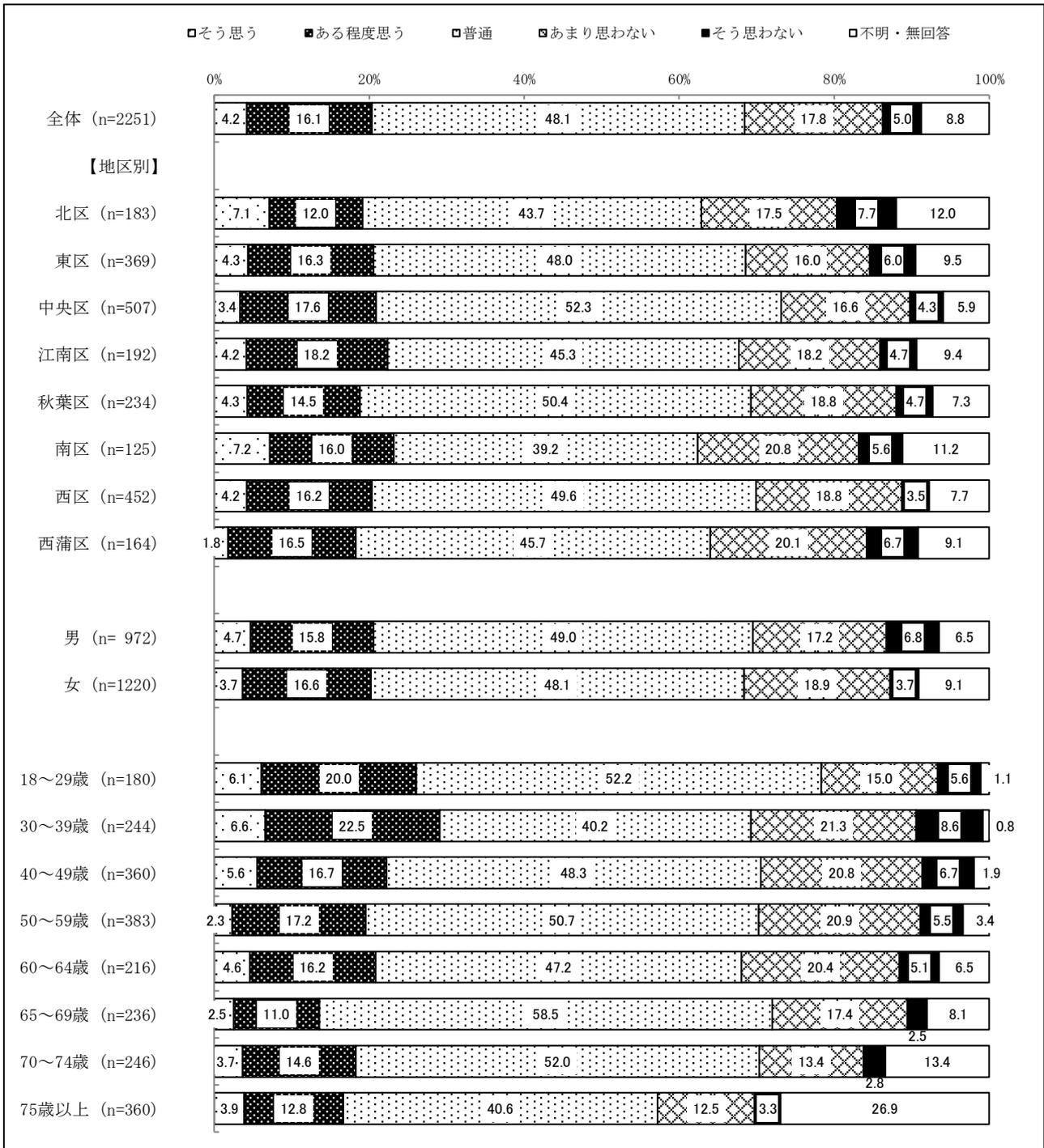
③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（35.2%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（34.4%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（22.5%）で最も高い。性別による大きな差はない。年齢別では、60～64歳（28.2%）で最も高い。

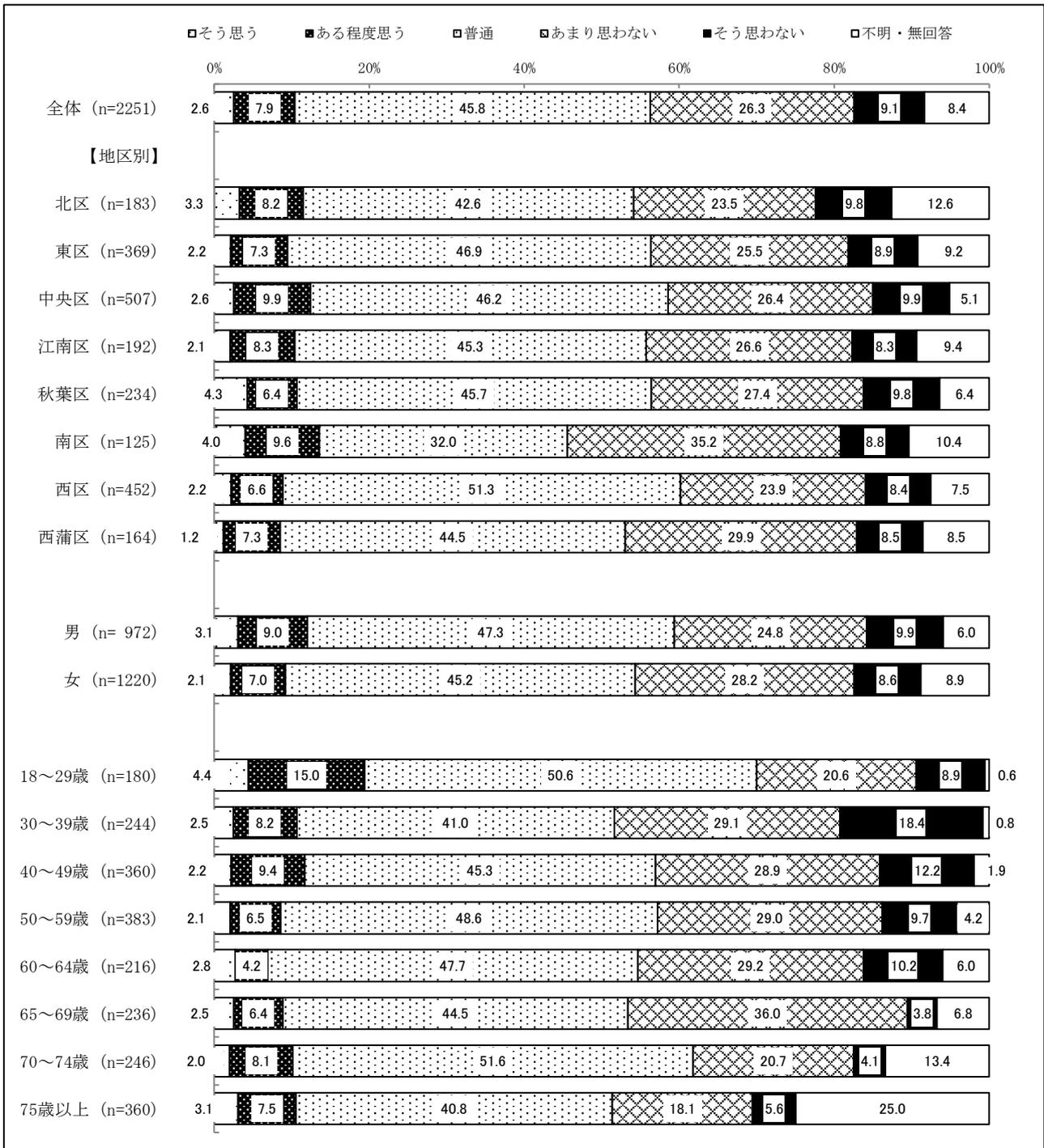
④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（23.2%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（29.1%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（26.4%）で最も高い。性別では、女性（22.5%）より男性（24.0%）の割合がやや高く、年齢別では、30～39歳（29.9%）で最も高い。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

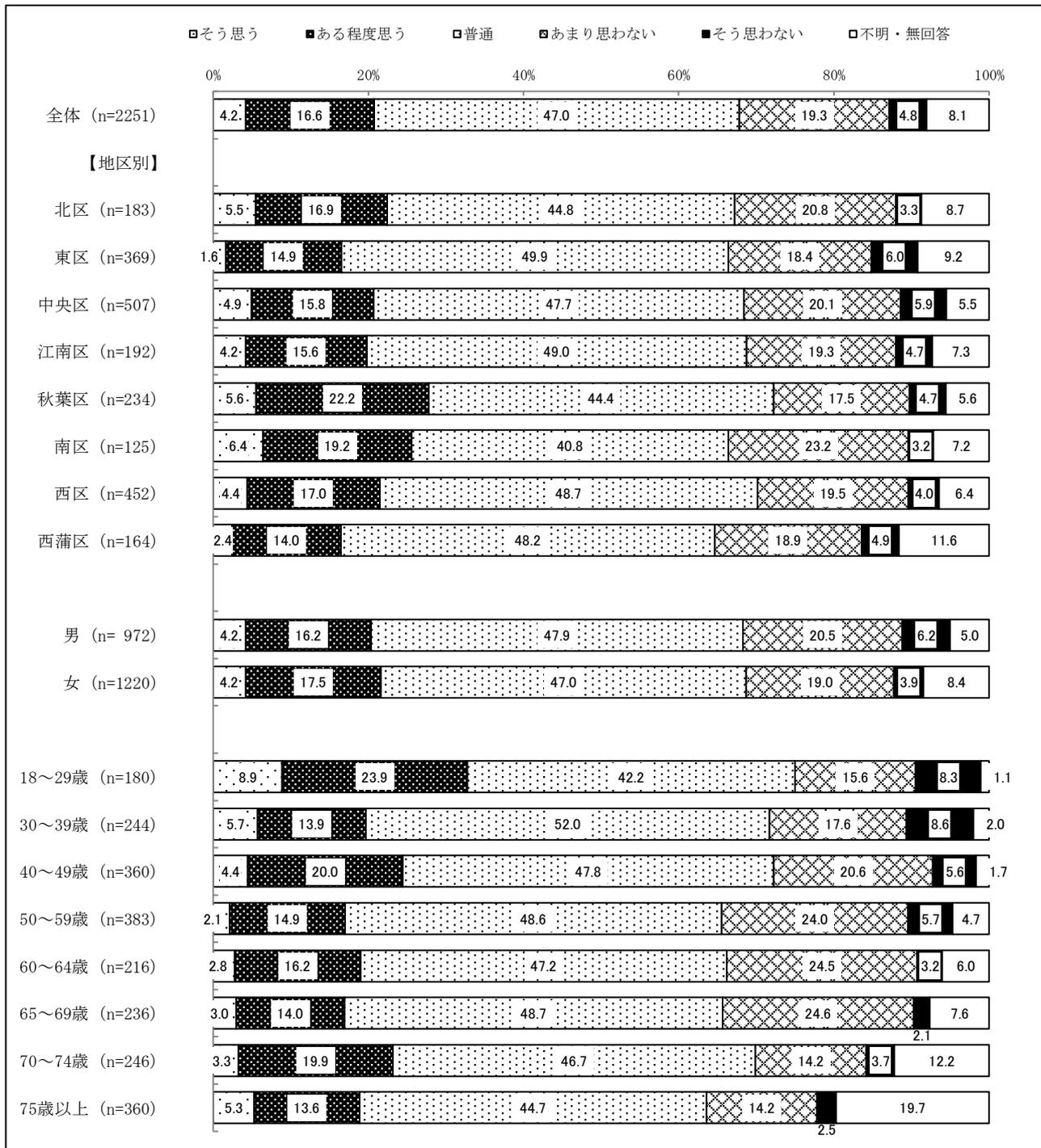


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（13.6%）で最も高い。性別では、女性（9.2%）より男性（12.0%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（19.4%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（44.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（47.5%）で最も高い。

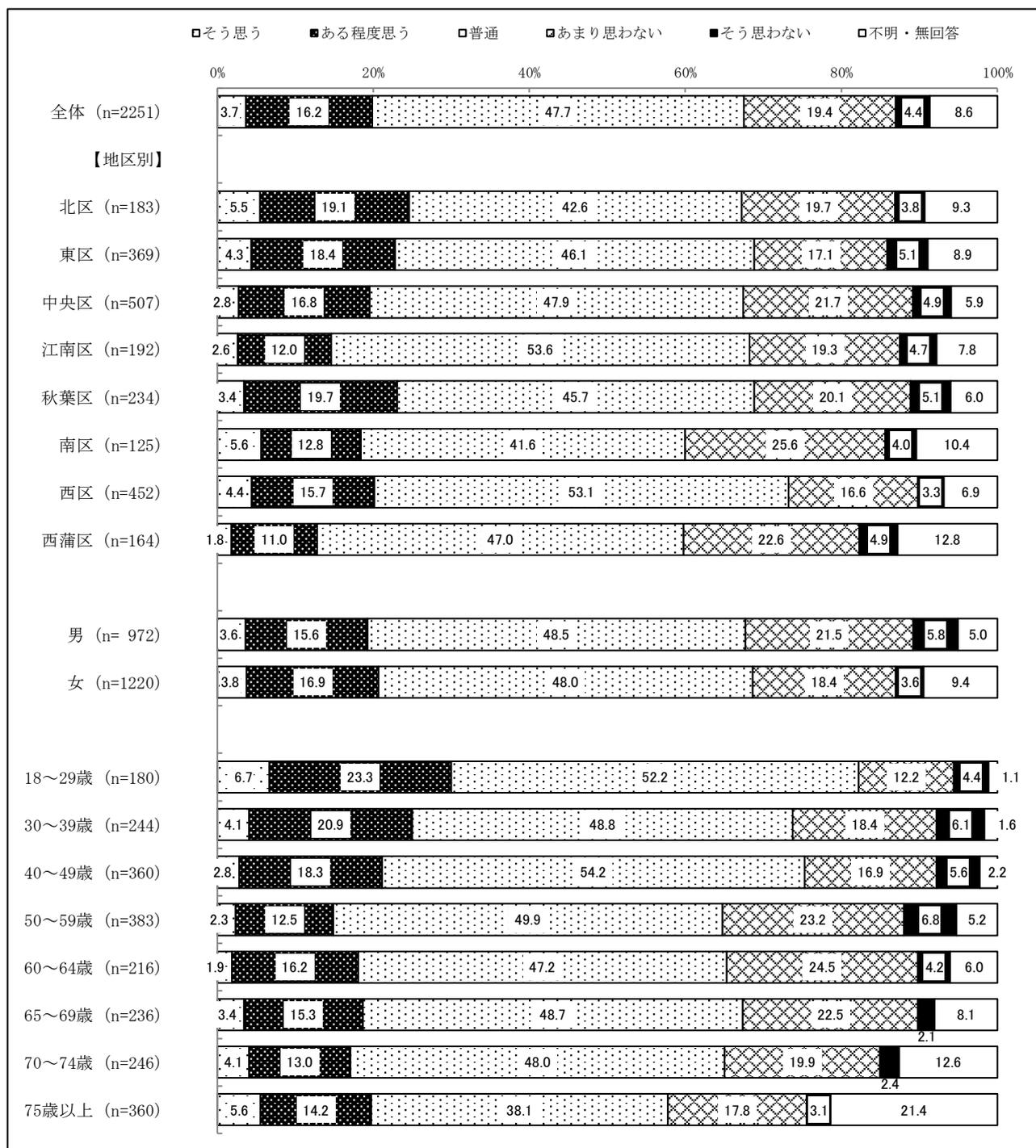
⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（27.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（32.8%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（26.4%）で最も高い。性別では、女性（22.9%）より男性（26.6%）の割合が高く、年齢別では、50～59歳（29.8%）で最も高い。

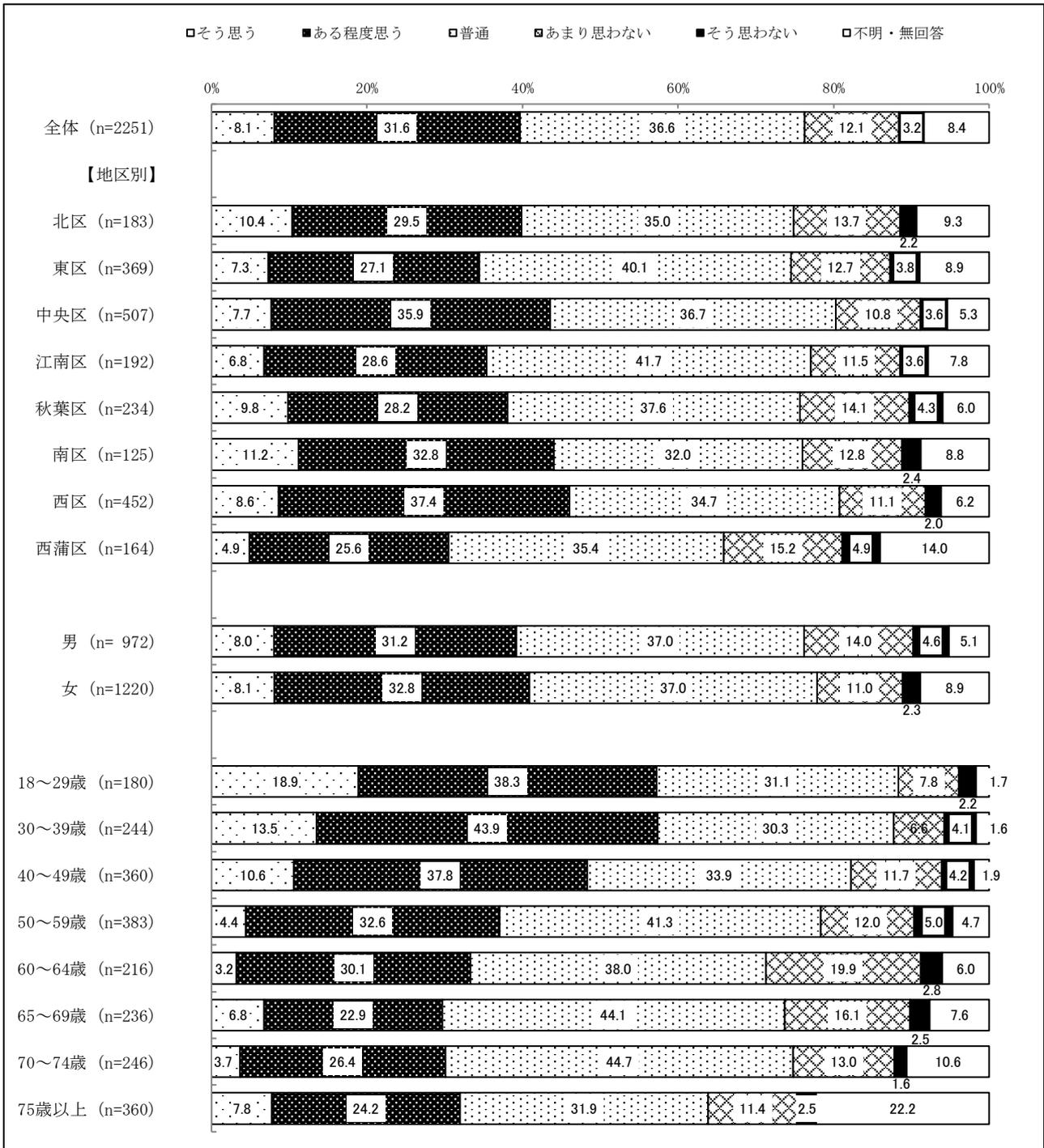
⑦市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（24.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（30.0%）で最も高い。

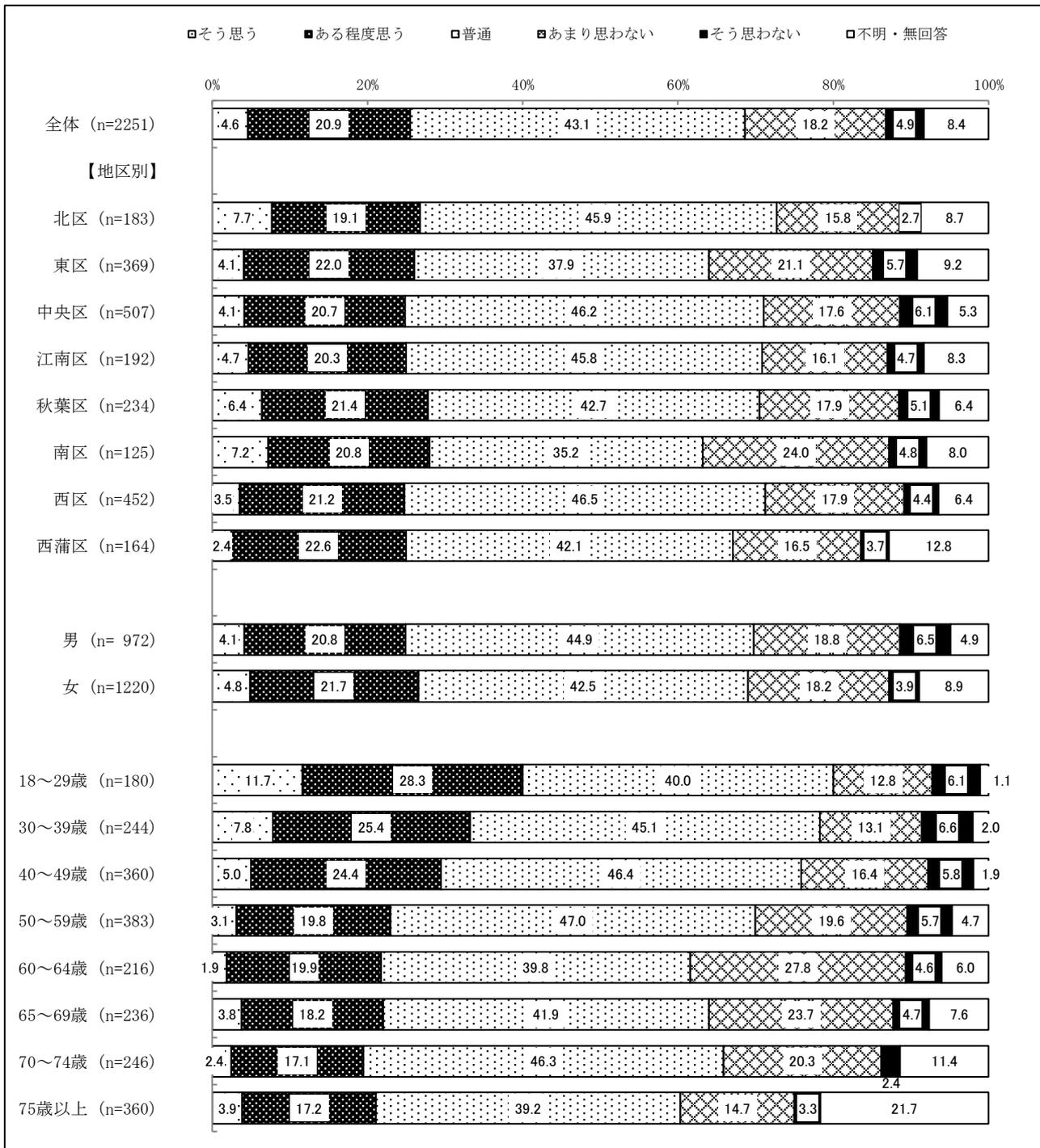
一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では南区（29.6%）で最も高い。性別では、女性（22.0%）より男性（27.3%）の割合が高く、年齢別では、50～59歳（30.0%）で最も高い。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。



地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（46.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（57.4%）で最も高い。一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（20.1%）で最も高い。性別では、女性（13.3%）より男性（18.6%）の割合がやや高く、年齢別では、60～64歳（22.7%）で最も高い。

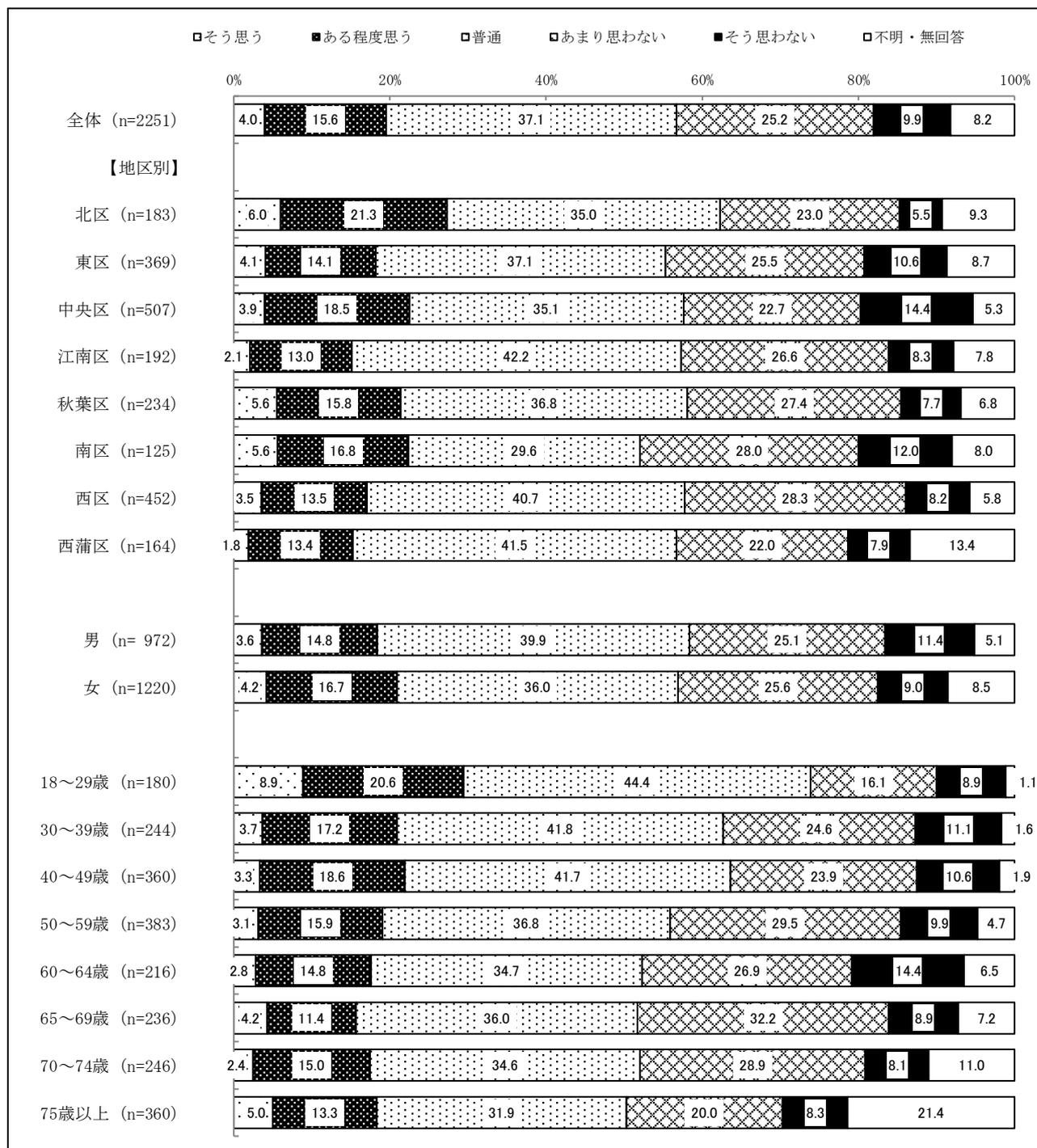
⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（28.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（40.0%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では南区（28.8%）で最も高い。性別では、女性（22.0%）より男性（25.3%）の割合がやや高く、年齢別では、60～64歳（32.4%）で最も高い。

⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。

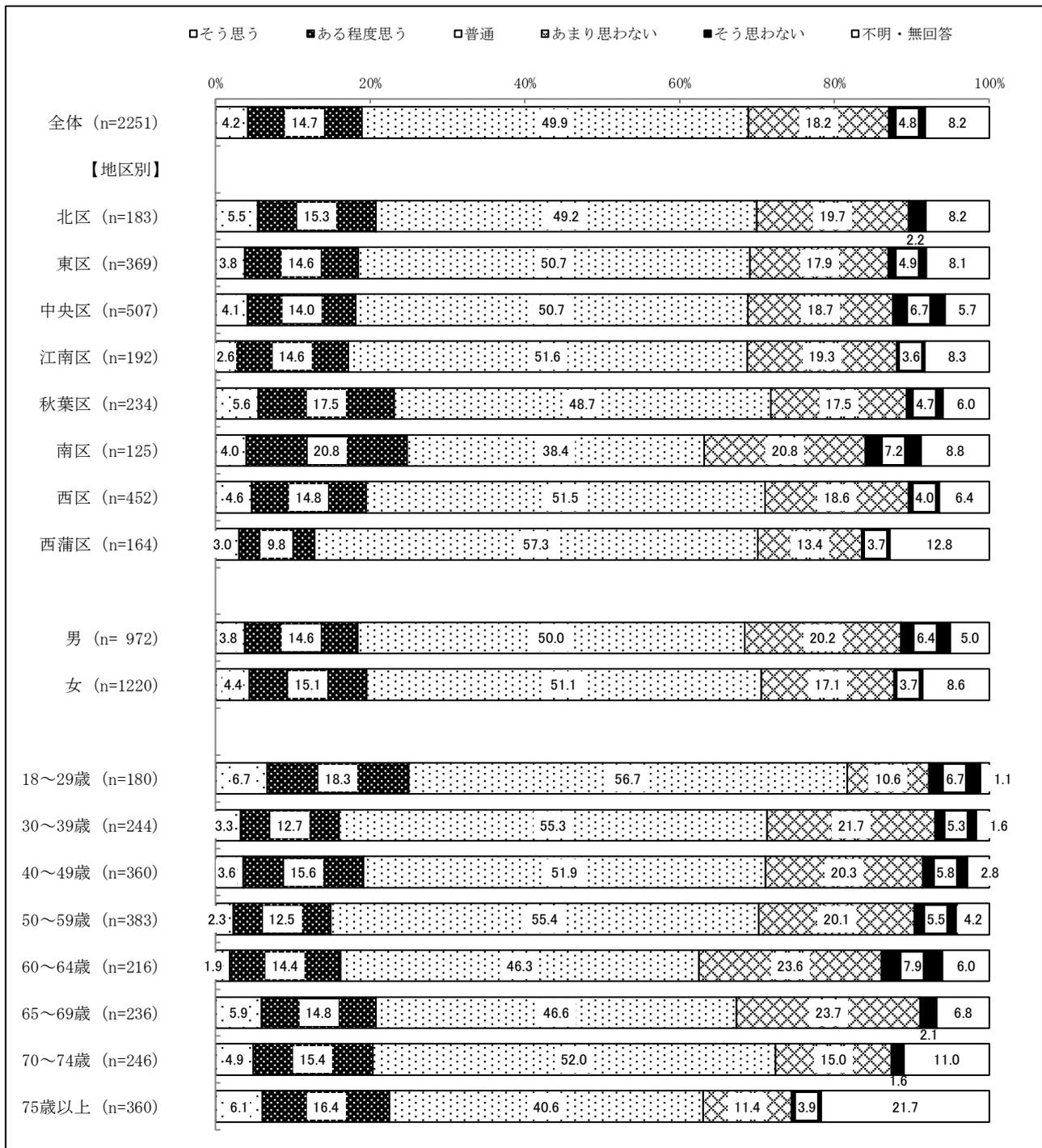


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（27.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（29.4%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（40.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、60～64歳（41.2%）で最も高い。

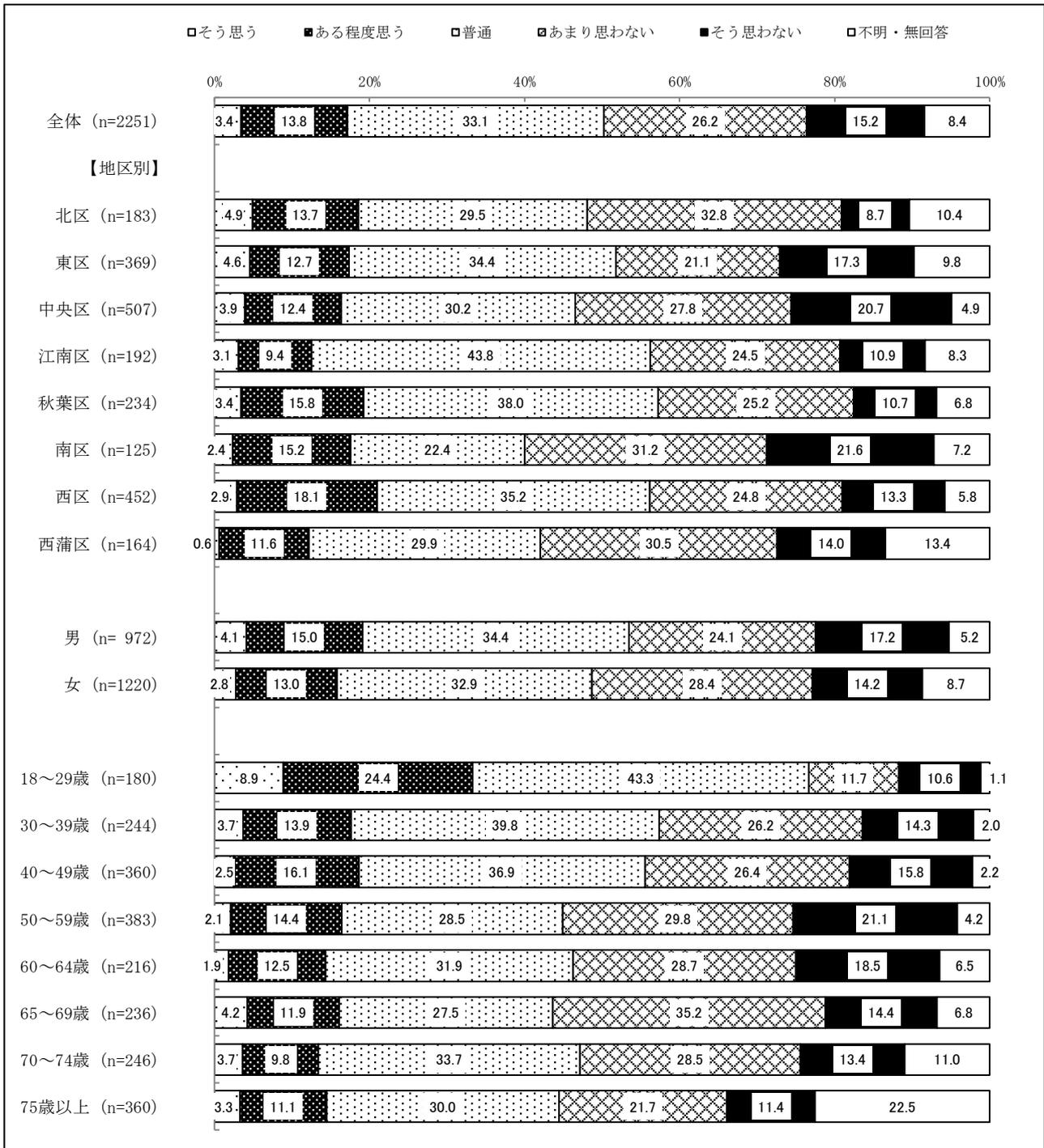
⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（25.0%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では南区（28.0%）で最も高い。性別では、女性（20.8%）より男性（26.5%）の割合がやや高く、年齢別では、60～64歳（31.5%）で最も高い。

⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

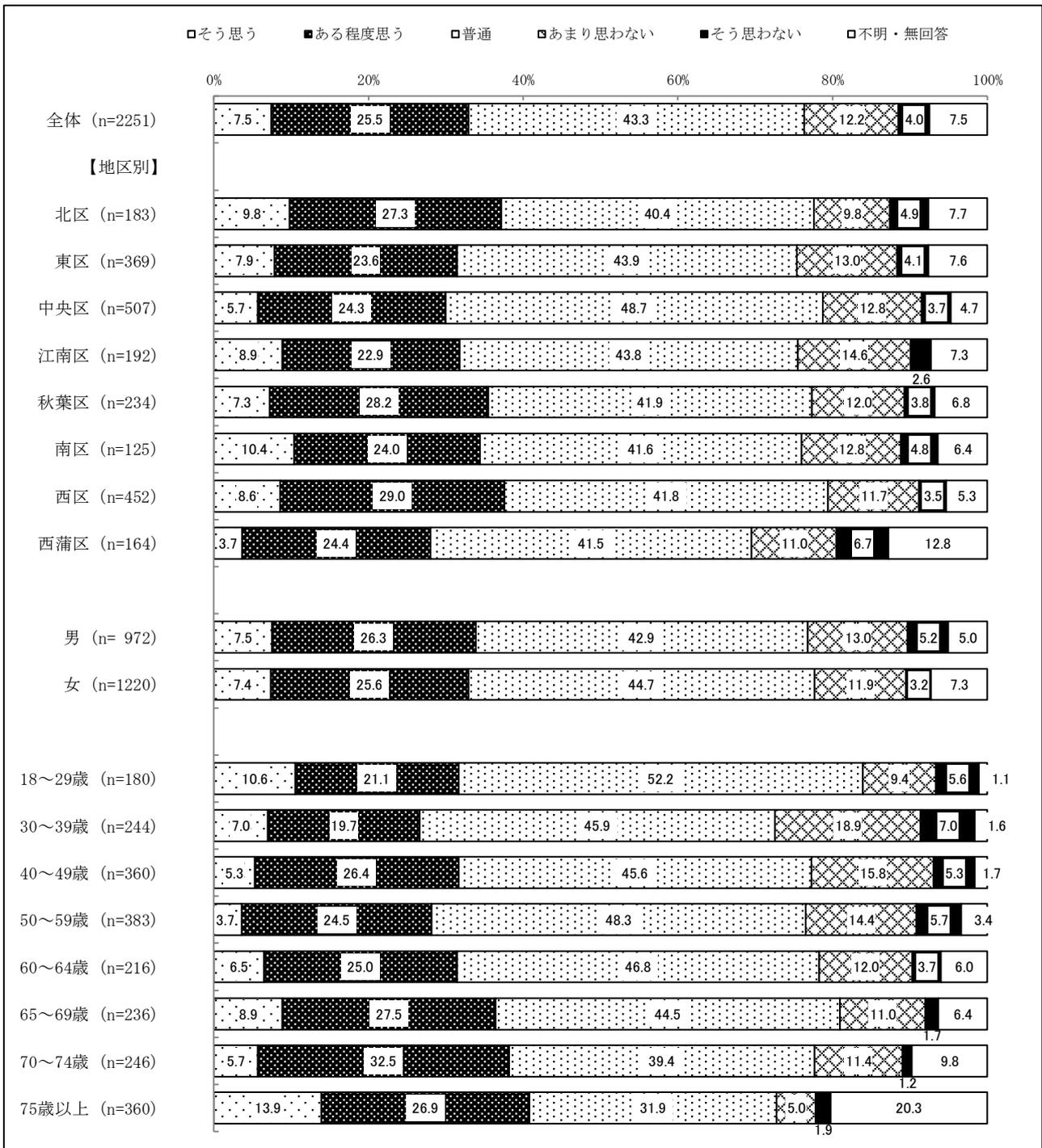


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区 (21.0%) で最も高い。性別では、女性 (15.8%) より男性 (19.1%) の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳 (33.3%) で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区 (52.8%) で最も高い。性別での大きな差はない。年齢別では、50～59歳 (50.9%) で最も高い。

⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

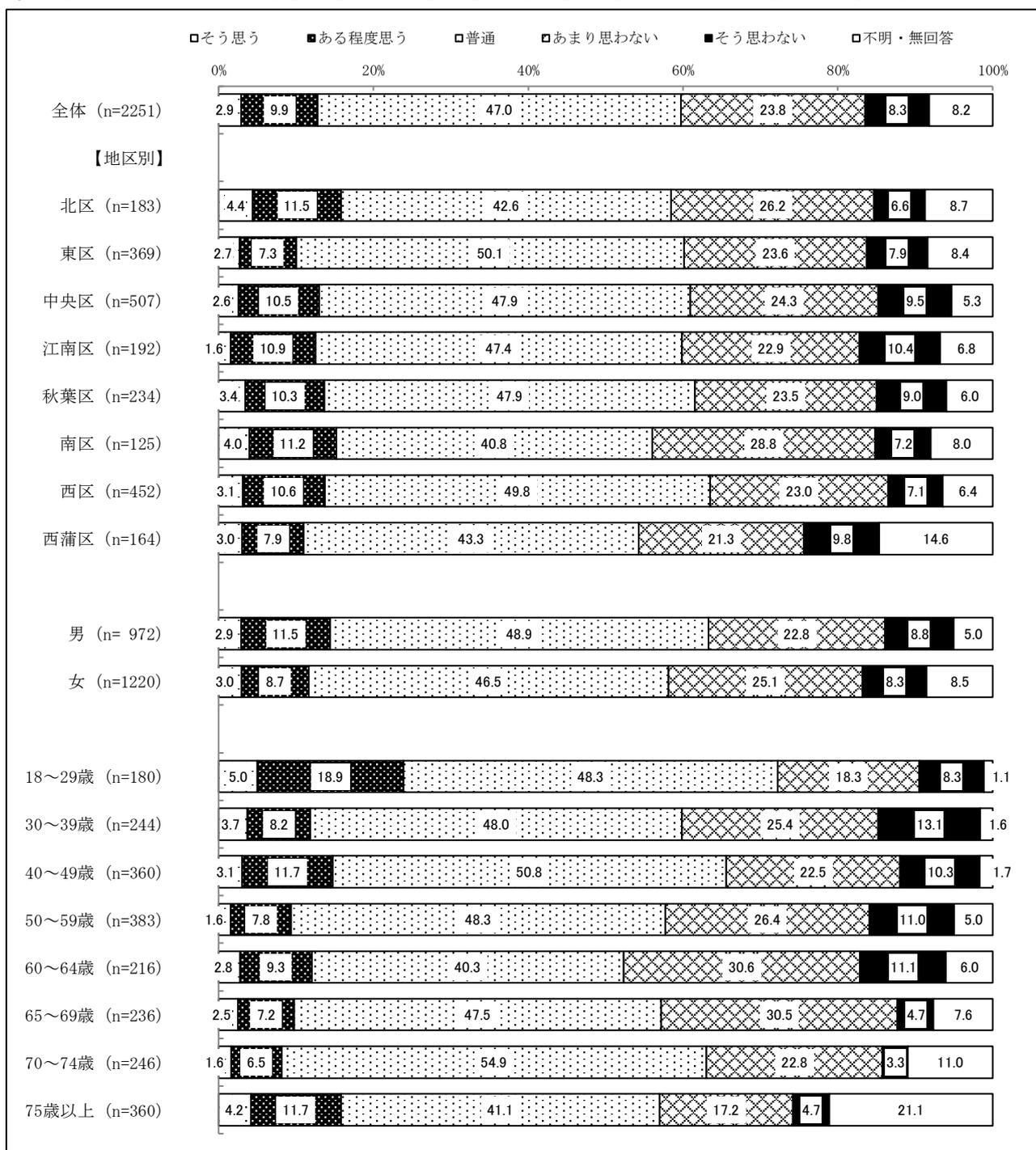


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（37.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、75歳以上（40.8%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（17.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（25.8%）で最も高い。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

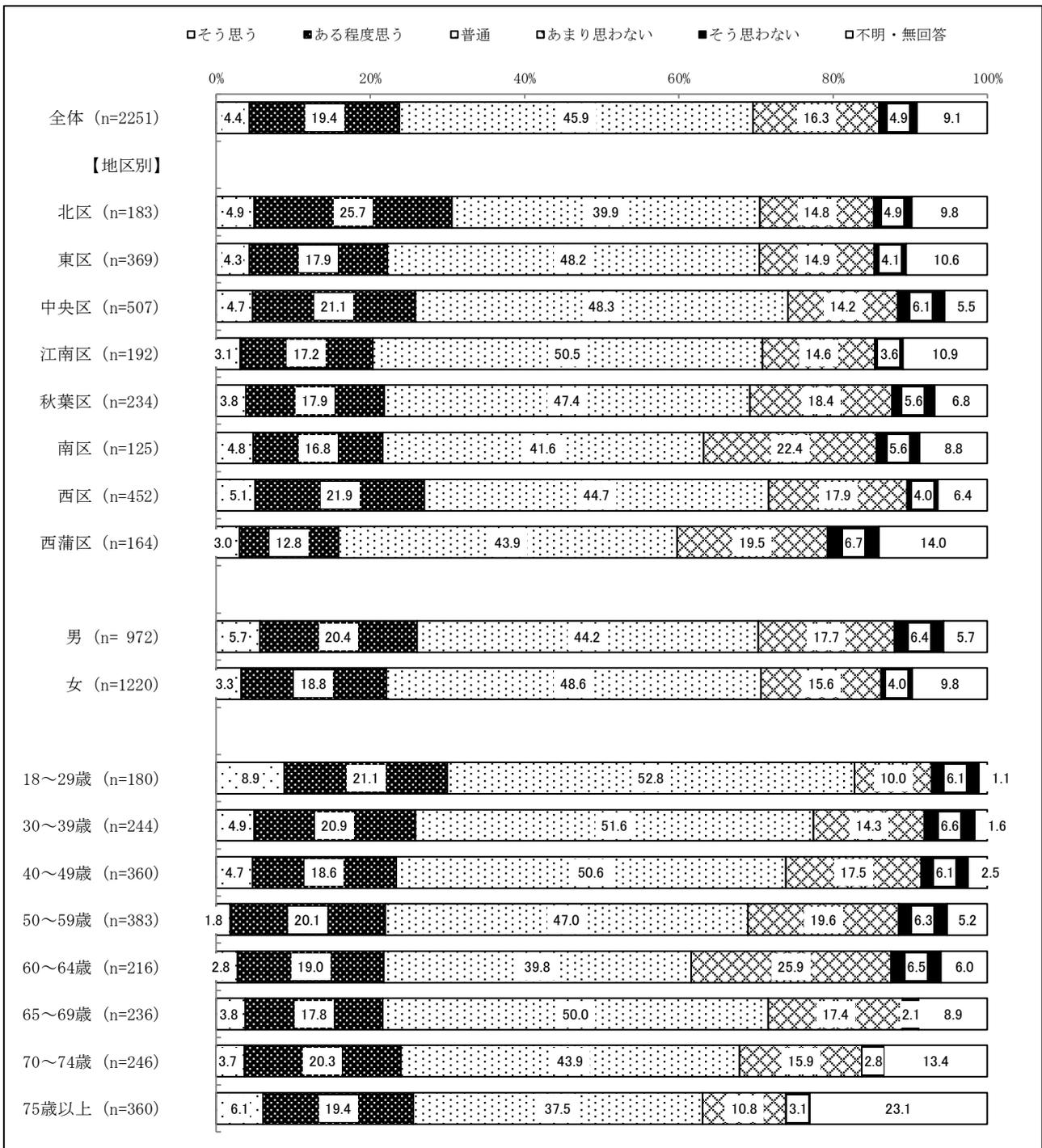


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（15.8%）で最も高い。性別では、女性（11.6%）より男性（14.4%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（23.9%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（36.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、60～64歳（41.7%）で最も高い。

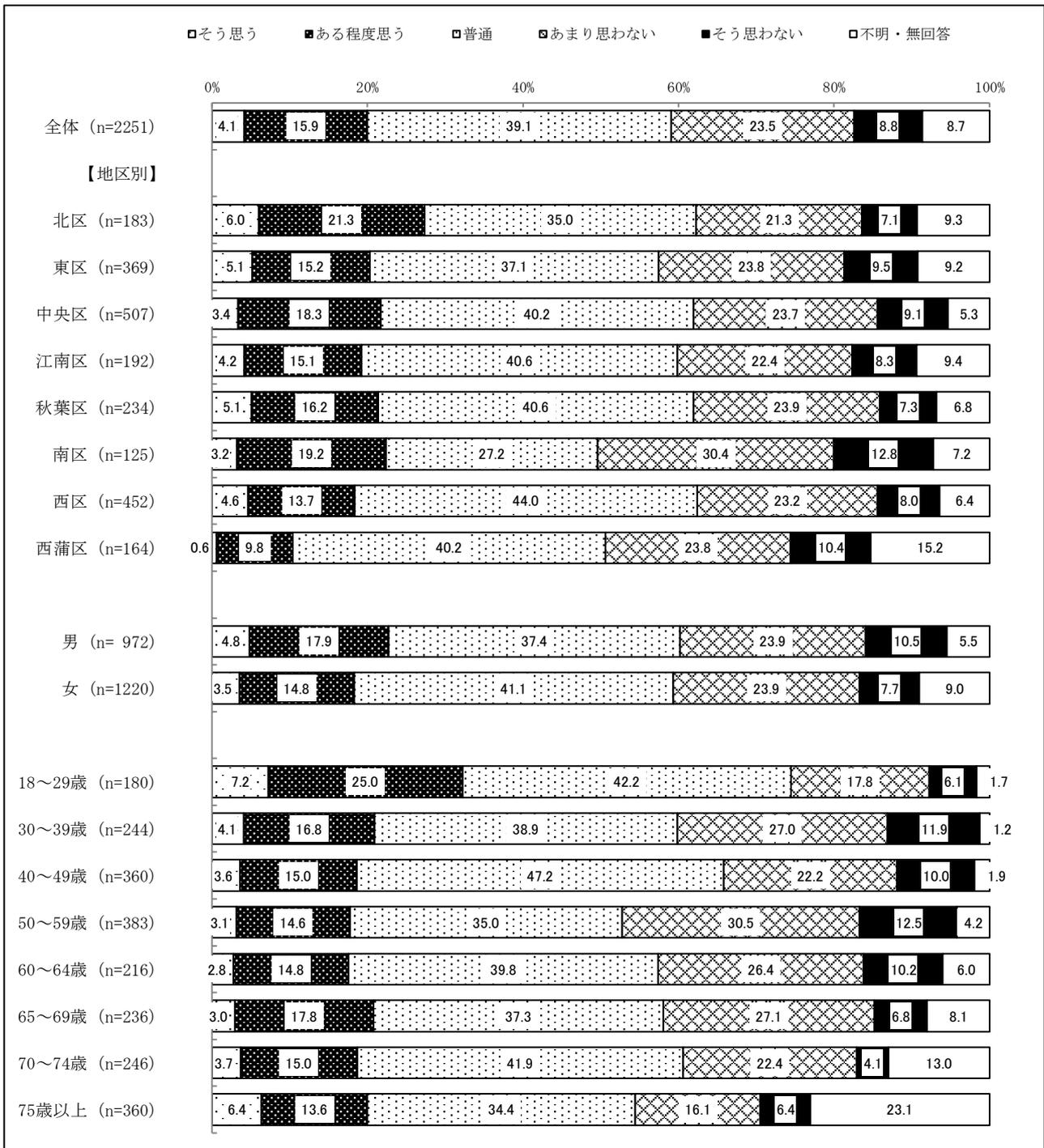
⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（30.6%）で最も高い。性別では、女性（22.0%）より男性（26.0%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（30.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（28.0%）で最も高い。性別では、女性（19.6%）より男性（24.1%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（32.4%）で最も高い。

⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。

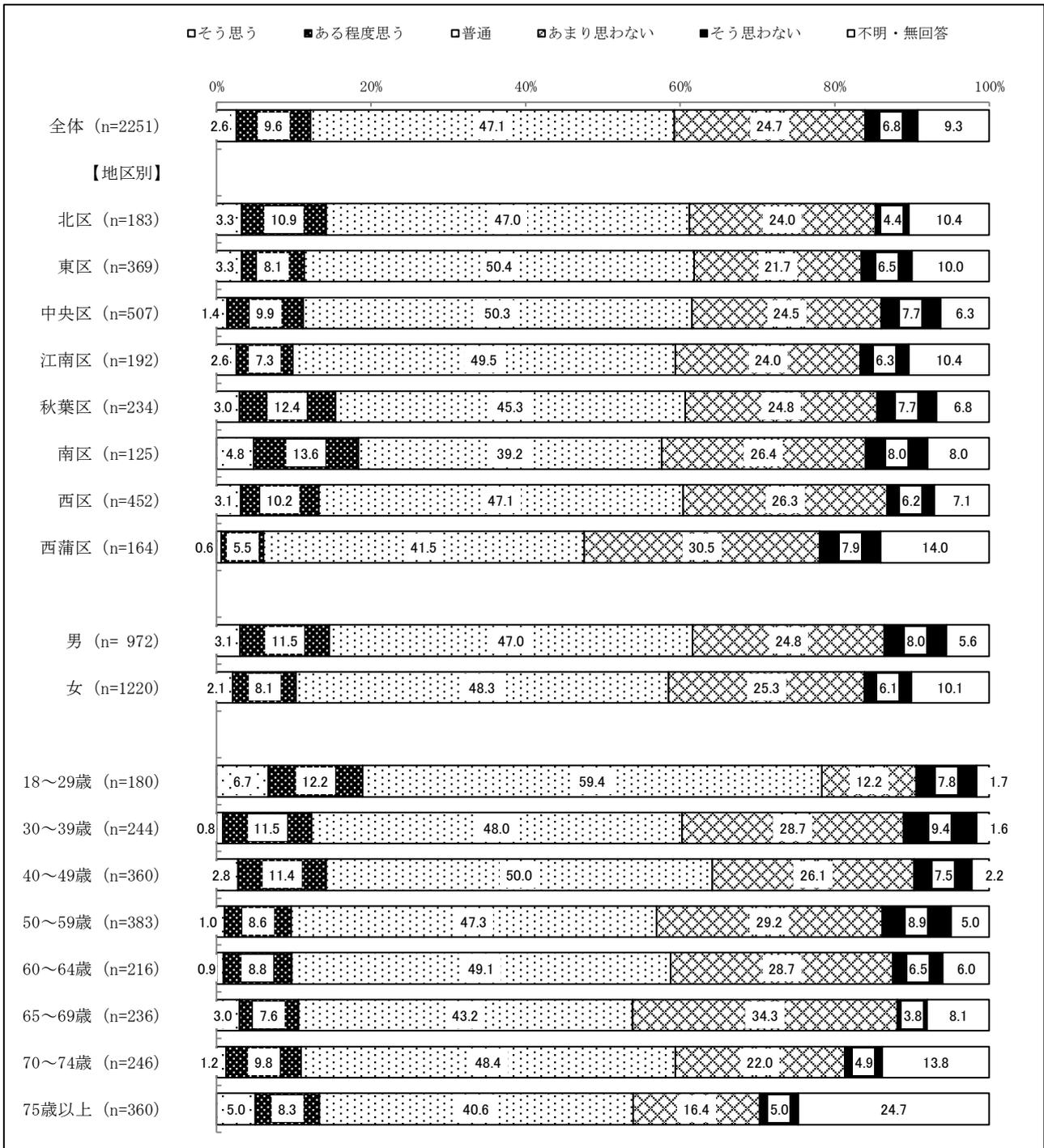


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（27.3%）で最も高い。性別では、女性（18.3%）より男性（22.7%）の割合が高く、年齢別では、18～29歳（32.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（43.2%）で最も高い。性別では、女性（31.6%）より男性（34.4%）の割合がやや高く、年齢別では、50～59歳（43.1%）で最も高い。

⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

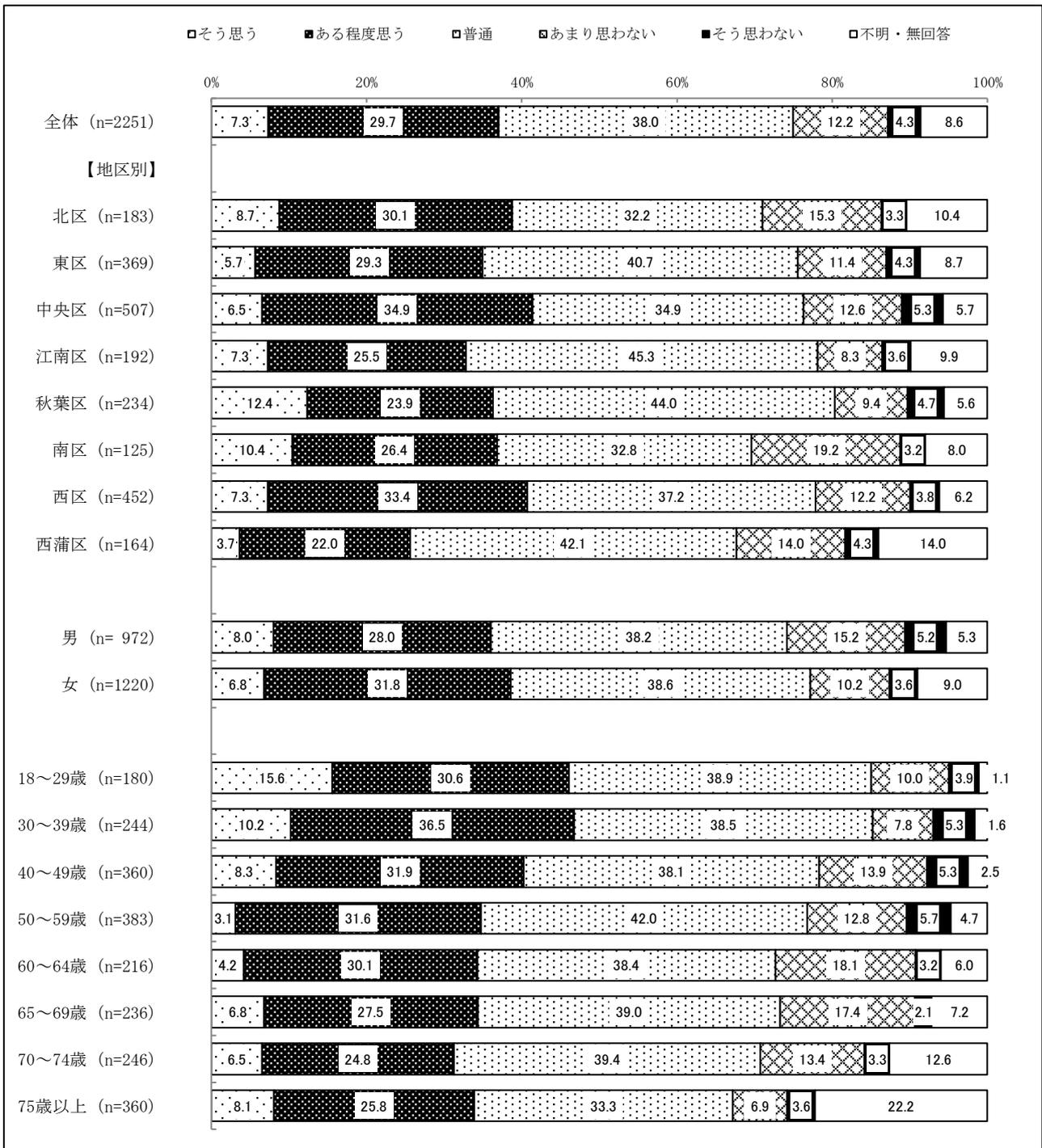


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、南区（18.4%）で最も高い。性別では、女性（10.2%）より男性（14.6%）の割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（18.9%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（38.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳、50～59歳、65～69歳（38.1%）で最も高い。

⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。

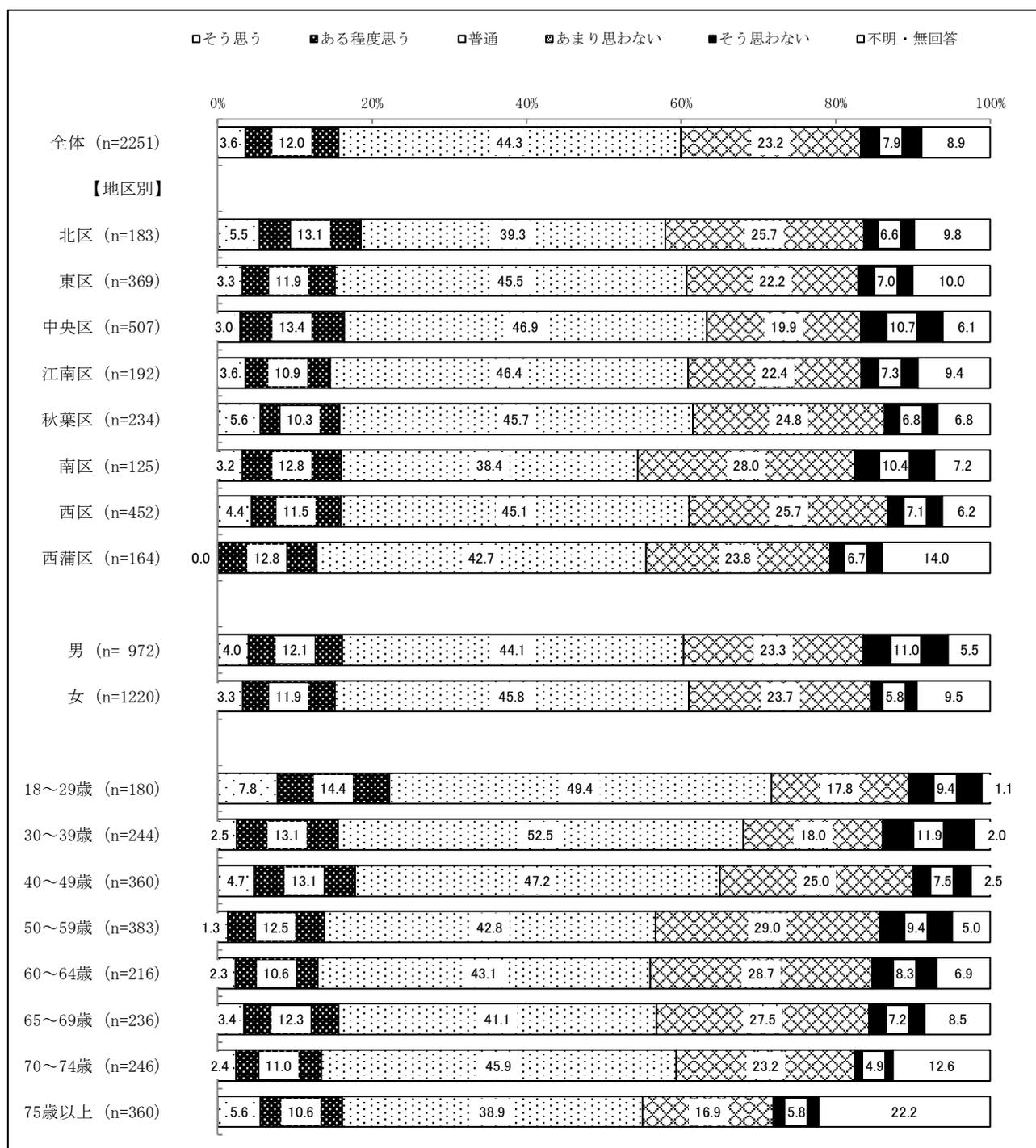


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（41.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（46.7%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（22.4%）で最も高い。性別では、女性（13.8%）より男性（20.5%）の割合が高く、年齢別では、60～64歳（21.3%）で最も高い。

⑱広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。

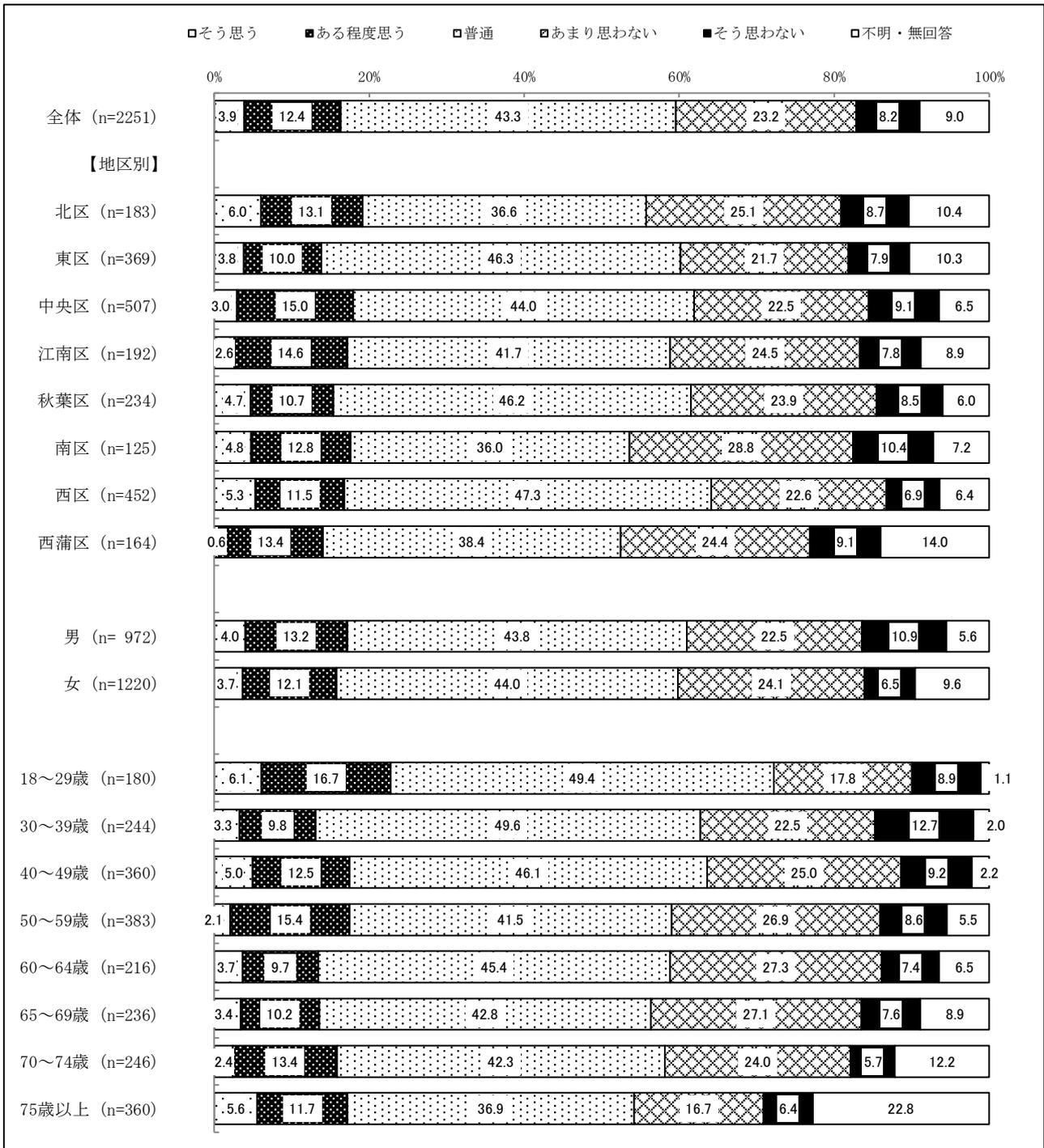


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（18.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（22.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（38.4%）で最も高い。性別では、女性（29.5%）より男性（34.3%）の割合が高く、年齢別では、50～59歳（38.4%）で最も高い。

⑳国際交流に取り組んでいます。



地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（19.1%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（22.8%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（39.2%）で最も高い。性別では、女性（30.6%）より男性（33.4%）の割合がやや高く、年齢別では、50～59歳（35.5%）で最も高い。

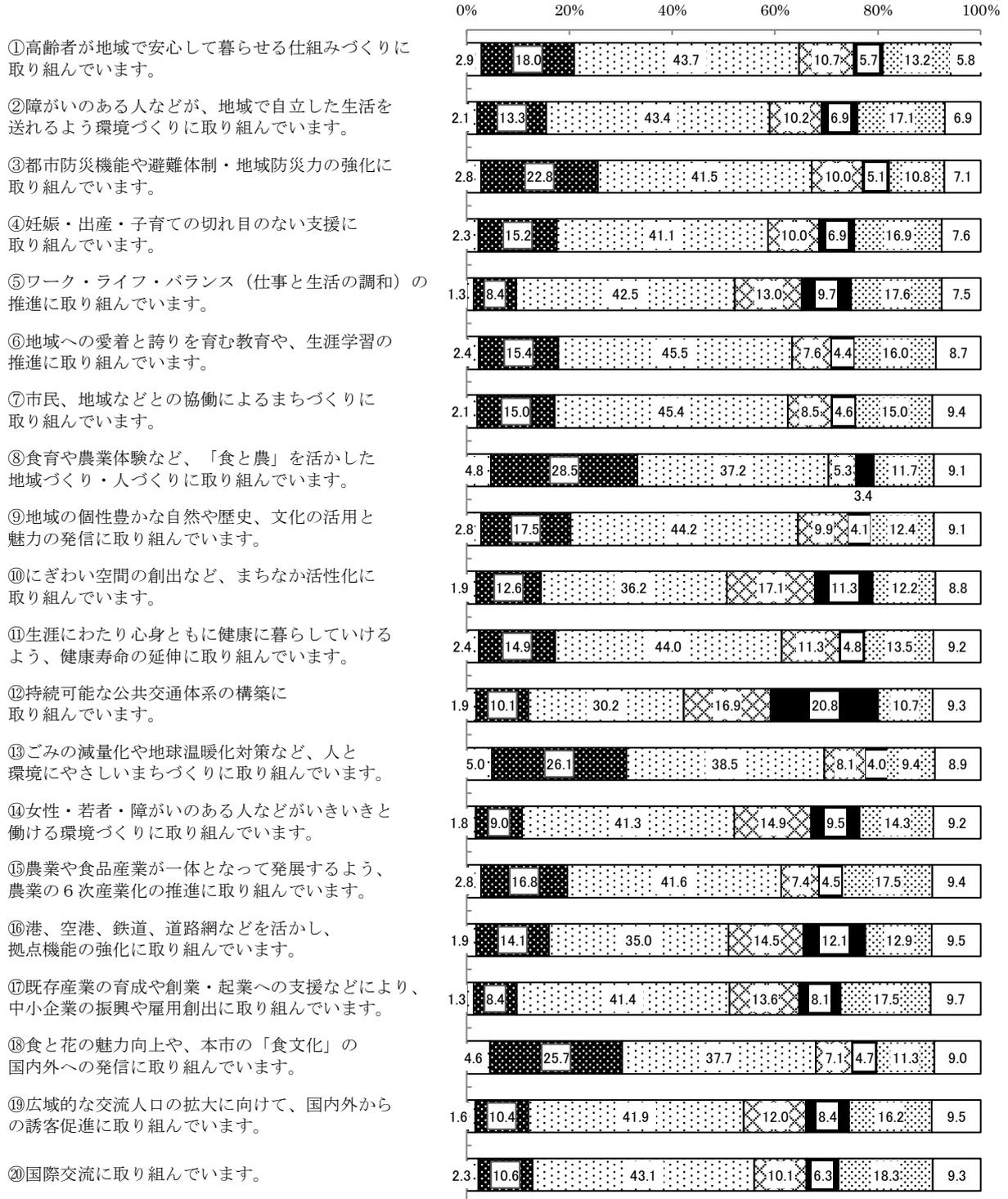
(3) 取り組みへの満足度

問26 新潟市が進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。また、これらの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで○をつけてください。

【取り組みへの満足度】

n=2251

□満足している ■ある程度満足している ▨どちらともいえない □やや不満 ■不満 □わからない □不明・無回答



【全体結果】

市の取り組み状況への満足度について、「満足している」の割合は、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(5.0%)で最も高い。以下、「満足している」の割合は、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(4.8%)、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(4.6%)、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」(2.9%)の順で高くなっている。

一方、「不満」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(20.8%)が最も高い。以下、「⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(12.1%)、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(11.3%)の順で高くなっている。

満足度について、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合、及び、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

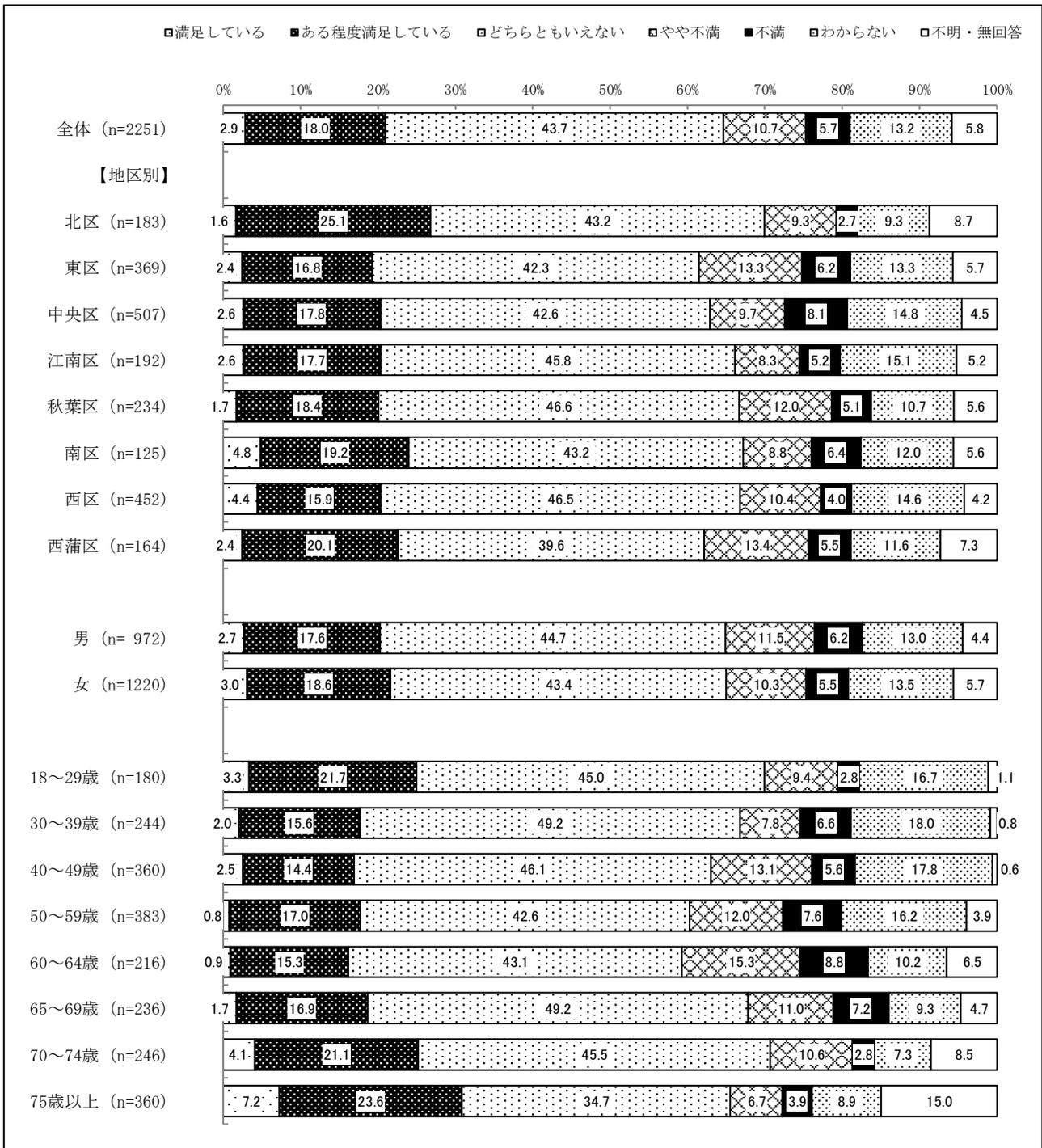
「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(33.3%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(31.1%)、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(30.3%)が3割台で続いている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(37.8%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(28.4%)、「⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(26.6%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(24.4%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(22.7%)、「⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。」(21.7%)、「⑲広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。」(20.4%)が2割台で続いている。

【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

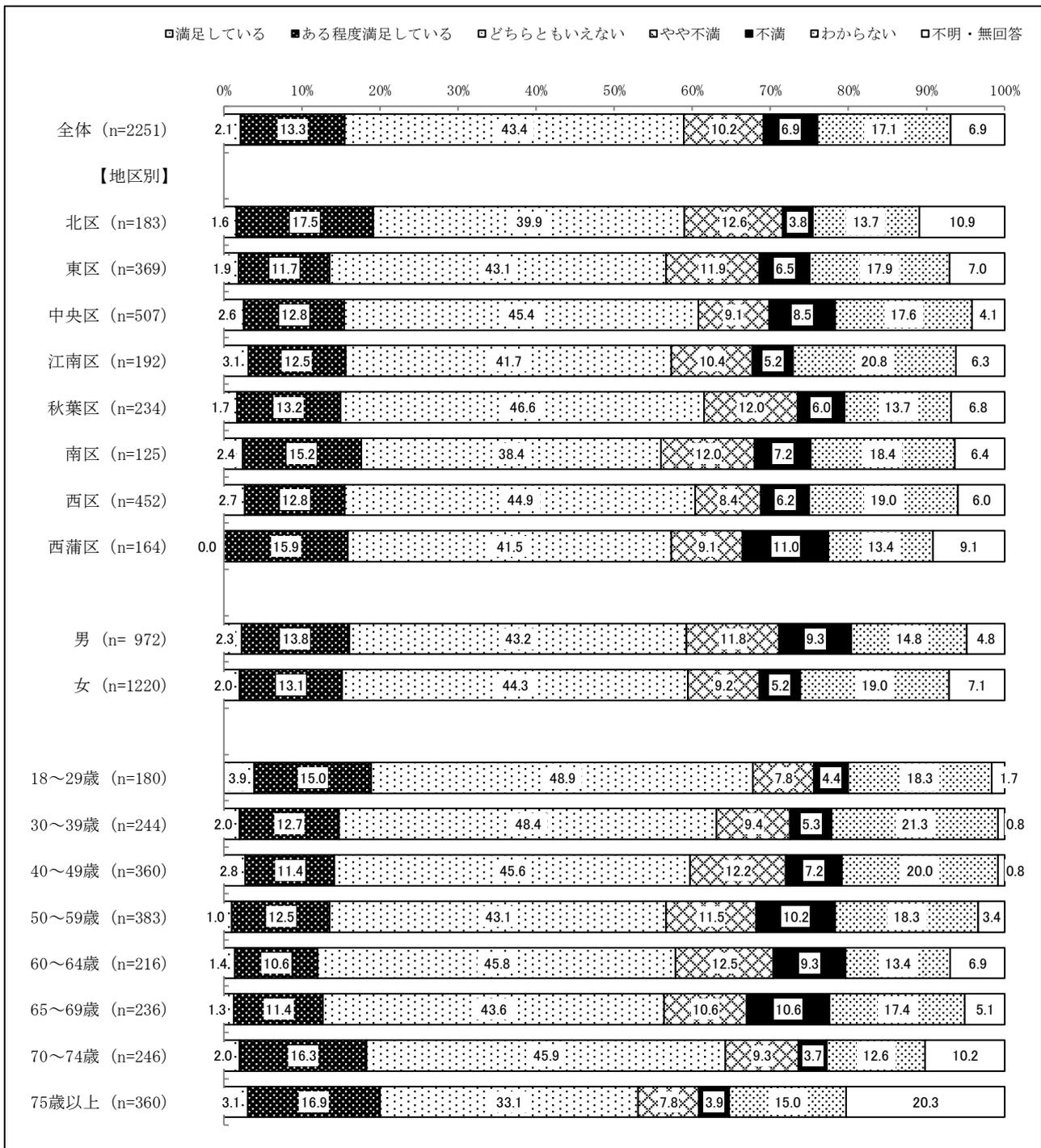
①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（26.8%）で最も高い。性別での大きな差はない。年齢別では75歳以上（30.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（19.5%）で最も高い。性別では女性（15.8%）よりも、男性（17.7%）の割合がやや高い。年齢別では、60～64歳（24.1%）で割合が高い。

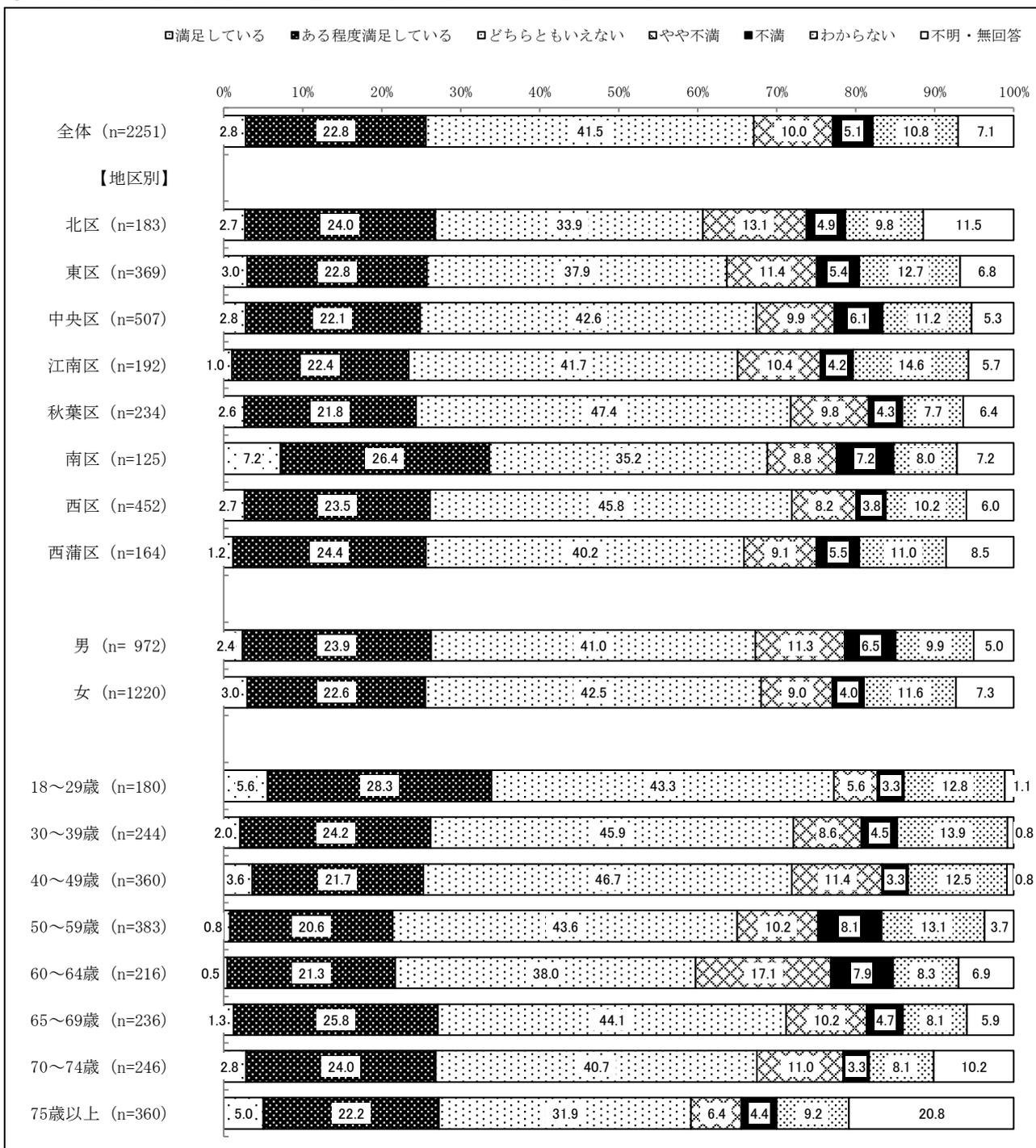
②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（19.1%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では75歳以上（20.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（20.1%）で最も高い。性別では女性（14.4%）よりも、男性（21.1%）の割合が高い。年齢別では、60～64歳（21.8%）で割合が高い。

③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。

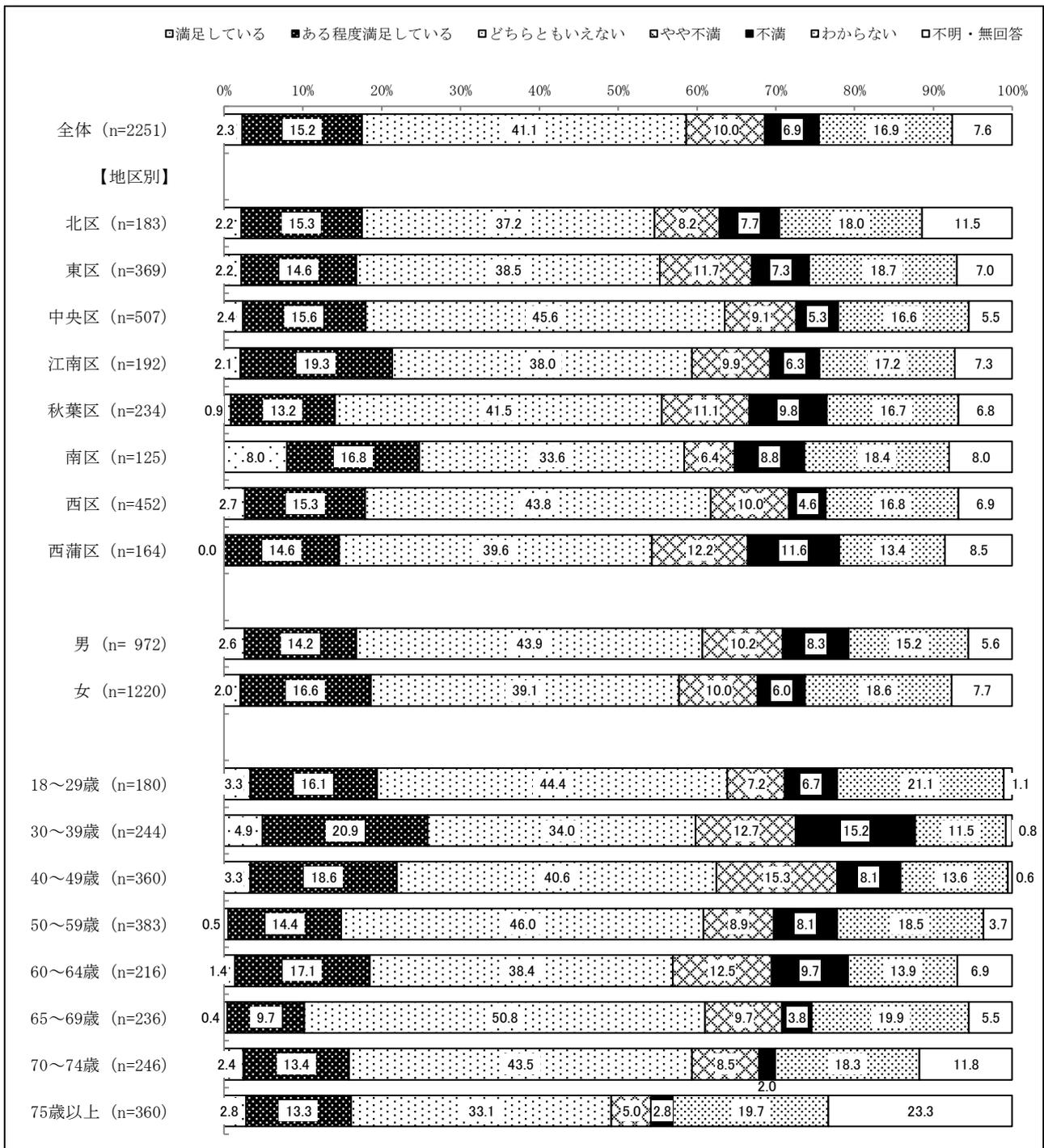


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（33.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（33.9%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、北区（18.0%）で最も高い。性別では女性（13.0%）よりも、男性（17.8%）の割合がやや高い。年齢別では、60～64歳（25.0%）で割合が高い。

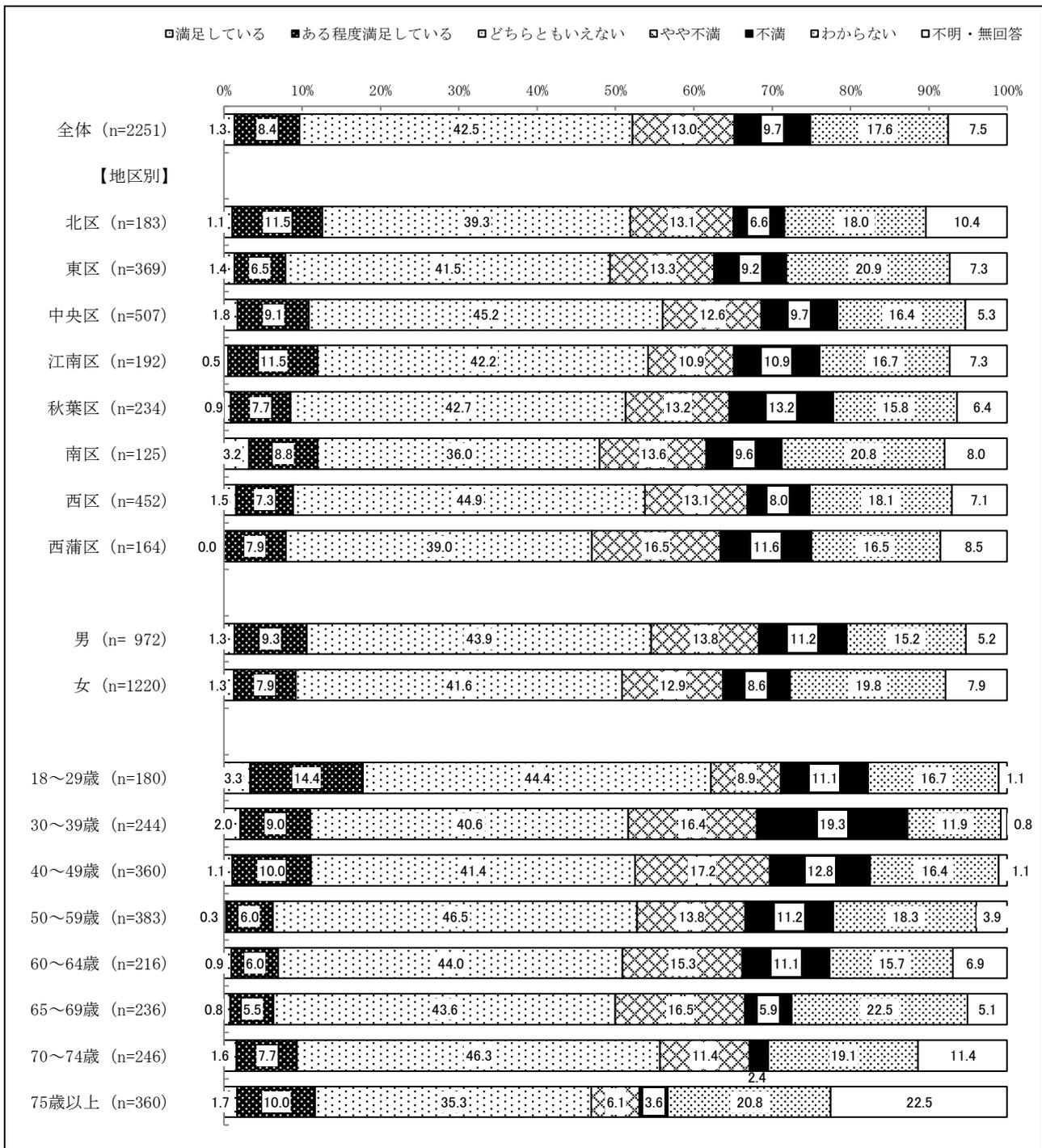
④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.8%）で最も高い。性別では男性（16.8%）よりも、女性（18.6%）の割合がやや高い。年齢別では30～39歳（25.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（23.8%）で最も高い。性別では女性（16.0%）よりも、男性（18.5%）の割合がやや高い。年齢別では、30～39歳（27.9%）で割合が高い。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

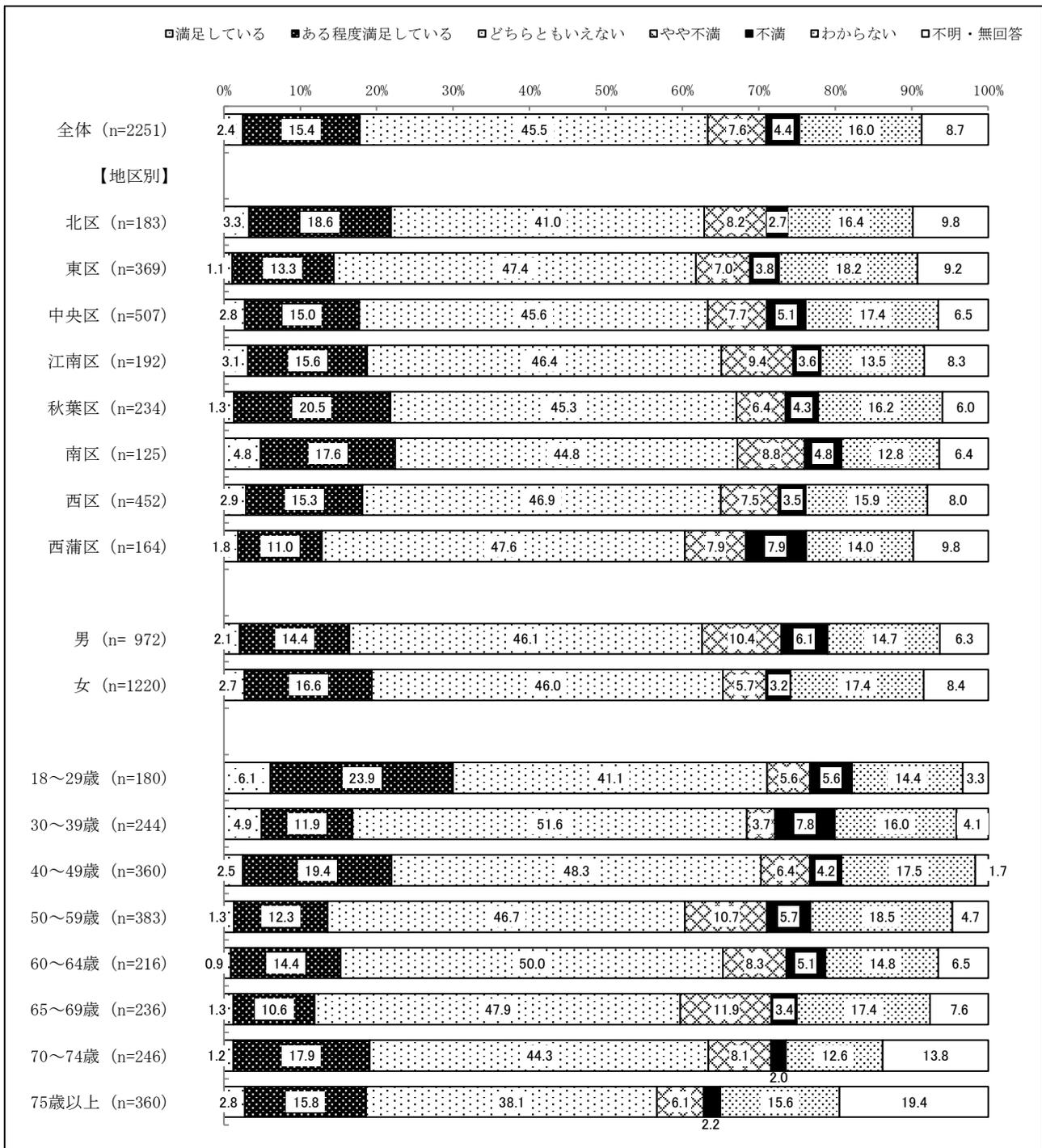


75歳以上の属性を除く地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（12.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（17.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（28.0%）で最も高い。性別では女性（21.5%）よりも、男性（25.0%）の割合がやや高い。年齢別では、30～39歳（35.7%）で割合が高い。

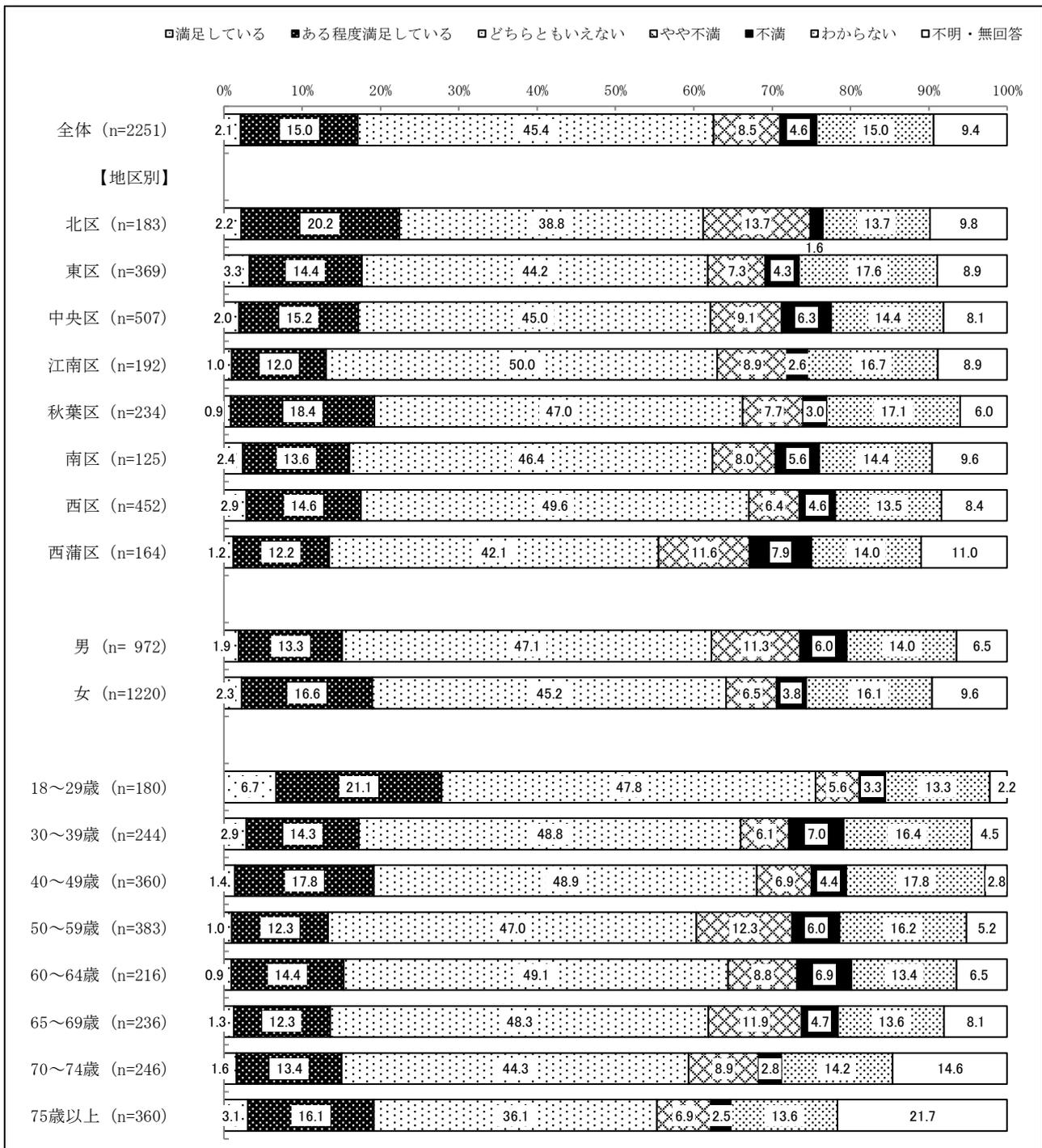
⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（22.4%）で最も高い。性別では男性（16.5%）よりも、女性（19.3%）の割合がやや高い。年齢別では18～29歳（30.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（15.9%）で最も高い。性別では女性（8.9%）よりも、男性（16.5%）の割合が高い。年齢別では、50～59歳（16.4%）で割合が高い。

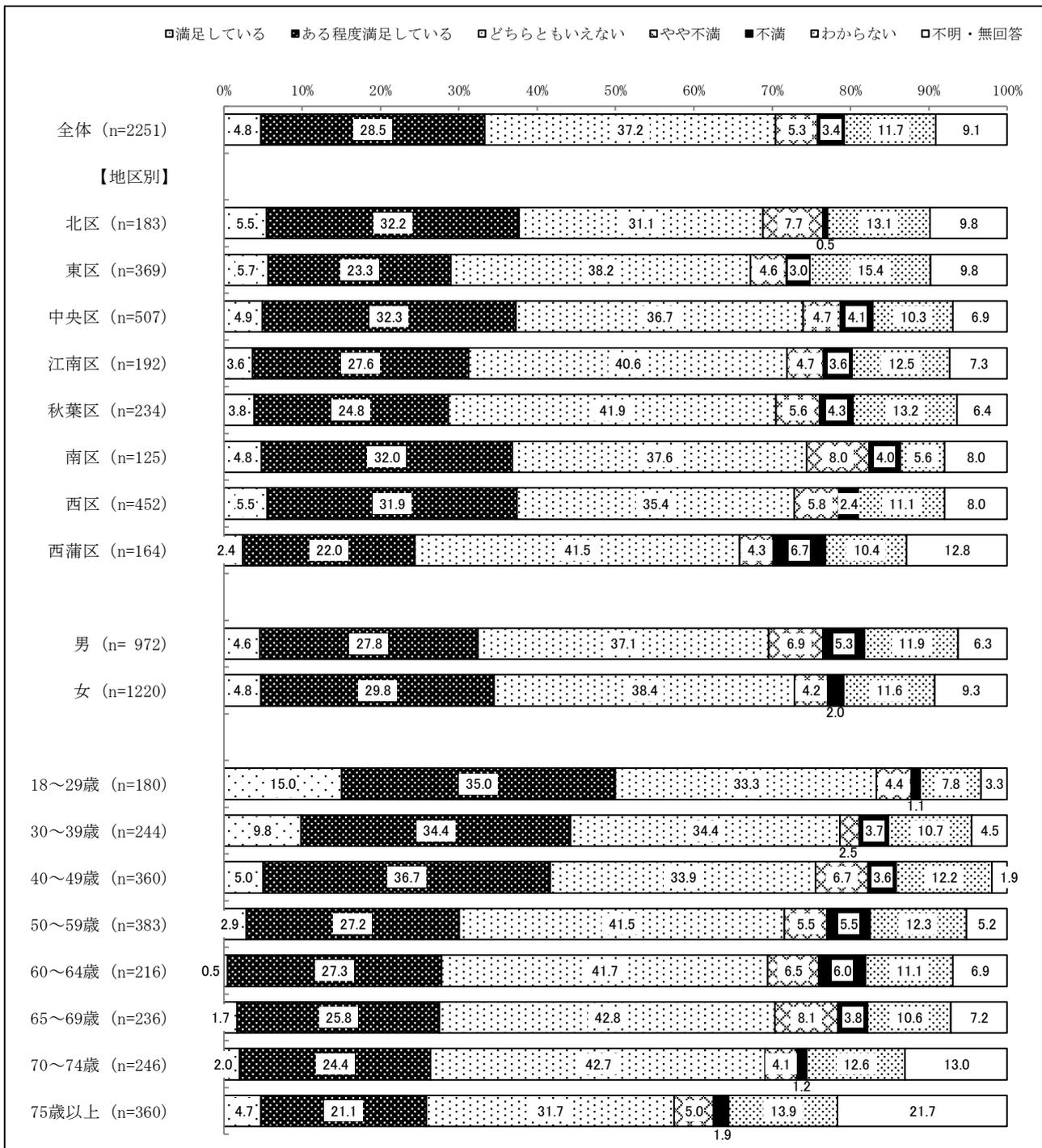
⑦市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（22.4%）で最も高い。性別では男性（15.1%）よりも、女性（18.9%）の割合がやや高い。年齢別では18～29歳（27.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（19.5%）で最も高い。性別では女性（10.2%）よりも、男性（17.3%）の割合が高い。年齢別では、50～59歳（18.3%）で割合が高い。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。

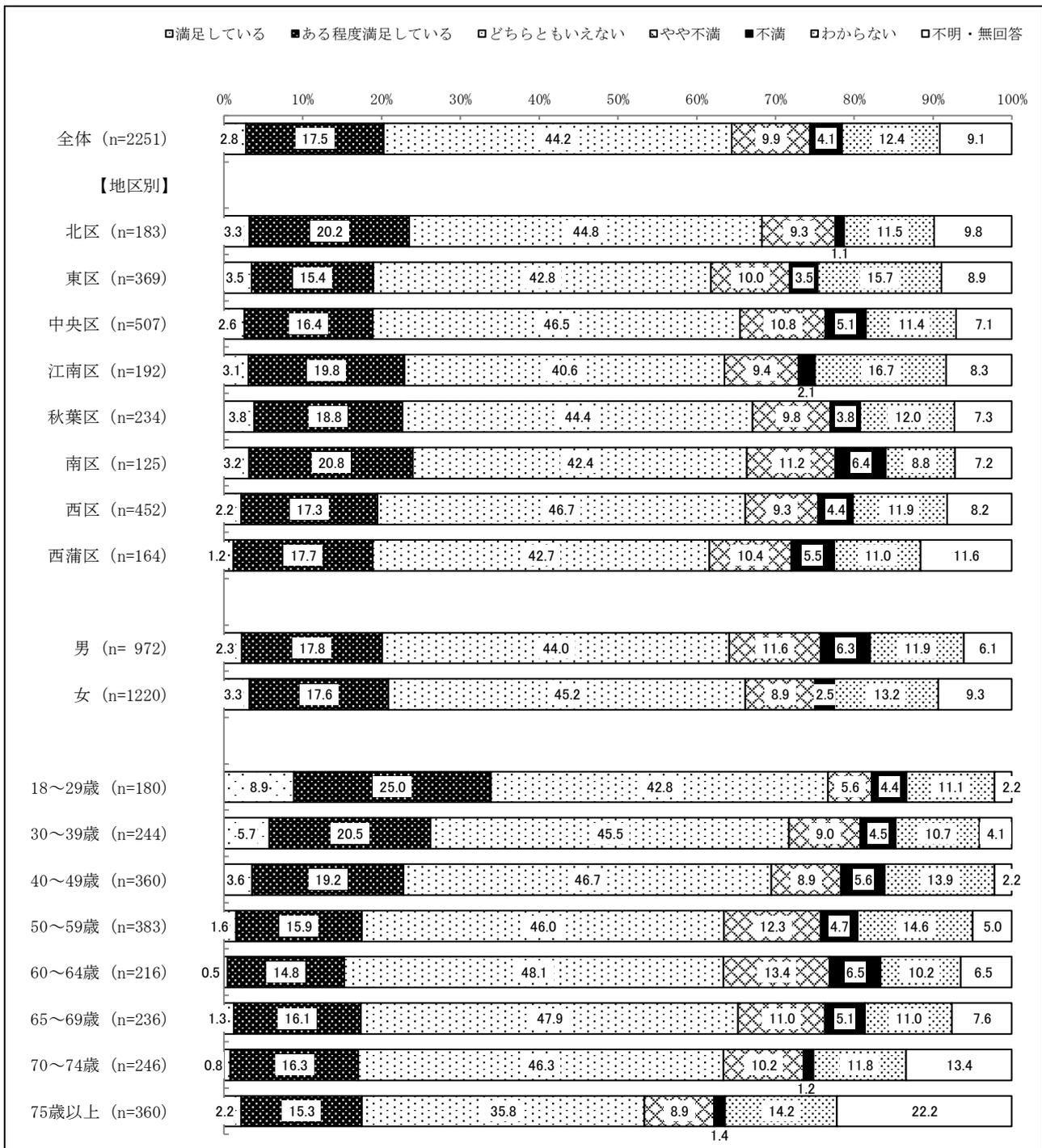


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（37.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（50.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（12.0%）で最も高い。性別では女性（6.2%）よりも、男性（12.2%）の割合が高い。年齢別では、60～64歳（12.5%）で割合が高い。

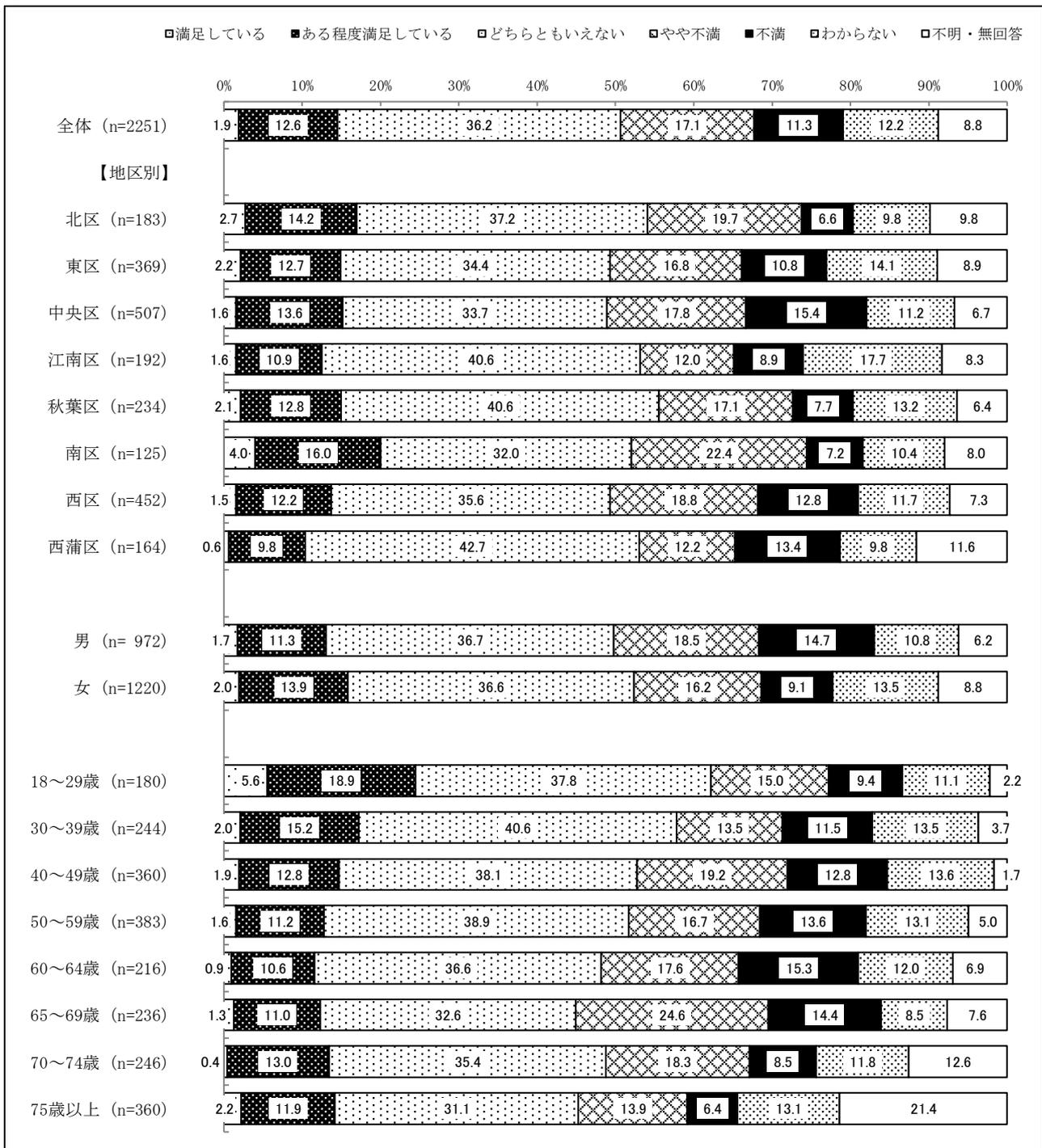
⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（33.9%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（17.6%）で最も高い。性別では女性（11.3%）よりも、男性（17.9%）の割合が高い。年齢別では、60～64歳（19.9%）で割合が高い。

⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。

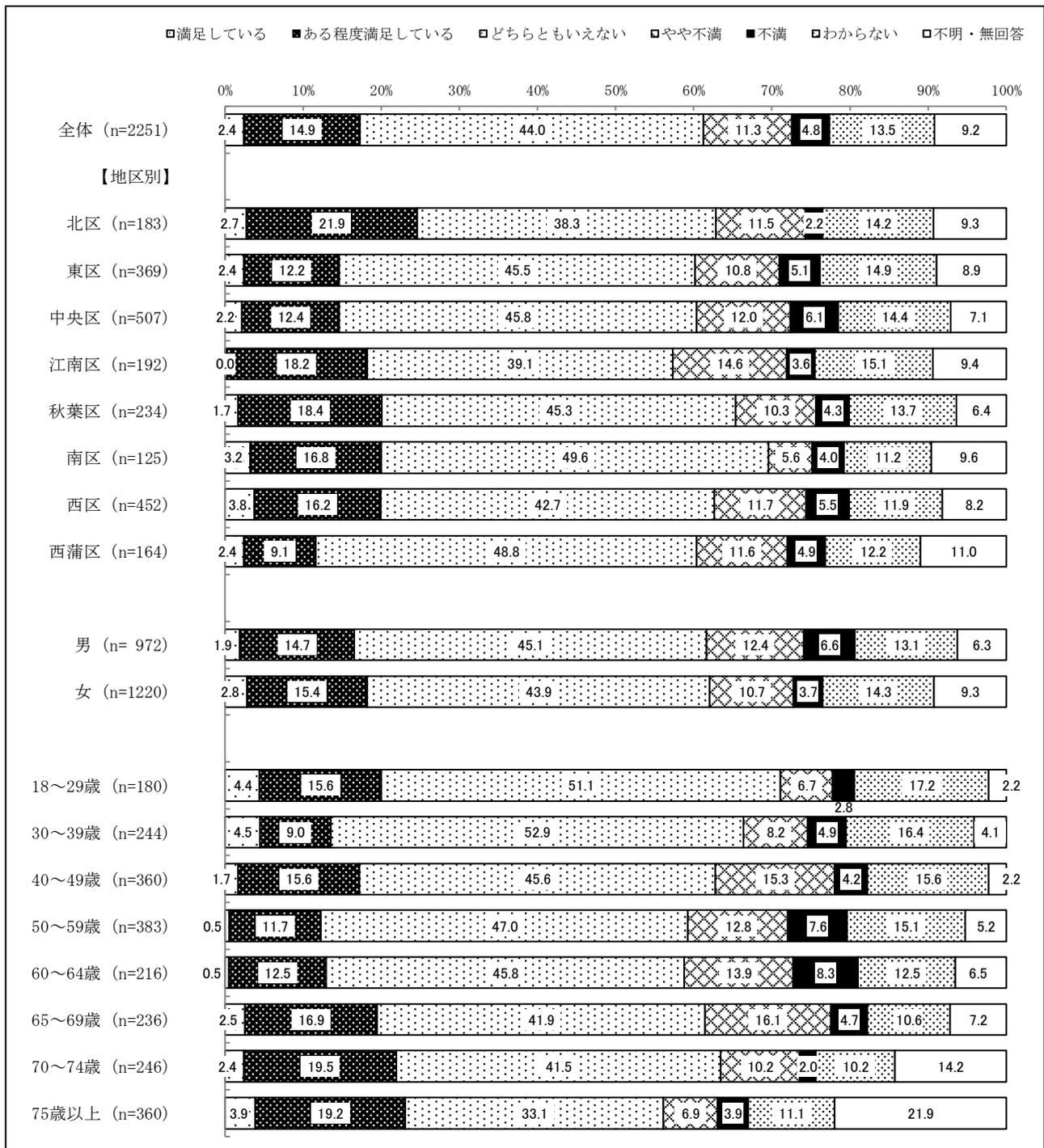


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（20.0%）で最も高い。性別では男性（13.1%）よりも、女性（15.8%）の割合がやや高い。年齢別では18～29歳（24.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（33.1%）で最も高い。性別では女性（25.3%）よりも、男性（33.2%）の割合が高い。年齢別では、65～69歳（39.0%）で割合が高い。

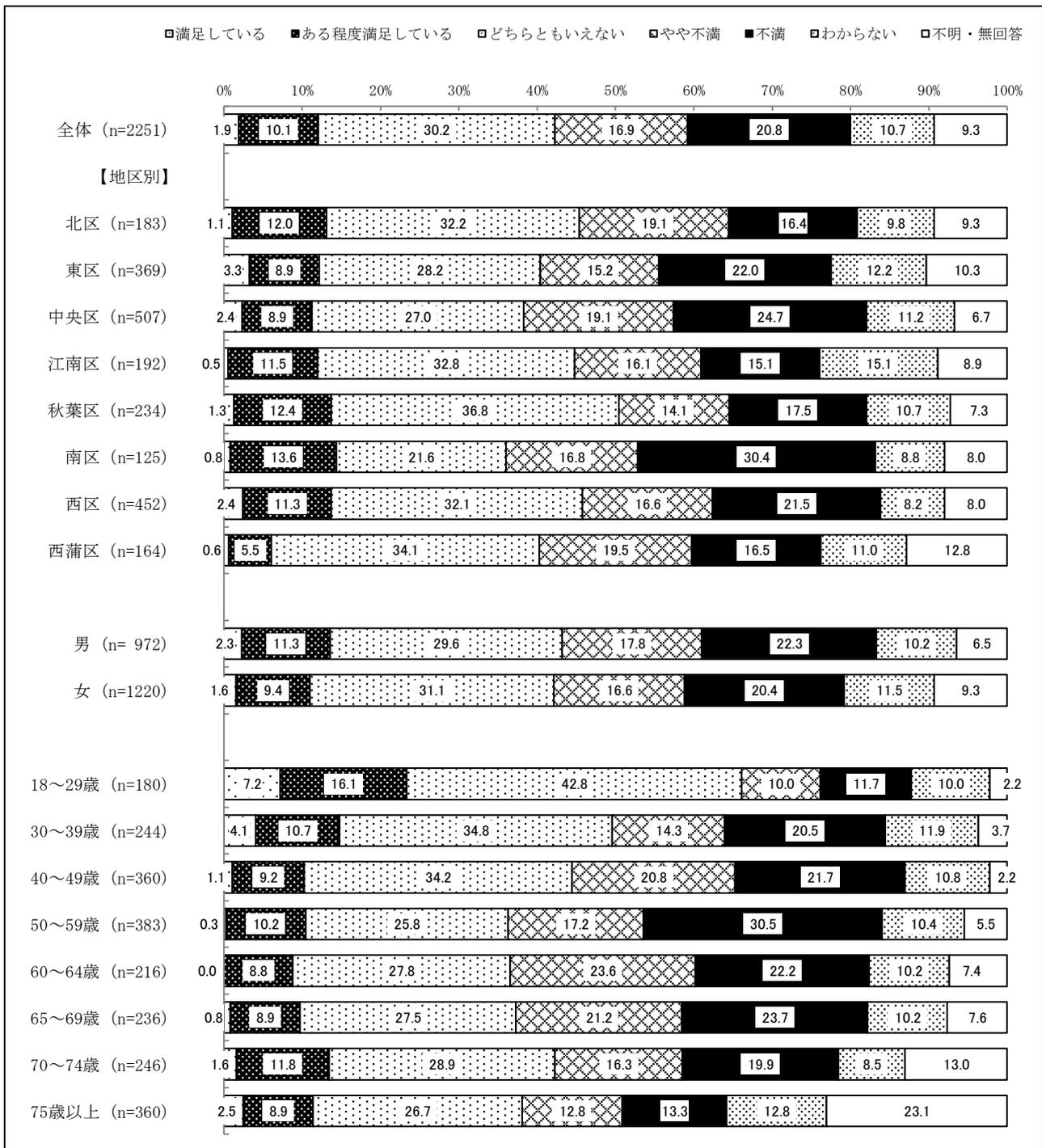
⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（24.6%）で最も高い。性別では男性（16.6%）よりも、女性（18.2%）の割合がやや高い。年齢別では75歳以上（23.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、江南区（18.2%）で最も高い。性別では女性（14.4%）よりも、男性（19.0%）の割合がやや高い。年齢別では、60～64歳（22.2%）で割合が高い。

⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

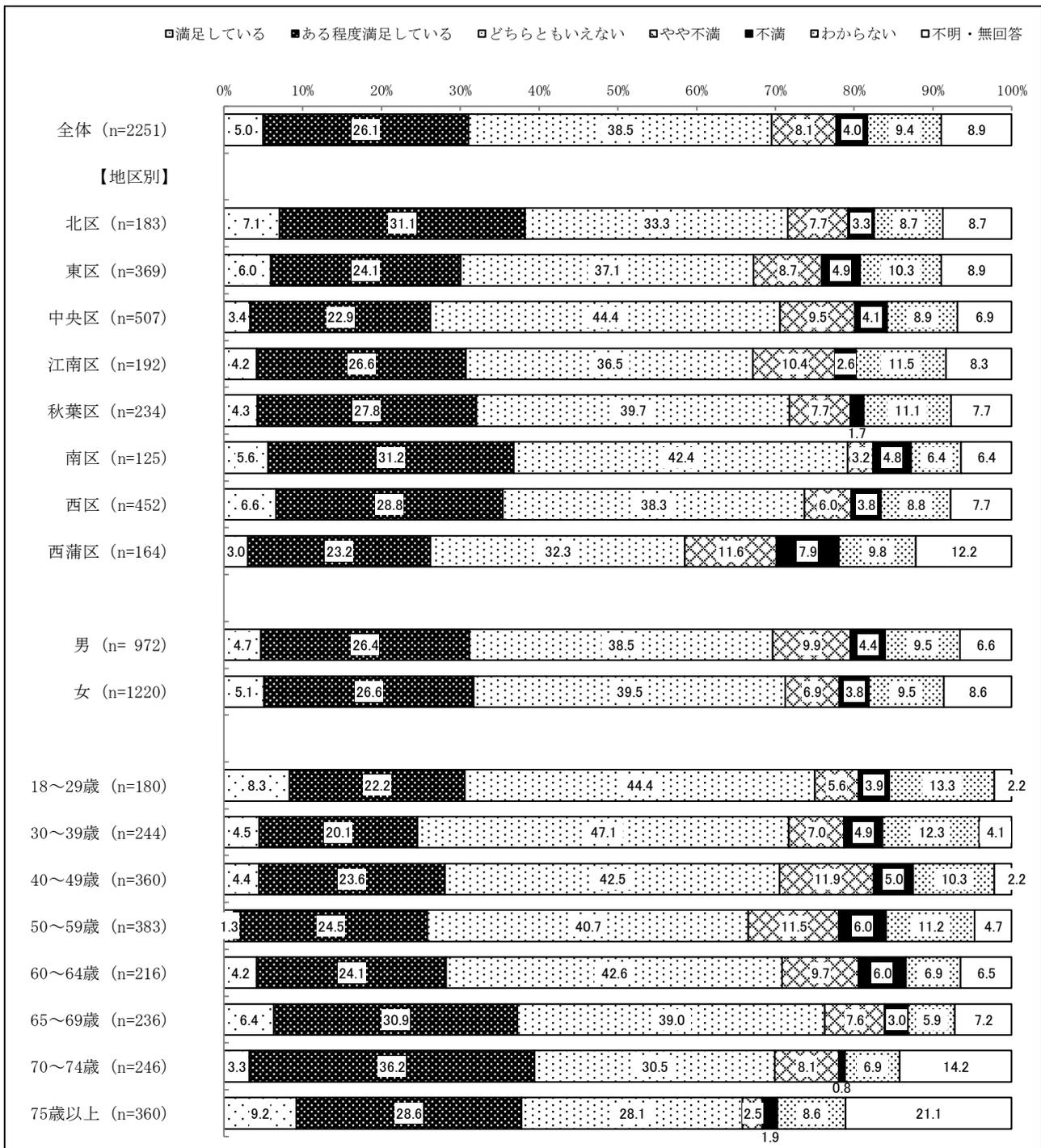


18～29歳の属性を除く地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（14.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（23.3%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（47.2%）で最も高い。性別では、女性（37.0%）よりも、男性（40.1%）の割合が高い。年齢別では、50～59歳（47.8%）で割合が高い。

⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

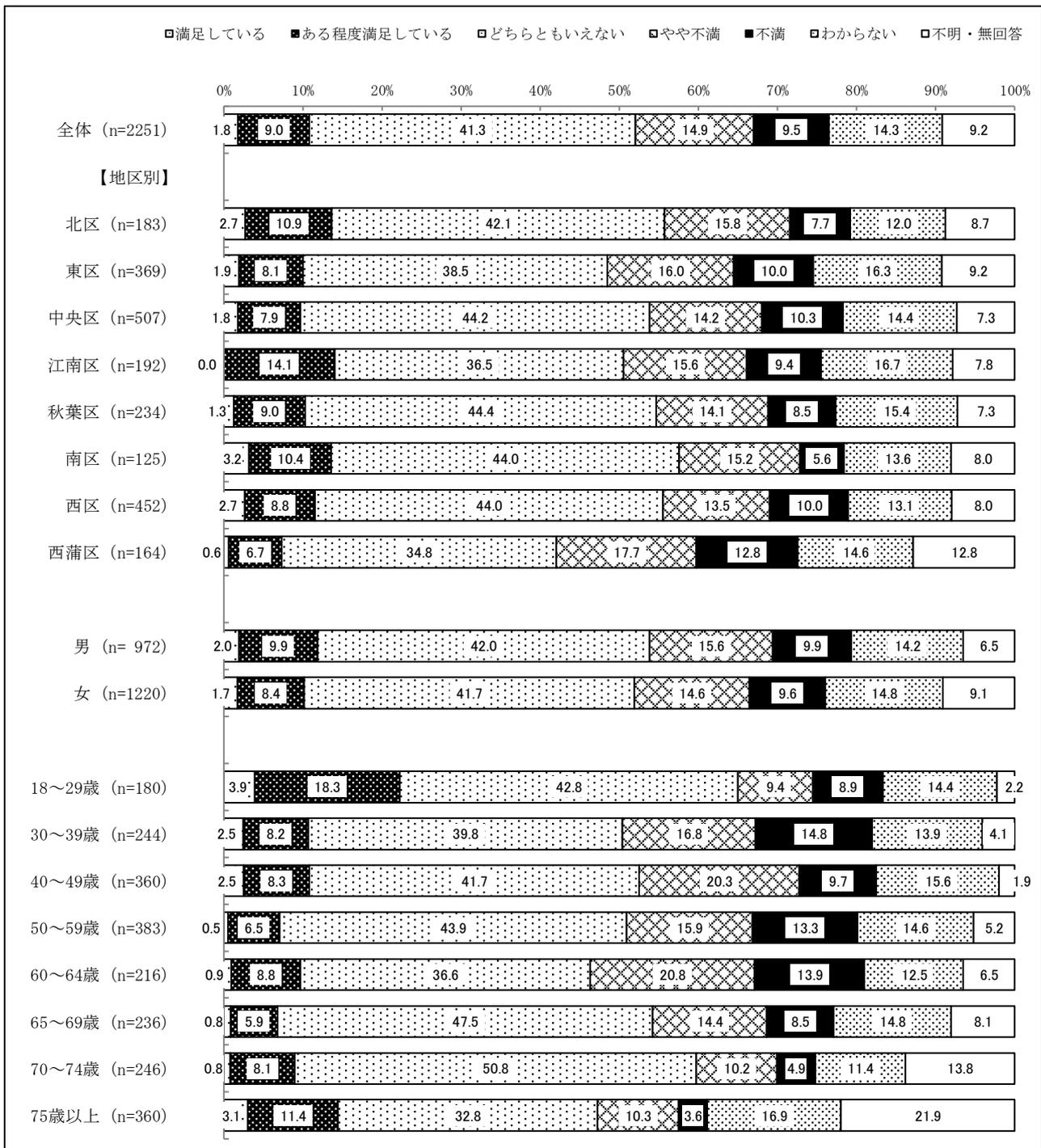


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回り、差が大きい。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（38.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では70～74歳（39.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（19.5%）で最も高い。性別では女性（10.7%）よりも、男性（14.3%）の割合がやや高い。年齢別では、50～59歳（17.5%）で割合が高い。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

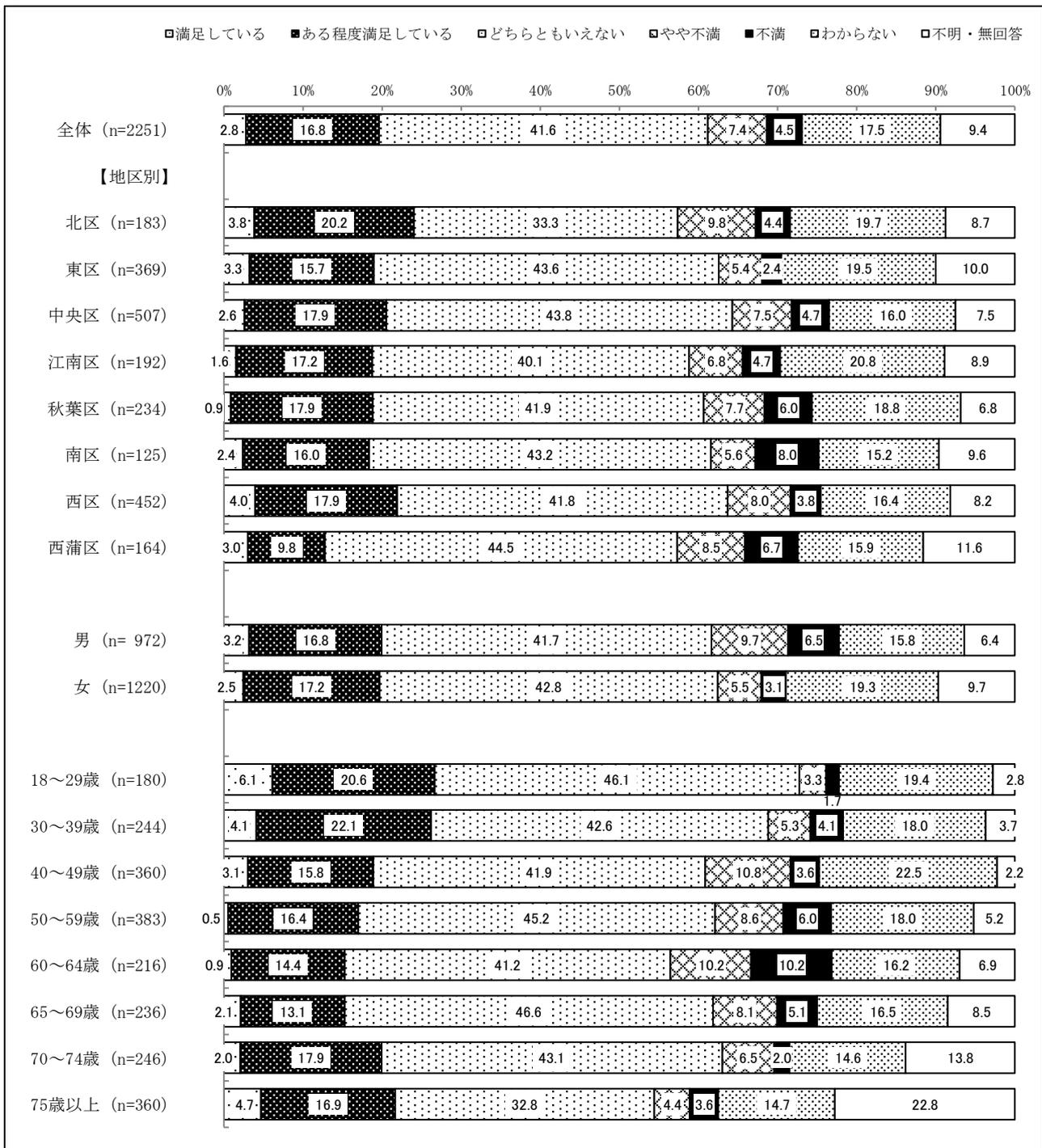


75歳以上の属性を除く地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（14.1%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（22.2%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（30.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、60～64歳（34.7%）で割合が高い。

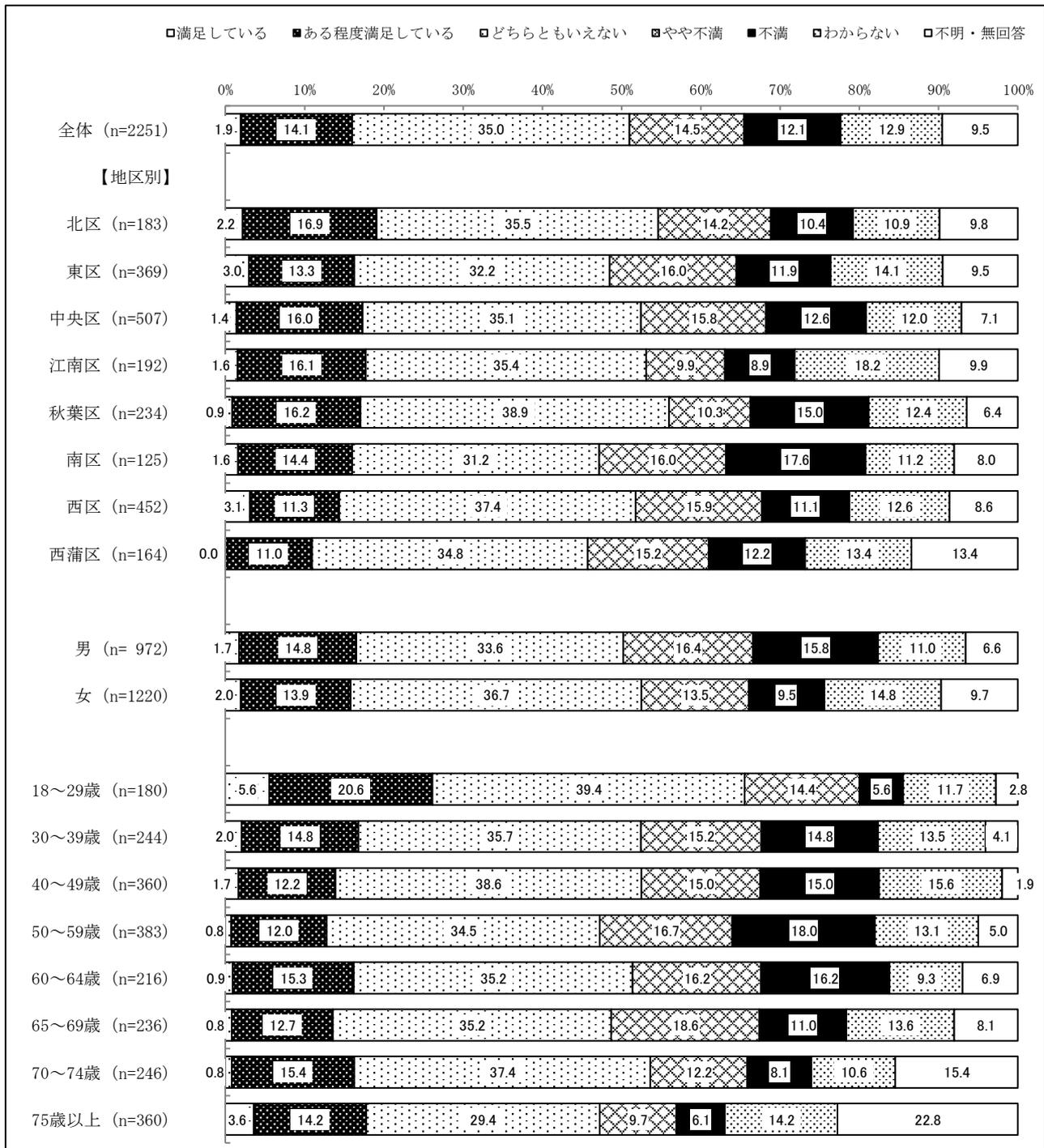
⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（24.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（26.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（15.2%）で最も高い。性別では女性（8.6%）よりも、男性（16.2%）の割合が高い。年齢別では、60～64歳（20.4%）で割合が高い。

⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。

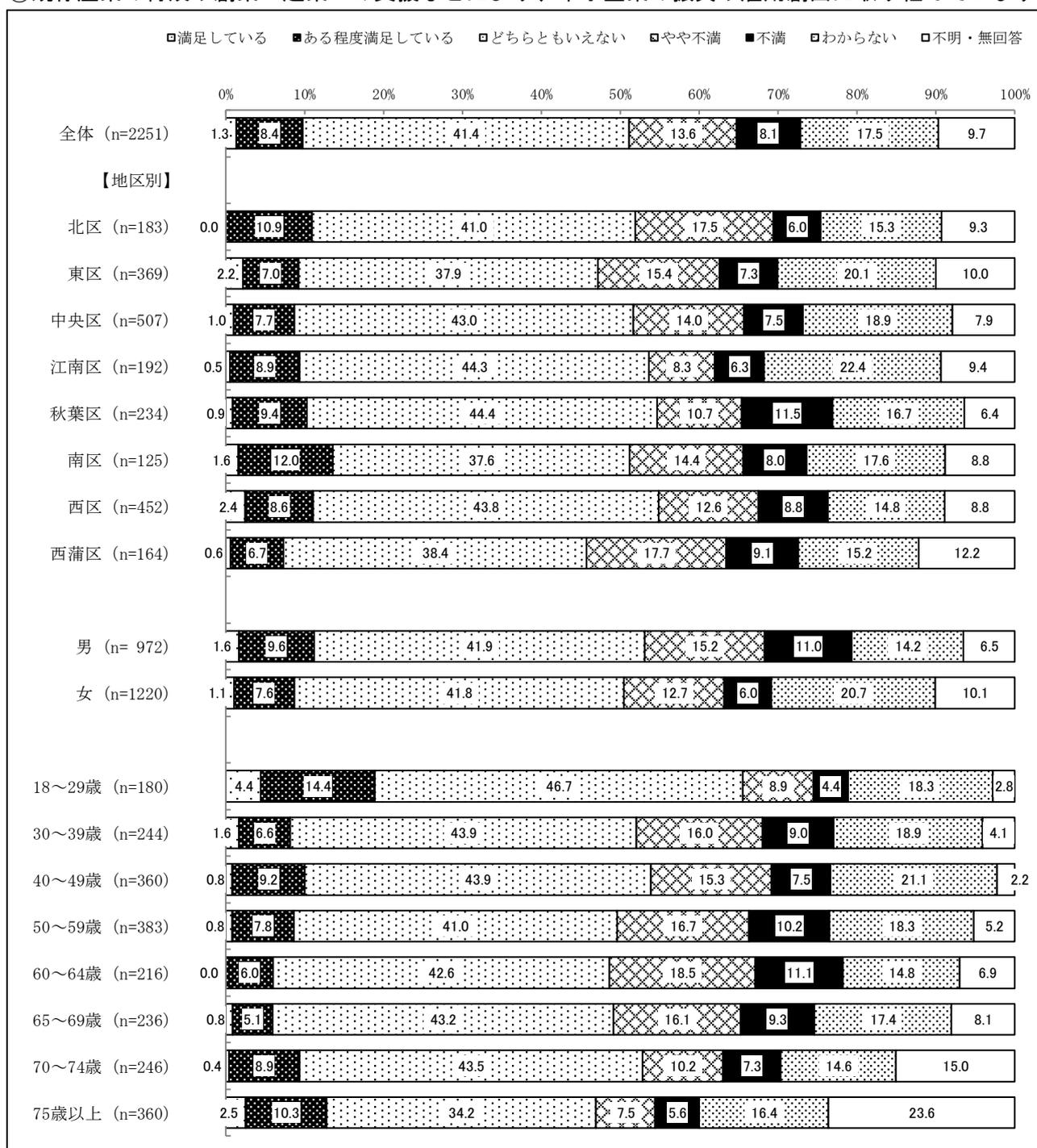


75歳以上の属性を除く地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（19.1%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（26.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（33.6%）で最も高い。性別では女性（23.0%）よりも、男性（32.2%）の割合が高い。年齢別では、50～59歳（34.7%）で割合が高い。

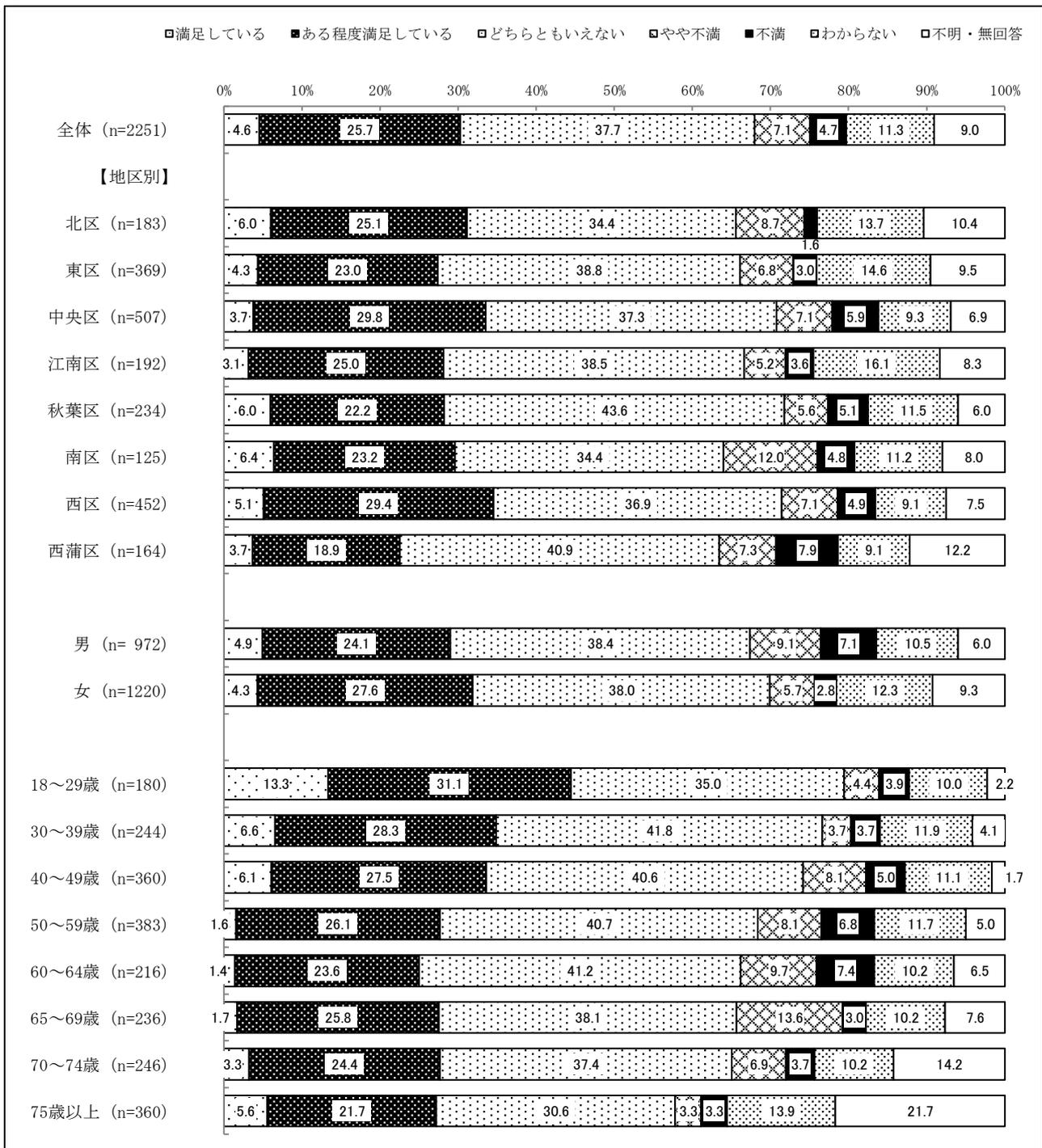
⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、南区（13.6%）で最も高い。性別では女性（8.7%）よりも、男性（11.2%）の割合が高い。年齢別では18～29歳（18.9%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（26.8%）で最も高い。性別では女性（18.7%）よりも、男性（26.2%）の割合が高い。年齢別では、60～64歳（29.6%）で割合が高い。

⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。

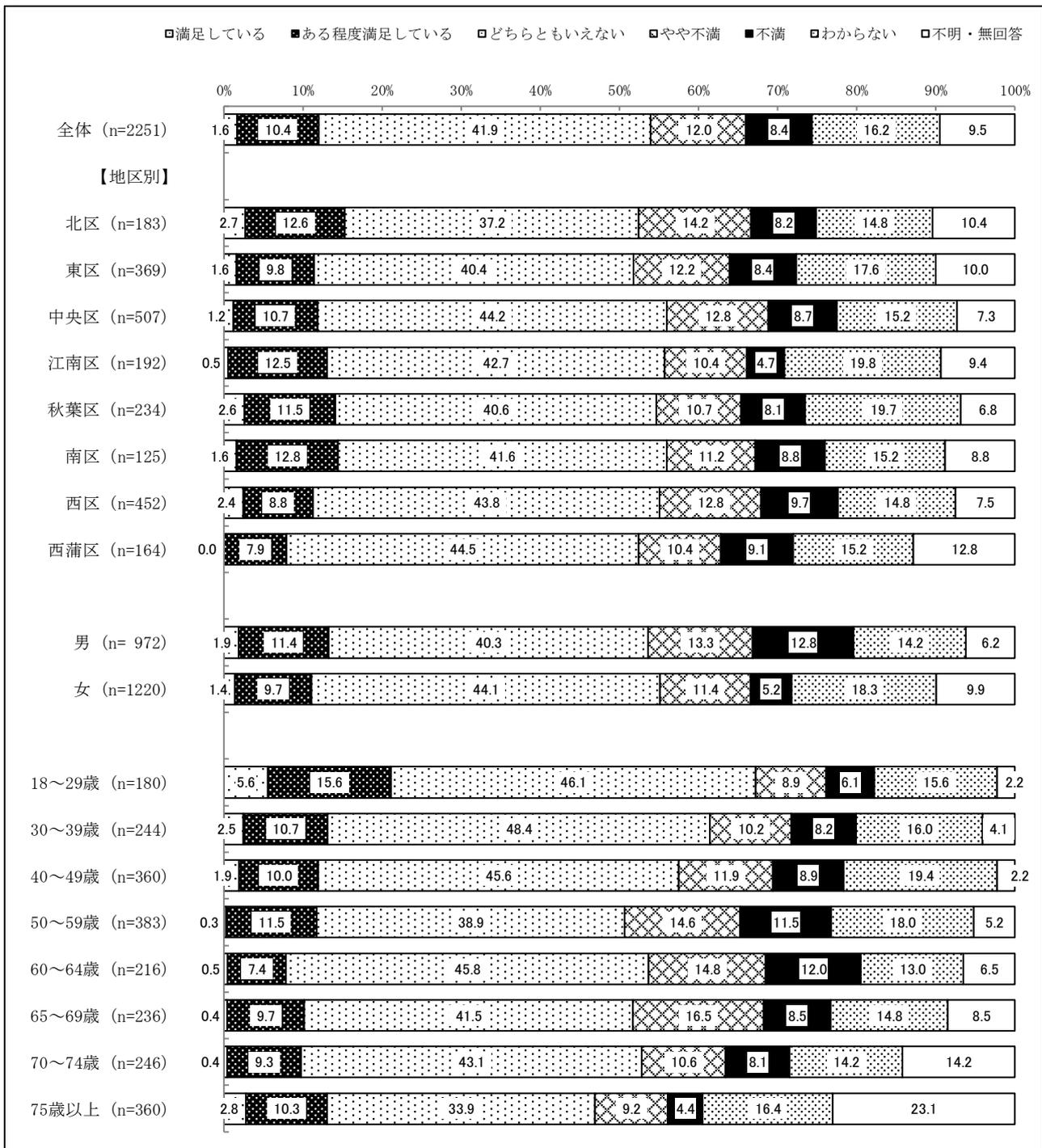


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回っている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（34.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（44.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（16.8%）で最も高い。性別では女性（8.5%）よりも、男性（16.2%）の割合が高い。年齢別では、60～64歳（17.1%）で割合が高い。

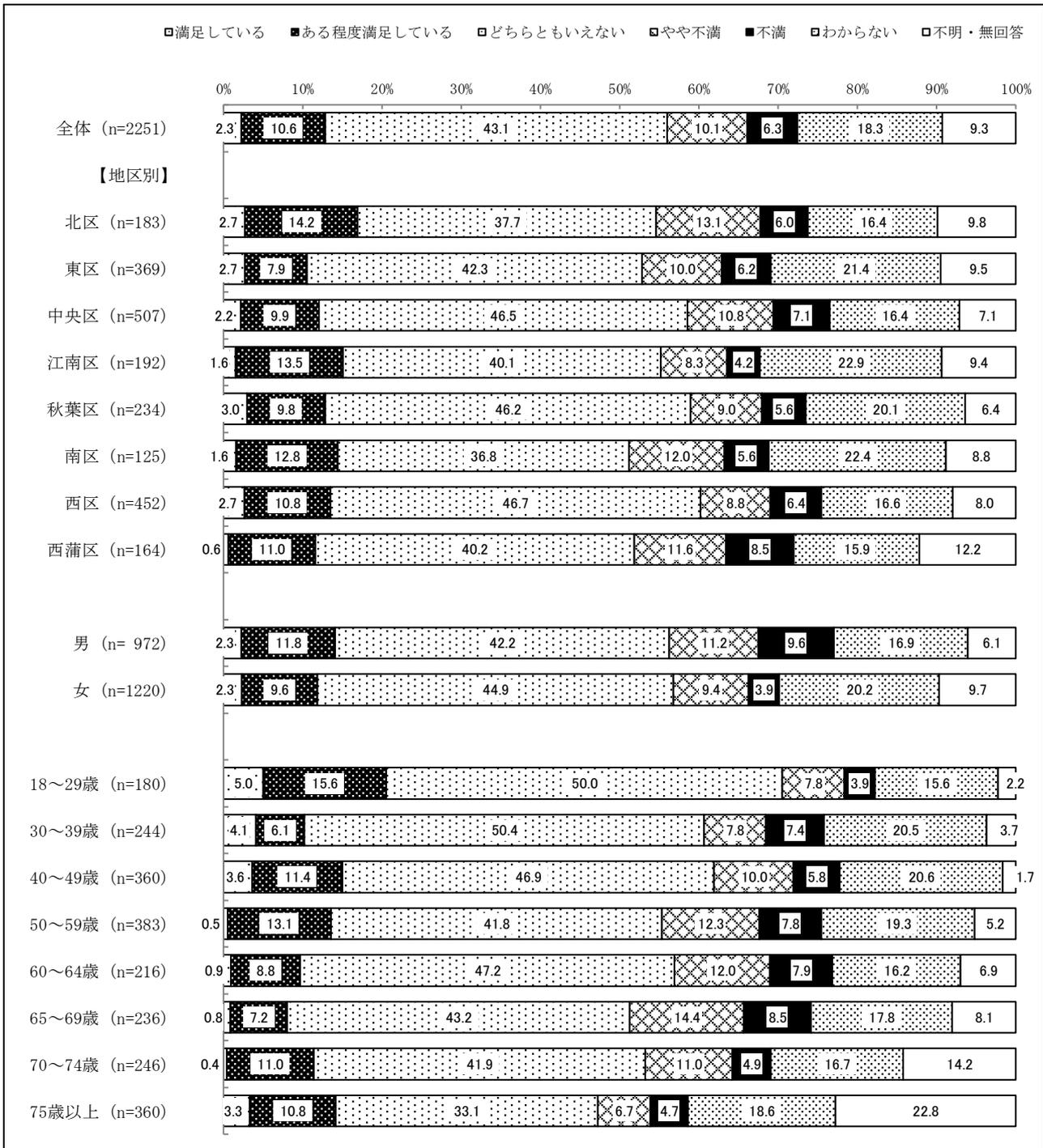
⑱広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（15.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（21.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西区（22.6%）で最も高い。性別では女性（16.6%）よりも、男性（26.0%）の割合が高い。年齢別では、60～64歳（26.9%）で割合が高い。

⑳国際交流に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（16.9%）で最も高い。性別では女性（11.9%）よりも、男性（14.1%）の割合が高い。年齢別では18～29歳（20.6%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（20.1%）で最も高い。性別では女性（13.4%）よりも、男性（20.8%）の割合が高い。年齢別では、65～69歳（22.9%）で割合が高い。

Ⅲ 調査票様式